

松阪市 市民意識調査

【結果報告書】

令和6年2月

松阪市

目次

I	調査の概要	1
	1. 調査目的	2
	2. 調査概要	2
	3. 報告書における図表の見方	3
	4. 標本誤差	3
II	調査結果	5
	ご自身のこと及び松阪市のまちづくりについて	
	ご自身のことについて	6
	市政全般等について	27
	松阪市の個々の課題	
	1. 広報全般について	63
	2. シビックプライド(松阪というまちを愛し、誇りに思う心)について	76
	3. 地域社会で市民活動を支える仕組みについて	80
	4. 各種手続きのオンライン化について	85
	5. あなたのお住まいの地域づくりについて	90
	6. 人権尊重・男女の地位の平等について	91
	7. 地域で支えあう取組について	93
	8. こども医療費助成制度について	101
	9. 観光施策について	104
	10. 松阪駅周辺のまちづくり(松阪西地区複合施設)について	118
	11. 地域包括ケアシステムとそれを支える医療提供体制について	119
	12. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について	122
	13. 放課後児童クラブについて	124
	14. スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて	126
III	自由記述	131
IV	調査票	163

I 調査の概要

1. 調査目的

松阪市の市政運営の基礎資料とするため、アンケート調査を行い、市民の市政に対する意識や要望を調査、把握するために実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

(2) 調査対象

市内にお住まいの15歳以上の方

(3) 調査時期

令和5年11月7日～11月24日

(4) 調査方法

無作為に抽出した3,000人の市民に対し郵送にて調査票を送付

郵送による調査票の返送およびWEB回答により調査を実施

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
令和5年度(今回)	3,000	1,328	44.3	1,327	44.2
		1,059		1,058	
		269		269	
令和4年度(前回)	3,000	1,440	48.0	1,437	47.9
		1,054		1,052	
		386		385	
令和3年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
令和元年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
平成29年度	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成27年度	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年度	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2

※有効回収数：回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N：母集団数（調査の対象となる集団の総数）
n：サンプル数（有効回答数）
P：回答比率（ある選択肢の回答割合）

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

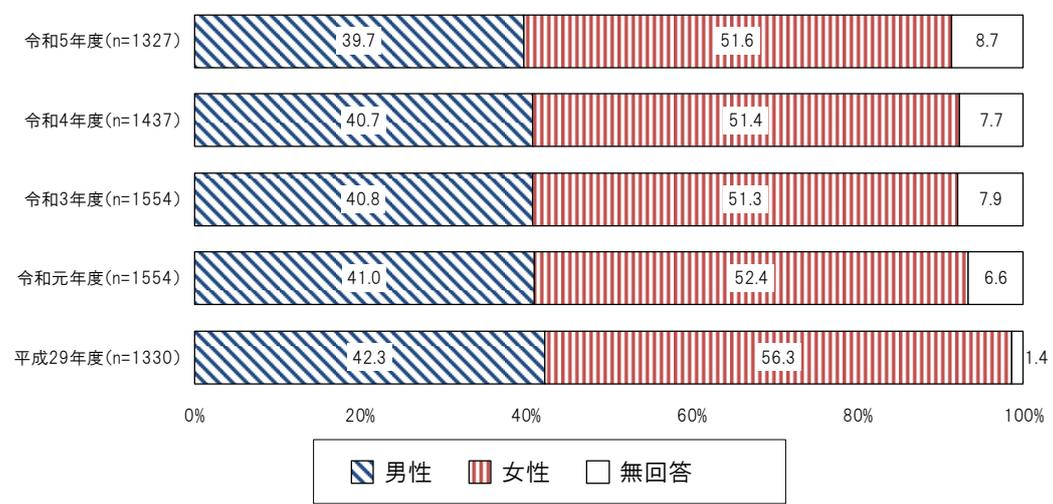
（1）松阪市市民意識調査（N=157,833）令和5年8月1日現在の住民基本台帳人口

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,327（全数）	±1.61%	±2.14%	±2.46%	±2.62%	±2.68%
527（男性）	±2.55%	±3.40%	±3.90%	±4.17%	±4.25%
685（女性）	±2.24%	±2.98%	±3.42%	±3.65%	±3.73%

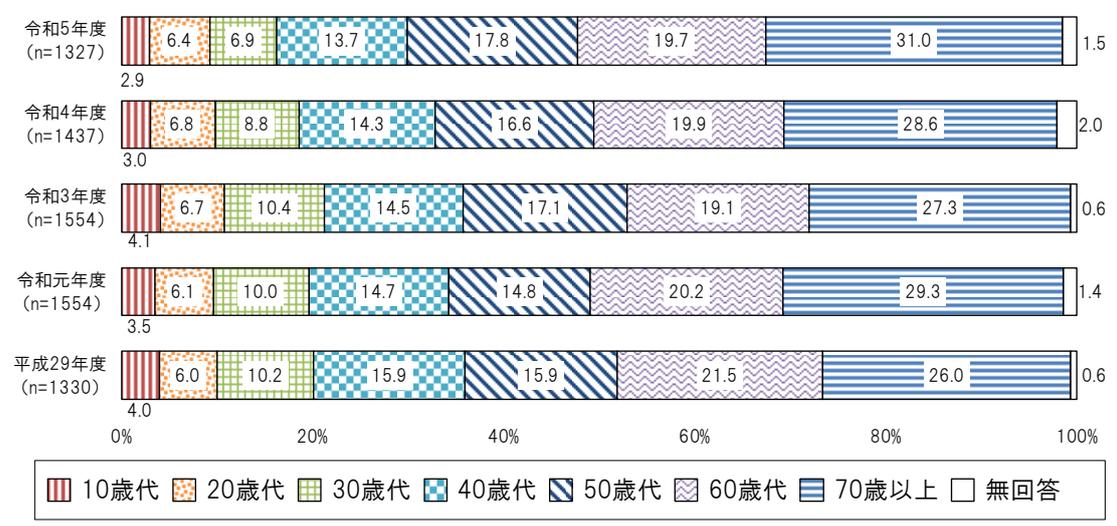
II 調查結果

問1 あなたご自身についておうかがいします。

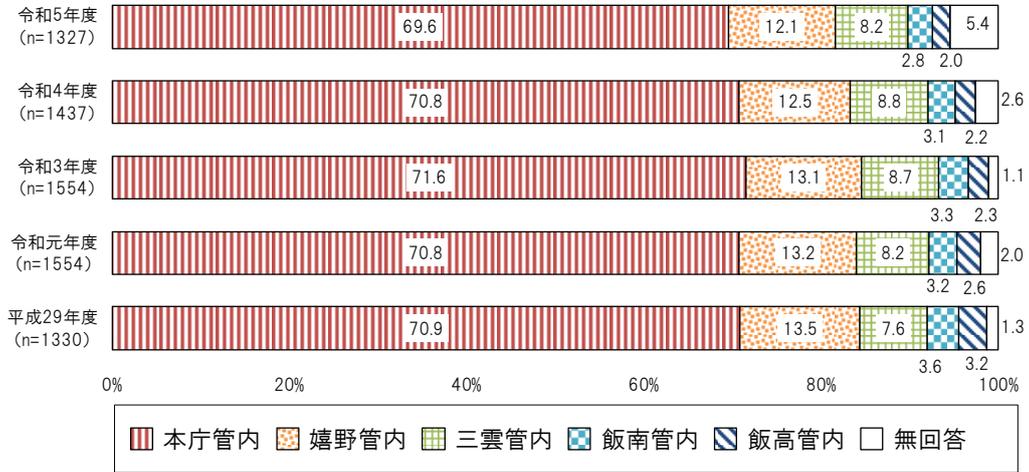
(1) 性別



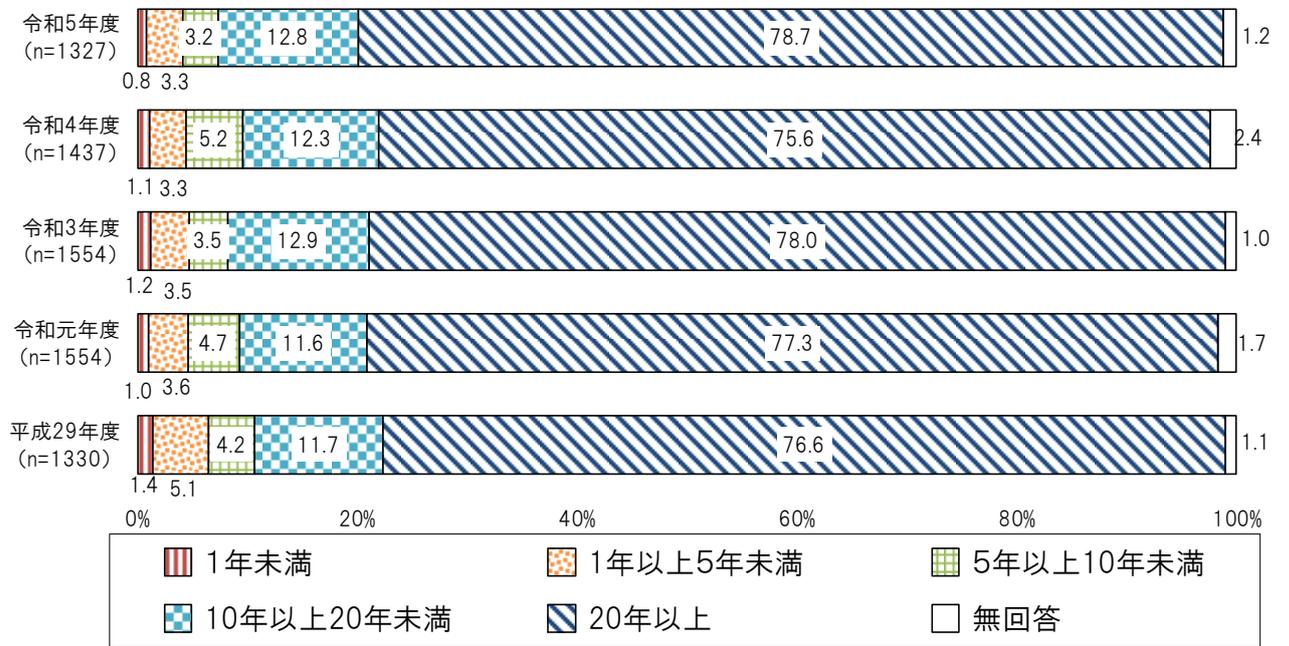
(2) 年齢



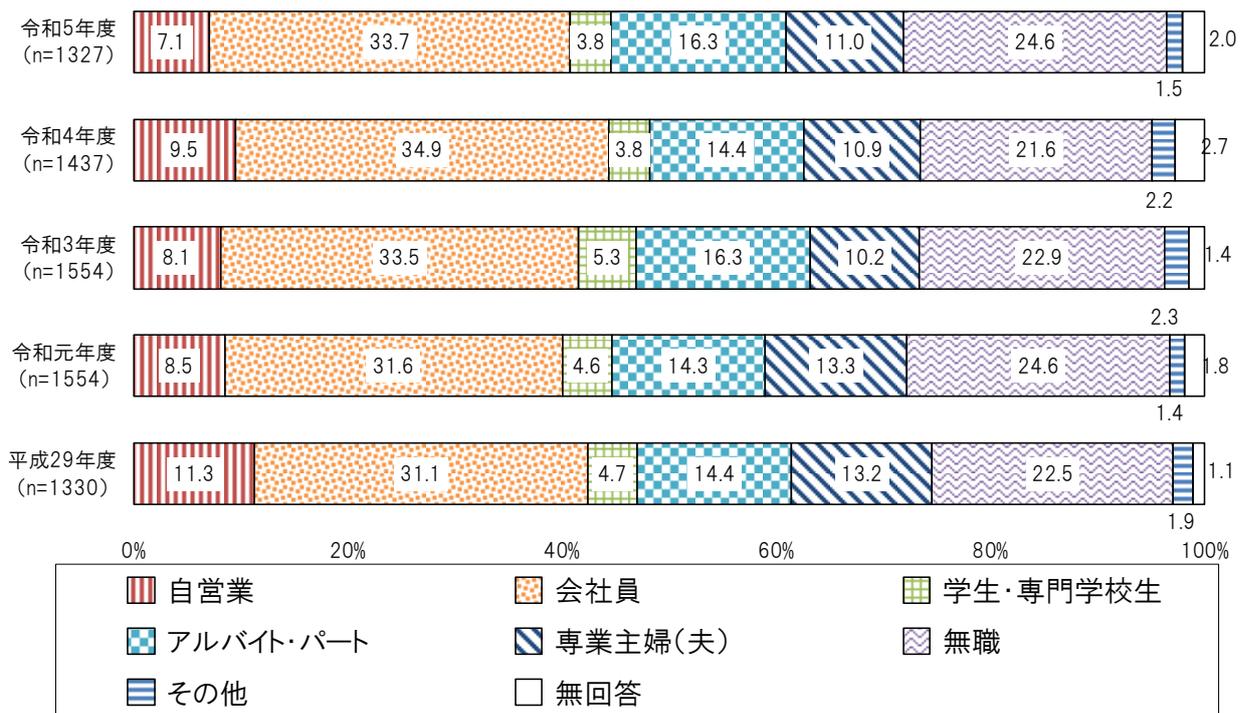
(3) 居住地



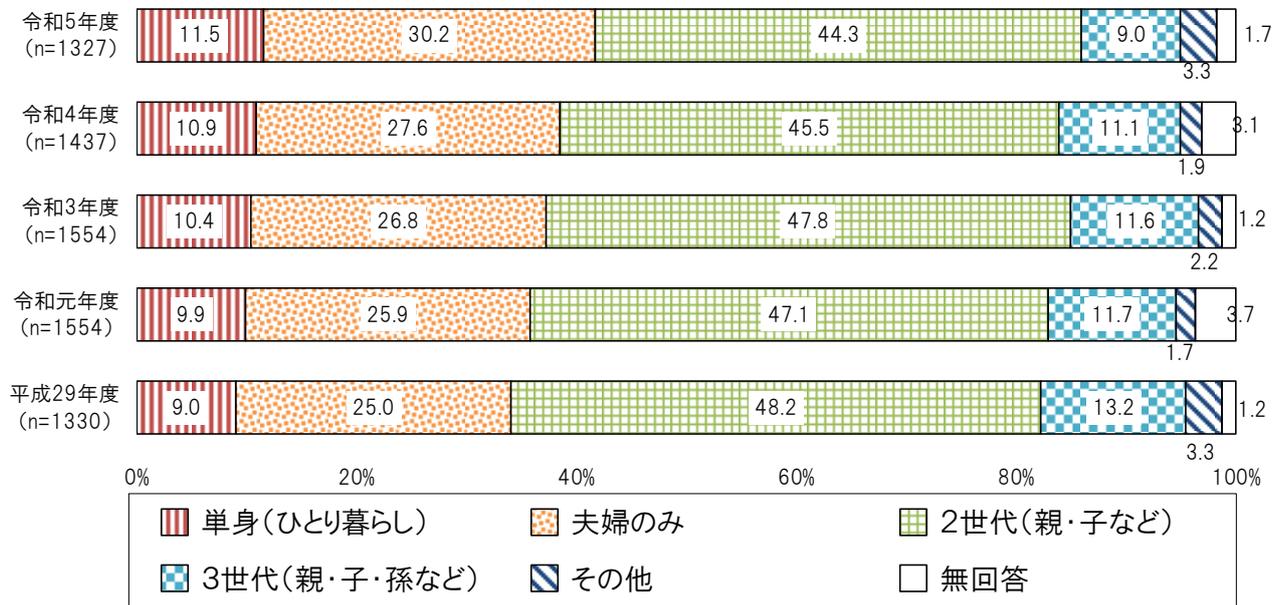
(4) 居住年数



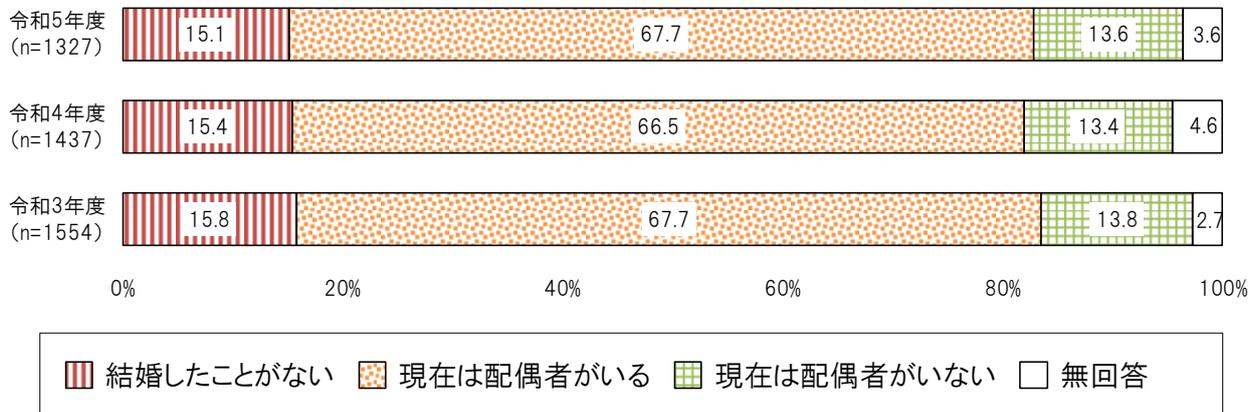
(5) 職業



(6) 家族構成



(7) 婚姻状況



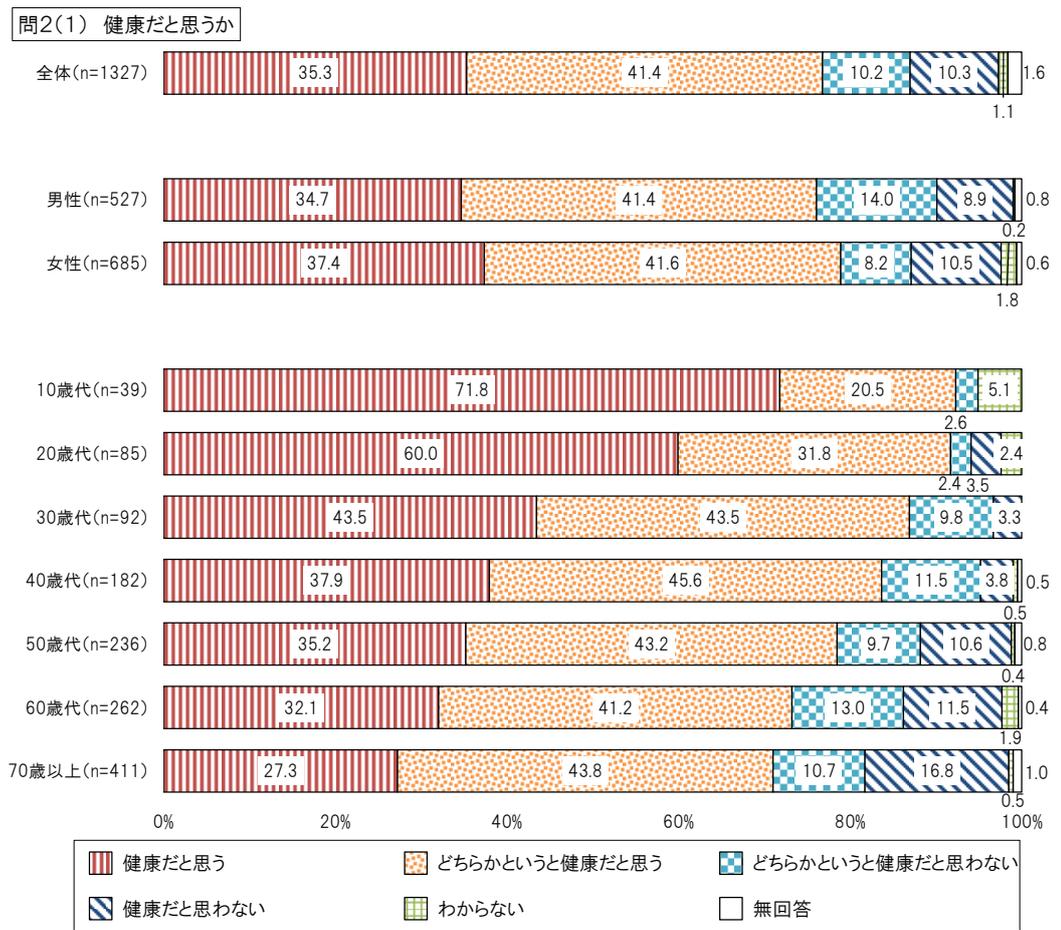
問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1) 健康だと思いますか。(〇は1つだけ)

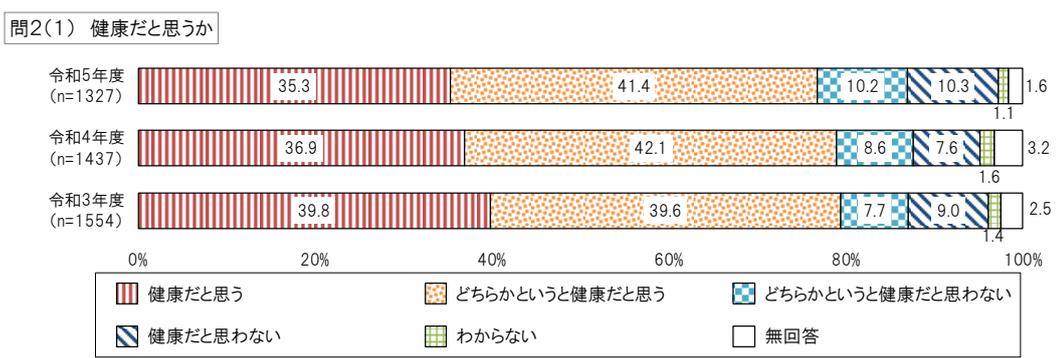
「どちらかという健康だと思う」が41.4%と最も高く、次いで「健康だと思う」が35.3%、「健康だと思わない」が10.3%となっている。

性別にみると、男女ともに「どちらかという健康だと思う」が最も高くなっている。

年代別にみると、「健康だと思う」が年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。「どちらかという健康だと思わない」「健康だと思わない」を合計した割合は、40歳代までは2割未満であるが60歳代では24.5%、70歳以上では27.5%と高くなっている。



前回と比較すると、「健康だと思う」「どちらかという健康だと思う」を合計した割合は、前회가79.0%であったが今回は76.7%と低くなっている。また「どちらかという健康だと思わない」が10.2%「健康だと思わない」が10.3%といずれも前回より高くなっている。

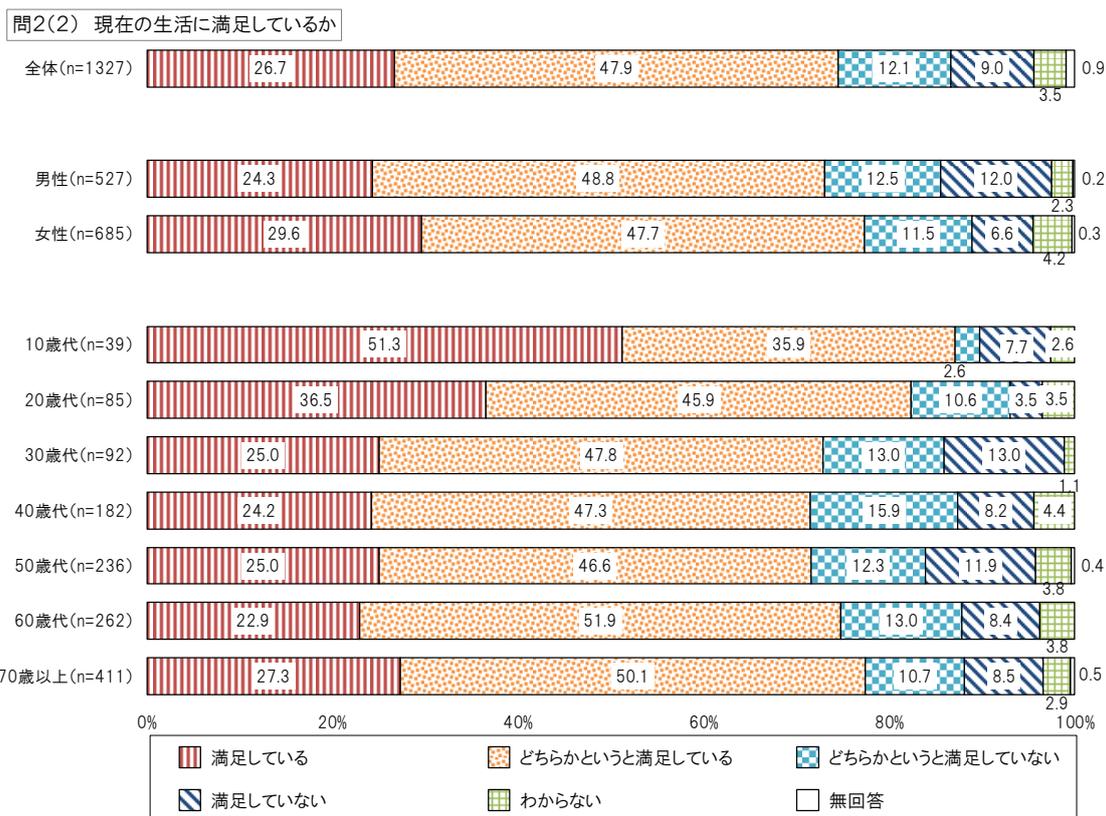


(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

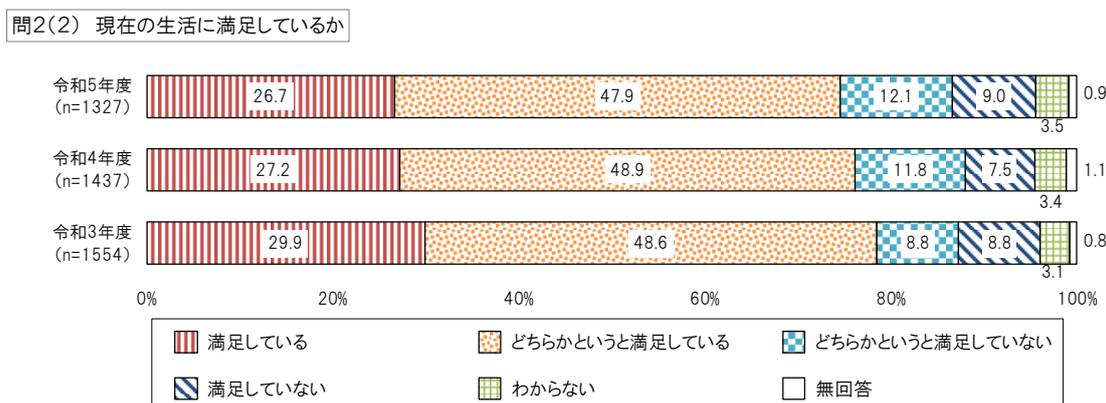
「どちらかという満足している」が47.9%と最も高く、次いで「満足している」が26.7%、「どちらかという満足していない」が12.1%となっている。

性別にみると、「満足している」「どちらかという満足している」の合計の割合は男性が73.1%、女性が77.3%で女性の方が男性よりも4.2ポイント高くなっている。

年代別では、10歳代は「満足している」の割合が高く、他の年代よりも約15~20ポイントほど高くなっている。「満足している」「どちらかという満足している」を合計した割合は10歳代、20歳代を除いて大きな差はないが若干30歳代、40歳代、50歳代が低くなっている。



前回と比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合は前回は76.1%であったのに対し今回は74.6%であり、前回より1.5ポイント低くなっている。

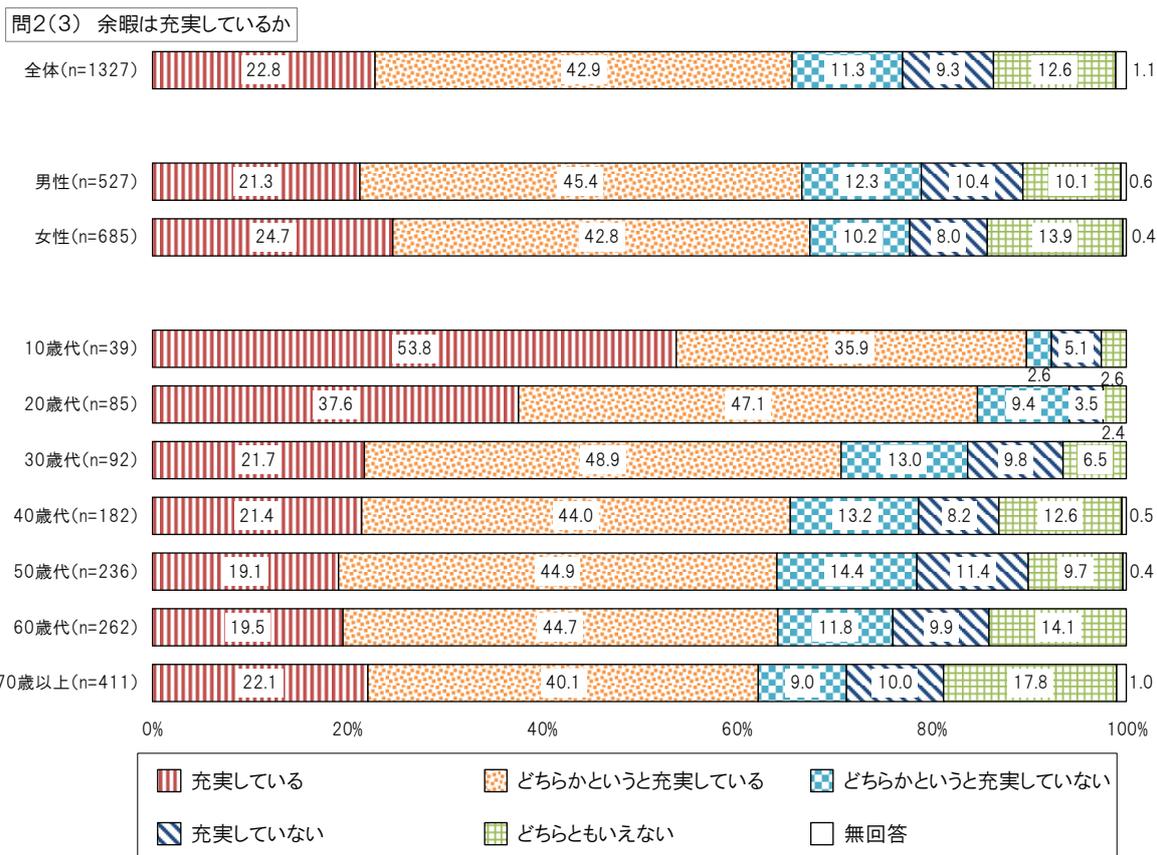


(3) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

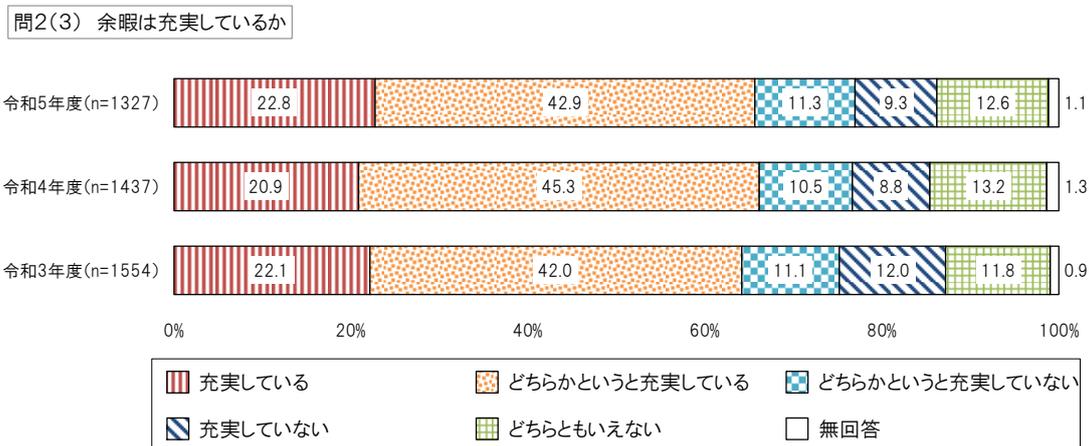
「どちらかという充実している」が42.9%と最も高く、次いで「充実している」が22.8%、「どちらともいえない」が12.6%となっている。

性別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合をみると、男性が66.7%、女性が67.5%で差はみられない。

年代別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は10歳代で最も高く89.7%となっている。その後年代が上がるにつれてその割合は低くなっている。



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は前回が66.2%であったのに対し今回は65.7%と0.5ポイント低くなっている。



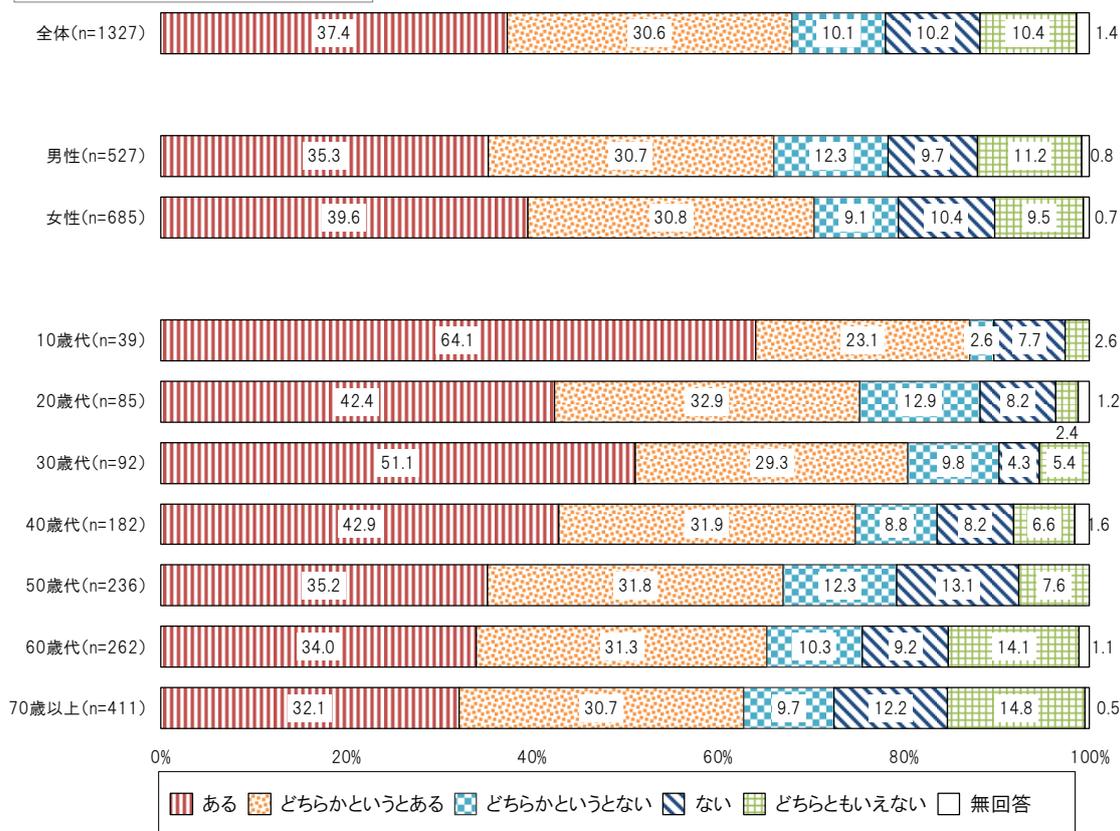
(4) 生きがいにしているものはありますか。(〇は1つだけ)

「ある」が37.4%と最も高く、次いで「どちらかというところがある」が30.6%、「どちらともいえない」が10.4%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところがある」の合計の割合をみると、男性が66.0%、女性が70.4%で女性の方が男性よりも若干高くなっている。

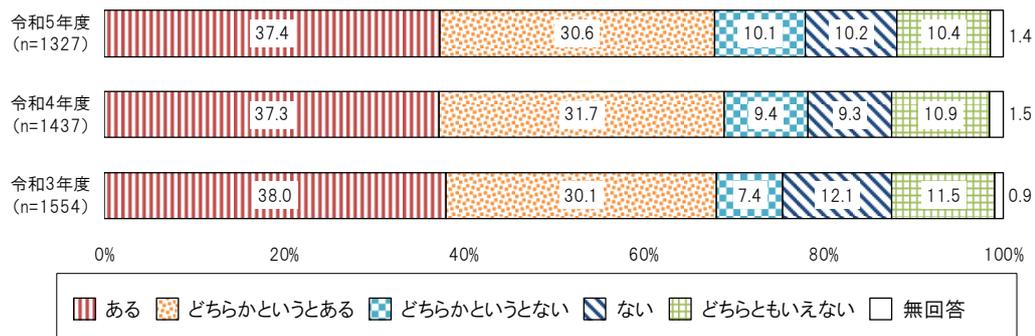
年代別にみると、10歳代で「ある」の割合が最も高く64.1%となっている。「ある」「どちらかというところがある」の合計の割合をみると、10歳代が87.2%で最も高く、30歳代以降は年代が上がるほど割合は低くなっている。

問2(4) 生きがいにしているものはあるか



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところがある」を合計した割合は、前回は69.0%であったのに対し今回は68.0%と若干低くなっている。

問2(4) 生きがいにしているものはあるか

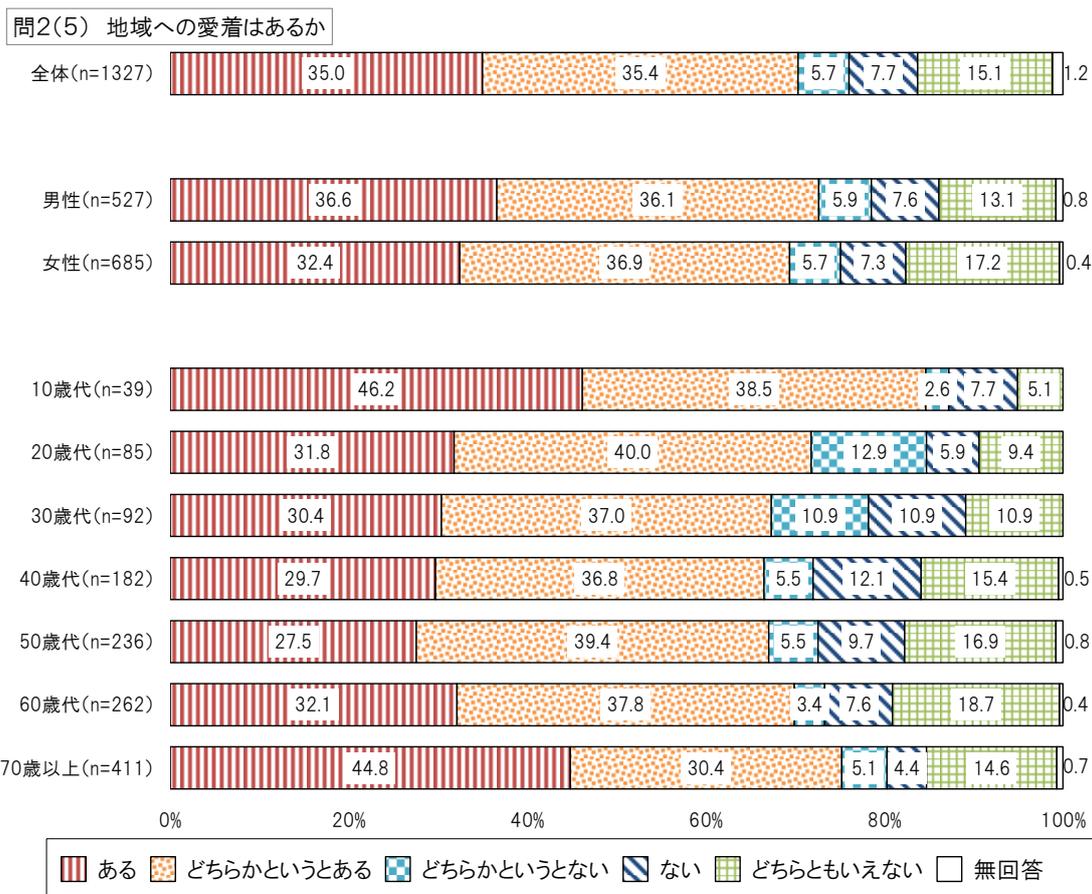


(5) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

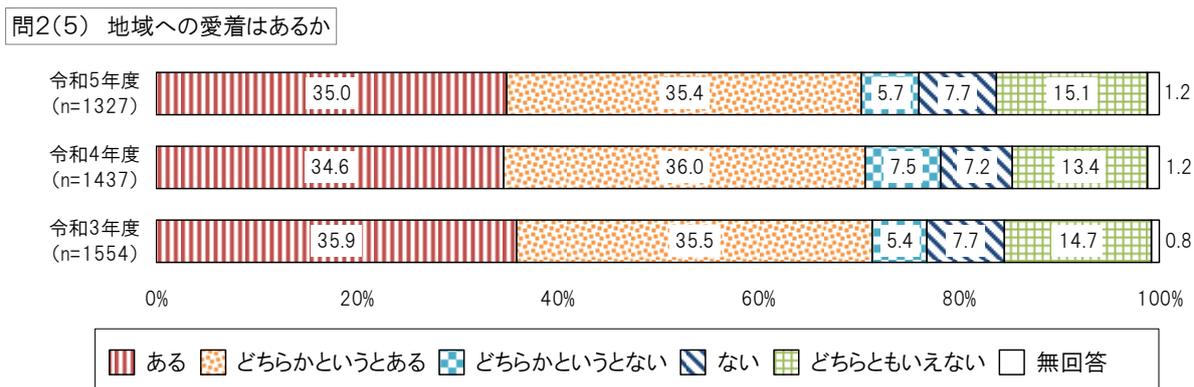
「どちらかというところがある」が35.4%と最も高く、次いで「ある」が35.0%、「どちらともいえない」が15.1%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところがある」の合計の割合は、男性が72.7%、女性が69.3%で男性の方が女性よりも3.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」「どちらかというところがある」の合計の割合は10歳代が最も高く84.7%であり、次いで70歳以上で75.2%となっている。「ある」の割合は10歳代以降徐々に低くなり50歳代が最も低く、それ以降の年代では年代が上がるにつれて高くなっている。



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところがある」を合計した割合は、前回は70.6%であり今回は70.4%と若干低くなっている。

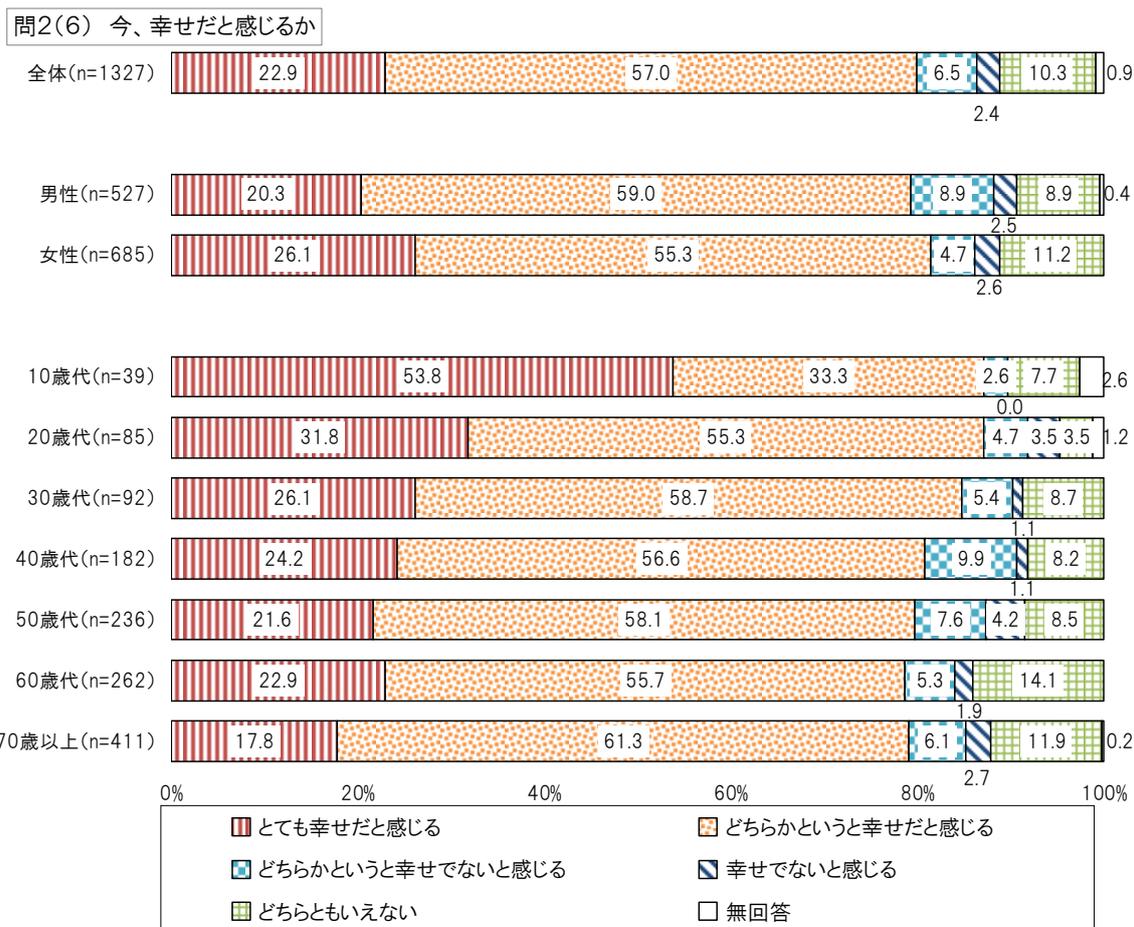


(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(〇は1つだけ)

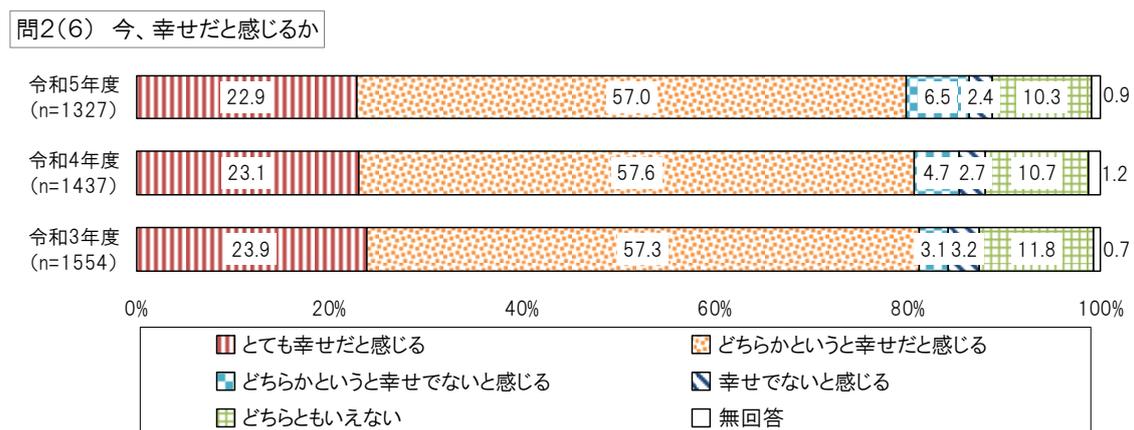
「どちらかという幸せだと感じる」が57.0%と最も高く、次いで「とても幸せだと感じる」が22.9%、「どちらともいえない」が10.3%となっている。

性別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は、男性が79.3%、女性が81.4%で女性の方が男性よりも2.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は10歳代、20歳代で最も高く、60歳代で最も低くなっている。



前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合をみると、前回は80.7%であったのに対し今回は79.9%と0.8ポイント低くなっている。



(7) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が84.6%と最も高く、次いで「生活に経済的な余裕があること」が43.5%、「家族との関係が良好なこと」が38.6%となっている。

前回調査と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。

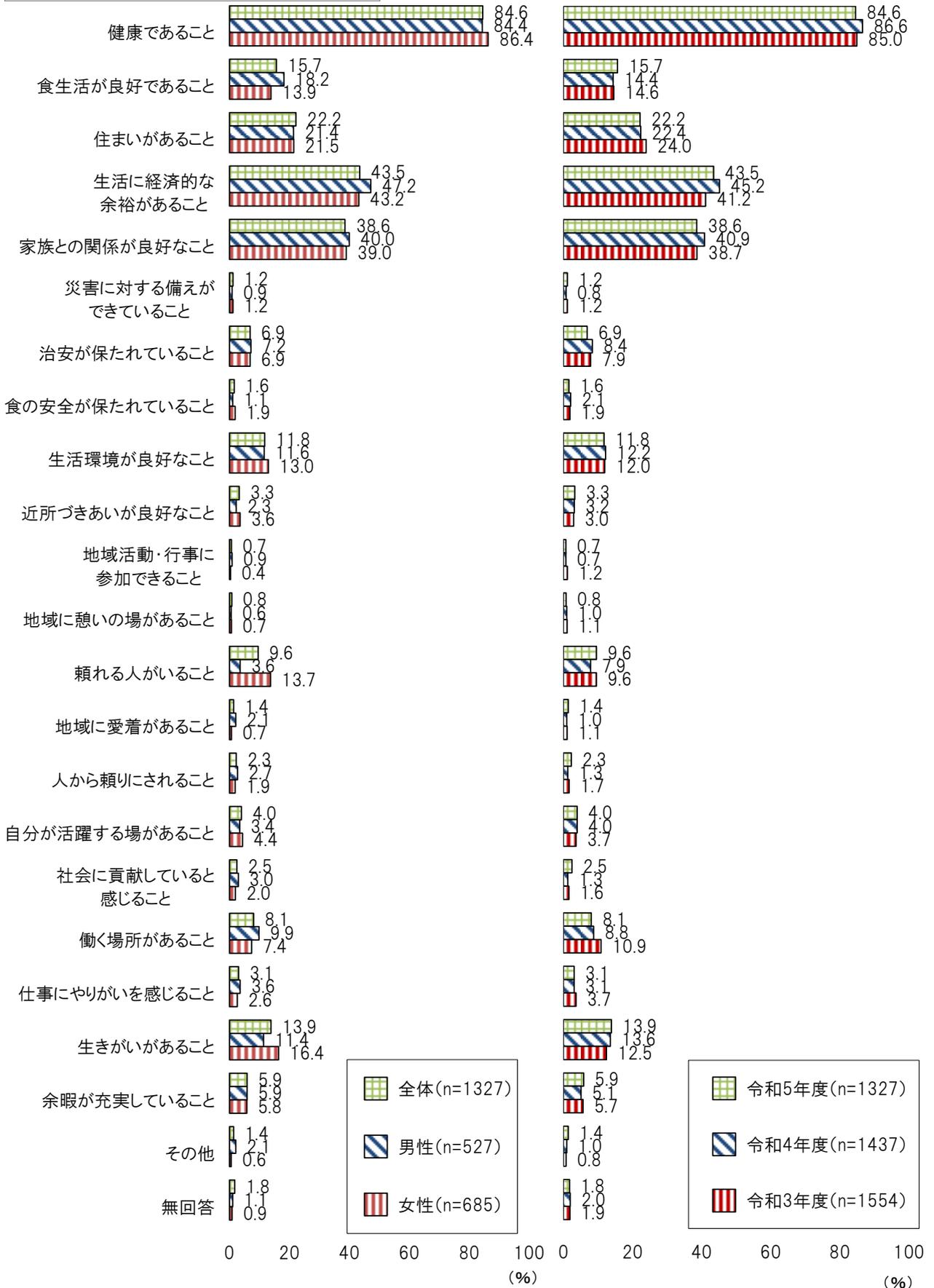
性別にみると、男性・女性ともに「健康であること」が高くなっており、いずれも80%を超えている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康であること」が最も高い。2番目は10歳代を除く年代で「生活に経済的な余裕があること」となっており、10歳代では「食生活が良好であること」が2番目となっている。

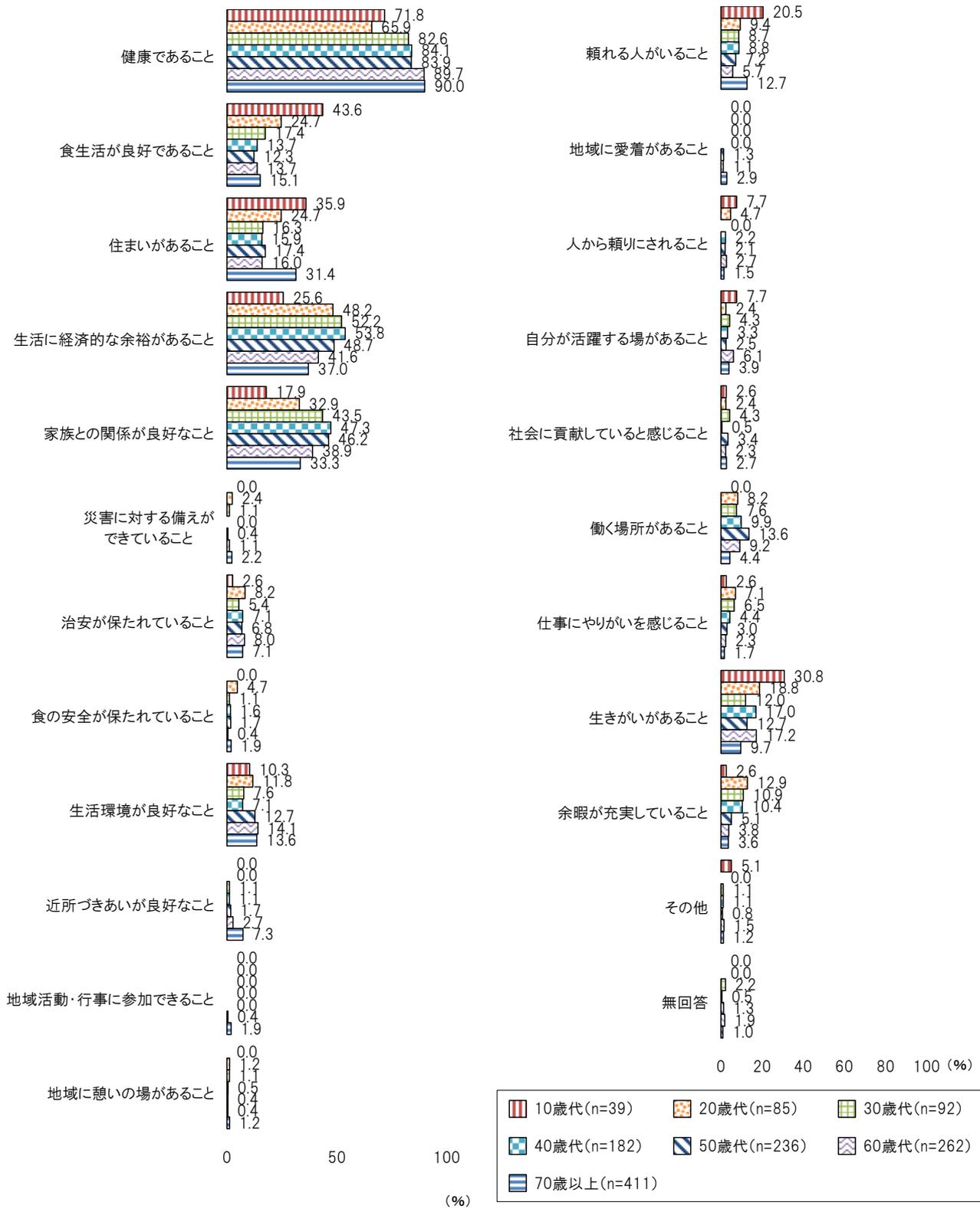
<上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目	
全体		健康であること	84.6%	生活に経済的な余裕があること	43.5%	家族との関係が良好なこと	38.6%
性別	男性	健康であること	84.4%	生活に経済的な余裕があること	47.2%	家族との関係が良好なこと	40.0%
	女性	健康であること	86.4%	生活に経済的な余裕があること	43.2%	家族との関係が良好なこと	39.0%
年代別	10 歳代	健康であること	71.8%	食生活が良好であること	43.6%	住まいがあること	35.9%
	20 歳代	健康であること	65.9%	生活に経済的な余裕があること	48.2%	家族との関係が良好なこと	32.9%
	30 歳代	健康であること	82.6%	生活に経済的な余裕があること	52.2%	家族との関係が良好なこと	43.5%
	40 歳代	健康であること	84.1%	生活に経済的な余裕があること	53.8%	家族との関係が良好なこと	47.3%
	50 歳代	健康であること	83.9%	生活に経済的な余裕があること	48.7%	家族との関係が良好なこと	46.2%
	60 歳代	健康であること	89.7%	生活に経済的な余裕があること	41.6%	家族との関係が良好なこと	38.9%
	70 歳以上	健康であること	90.0%	生活に経済的な余裕があること	37.0%	家族との関係が良好なこと	33.3%

問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

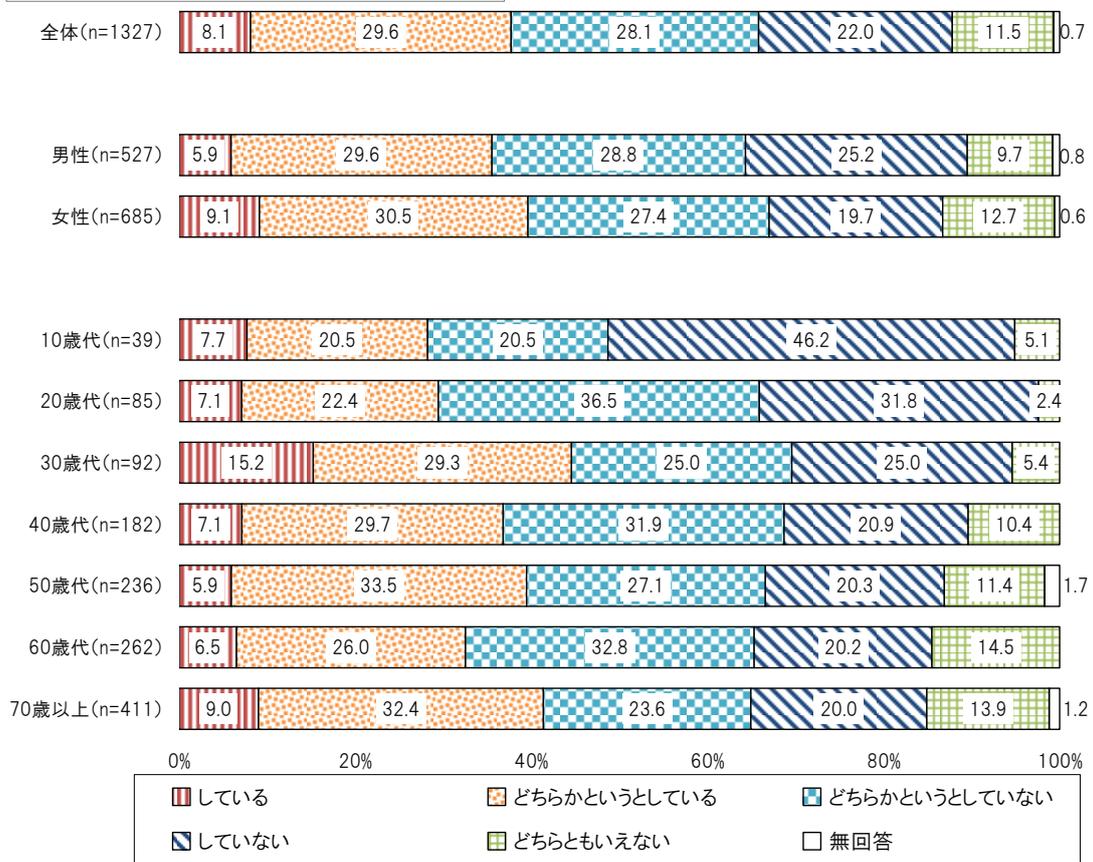
(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというとしている」が29.6%と最も高く、次いで「どちらかというとしていない」が28.1%、「していない」が22.0%となっている。

性別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、男性が35.5%、女性が39.6%で女性の方が男性よりも4.1ポイント高くなっている。

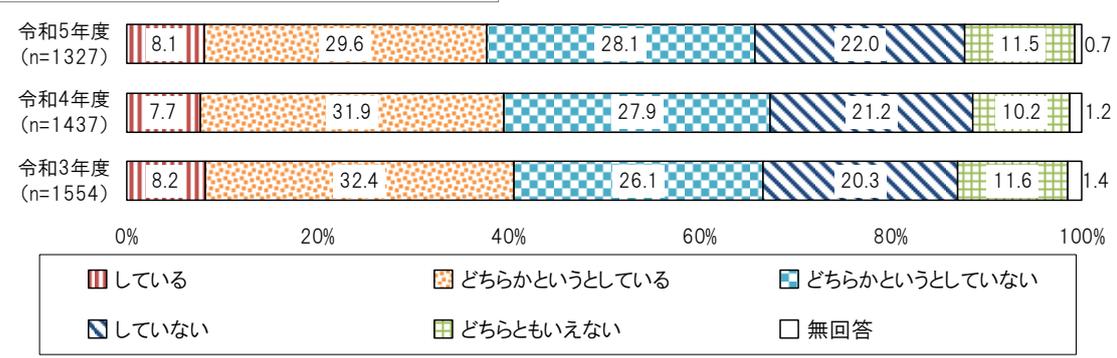
年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は30歳代で最も高く44.5%であり、次いで70歳以上で41.4%となっている。一方、10歳代が28.2%で最も低くなっており、最も高い30歳代と最も低い10歳代では16.3ポイントの差が生じている。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、前回が39.6%であったのに対し今回は37.7%と若干低くなっている。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



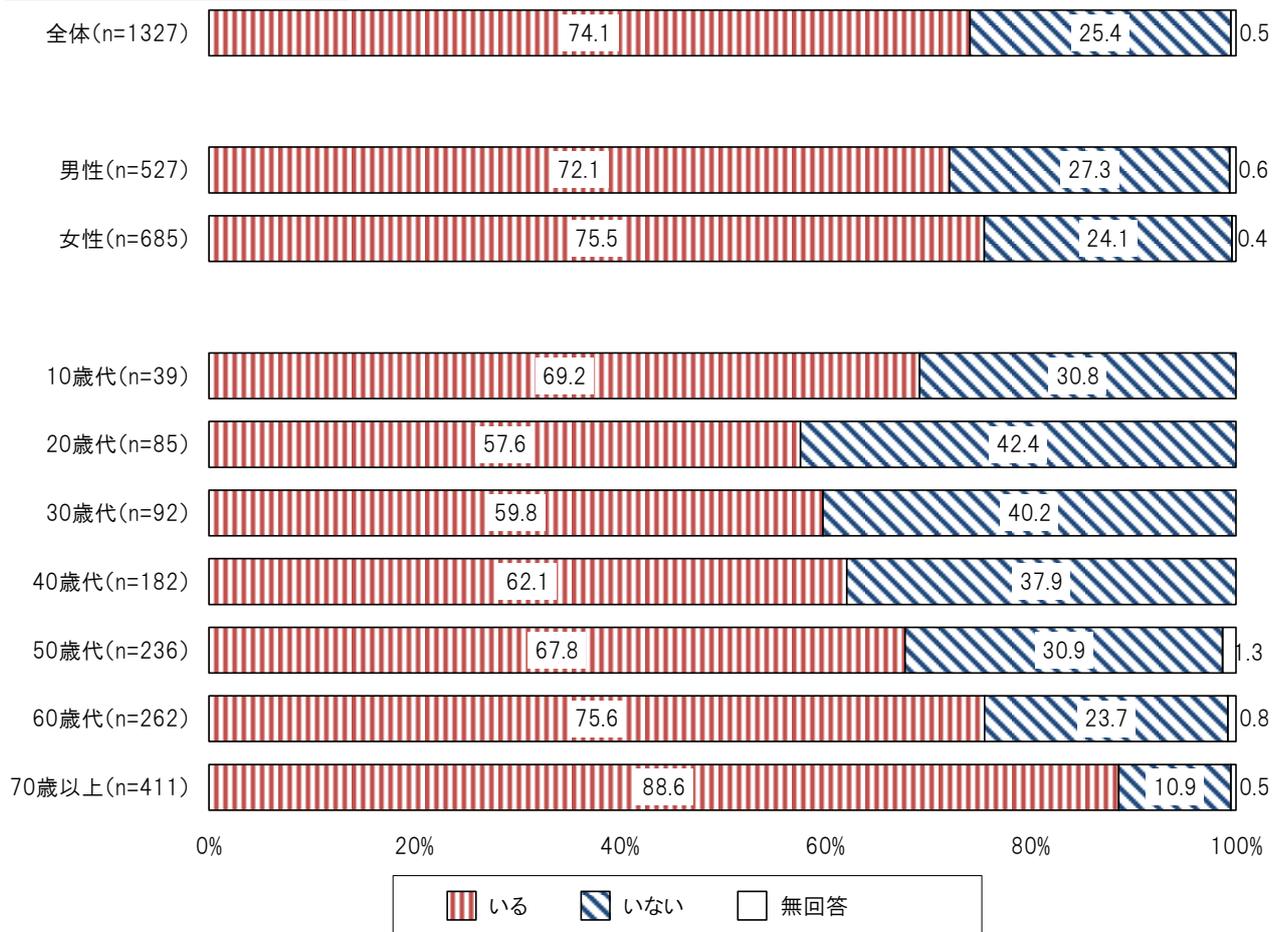
(2) かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

「いる」が74.1%、「いない」が25.4%となっている。

性別にみると、「いる」の割合は男性が72.1%、女性が75.5%で女性の方が男性よりも3.4ポイント高くなっている。

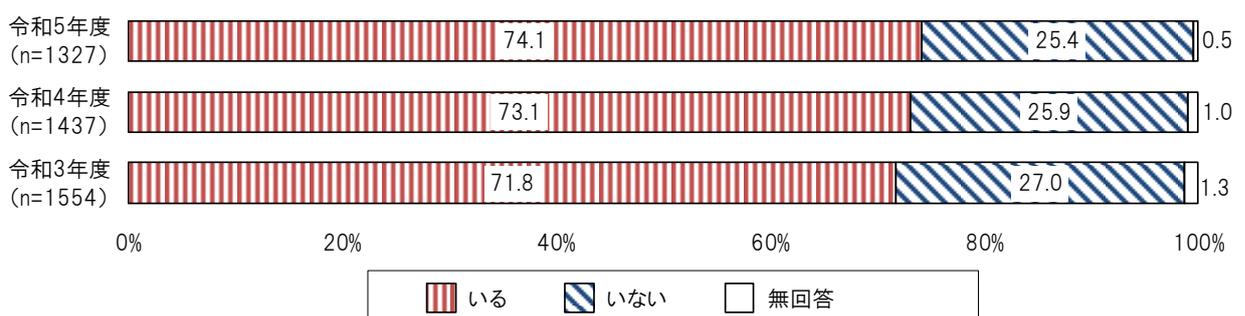
年代別にみると、「いる」の割合はすべての年代で50%を超えており、20歳代以降は年代が上がるほど割合が高くなっている。

問3(2) かかりつけ医の有無



前回と比較すると、「いる」の割合は前回は73.1%であったのに対し今回は74.1%と1.0ポイント高くなっている。

問3(2) かかりつけ医の有無



(3) (2)で「1. いる」と答えた方におうかがいします。

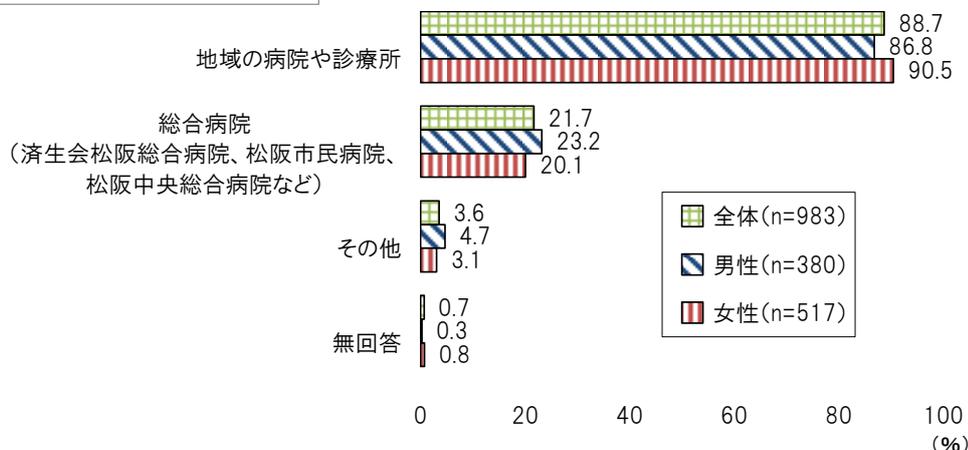
かかりつけの医療機関を教えてください。(〇はあてはまるものすべて)

「地域の病院や診療所」が88.7%と最も高く、次いで「総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)」が21.7%、「その他」が3.6%となっている。

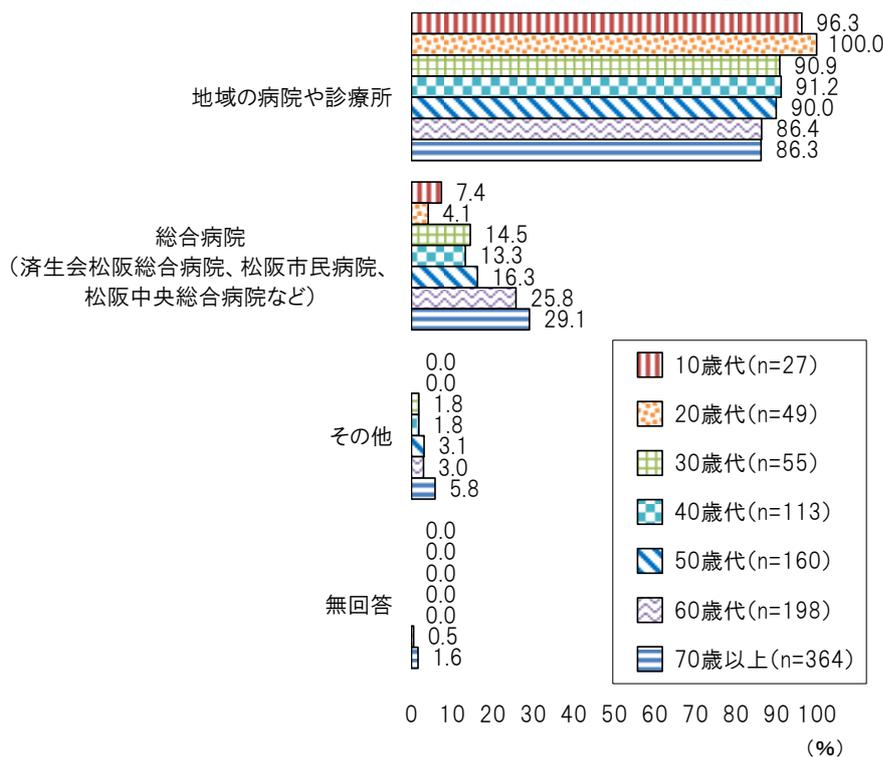
性別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は、男性が86.8%、女性が90.5%で女性の方が高く、「総合病院」は男性が23.2%、女性が20.1%で男性の方が高くなっている。

年代別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で9割を超えている。一方で60歳代、70歳以上では「総合病院」の割合が2割を超えている。

問3(3) かかりつけの医療機関



問3(3) かかりつけの医療機関



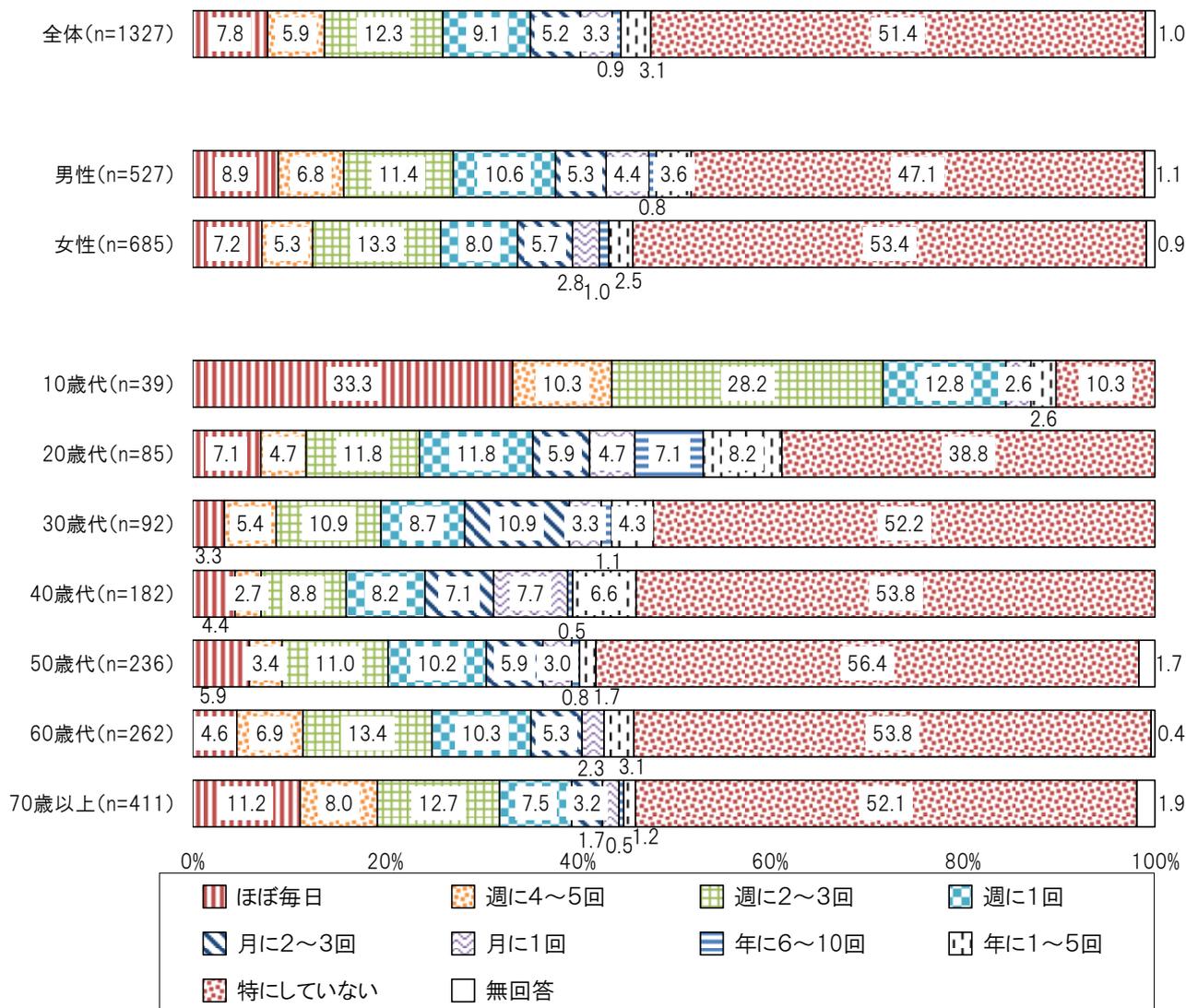
(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(〇は1つだけ)

「特にしていない」が51.4%と最も高く、次いで「週に2～3回」が12.3%、「週に1回」が9.1%となっている。

性別にみると、女性では「特にしていない」が53.4%と半数を超えており、男性に比べて6.3ポイント高くなっている。

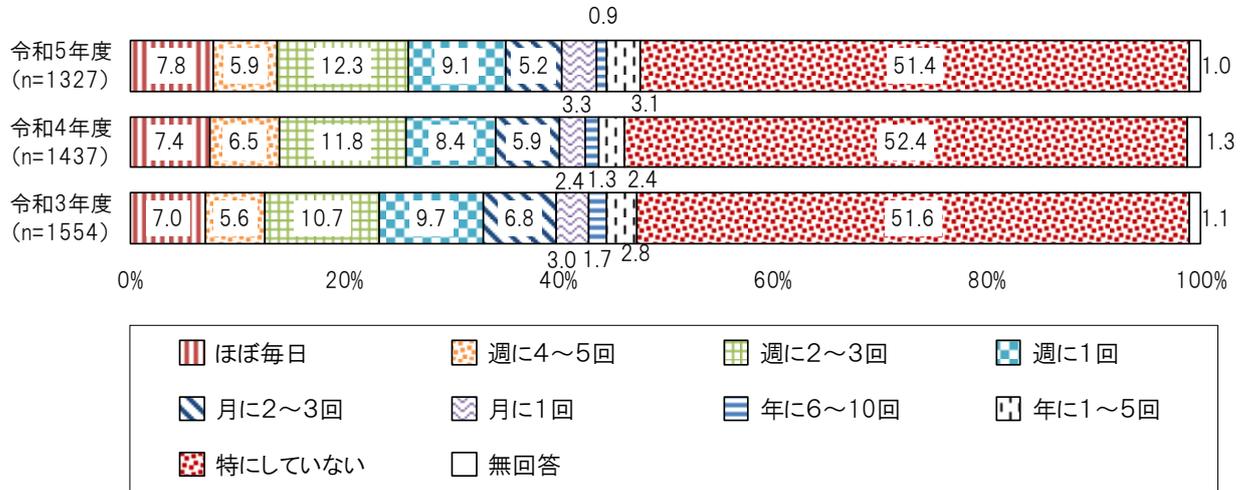
年代別にみると、30歳以上の年代では「特にしていない」の割合が半数を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が33.3%と他の世代と比べ非常に高くなっている。一方、「ほぼ毎日」「週に4～5回」「週に2～3回」「週に1回」の合計の割合をみると、40歳代が最も低く24.1%であるが、それ以降の年代では年齢が上がるにつれ割合が高くなり70歳以上では39.4%となっている。

問3(4) 運動・スポーツをどの程度行っているか



前回と比較すると、「特にしていない」は前回は52.4%であったのに対し今回は51.4%と1.0ポイント低くなっている。

問3(4) 運動・スポーツをどの程度行っているか



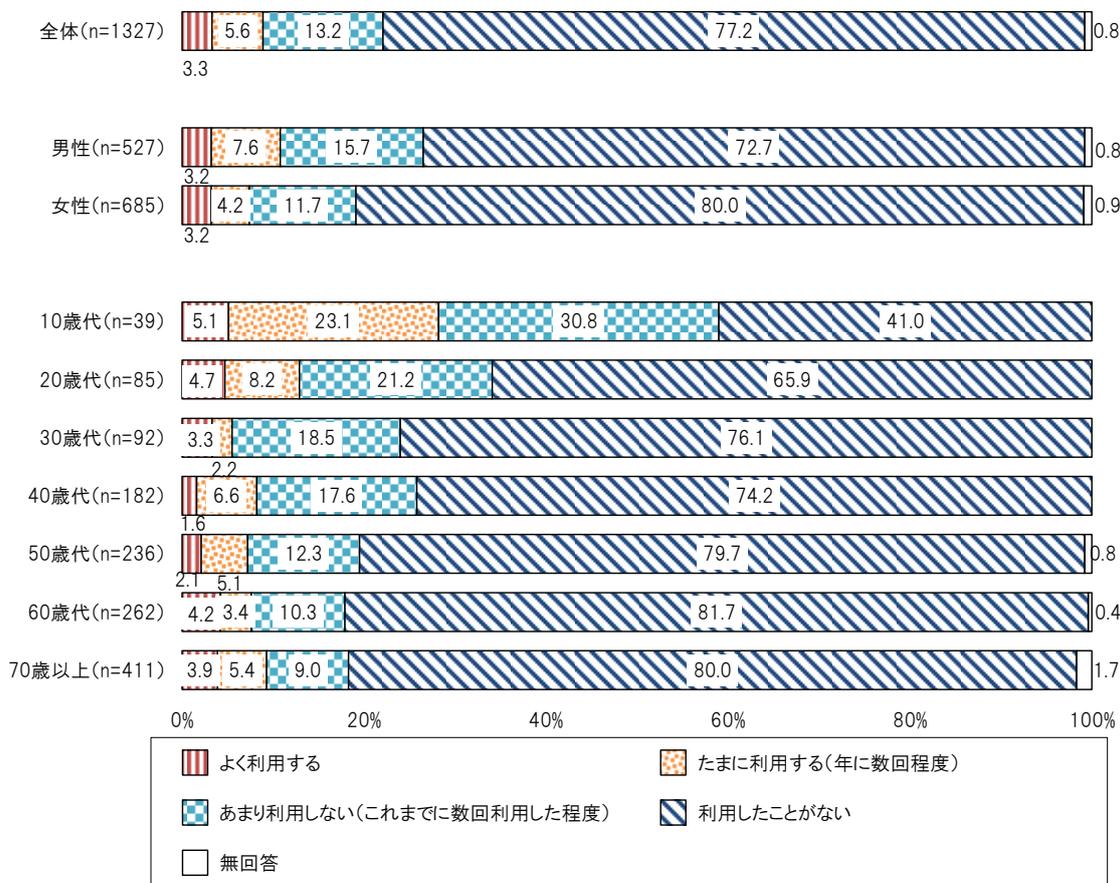
(5) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（○は1つだけ）

「利用したことがない」が77.2%と最も高く、次いで「あまり利用しない（これまでに数回利用した程度）」が13.2%、「たまに利用する（年に数回程度）」が5.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、いずれも70%を超えている。

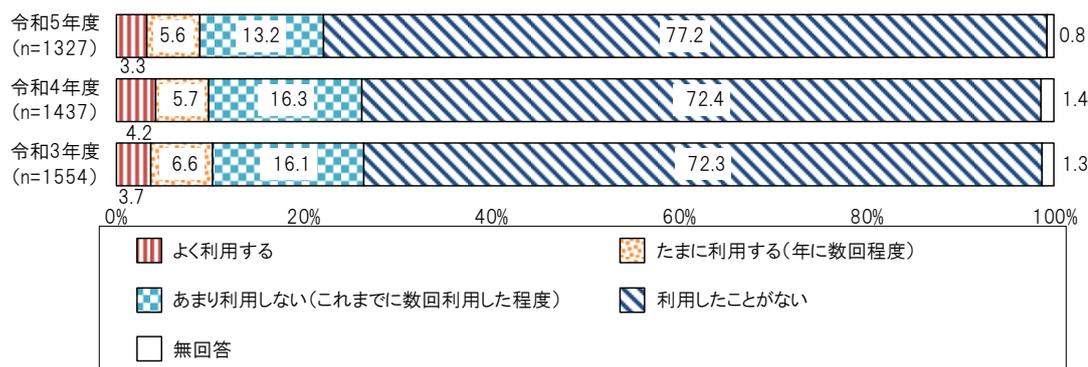
年代別にみると、10歳代で「よく利用する」の割合が5.1%と高くなっている。30歳代以上では「利用したことがない」が70%を超えている。

問3(5)公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



前回と比較すると、「よく利用する」「たまに利用する」の合計の割合は、前回は9.9%であったのに対し今回は8.9%と1.0ポイント低くなっている。

問3(5)公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

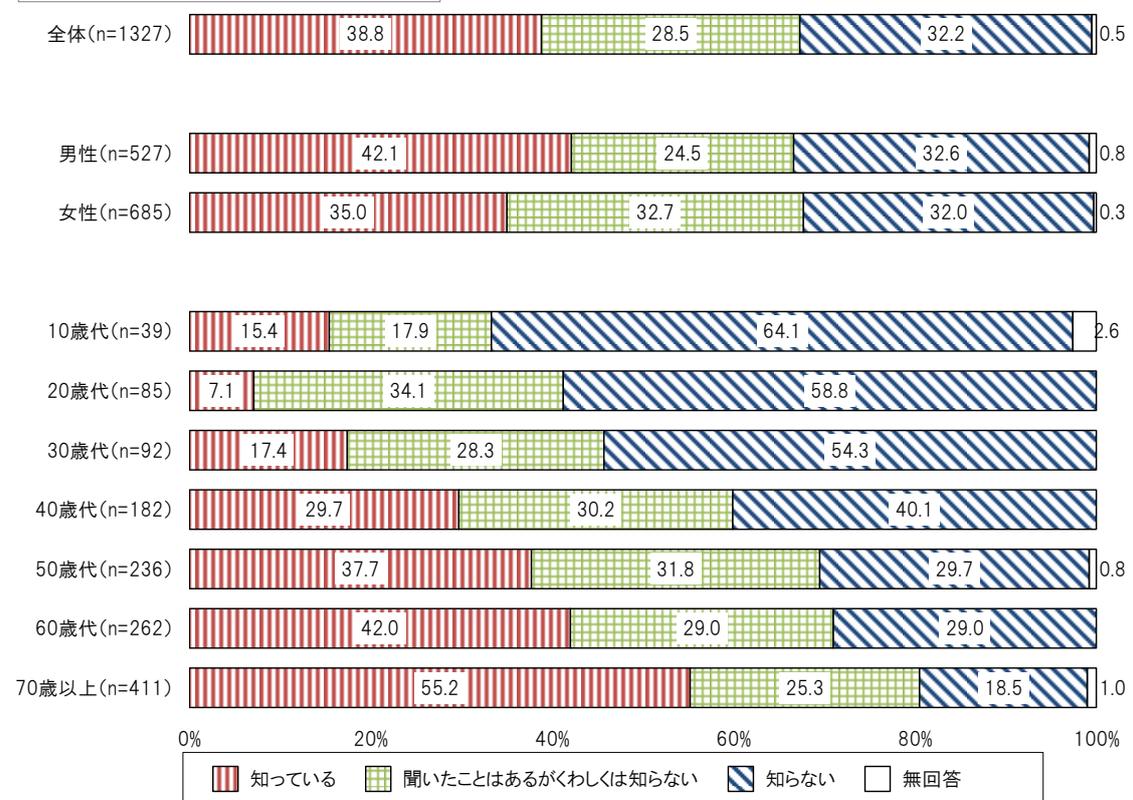
(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）を知っていますか。（○は1つだけ）

「知っている」が38.8%と最も高く、次いで「知らない」が32.2%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が28.5%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は男性で42.1%、女性で35.0%と男性の方が女性よりも7.1ポイント高くなっている。

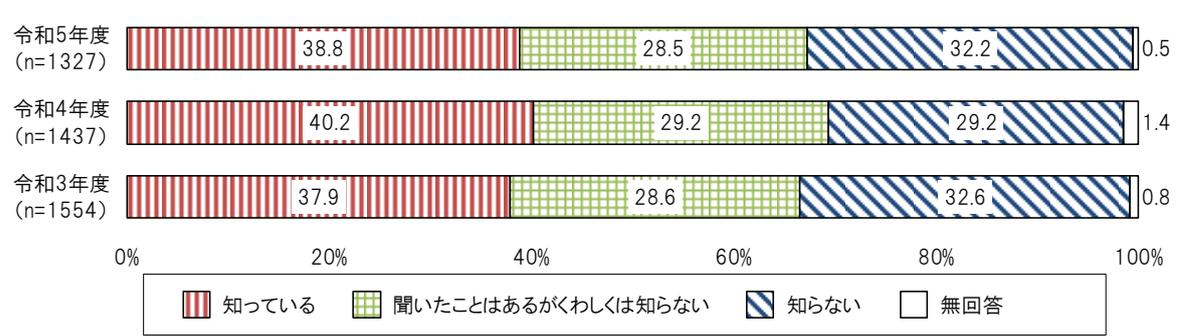
年代別にみると、「知っている」の割合は30歳代までは20%未満と低くなっており、40歳代以降では年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



前回と比較すると、「知っている」は1.4ポイント低くなっており、一方で「知らない」は3.0ポイント高くなっている。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



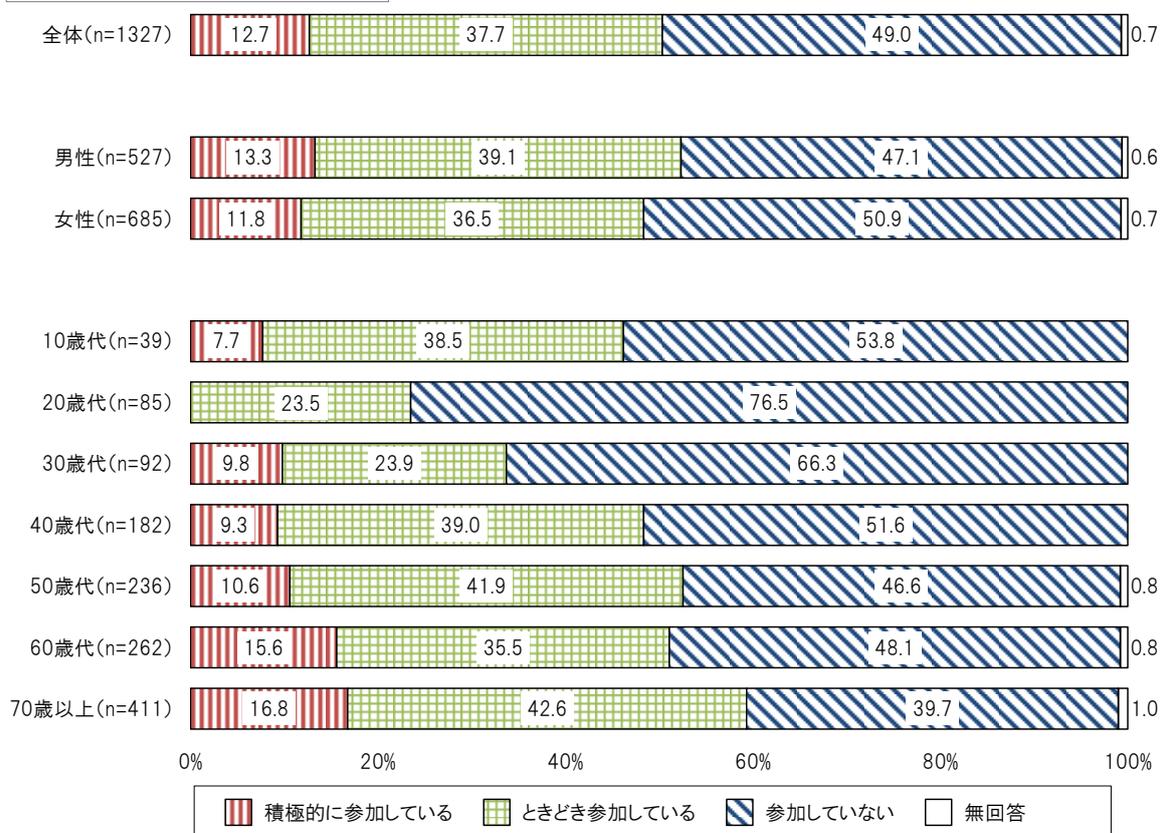
(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

「参加していない」が49.0%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が37.7%、「積極的に参加している」が12.7%となっている。

性別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、男性が52.4%、女性が48.3%と男性の方が女性より4.1ポイント高くなっている。

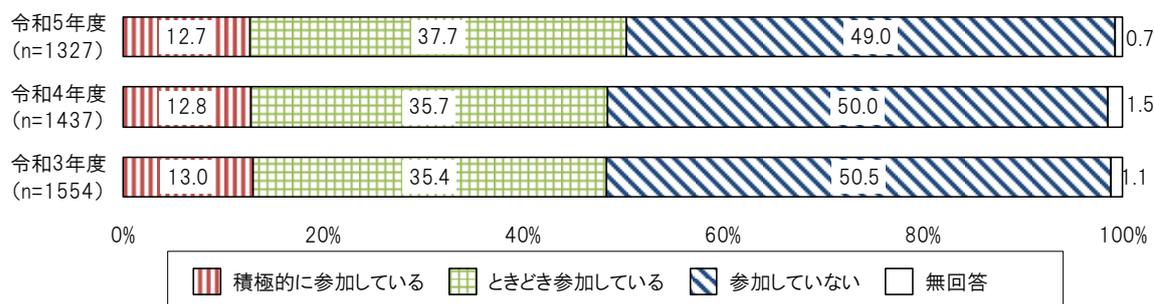
年代別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は20歳代で23.5%と最も低くなり、年齢が上がるにつれおおむね参加している割合が高くなっている。

問4(2) 住民自治協議会への参加



前回と比較すると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、前回は48.5%であったのに対し今回は50.4%と、1.9ポイント高くなっている。

問4(2) 住民自治協議会への参加



問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が35.6%と最も高く、次いで「買い物が便利」が28.7%、「食べ物おいしい」が27.4%となっている。

前回と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。前回に比べ「医療施設、救急医療が整っている」「治安が良い」「空気がきれい」などで高くなっており、一方で「働く場所がある」「保健・福祉施設が整っている」「歴史や伝統がある」などで低くなっている。

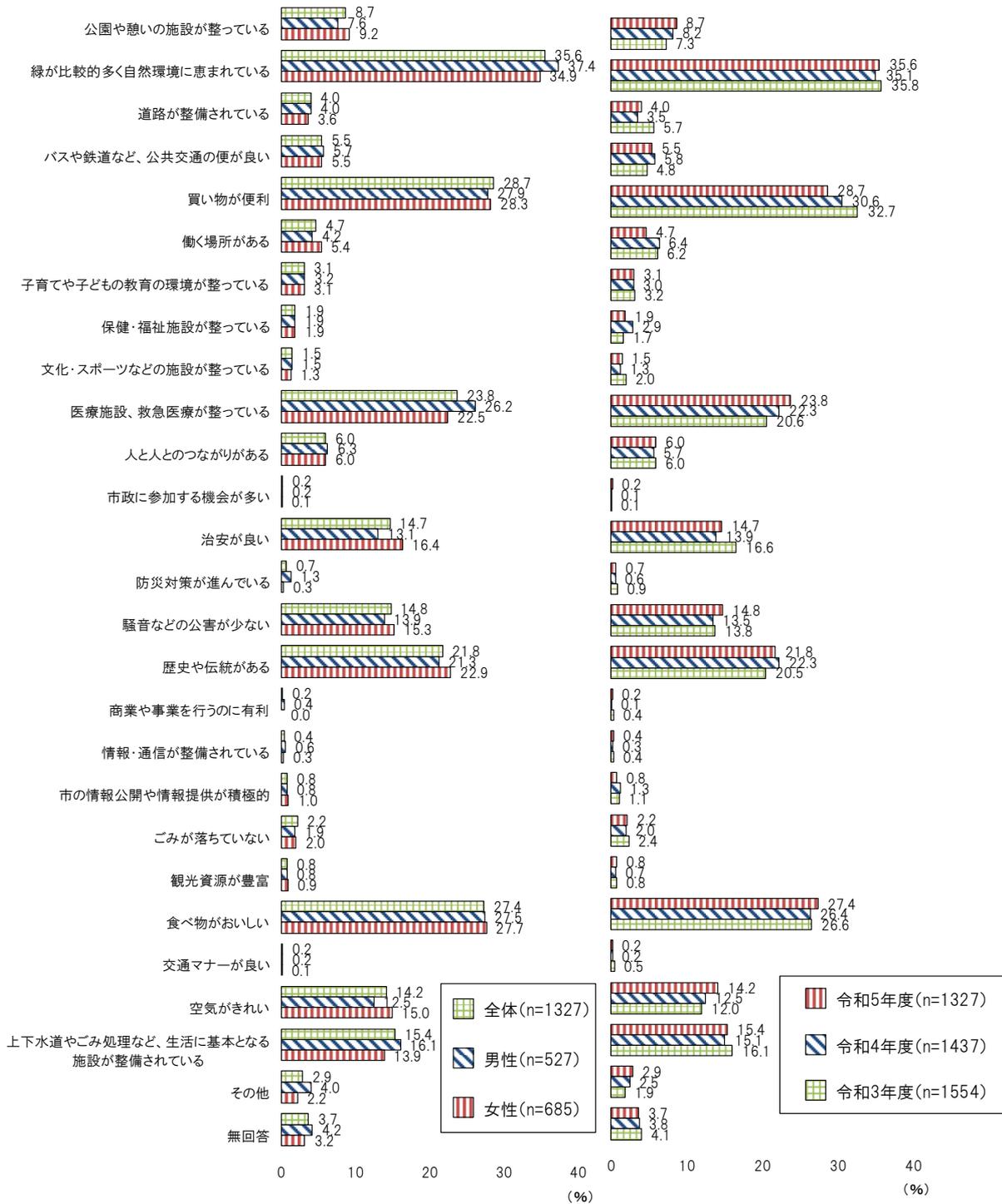
性別にみると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。なお、4番目に高い項目は男性では「医療施設、救急医療が整っている」、女性では「歴史や伝統がある」となっている。

年代別にみると、1番目に高い項目は、50歳代、60歳代、70歳以上では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代では「食べ物おいしい」となっている。

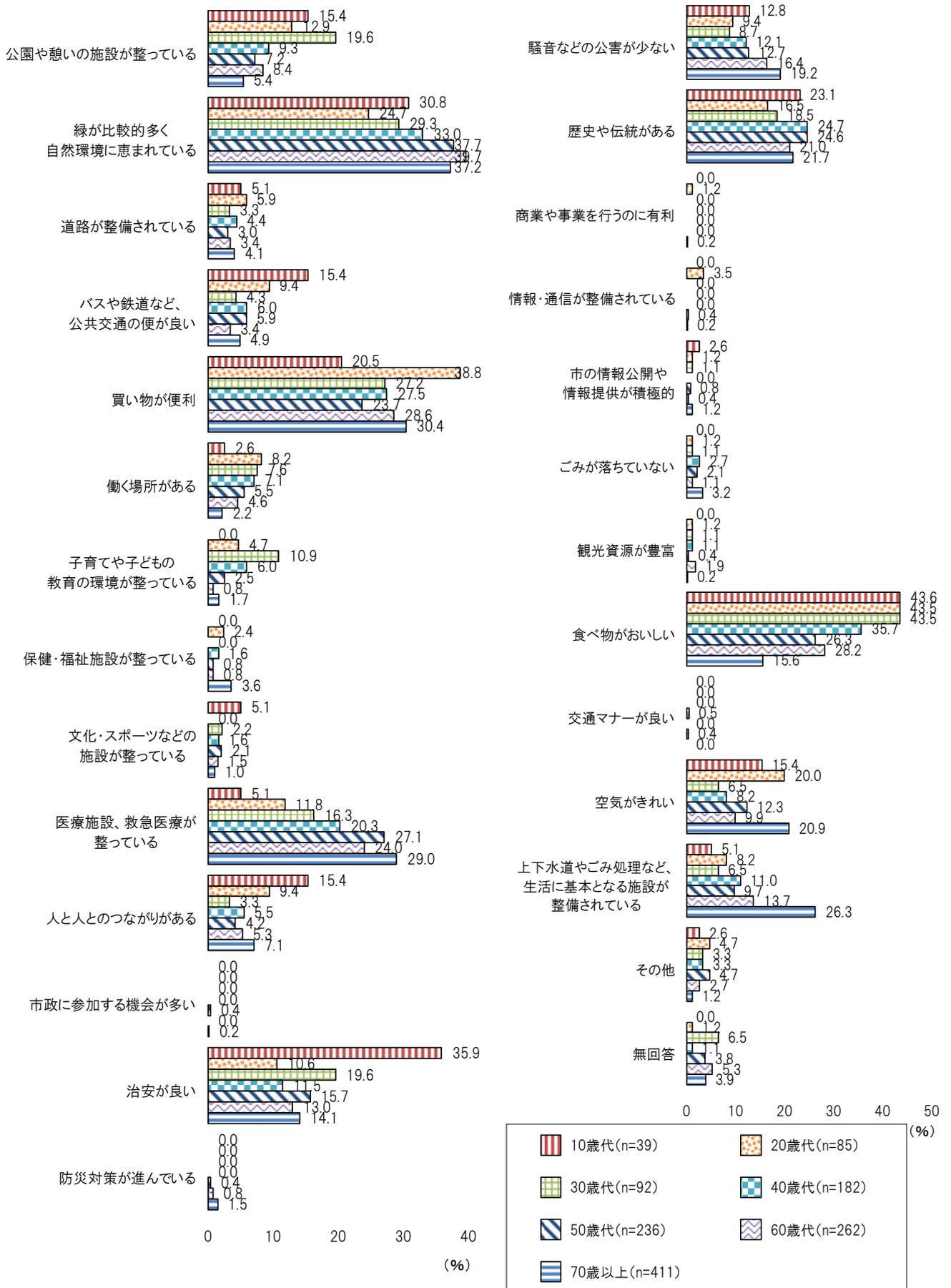
<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.6%	買い物が便利	28.7%	食べ物おいしい	27.4%
性別	男性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	37.4%	買い物が便利	27.9%	食べ物おいしい	27.5%
	女性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	34.9%	買い物が便利	28.3%	食べ物おいしい	27.7%
年代別	10歳代	食べ物おいしい	43.6%	治安が良い	35.9%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	30.8%
	20歳代	食べ物おいしい	43.5%	買い物が便利	38.8%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	24.7%
	30歳代	食べ物おいしい	43.5%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	29.3%	買い物が便利	27.2%
	40歳代	食べ物おいしい	35.7%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	33.0%	買い物が便利	27.5%
	50歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	37.7%	医療施設、救急医療が整っている	27.1%	食べ物おいしい	26.3%
	60歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	39.7%	買い物が便利	28.6%	食べ物おいしい	28.2%
	70歳以上	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	37.2%	買い物が便利	30.4%	医療施設、救急医療が整っている	29.0%

問5(1) 松阪市の良いところ



問5(1) 松阪市の良いところ



(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が36.6%と最も高く、次いで「交通マナーが悪い」が29.4%、「観光資源が少ない」が14.5%となっている。

前回と比較すると、「道路が整備されていない」「働く場所がない」等が高くなっており、一方で「買い物が不便」「文化・スポーツなどの施設が整っていない」等は低くなっている。

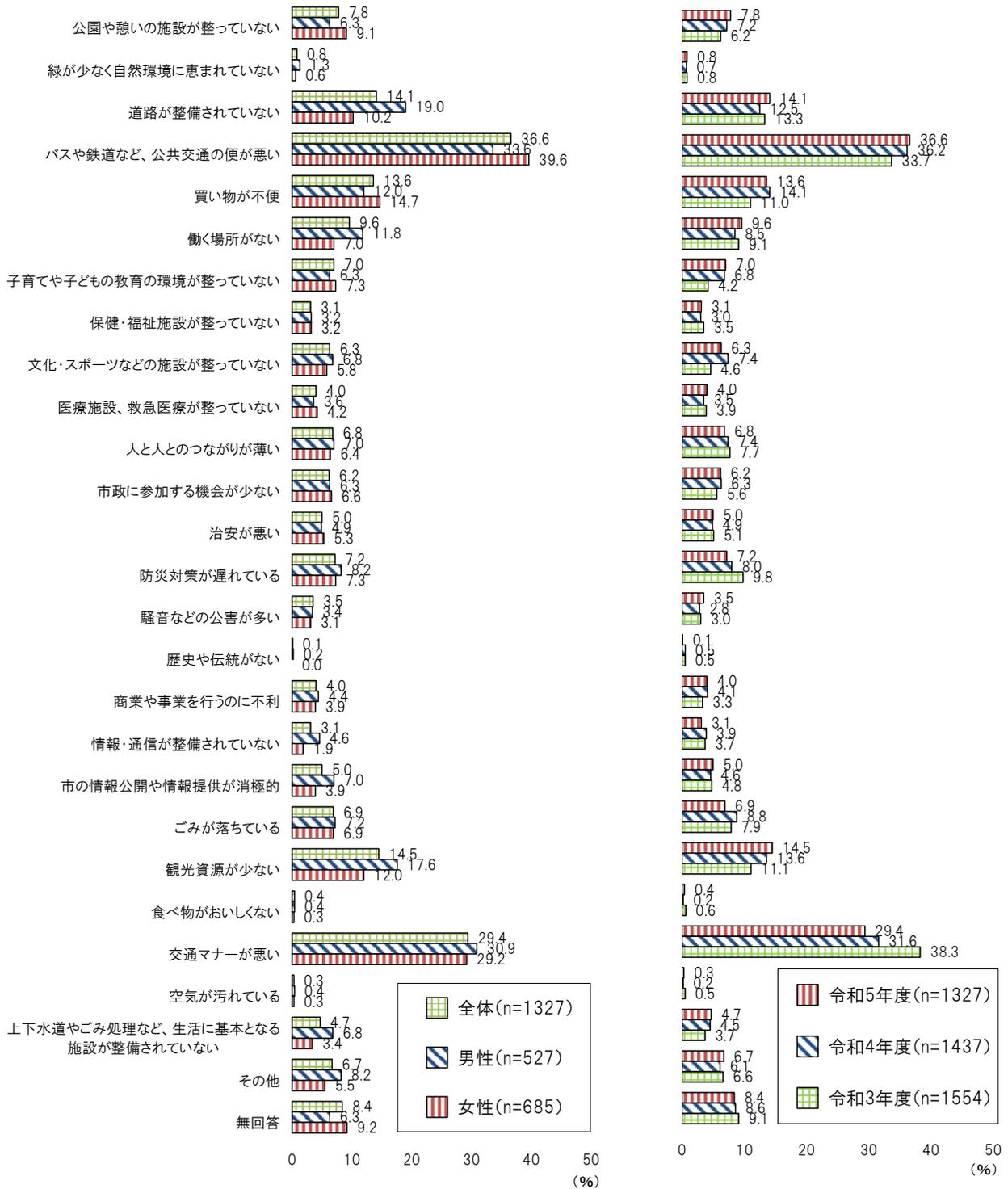
性別にみると、男女ともに1番目に高い項目は「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」、2番目は「交通マナーが悪い」となっている。3番目に高い項目は、男性では「観光資源が少ない」、女性では「買い物が不便」となっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代は「交通マナーが悪い」が最も高く、40歳代は「交通マナーが悪い」と「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が同率であった。また、50歳代以上の年代では「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が最も高くなった。

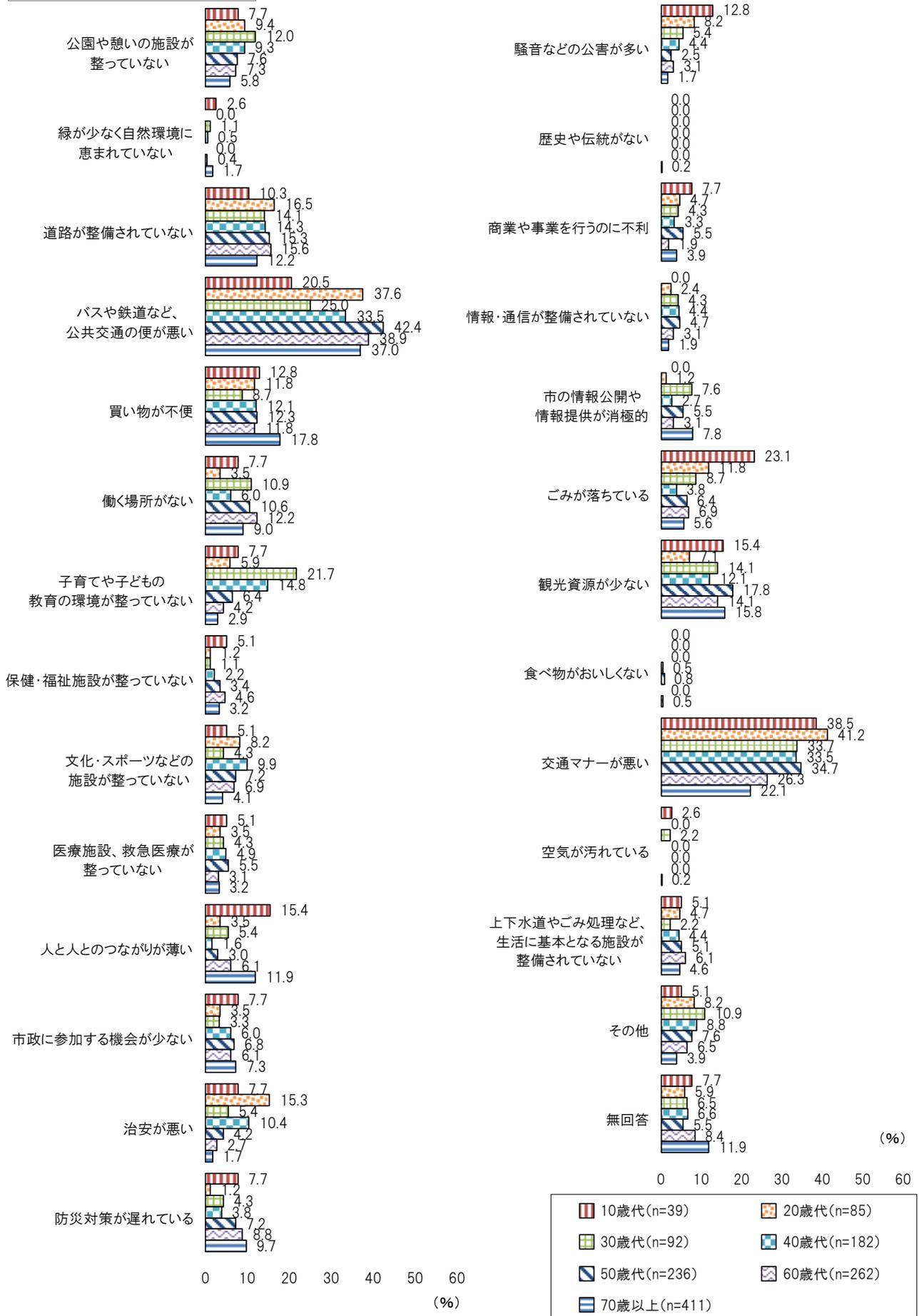
<上位3項目>

		1番目		2番目		3番目	
全体		バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	36.6%	交通マナーが悪い	29.4%	観光資源が少ない	14.5%
性別	男性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	33.6%	交通マナーが悪い	30.9%	観光資源が少ない	17.6%
	女性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	39.6%	交通マナーが悪い	29.2%	買い物が不便	14.7%
年代別	10歳代	交通マナーが悪い	38.5%	ごみが落ちている	23.1%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	20.5%
	20歳代	交通マナーが悪い	41.2%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.6%	道路が整備されていない	16.5%
	30歳代	交通マナーが悪い	33.7%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	25.0%	子育てや子どもの教育の環境が整っていない	21.7%
	40歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	33.5%	子育てや子どもの教育の環境が整っていない	14.8%	道路が整備されていない	14.3%
		交通マナーが悪い	33.5%				
	50歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	42.4%	交通マナーが悪い	34.7%	観光資源が少ない	17.8%
	60歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.9%	交通マナーが悪い	26.3%	道路が整備されていない	15.6%
70歳以上	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.0%	交通マナーが悪い	22.1%	買い物が不便	17.8%	

問5(2) 松阪市の良くないところ



問5(2) 松阪市の良くないところ



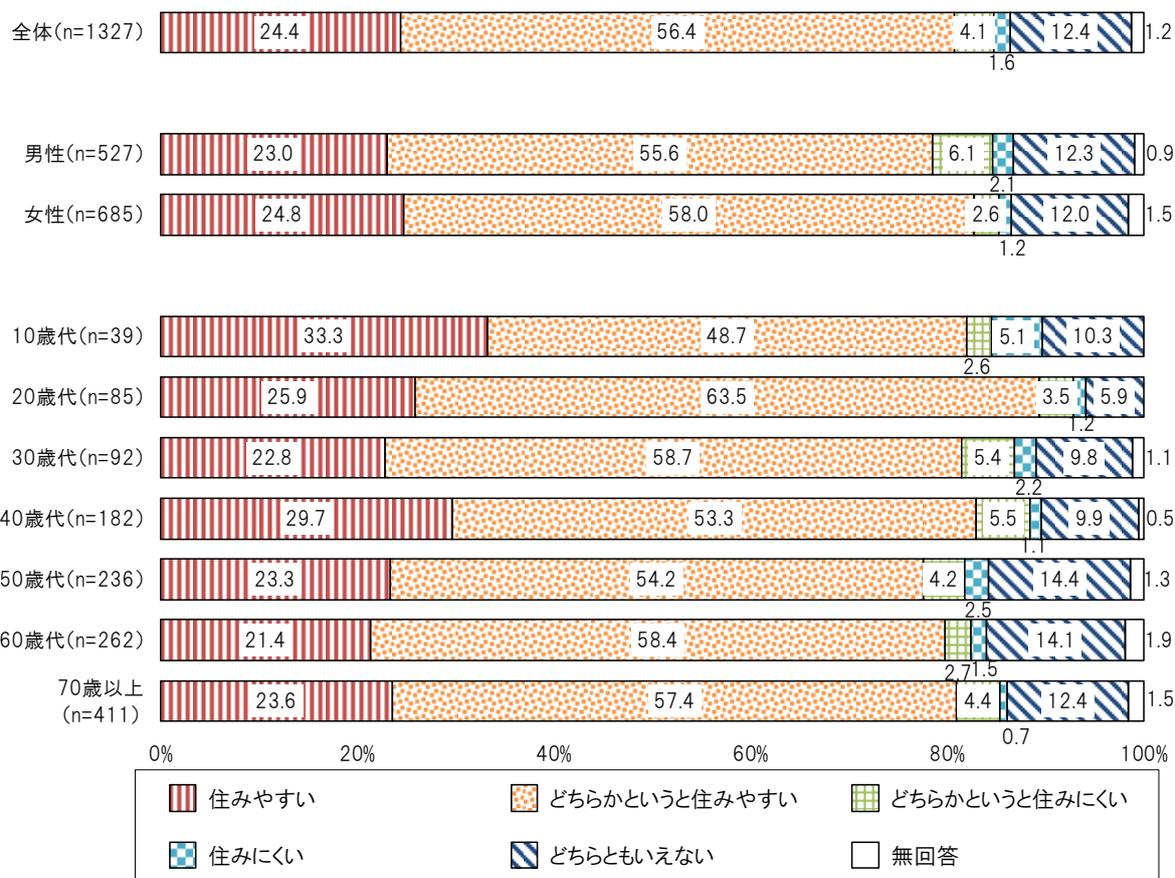
(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

「どちらかというに住みやすい」が56.4%と最も高く、次いで「住みやすい」が24.4%、「どちらともいえない」が12.4%となっている。

性別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、男性で78.6%、女性で82.8%と女性の方が男性より4.2ポイント高くなっている。

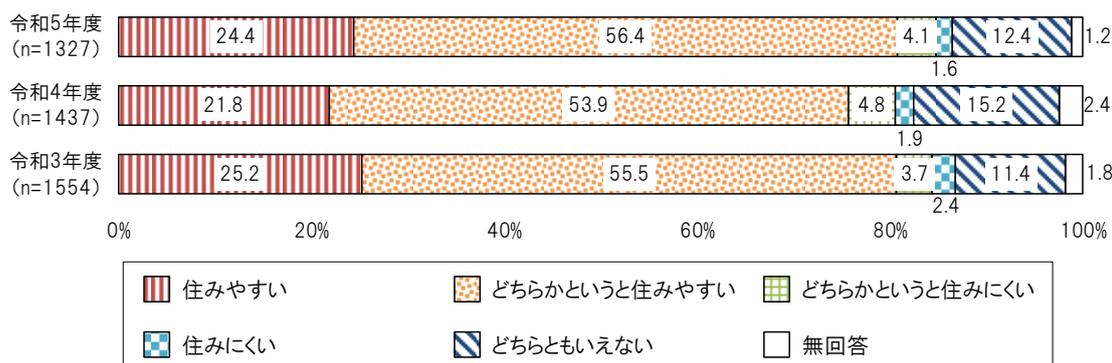
年代別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合はいずれの年代も7割以上となっており、中でも20歳代では89.4%と最も高くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、前回が75.7%であったのに対し今回は80.8%と5.1ポイント高くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか

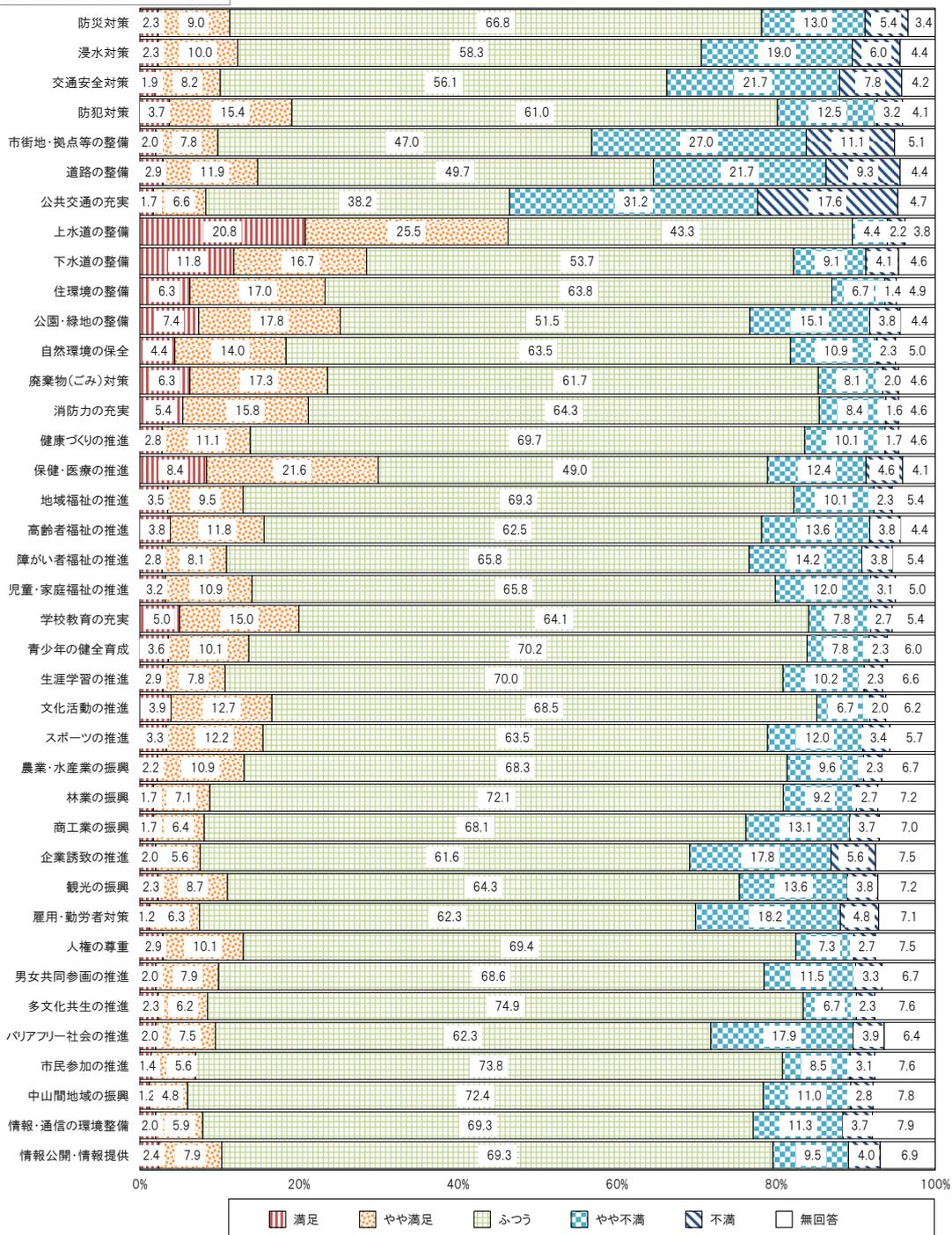


問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(39)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

(1) 満足度

満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く46.3%となっており、次いで「保健・医療の推進」が30.0%、「下水道の整備」が28.5%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の充実」が48.8%で最も高く、次いで「市街地・拠点等の整備」が38.1%、「道路の整備」が31.0%となっている。

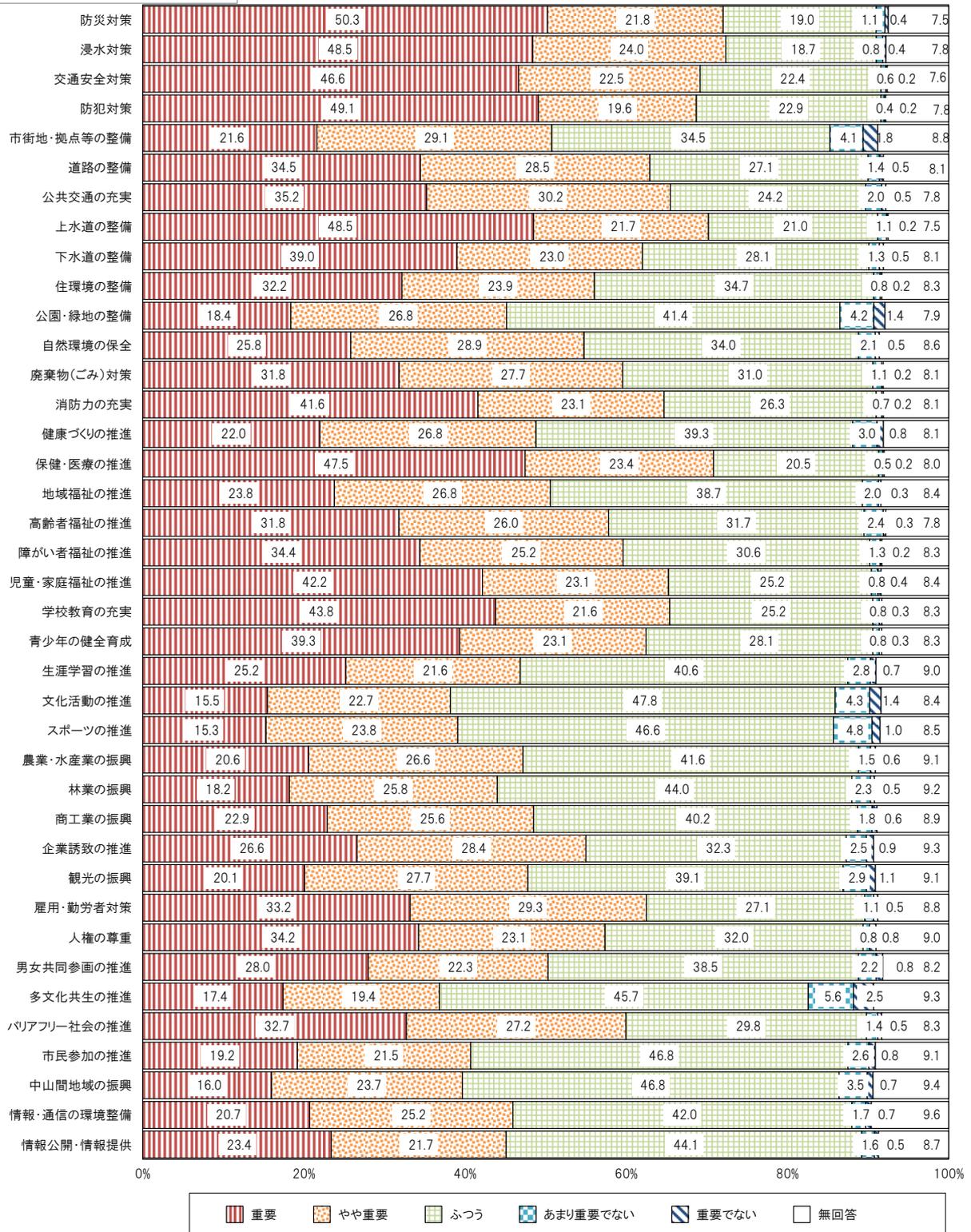
問6 松阪市の政策に対する満足度



(2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「浸水対策」が72.5%で最も高く、次いで「防災対策」が72.1%、「保健・医療の推進」が70.9%となっている。

問6 松阪市の政策に対する重要度



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

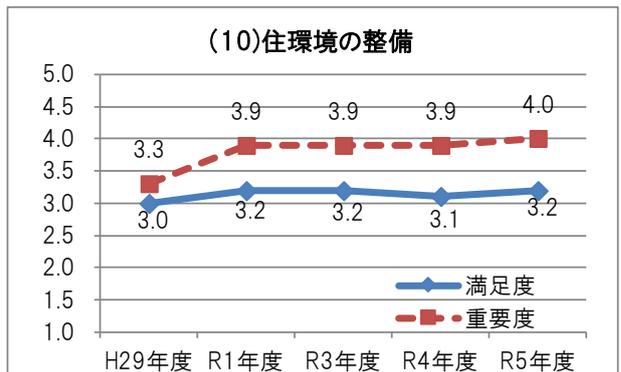
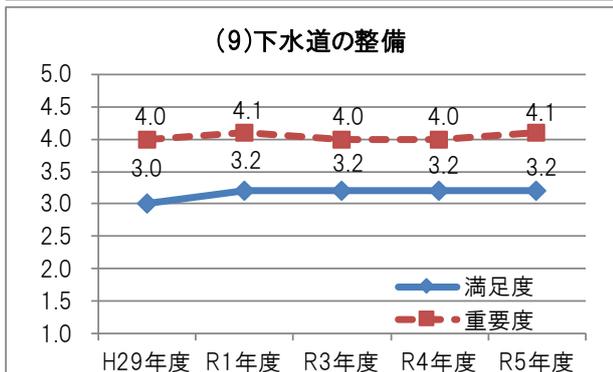
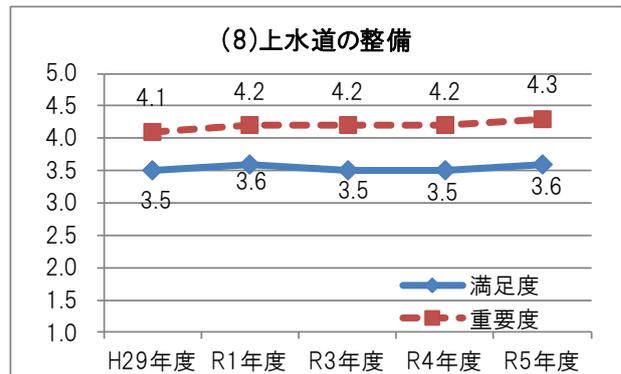
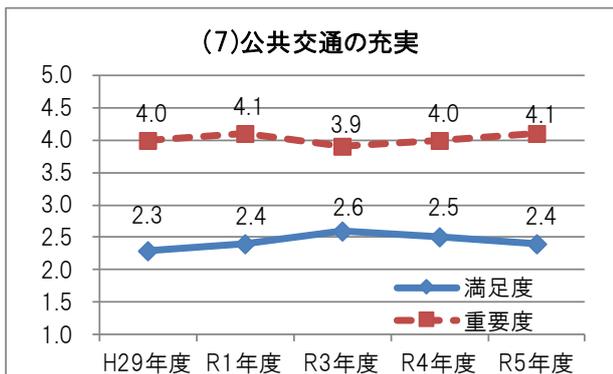
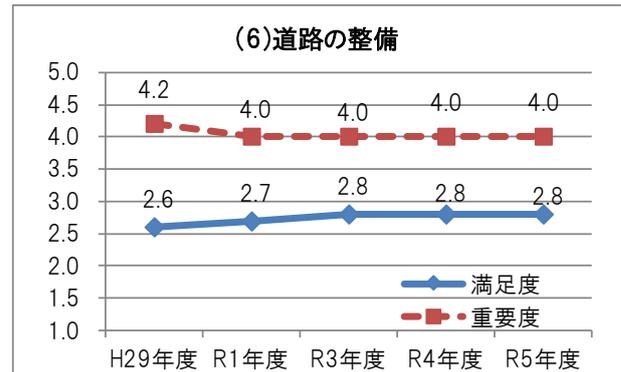
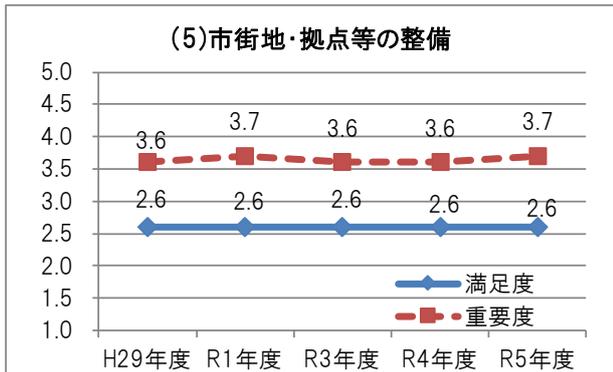
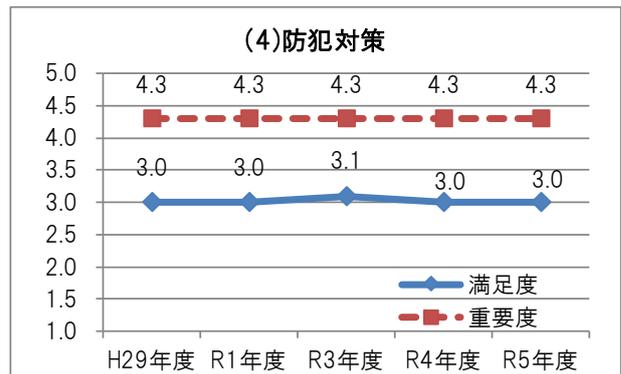
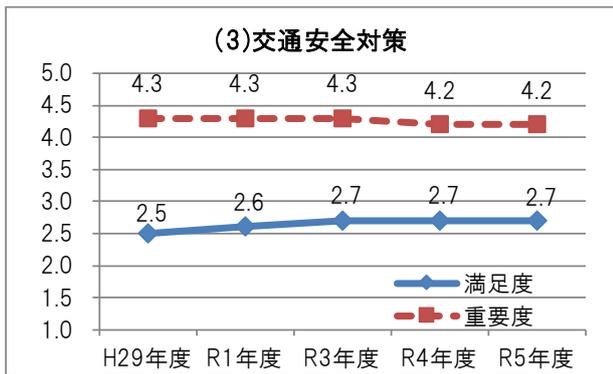
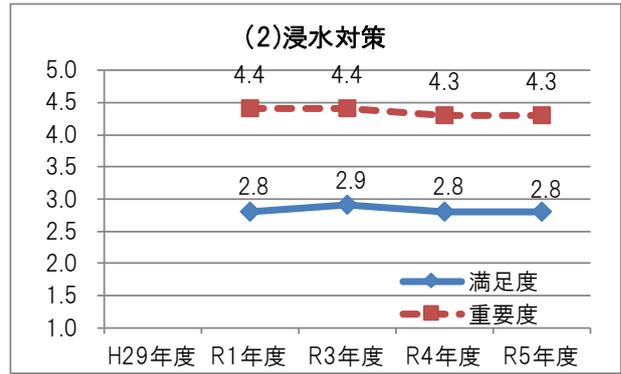
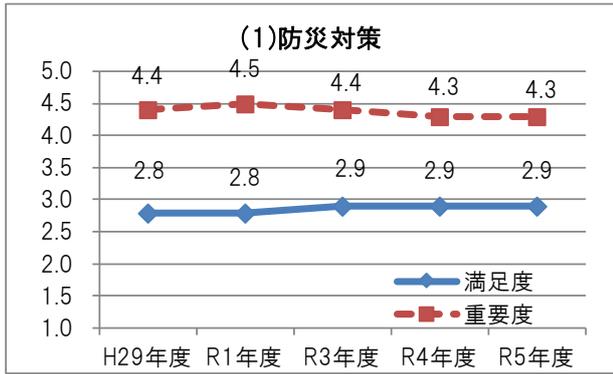
《評価得点の算出式》

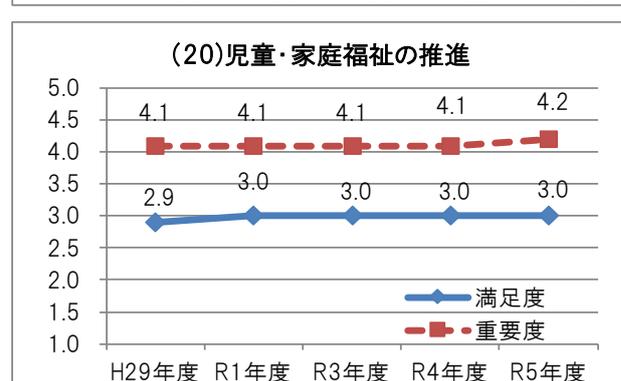
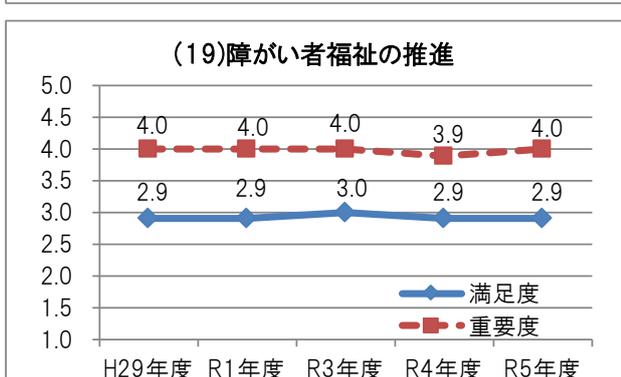
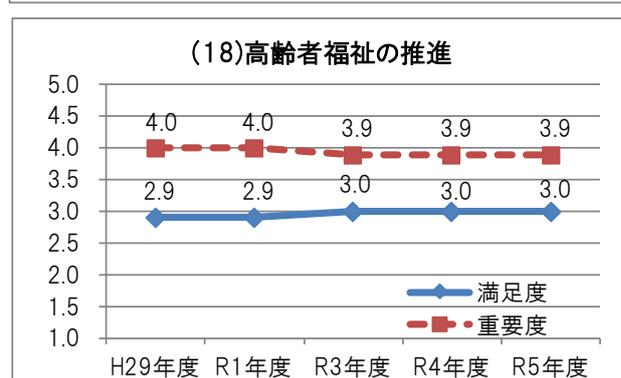
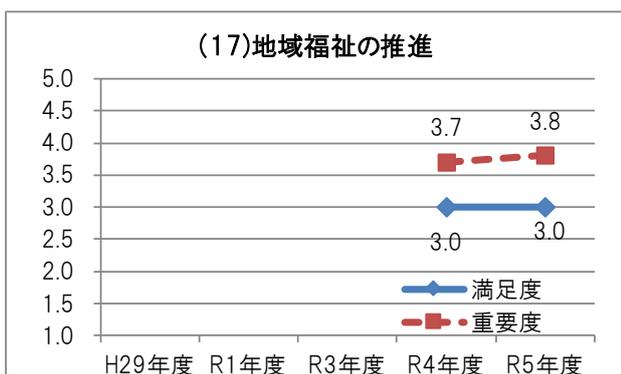
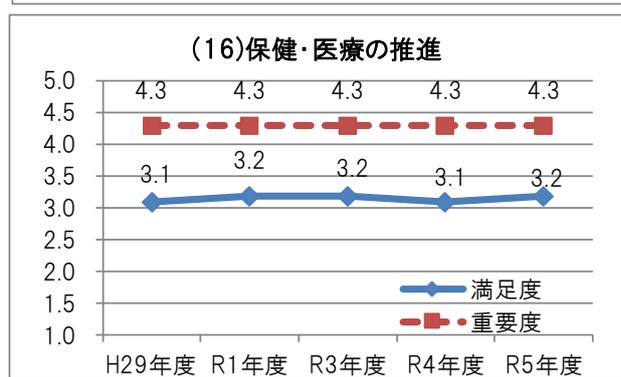
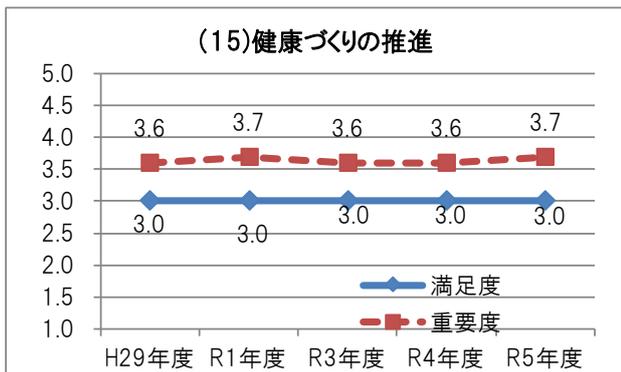
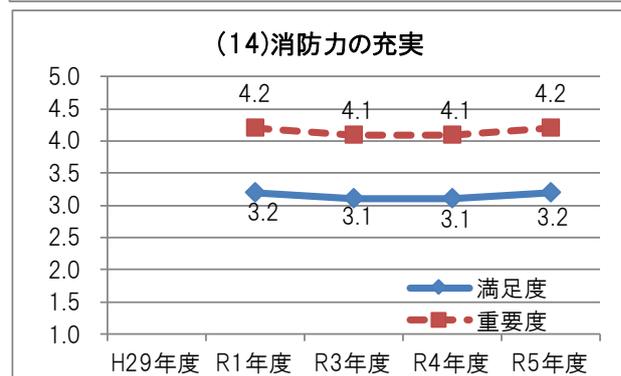
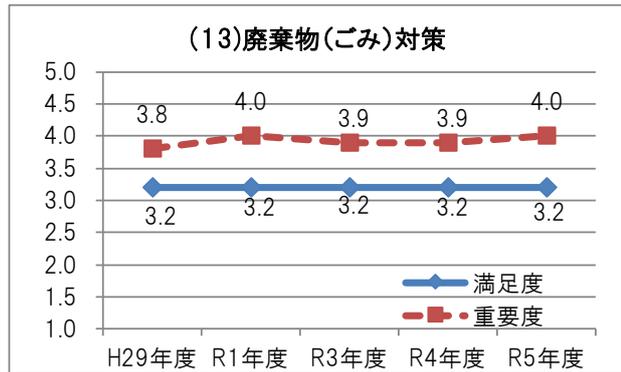
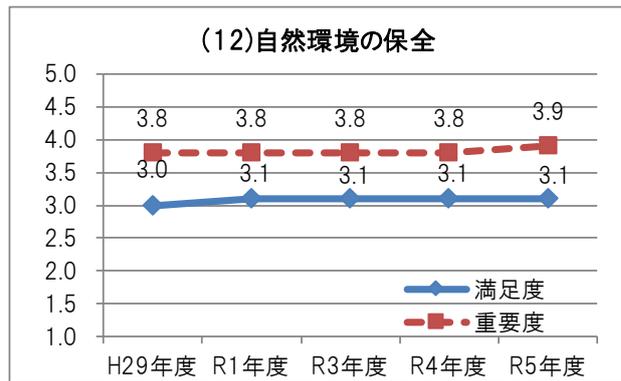
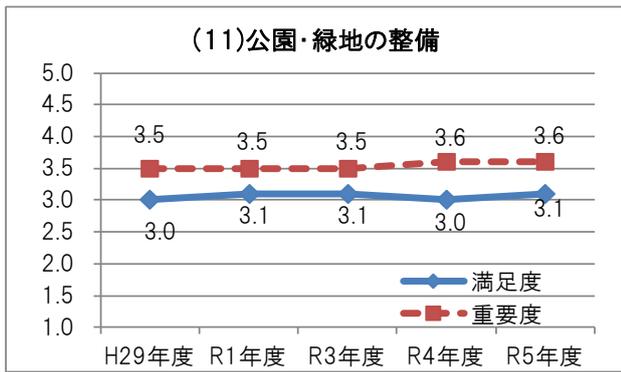
$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

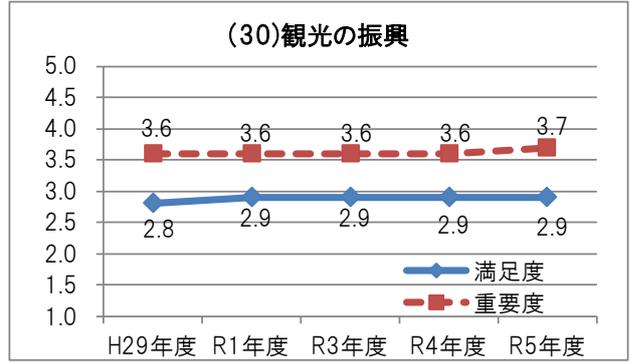
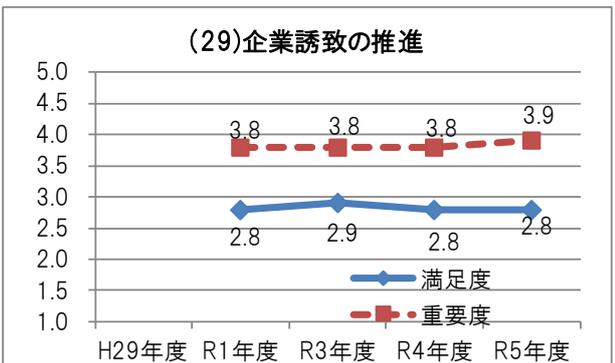
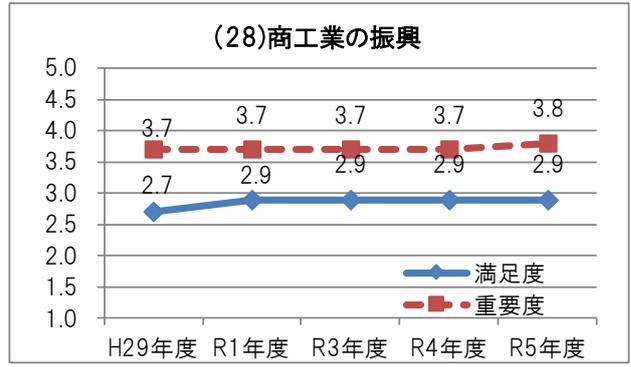
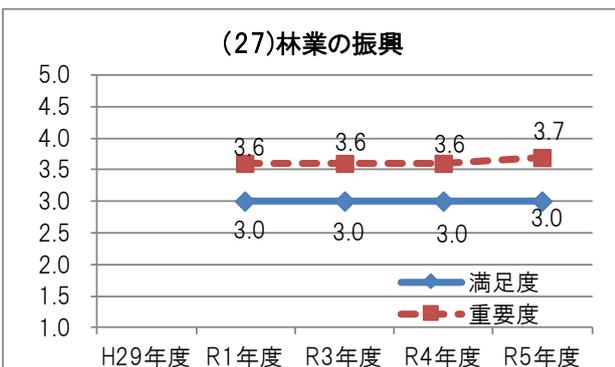
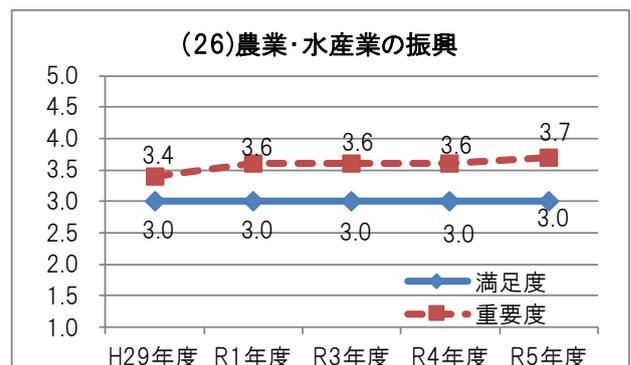
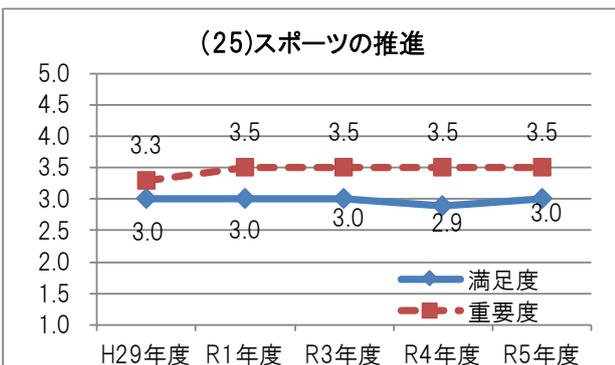
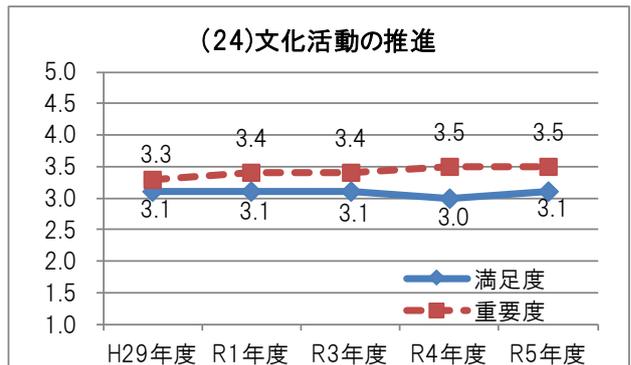
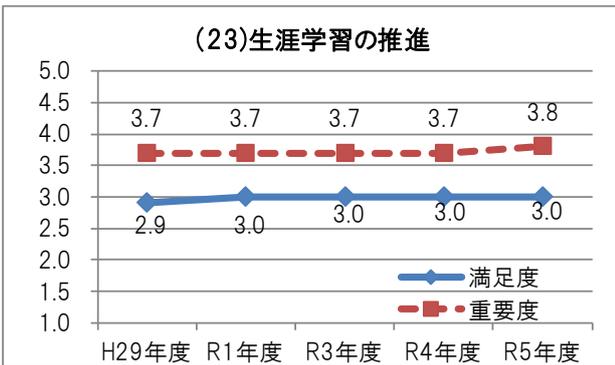
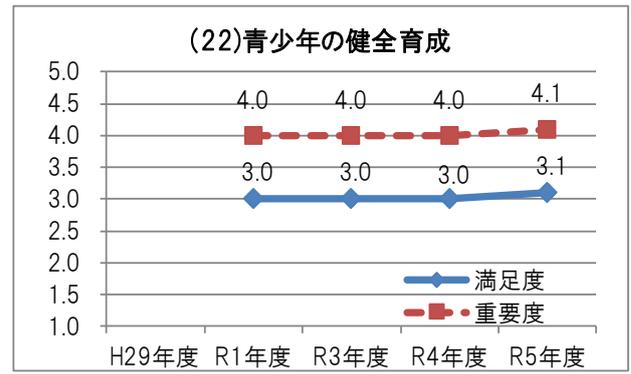
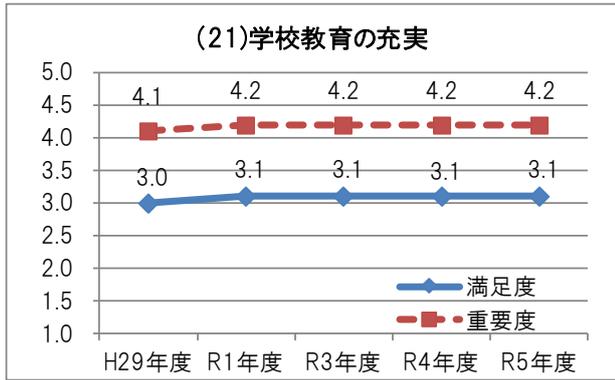
$$\text{重要度} = \frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

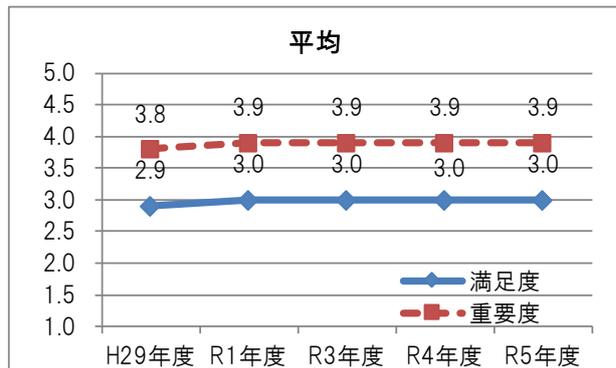
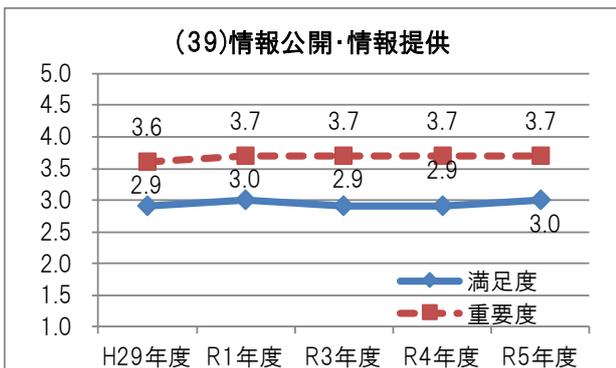
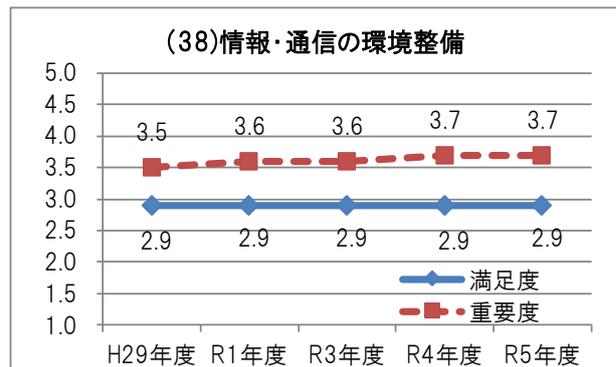
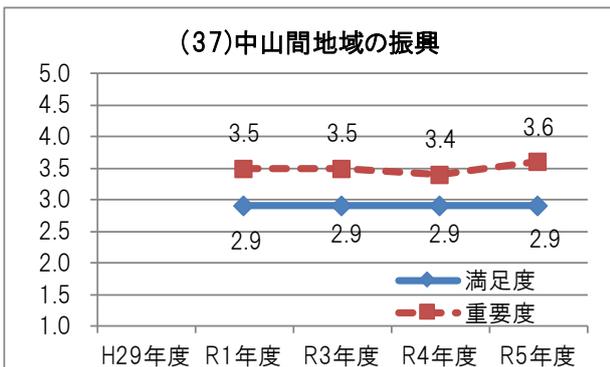
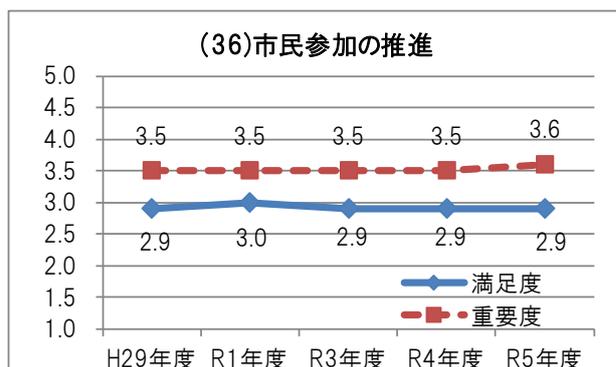
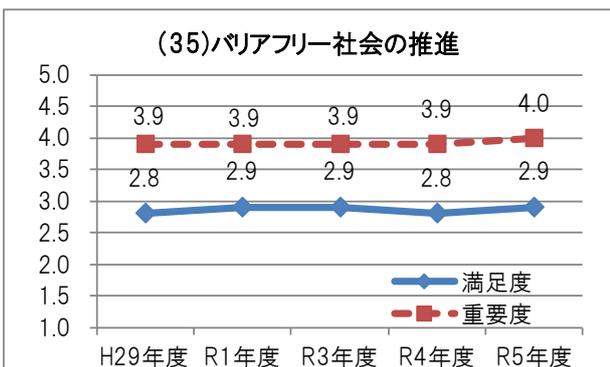
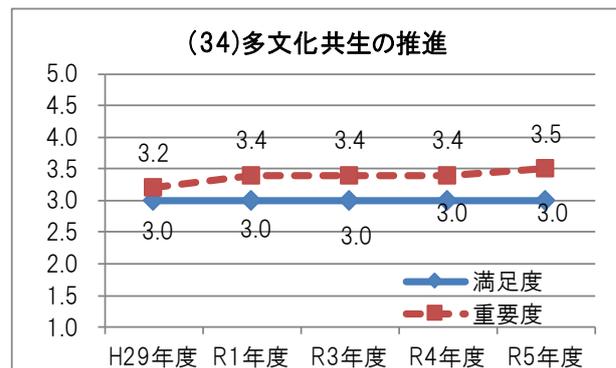
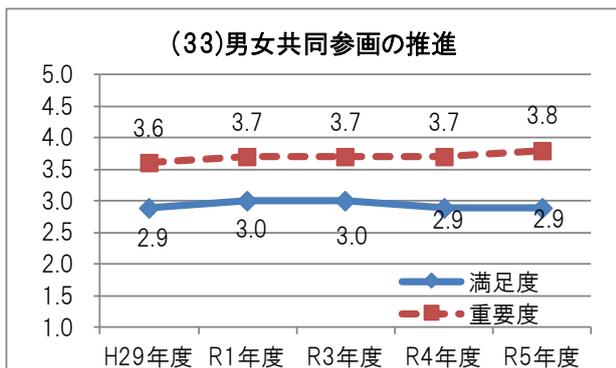
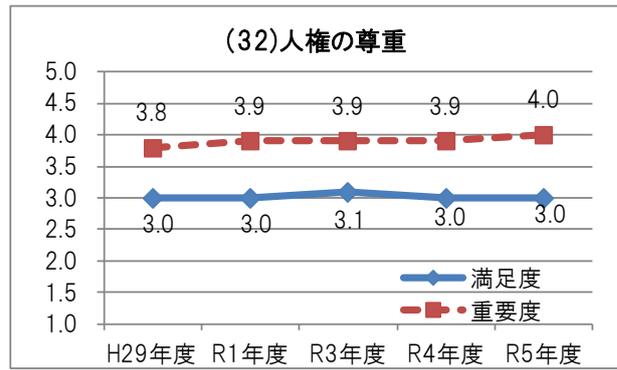
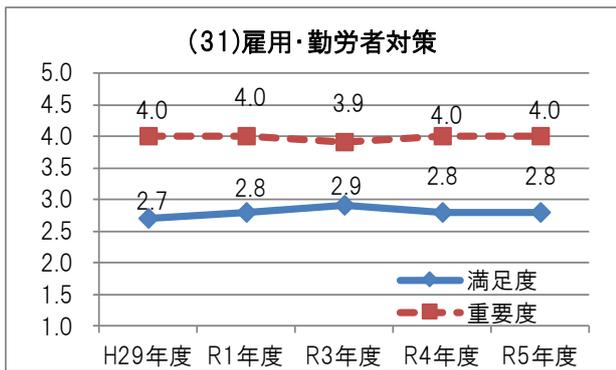
前回と比較すると、満足度では 39 項目中 33 項目が上昇、2 項目が横ばい、4 項目が下降となり、平均では 0.03 の上昇となっている。重要度をみると、39 項目中 34 項目が上昇、横ばいの項目は無し、5 項目が下降となり、平均では 0.06 の上昇となっている。

項目番号	施策	満足度					重要度												
		H29年度	R1年度	R3年度	R4年度	R5年度	H29年度	R1年度	R3年度	R4年度	R5年度								
1	防災対策	2.78	↗	2.82	↗	2.87	↘	2.88	↗	2.90	4.42	↗	4.46	↘	4.37	↘	4.34	↘	4.30
2	浸水対策	2.77	↗	2.77	↗	2.85	↘	2.82	↗	2.83	4.40	↘	4.36	↘	4.36	↘	4.32	↘	4.29
3	交通安全対策	2.53	↗	2.55	↗	2.67	↗	2.71	↗	2.73	4.29	↗	4.33	↘	4.29	↘	4.23	↗	4.24
4	防犯対策	2.95	→	2.95	↗	3.05	↘	2.97	↗	3.04	4.28	↗	4.32	↘	4.29	↘	4.28	↗	4.27
5	市街地・拠点等の整備	2.56	↗	2.57	↗	2.62	↘	2.56	↗	2.61	3.63	↗	3.66	↘	3.58	↗	3.61	↗	3.71
6	道路の整備	2.61	↗	2.74	↗	2.81	↘	2.77	↘	2.76	4.24	↘	4.02	↘	3.98	↘	3.97	↗	4.04
7	公共交通の充実	2.25	↗	2.39	↗	2.56	↘	2.47	↘	2.41	3.98	↗	4.07	↘	3.92	↗	3.95	↗	4.06
8	上水道の整備	3.54	↗	3.60	↘	3.53	↘	3.52	↗	3.61	4.12	↘	4.23	↘	4.18	↗	4.20	↗	4.27
9	下水道の整備	2.99	↗	3.22	↘	3.19	↘	3.15	↗	3.24	3.98	↗	4.07	↘	4.04	↘	4.02	↗	4.08
10	住環境の整備	2.97	↗	3.17	→	3.17	↘	3.13	↗	3.21	3.31	↘	3.88	↘	3.87	→	3.87	↗	3.95
11	公園・緑地の整備	3.00	↗	3.10	↗	3.12	↘	3.05	↗	3.10	3.48	↗	3.50	↗	3.54	↗	3.56	↗	3.61
12	自然環境の保全	2.98	↗	3.05	↗	3.06	→	3.06	↗	3.08	3.75	→	3.75	↗	3.78	↘	3.76	↗	3.85
13	廃棄物(ごみ)対策	3.20	↘	3.17	↗	3.18	↘	3.16	↗	3.19	3.83	↗	3.97	↘	3.88	↘	3.92	↗	3.98
14	消防力の充実			3.15	↘	3.12	↗	3.13	↗	3.16			4.18	↘	4.11	↗	4.14	↗	4.15
15	健康づくりの推進	3.00	↗	3.02	↗	3.04	↘	2.99	↗	3.03	3.63	↗	3.67	↘	3.60	↗	3.62	↗	3.72
16	保健・医療の推進	3.07	↗	3.19	↘	3.16	↘	3.14	↗	3.18	4.26	↗	4.30	↘	4.28	↘	4.30	↘	4.28
17	地域福祉の推進							3.01	↗	3.02							3.72	↘	3.78
18	高齢者福祉の推進	2.94	→	2.94	↗	3.03	↘	2.97	↗	2.98	3.97	↗	4.02	↘	3.92	↘	3.90	↗	3.94
19	障がい者福祉の推進	2.85	↗	2.92	↗	2.97	↘	2.90	↗	2.91	3.97	↗	4.00	↘	3.98	↘	3.94	↗	4.01
20	児童・家庭福祉の推進	2.94	↗	3.01	↗	3.03	↘	2.96	↗	2.99	4.07	↗	4.12	→	4.12	↗	4.13	↗	4.16
21	学校教育の充実	2.95	↗	3.08	→	3.08	→	3.08	↗	3.12	4.13	↗	4.15	↗	4.19	→	4.19	↘	4.18
22	青少年の健全育成			3.03	↗	3.04	↘	3.00	↗	3.05			4.04	↘	4.01	↗	4.03	↗	4.09
23	生涯学習の推進	2.94	↗	2.97	↗	2.98	↘	2.95	↗	2.99	3.65	↗	3.67	↘	3.66	↘	3.68	↗	3.75
24	文化活動の推進	3.06	↗	3.10	→	3.10	↘	3.04	↗	3.10	3.30	↗	3.44	↘	3.40	↗	3.45	↗	3.51
25	スポーツの推進	2.97	↗	3.00	↘	2.98	↘	2.94	↗	3.00	3.27	↗	3.49	↘	3.47	↗	3.49	↗	3.52
26	農業・水産業の振興	2.95	↗	3.01	↗	3.02	↘	2.97	↗	3.01	3.43	↗	3.62	↘	3.59	↗	3.63	↗	3.72
27	林業の振興			2.95	↗	2.96	↘	2.95	↗	2.96			3.57	→	3.57	↘	3.55	↗	3.65
28	商工業の振興	2.70	↗	2.89	↗	2.93	↘	2.88	→	2.88	3.65	↗	3.68	→	3.68	↗	3.69	↗	3.75
29	企業誘致の推進			2.82	↗	2.85	↘	2.81	↘	2.79			3.79	↘	3.78	↘	3.82	↗	3.85
30	観光の振興	2.83	↗	2.93	↗	2.94	↘	2.90	↗	2.92	3.56	↗	3.59	↘	3.56	↗	3.62	↗	3.69
31	雇用・勤労者対策	2.72	↗	2.79	↗	2.85	↘	2.80	↘	2.79	3.96	↘	3.95	↘	3.94	↗	3.95	↗	4.03
32	人権の尊重	2.99	↗	3.00	↗	3.06	↘	3.01	↗	3.04	3.78	↗	3.85	↗	3.89	→	3.89	↗	3.98
33	男女共同参画の推進	2.93	↗	2.95	↗	3.00	↘	2.93	→	2.93	3.58	↗	3.68	↗	3.71	→	3.71	↗	3.81
34	多文化共生の推進	2.97	↘	2.96	↗	3.00	↘	2.97	↗	3.00	3.20	↗	3.35	↘	3.42	↘	3.40	↗	3.48
35	バリアフリー社会の推進	2.79	↗	2.86	↗	2.89	↘	2.84	↗	2.85	3.86	↗	3.92	→	3.92	→	3.92	↗	3.98
36	市民参加の推進	2.89	↗	2.95	↘	2.94	↘	2.90	↗	2.93	3.48	↗	3.52	→	3.52	↘	3.51	↗	3.61
37	中山間地域の振興			2.88	↗	2.92	↘	2.89	↗	2.90			3.46	↘	3.45	↘	3.44	↗	3.56
38	情報・通信の環境整備	2.91	↗	2.94	↘	2.92	↘	2.87	↗	2.90	3.49	↗	3.62	→	3.62	↘	3.67	↗	3.70
39	情報公開・情報提供	2.91	↗	2.96	↘	2.93	↘	2.92	↗	2.95	3.62	↗	3.70	↘	3.69	↘	3.68	↗	3.72
平均		2.90	↗	2.96	↗	2.98	↘	2.95	↗	2.98	3.79	↗	3.87	↘	3.85	→	3.85	↗	3.91





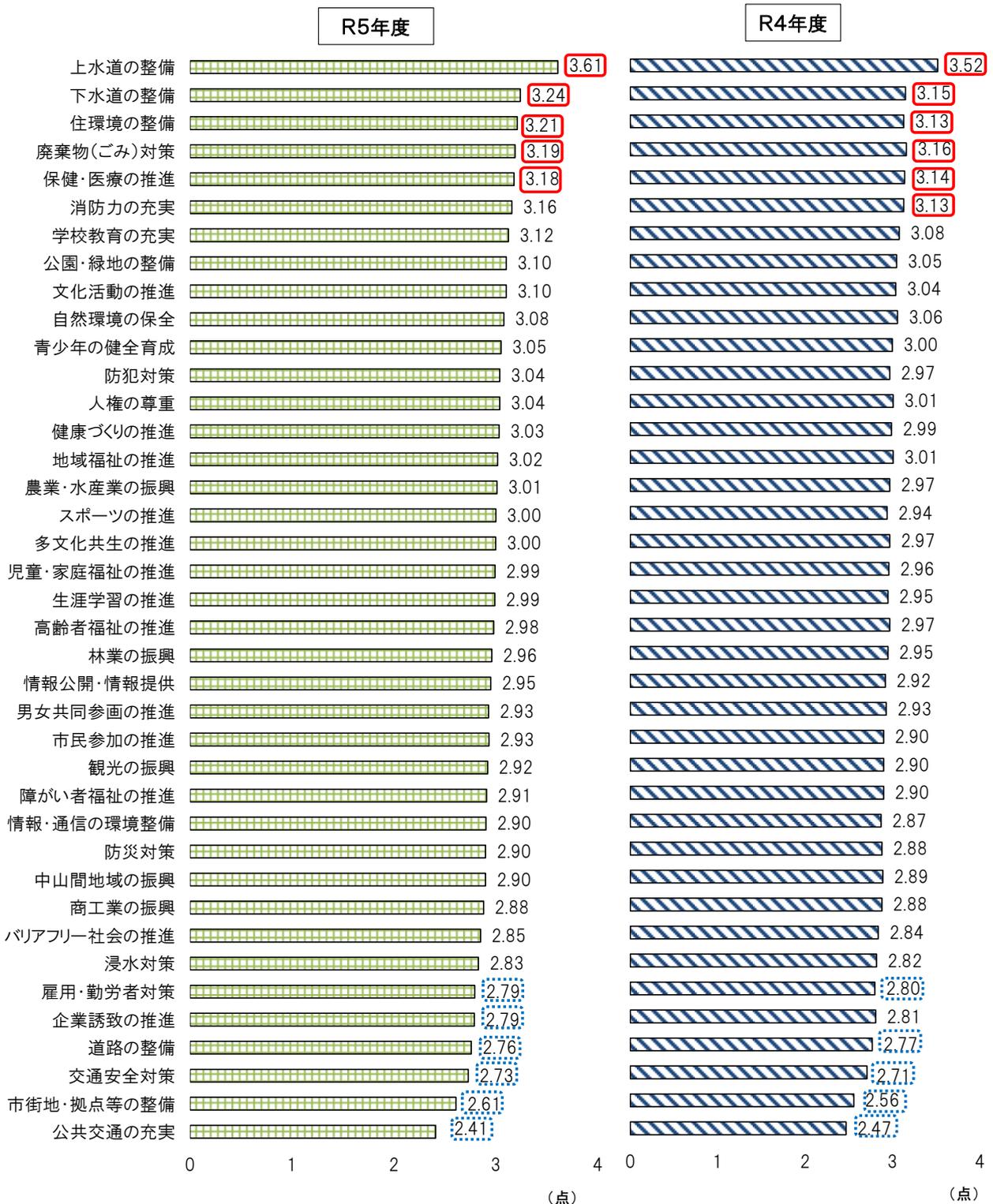




満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、いずれの項目も満足度は上昇している。下位5項目についてもすべて前回と同様の項目となっている。それらのうち「交通安全対策」「市街地・拠点等の整備」は満足度が上昇、「雇用・勤労者対策」「道路の整備」「公共交通の充実」は低くなっている。

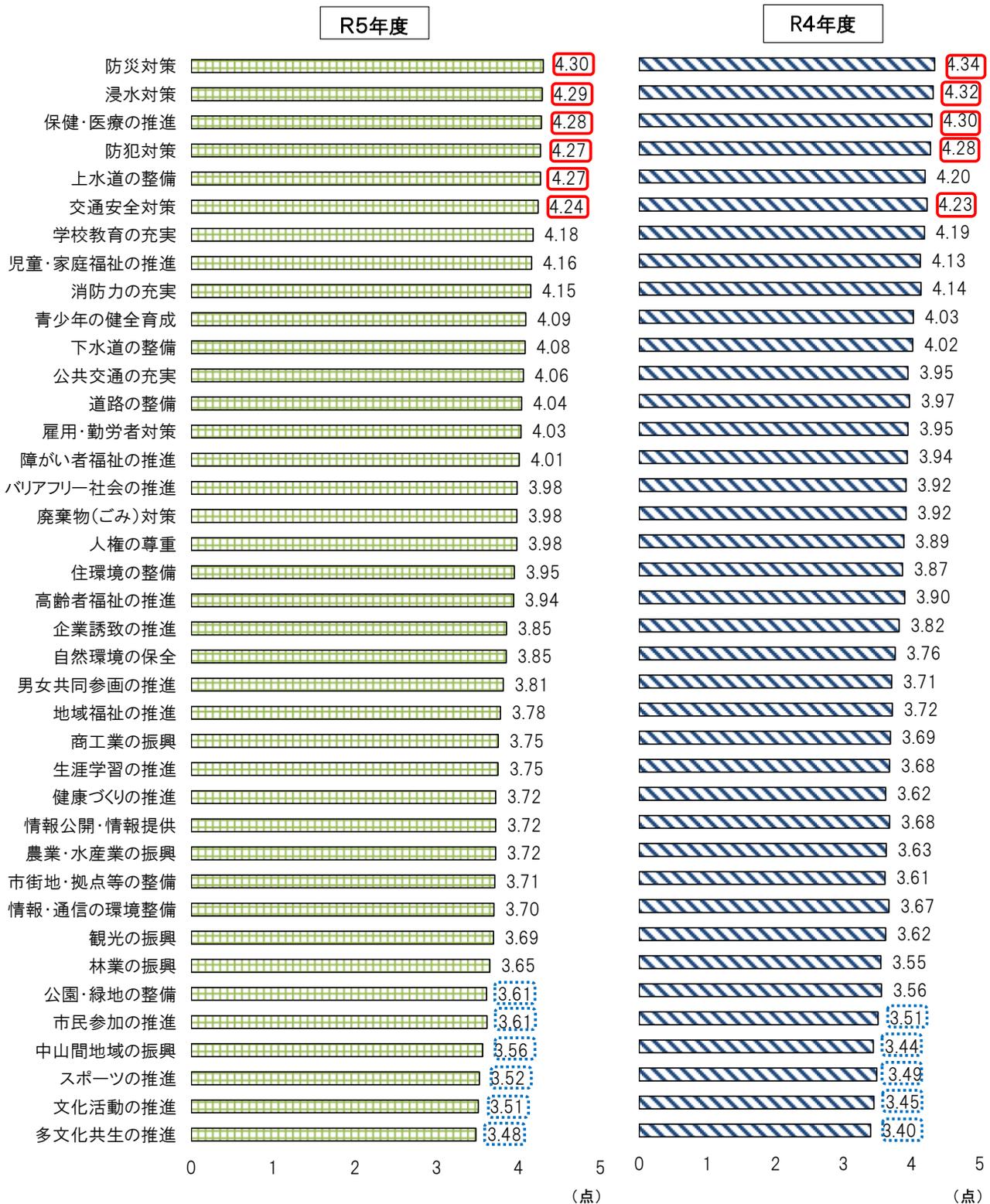
問6 松阪市の政策に対する満足度



重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回「上水道の整備」が新たに上位5項目に入っている。重要度は「防災対策」「浸水対策」「保健・医療の推進」「防犯対策」の4項目で低くなっている。また、下位5項目はすべて前回と同様の項目となっている。重要度はすべての項目で上昇している。

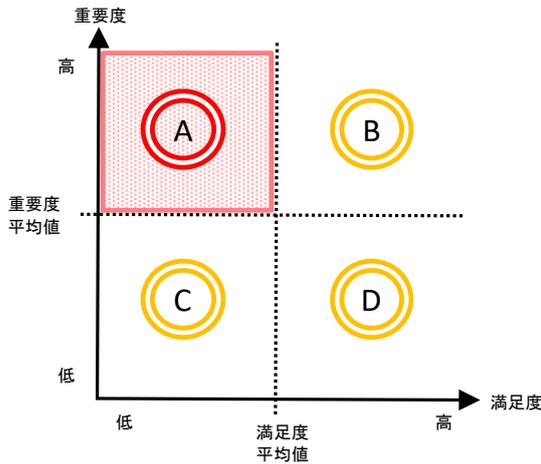
問6 松阪市の政策に対する重要度



39 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。



《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができる。

最重点項目の判定基準

- ・満足度⇒平均値を下回る
- ・重要度⇒平均値を上回る

《施策項目に対する考え方》

分類

- ① A 満足度が低く、重要度が高い ⇒ 最重点項目（優先すべき施策）
- ② B 満足度が高く、重要度が高い ⇒ これまで通り継続して実施すべき施策
- ③ C 満足度が低く、重要度が低い ⇒ 施策内容等を見直し、検討を要する施策
- ④ D 満足度が高く、重要度が低い ⇒ これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策

満足度と重要度の関係



※この表は P36 の表の数値を用いています。

前頁の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりとなる。

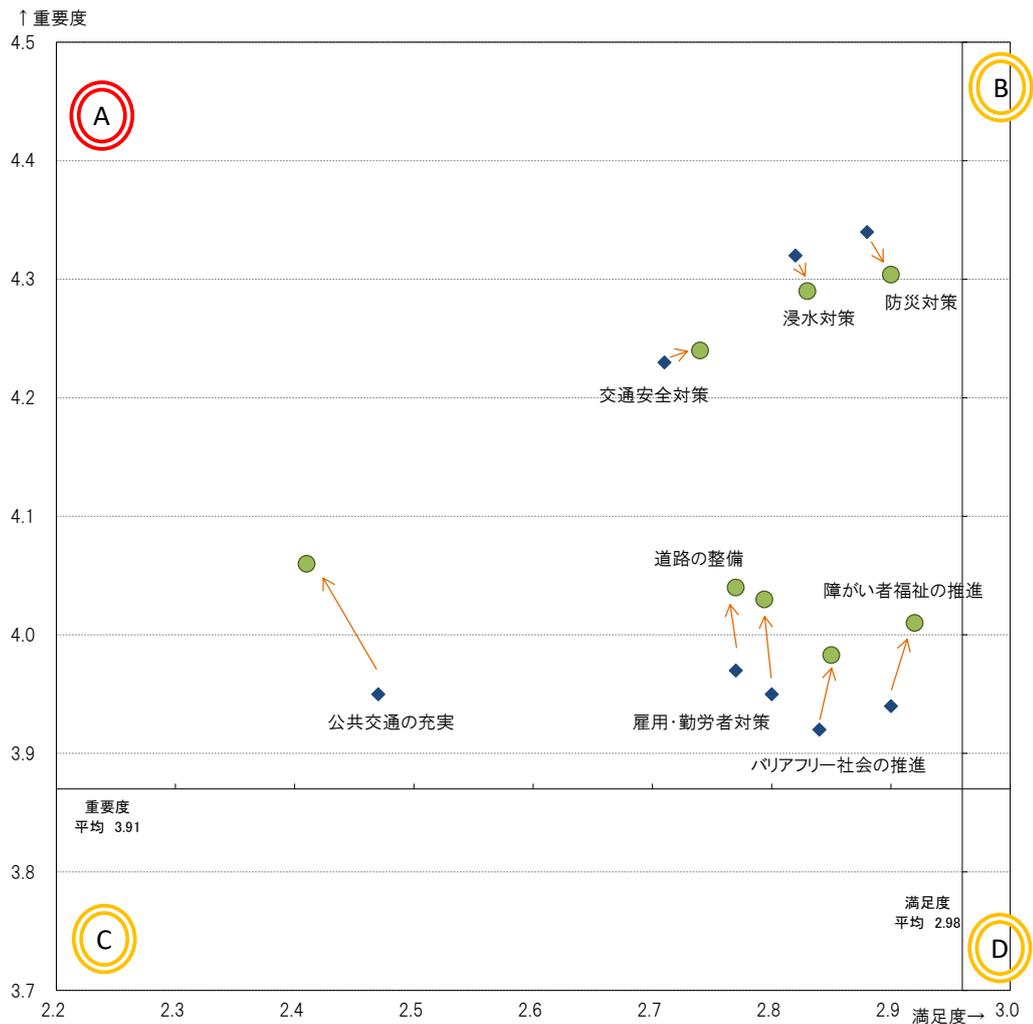
<p>A 最重点項目(市民が優先して求めている施策)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)○ 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)○ 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)○ 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)○ 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)○ 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)○ 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)○ すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
<p>B これまで通り継続して実施すべき施策</p> <ul style="list-style-type: none">○ 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)○ 安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)○ 生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)○ 安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)○ ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)○ さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)○ どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかれる取組(保健・医療の推進)○ お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)○ 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)○ 子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)○ 子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)○ 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)
<p>C 施策内容等を見直し、検討を要する施策</p> <ul style="list-style-type: none">○ 中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)○ 森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)○ 魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)○ 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)○ 地域資源を生かした観光政策(観光の振興)○ 男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)○ 市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)○ 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)○ 市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)○ 市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)
<p>D これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策</p> <ul style="list-style-type: none">○ 気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)○ 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)○ 元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)○ さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)○ 生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)○ 地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)○ 気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)○ 地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)○ 外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)

最重点項目について前回と比較した結果は以下のとおりとなる。

8つの重点項目をみると、4つのパターンに分かれる。

- ①『満足度が微増および横ばい（0～0.05以下）』かつ『重要度が微増および横ばい（0～0.05以下）』
 - 「交通安全対策」があげられる。
- ②『満足度が微増および横ばい（0～0.05以下）』かつ『重要度が微減および横ばい（0～-0.05以上）』
 - 「防災対策」「浸水対策」があげられる。
- ③『満足度が低い』かつ『重要度が高い』
 - 「公共交通の充実」があげられる。
- ④『満足度が微減および横ばい（0～-0.05以上）』かつ『重要度が高い』
 - 「道路の整備」「障がい者福祉の推進」「雇用・勤労者対策」「バリアフリー社会の推進」があげられる。

満足度と重要度の関係



※◆前回調査（令和4年度） ●令和5年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

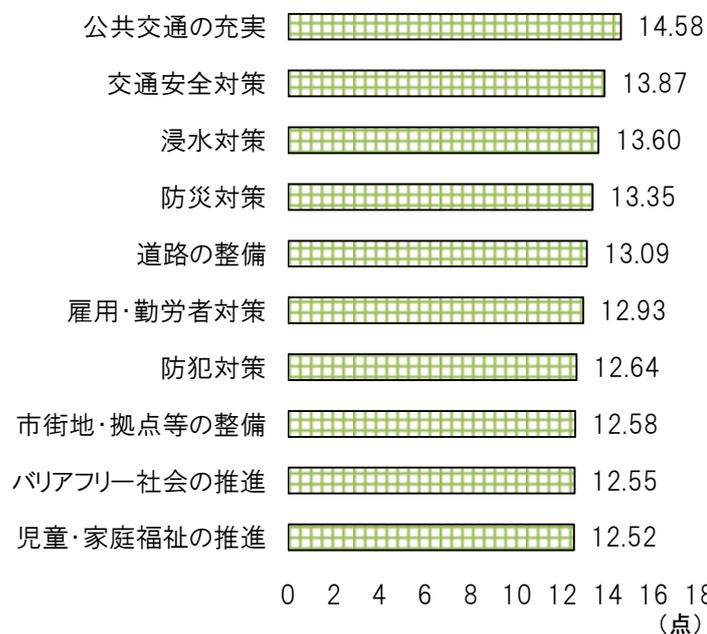
優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数（満足度と重要度の両方が回答された数）}$$

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「公共交通の充実」「交通安全対策」「浸水対策」「防災対策」等のニーズ得点が高くなっている。

問6 松阪市の政策に対するニーズ得点



満足度と重要度から、居住地別に「市民が優先して求めている施策」を検討する。

回答者が居住する町によって、住民自治協議会のブロック別（管内別）に分類している。
※複数の住民自治協議会に跨る町については、便宜的にどちらかのブロックに分類を行った。

①中央第一ブロック

松阪中央住民協議会・幸まちづくり協議会・鈴の森住民自治協議会

②中部ブロック

花岡住民自治協議会

③中央第二ブロック

第二地区まちづくり協議会・神戸まちづくり協議会・徳和住民自治協議会・東住民自治協議会

④北部ブロック

港住民自治協議会・松ヶ崎住民自治協議会・第四地区住民協議会

⑤東部ブロック

あさみ住民自治協議会・掃水住民自治協議会・漕代まちづくり協議会・
西黒部まちづくり協議会・東黒部住民自治協議会・機殿住民自治協議会

⑥南部ブロック

大石地区住民自治協議会・茅広江住民自治協議会・射和まちづくり協議会

⑦西部ブロック

伊勢寺地区住民自治協議会・あざか住民自治協議会・宇気郷住民協議会・
松尾住民自治協議会・大河内地区住民自治協議会

⑧嬉野ブロック（嬉野管内）

嬉野宇気郷住民協議会・中郷まちづくり協議会・豊地まちづくり協議会・
嬉野中川まちづくり協議会・豊田住民自治協議会・中原まちづくり協議会

⑨三雲ブロック（三雲管内）

米ノ庄住民自治協議会・天白まちづくり協議会・鵠住民自治協議会・おのえ住民協議会

⑩飯南ブロック（飯南管内）

有間野区住民自治協議会・粥見住民自治協議会・仁柿住民自治協議会・柿野住民自治協議会

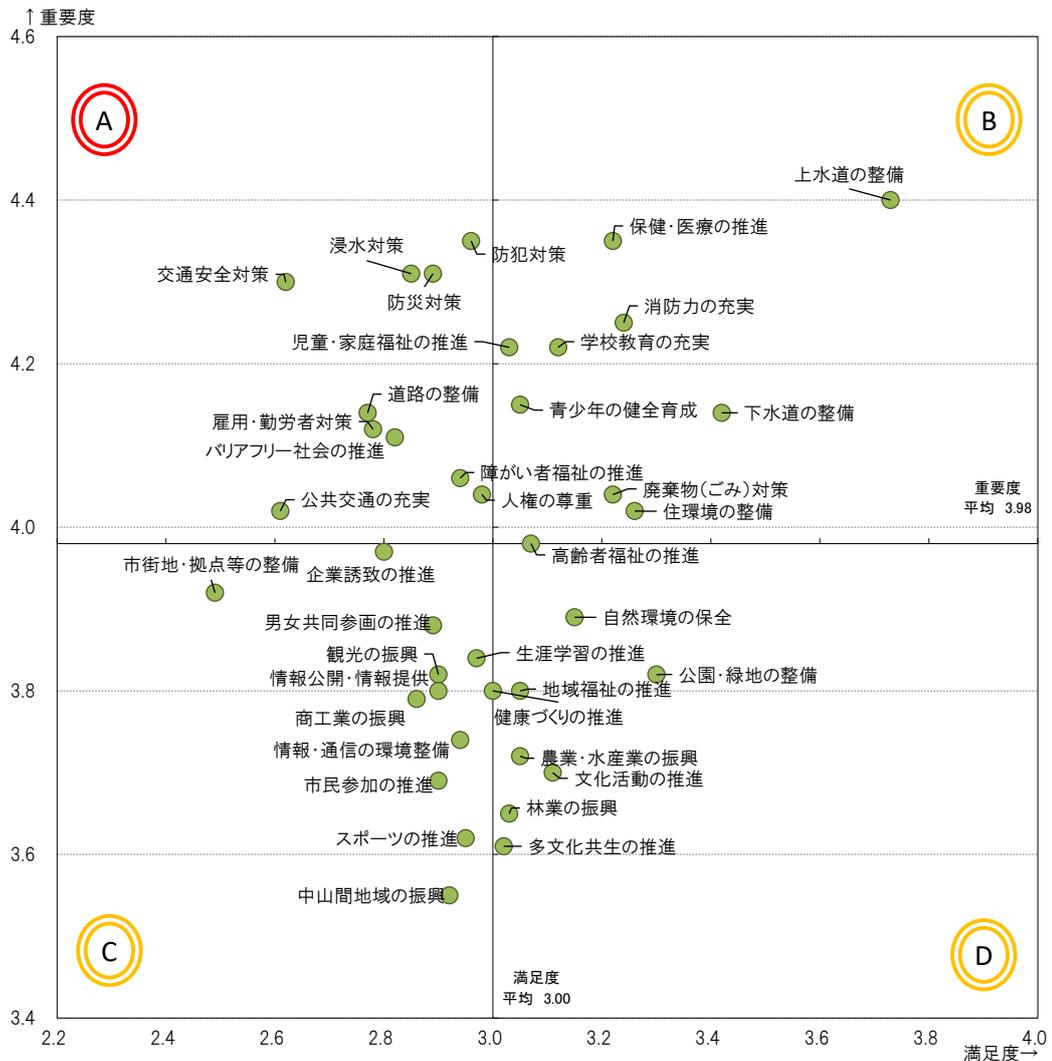
⑪飯高ブロック（飯高管内）

宮前まちづくり協議会・川俣住民自治協議会・森住民自治協議会・波瀬むらづくり協議会

《中央第一》

湊町、白粉町、日野町、新町、新座町、殿町、魚町、中町、中町六丁目、本町、西町、川井町、黒田町、京町、京町一区、桜町、末広町一丁目、泉町、五月町、内五曲町、大黒田町、船江町、塚本町、曲町、田牧町、井村町、外五曲町、西之庄町

満足度と重要度の関係

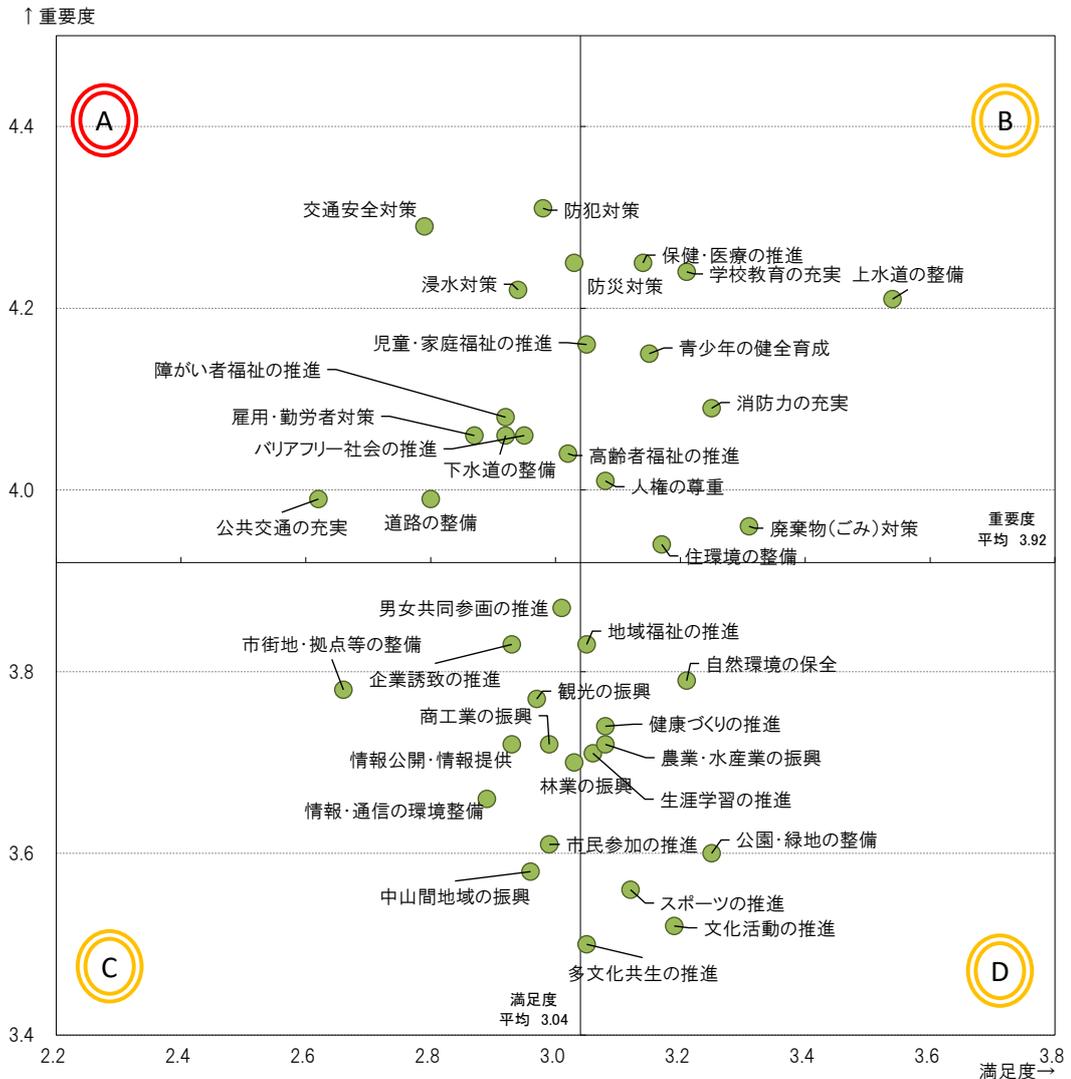


- A** 最重点項目(市民が優先して求めている施策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
 - 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
 - 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
 - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
 - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
 - 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
 - すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
 - 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
 - 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)
 - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)

《中部》

駅部田町、小黑田町、山室町、田村町、宝塚町、御殿山町、光町、五反田町一丁目、五反田町二丁目、五反田町三丁目、五反田町四丁目、五反田町五丁目、広陽町、木の郷町

満足度と重要度の関係

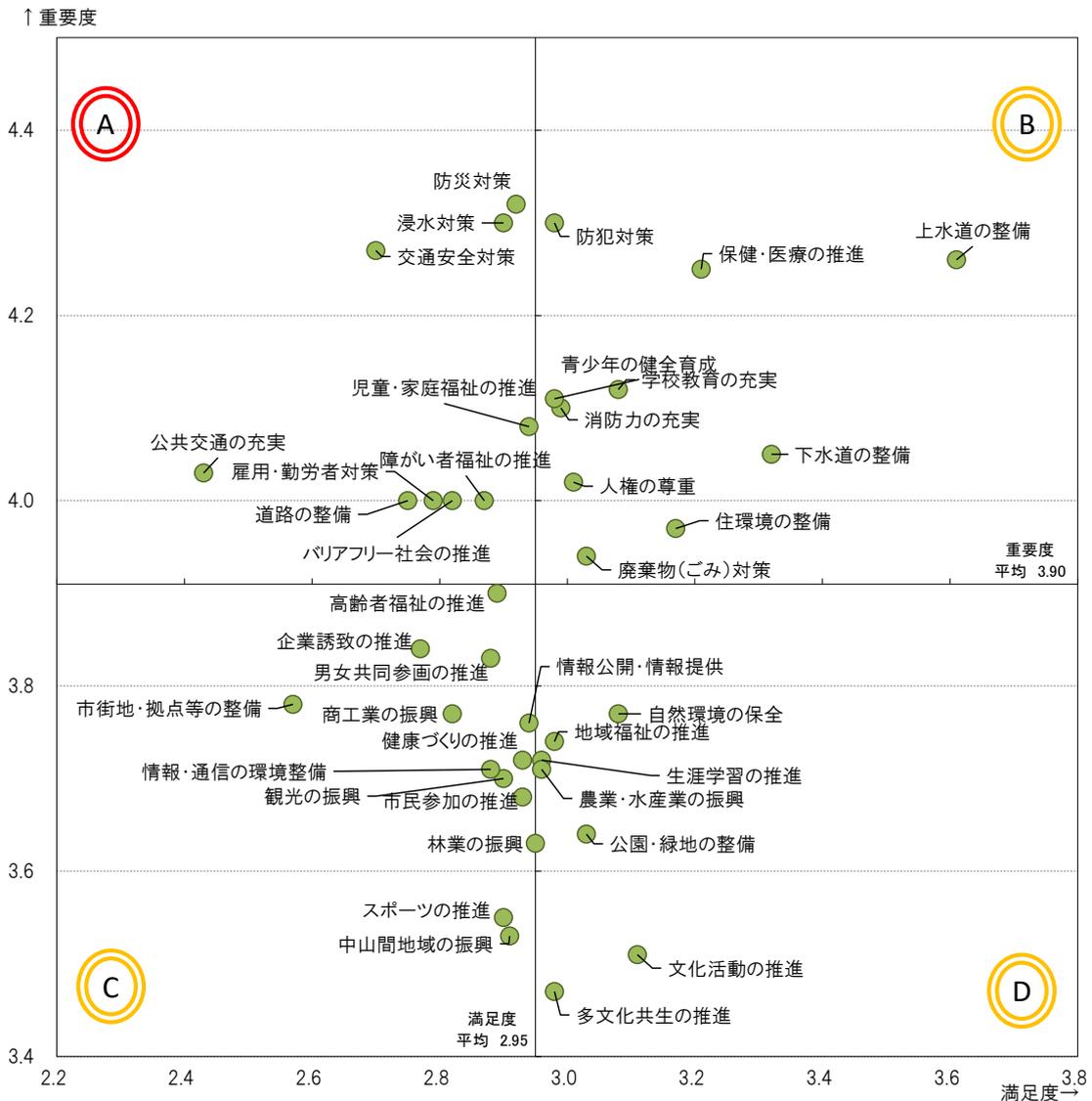


- A** 最重点項目(市民が優先して求めている施策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
 - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
 - 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
 - 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
 - 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
 - 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
 - 生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)
 - すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
 - お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)
 - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
 - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)

《中央第二》

愛宕町一丁目、愛宕町二丁目、愛宕町三丁目、愛宕町四丁目、愛宕町、挽木町、平生町、五十鈴町、春日町一丁目、春日町二丁目、春日町三丁目、南町、長月町、茶与町、東町、宮町、清生町、幸生町、垣鼻町、大津町、田原町、久保町、下村町、上川町、虹が丘町、南虹が丘町

満足度と重要度の関係



A

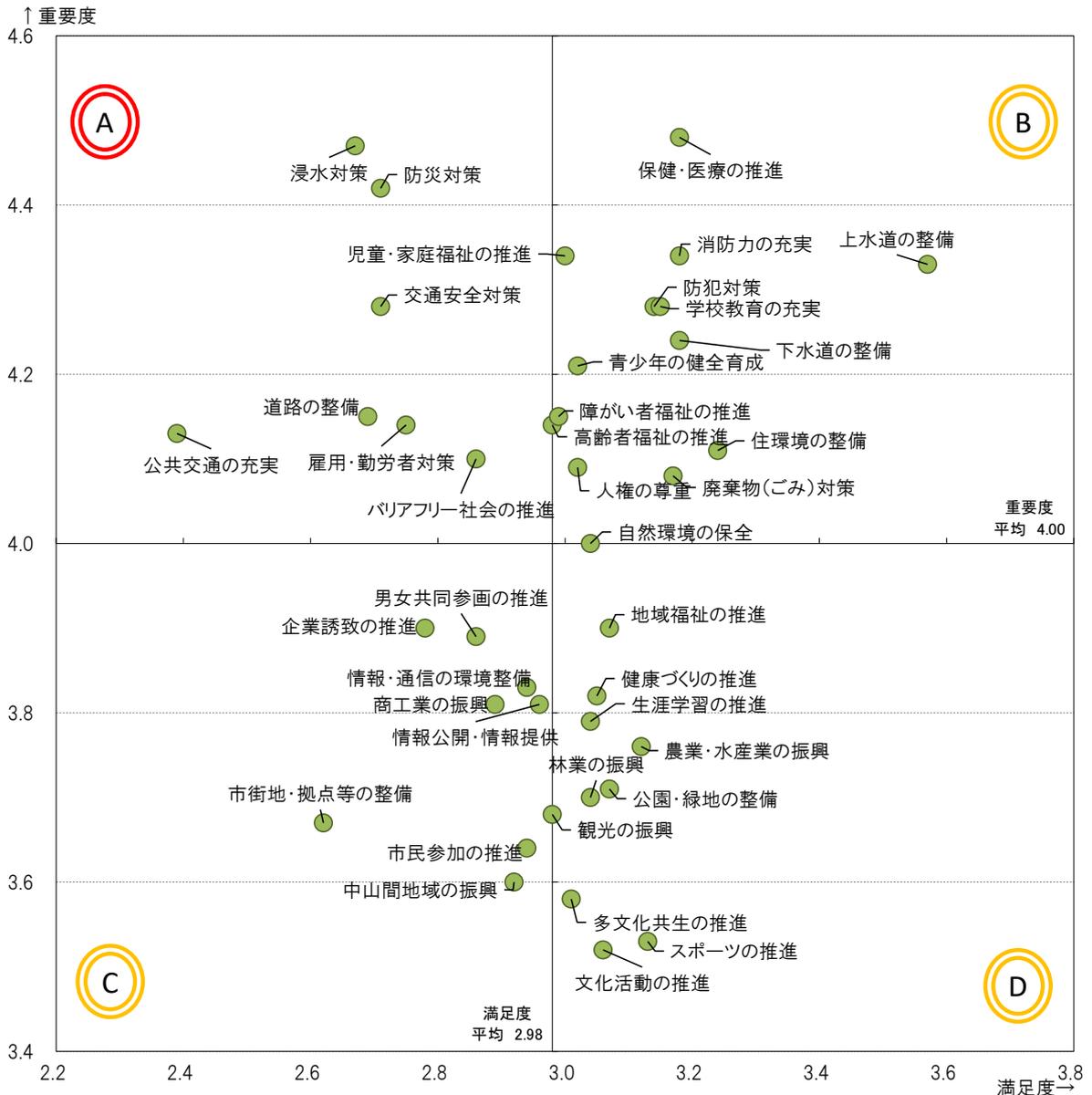
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)

《北部》

鎌田町、朝日町、朝日町一区、石津町、荒木町、郷津町、高町、若葉町、大口町、中央町、末広町二丁目、久保田町、大塚町、大平尾町、新松ヶ島町、町平尾町、獺師町、松崎浦町、松ヶ島町、六軒町

満足度と重要度の関係



A

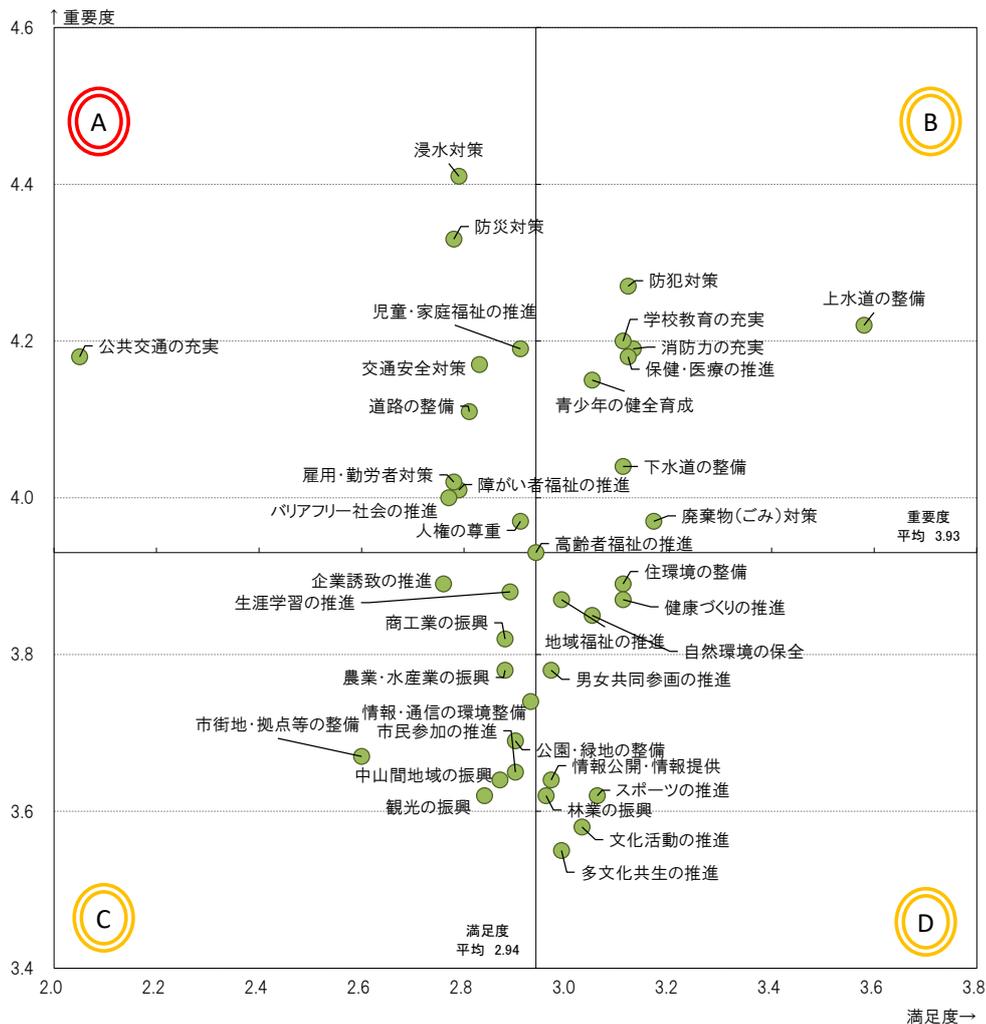
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 働く人がいきがいをもち働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)

《東部》

朝田町、立田町、和屋町、上七見町、下七見町、新屋敷町、古井町、西野々町、佐久米町、大宮田町、井口中町、腹太町、六根町、保津町、魚見町、新開町、川島町、東久保町、西黒部町、松名瀬町、高須町、東黒部町、柿木原町、土古路町、出間町、大垣内町、蓮花寺町、神守町、牛草町、垣内田町、乙部町、早馬瀬町、目田町、横地町、法田町、伊勢場町、稲木町、高木町、山添町、安楽町、山下町、豊原町、櫛田町、清水町、菅生町

満足度と重要度の関係

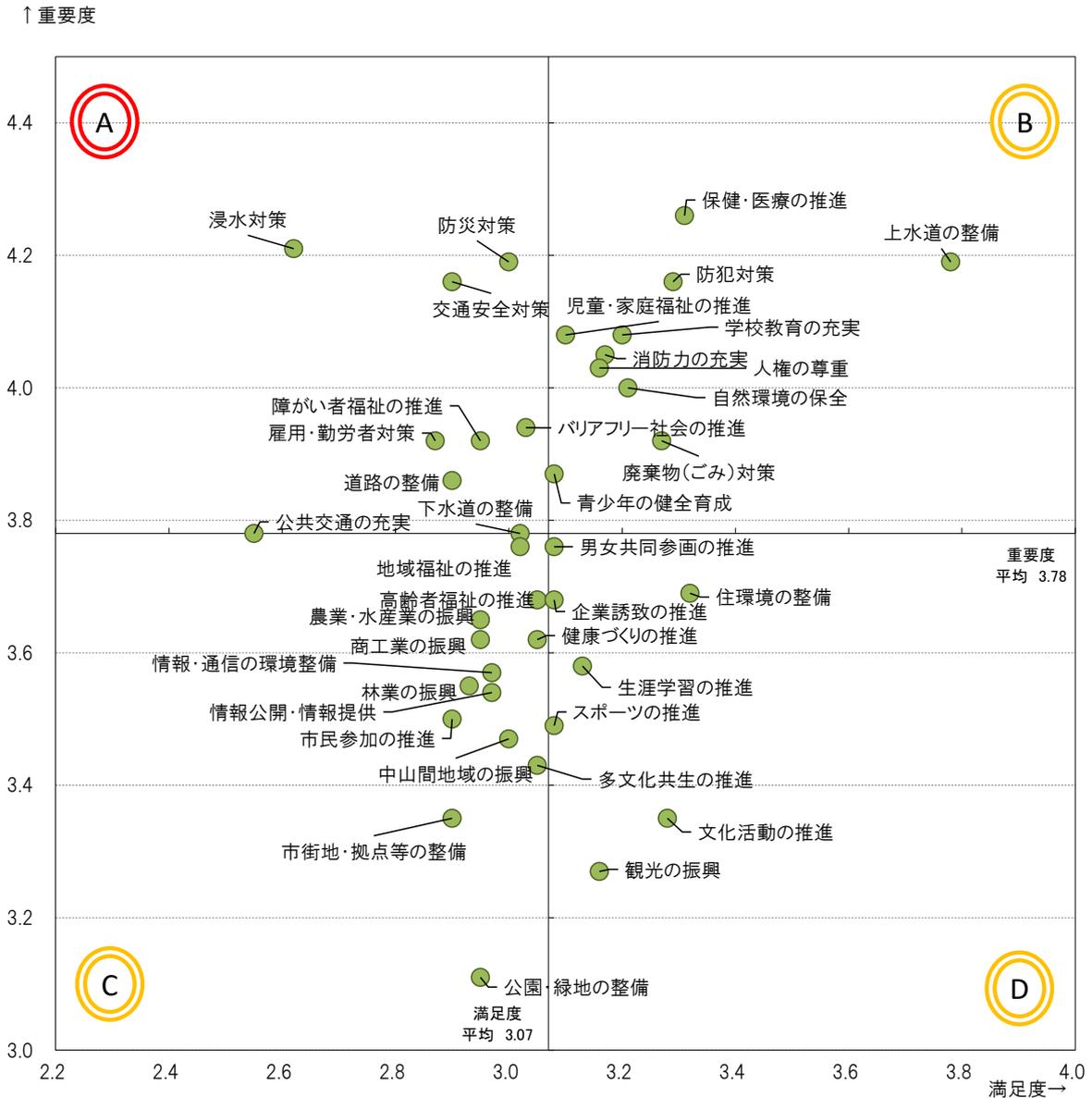


- A** 最重点項目(市民が優先して求めている施策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
 - 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
 - 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
 - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
 - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
 - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
 - 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
 - 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
 - すべての人が安全で安心して生活できるパリアフリー社会の実現(パリアフリー社会の推進)
 - 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)
 - お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)

《南部》

六呂木町、小片野町、大石町、茅原町、広瀬町、御麻生園町、庄町、阿波曾町、射和町、中万町、八太町、上蛸路町、下蛸路町

満足度と重要度の関係



- A** 最重点項目(市民が優先して求めている施策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
 - 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
 - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
 - 働く人がいきがいをもち働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
 - 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
 - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
 - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
 - 生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)
 - すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)

《西部》

伊勢寺町、八重田町、深長町、岩内町、野村町、殿村町、日丘町、大足町、阿形町、藤之木町、岡本町、立野町、丹生寺町、西野町、岡山町、平成町、小野町、大阿坂町、小阿坂町、美濃田町、柚原町、後山町、飯福田町、与原町、桂瀬町、笹川町、大河内町、矢津町、勢津町、辻原町、阪内町

満足度と重要度の関係



A 最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)

《嬉野管内》

満足度と重要度の関係



A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
- 働く人がいきがいて働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)

≪三雲管内≫

満足度と重要度の関係



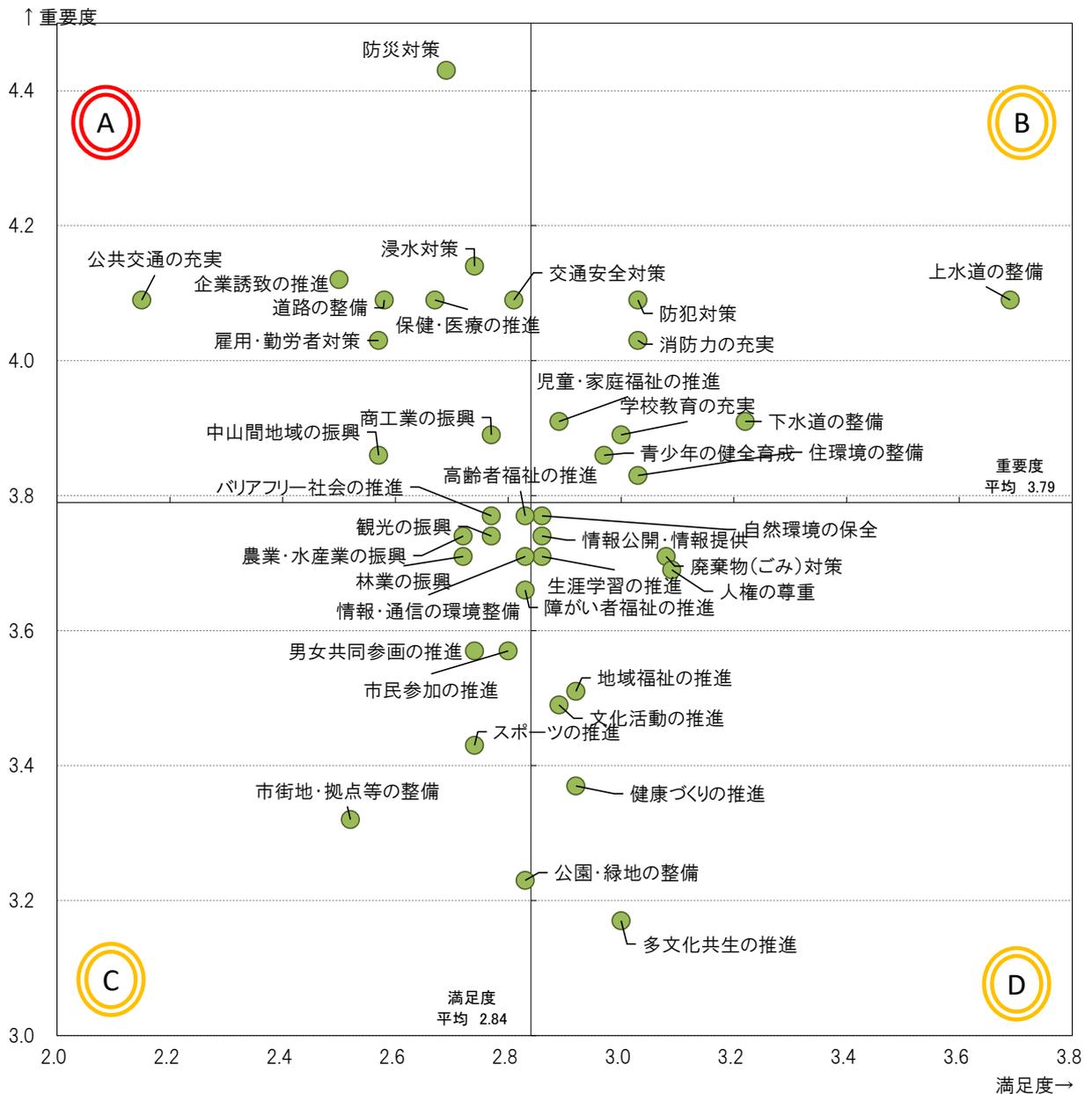
A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)

「飯南管内」

満足度と重要度の関係



A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

＜飯高管内＞

満足度と重要度の関係



A

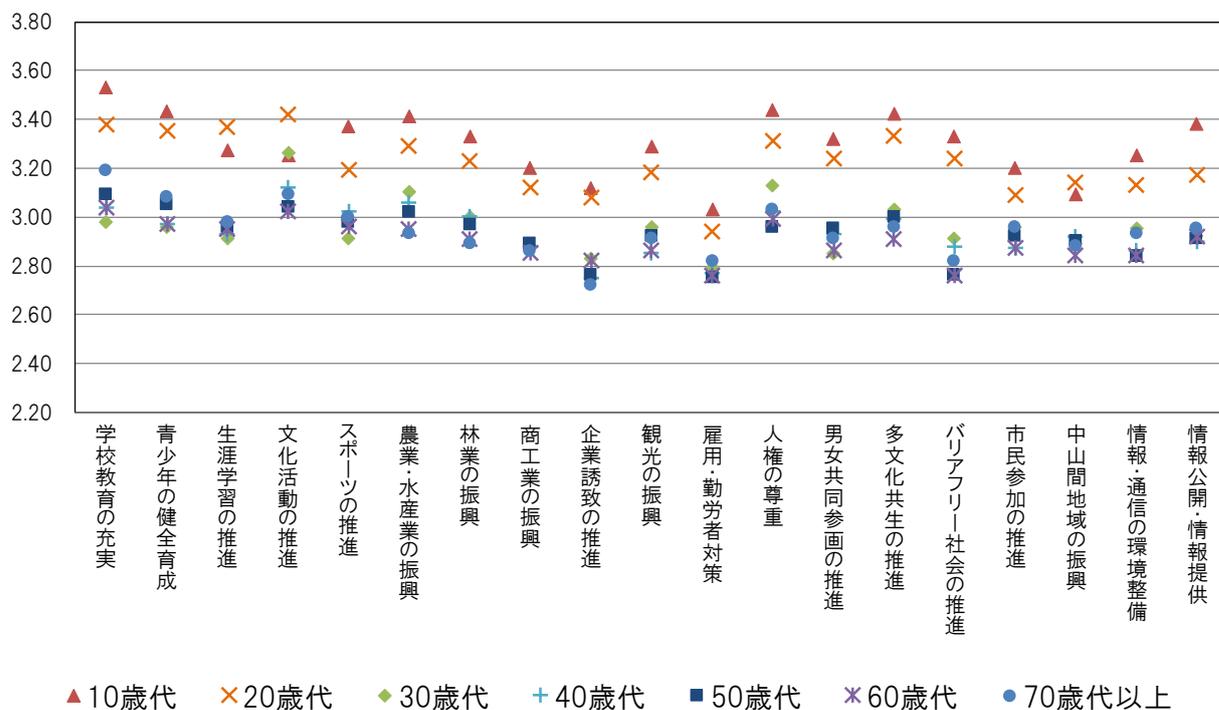
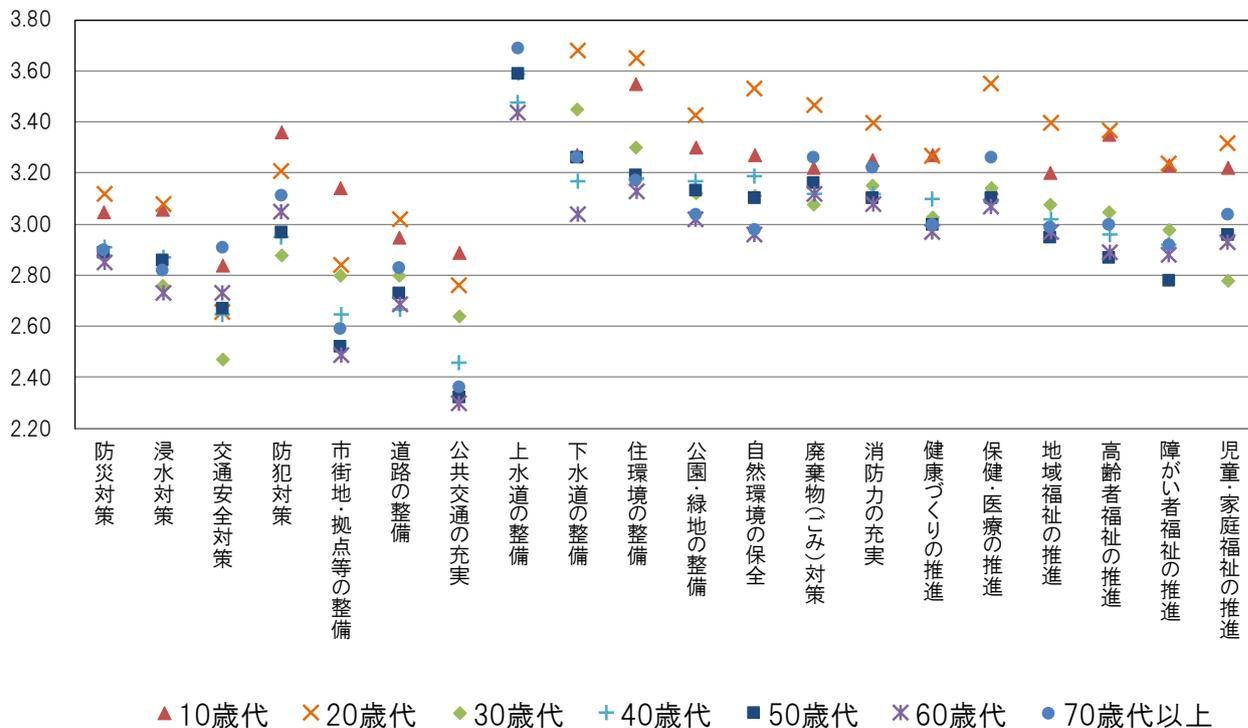
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)
- 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)
- 森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

年代別にみた 39 項目の満足度と重要度は以下のとおりである。

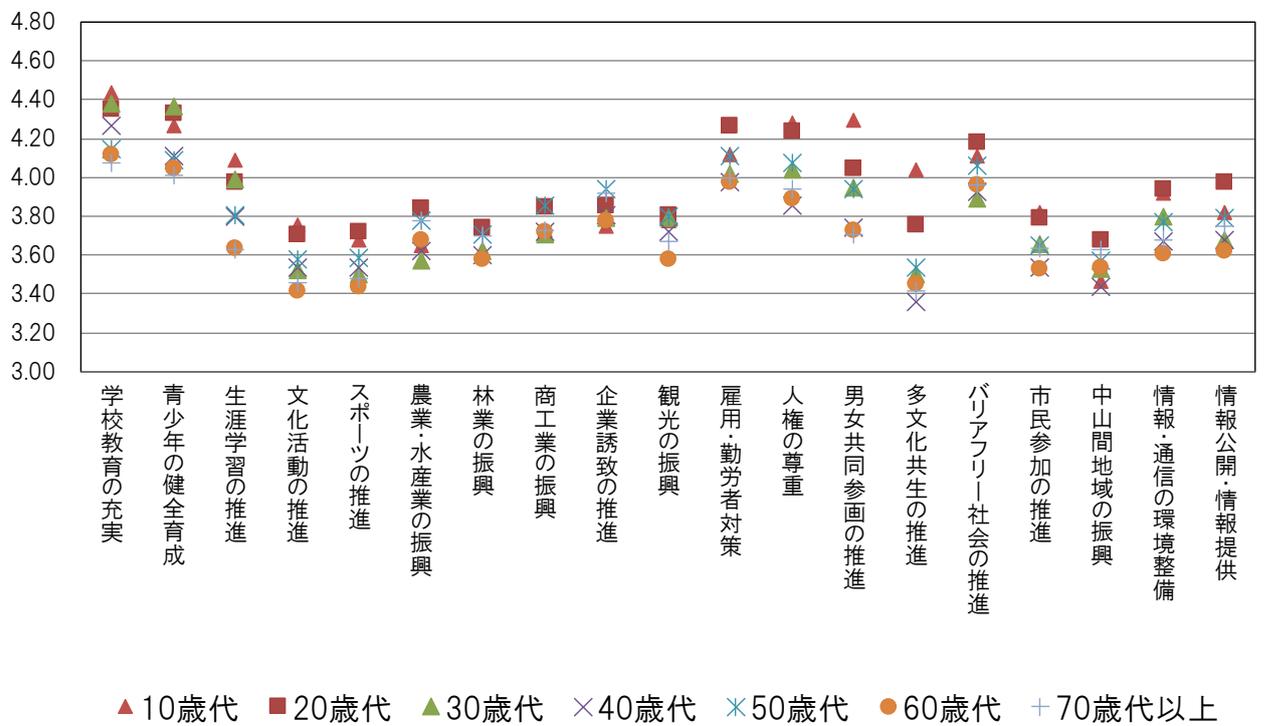
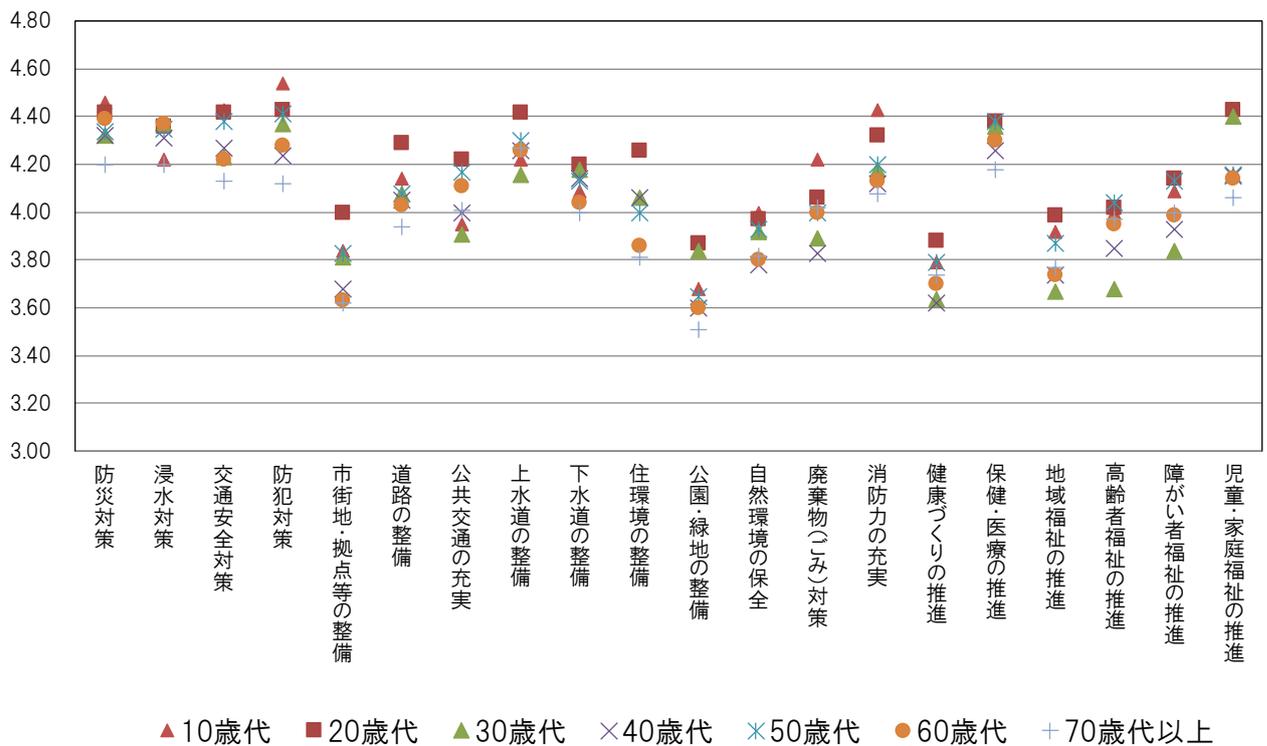
《年代別 満足度》

問 6 年代別 満足度



《年代別 重要度》

問6 年代別 重要度



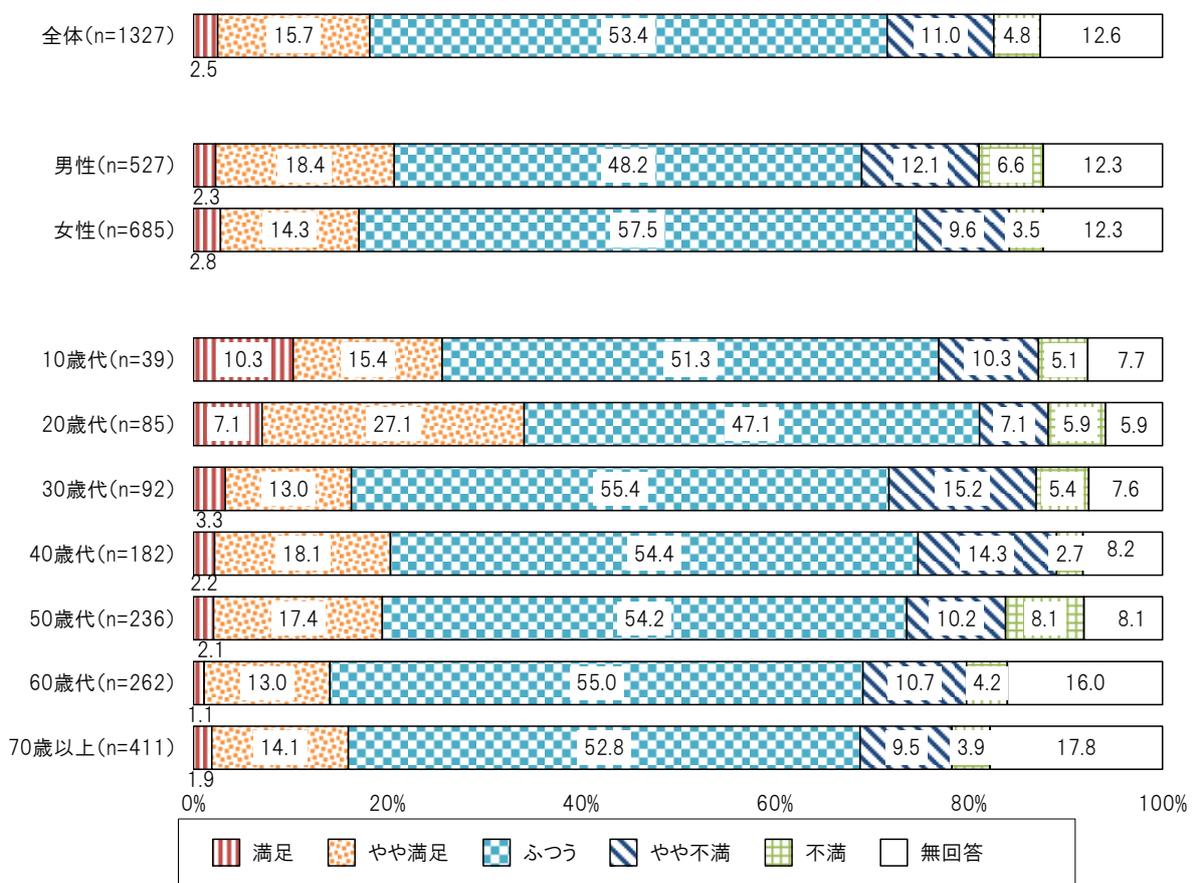
問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

「ふつう」が53.4%と最も高く、次いで「やや満足」が15.7%、「やや不満」が11.0%となっている。

性別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は、男性が20.7%、女性が17.1%で男性の方が女性よりも3.6ポイント高くなっている。

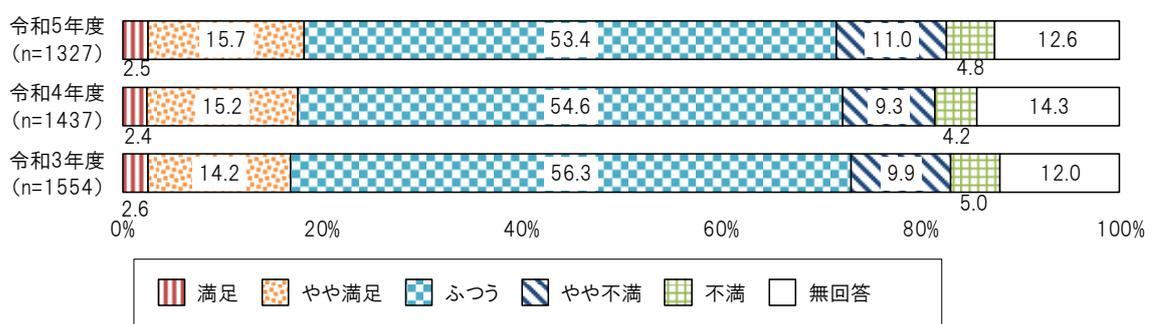
年代別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は20歳代で最も高く34.2%となっており、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では、20%を下回っている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



前回と比較すると、「満足」「やや満足」の合計の割合は前회가17.6%であったのに対し今回は18.2%と0.6ポイント高くなっている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



松阪市の個々の課題

1. 広報全般について

問8 松阪市の情報は主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

「広報まつさか」が74.9%と最も高く、次いで「自治会などの回覧」が49.3%、「新聞」が26.8%となっている。

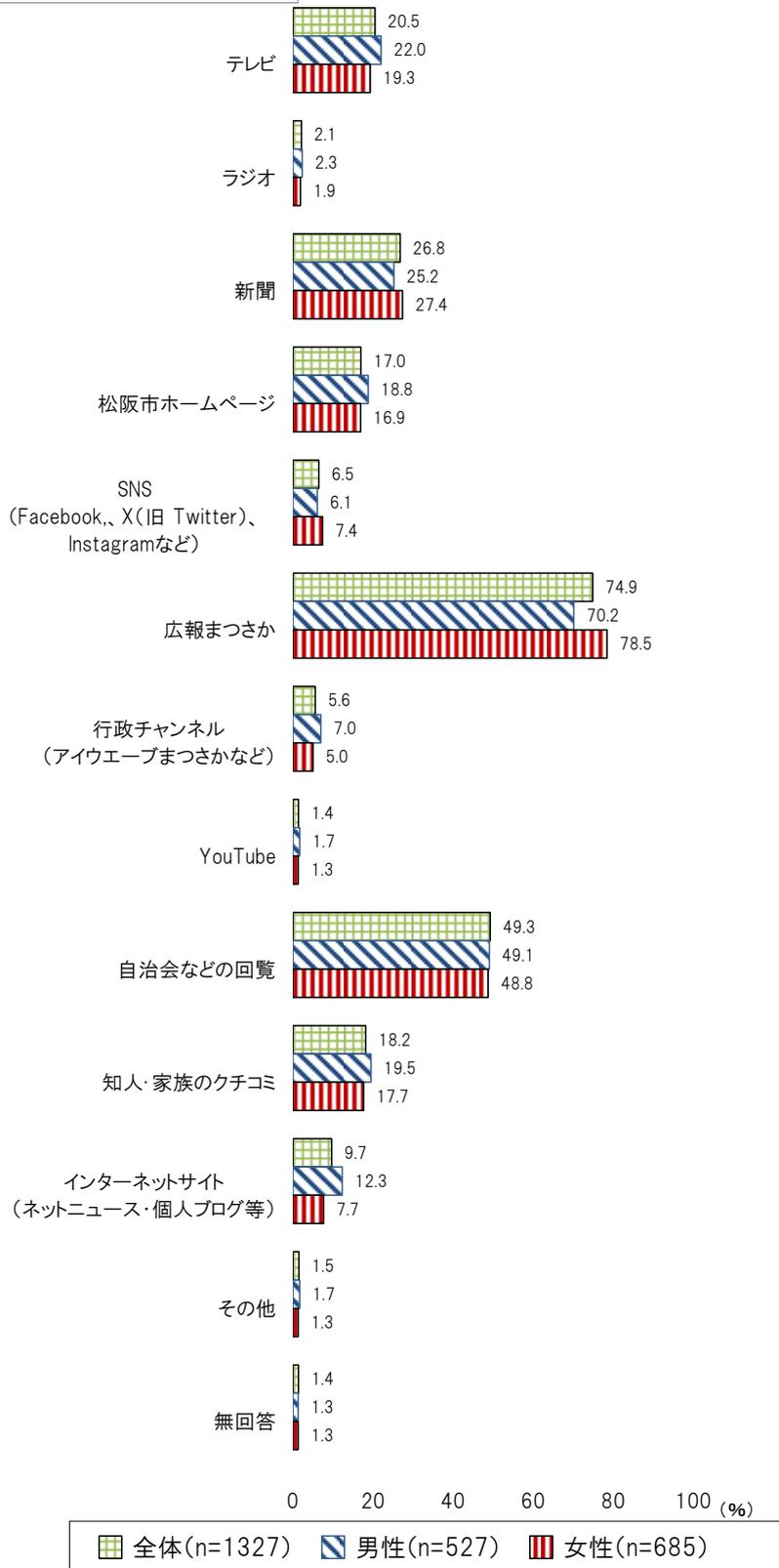
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「広報まつさか」「自治会などの回覧」「新聞」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「広報まつさか」は女性の方が8.3ポイント高く、「インターネットサイト（ネットニュース・個人ブログ等）」は男性の方が4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は、10歳代以外は「広報まつさか」であり、10歳代では「知人・家族のクチコミ」となっている。10歳代では「広報まつさか」は3番目以内に入ってきていない。「新聞」は60歳代以上では3番目に入ってくるものの50歳代以下では3番目以内に入ってきていない。10歳代、20歳代では「テレビ」が3番目以内に入っている。

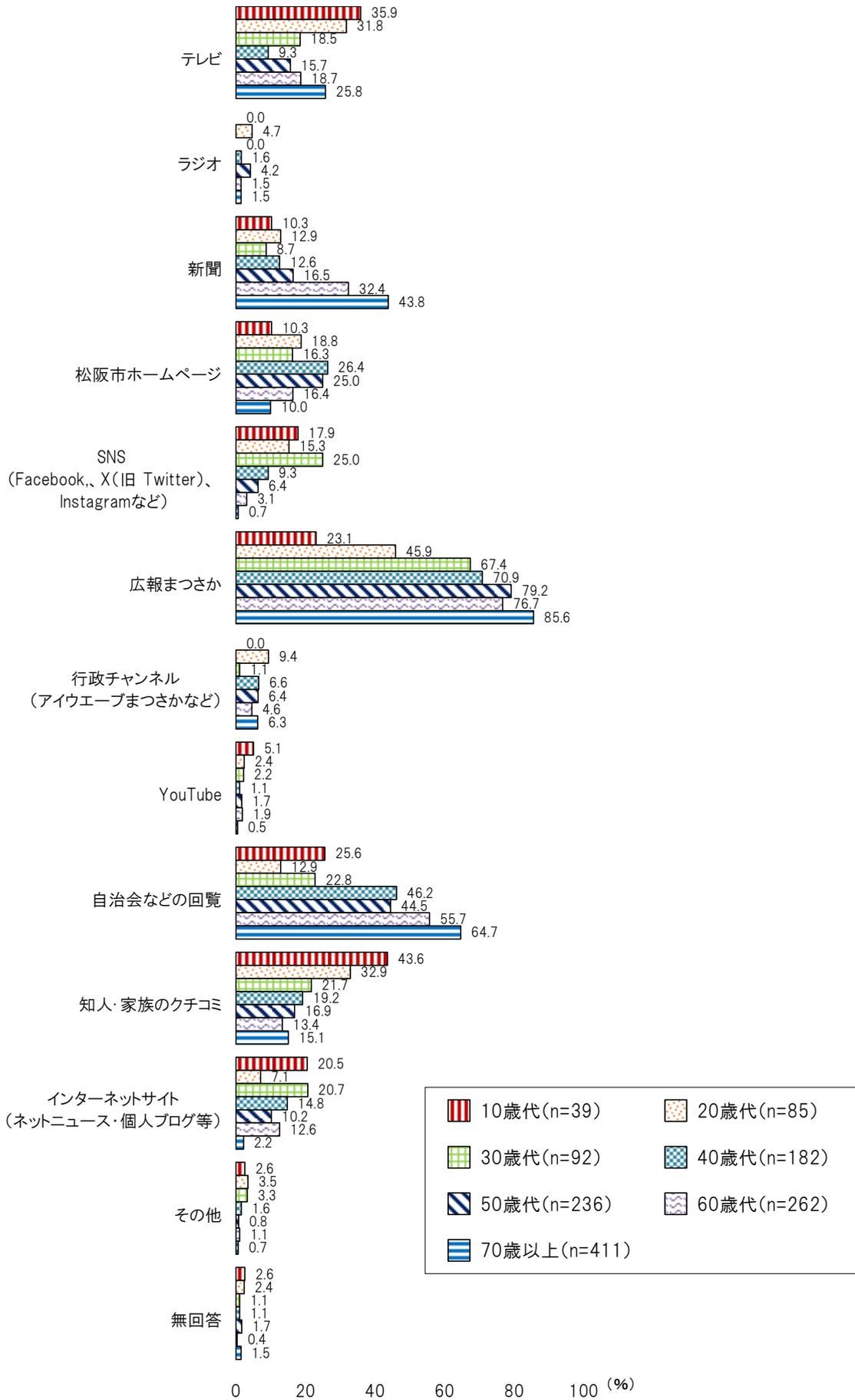
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	知人・家族のクチコミ	43.6%	テレビ	35.9%	自治会などの回覧	25.6%
20歳代	広報まつさか	45.9%	知人・家族のクチコミ	32.9%	テレビ	31.8%
30歳代	広報まつさか	67.4%	SNS (Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram など)	25.0%	自治会などの回覧	22.8%
40歳代	広報まつさか	70.9%	自治会などの回覧	46.2%	松阪市ホームページ	26.4%
50歳代	広報まつさか	79.2%	自治会などの回覧	44.5%	松阪市ホームページ	25.0%
60歳代	広報まつさか	76.7%	自治会などの回覧	55.7%	新聞	32.4%
70歳以上	広報まつさか	85.6%	自治会などの回覧	64.7%	新聞	43.8%

問8 松阪市の情報の入手方法



問8 松阪市の情報の入手方法



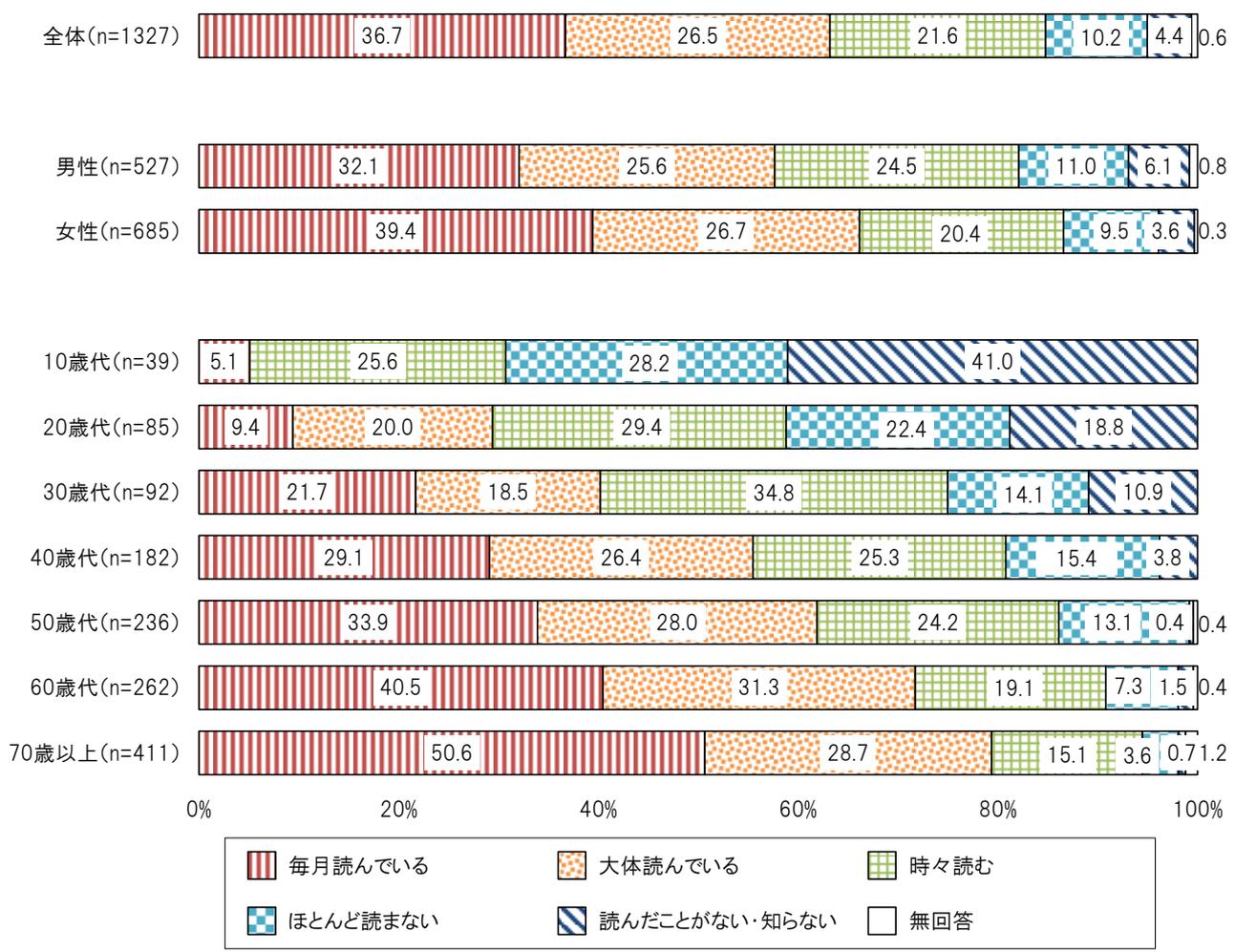
問9 広報まつさかを読んでいますか。(○は1つだけ)

「毎月読んでいる」が36.7%と最も高く、次いで「大体読んでいる」が26.5%、「時々読む」が21.6%となっている。

性別にみると、「毎月読んでいる」は女性で39.4%であるのに対し、男性では32.1%と、女性の方が7.3ポイント多くなっている。

年代別にみると、「毎月読んでいる」は年齢が高いほど割合が高くなっており、70歳以上では50.6%となっている。一方、10歳代で「読んだことがない・知らない」が最も多くなっており、「読んだことがない・知らない」「ほとんど読まない」の合計の割合をみると10歳代で69.2%、20歳代で41.2%となっている。

問9 「広報まつさか」を読んでいるか



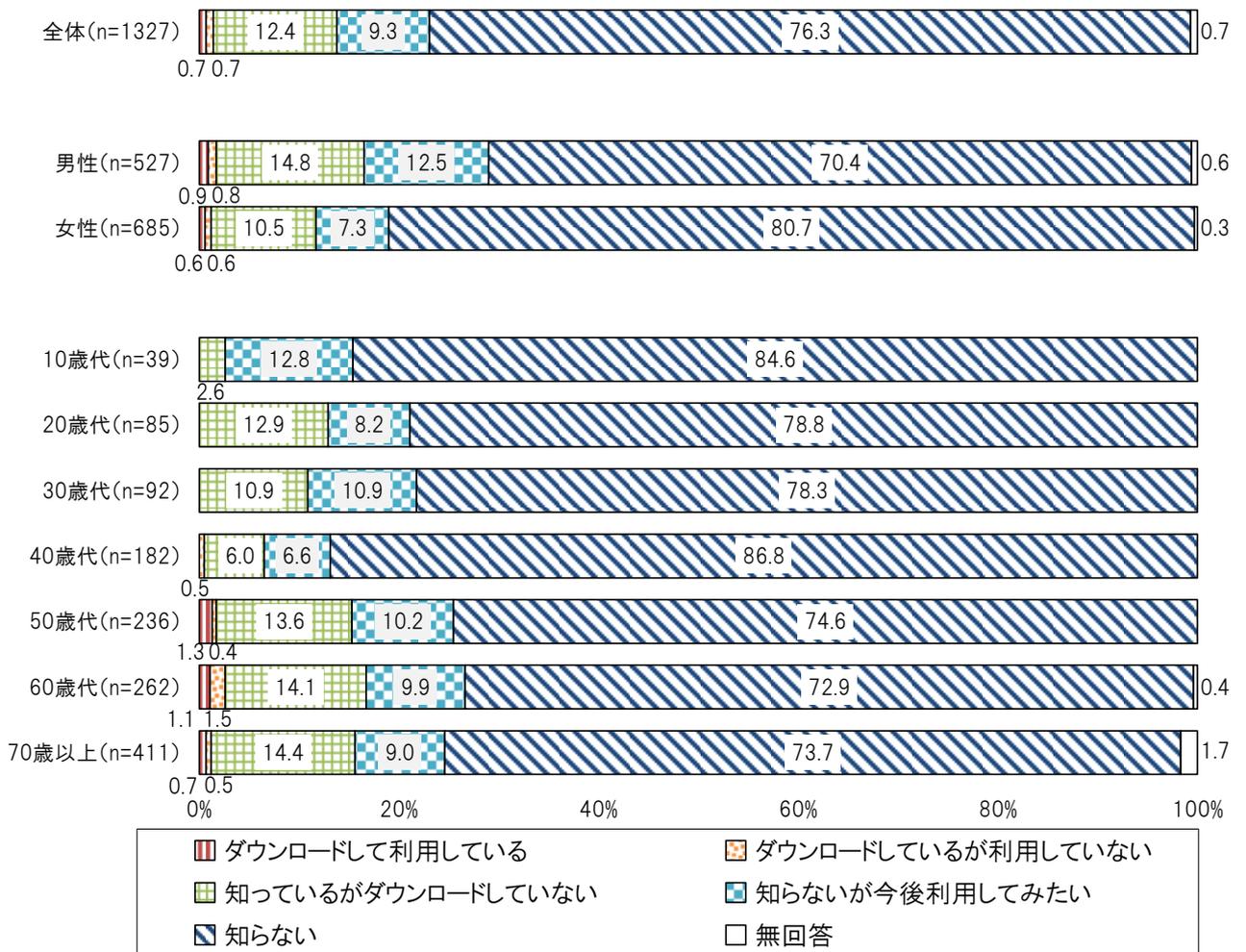
問10 「広報まつさか」の電子版・多言語音訳アプリ「カタログポケット」を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」が76.3%と最も高く、次いで「知っているがダウンロードしていない」が12.4%、「知らないが今後利用してみたい」が9.3%となっている。

性別にみると、「知らない」は女性で80.7%であるのに対し、男性では70.4%と、女性の方が10.3ポイント多くなっている。

年代別にみると、「知らない」がいずれの年代でも最も高く、10歳代、40歳代で80%を超えている。一方、「知っているがダウンロードしていない」は60歳代で14.1%、70歳代で14.4%と他の年代に比べて高くなっている。

問10 「広報まつさか」の電子版・多言語音訳アプリ「カタログポケット」を知っているか



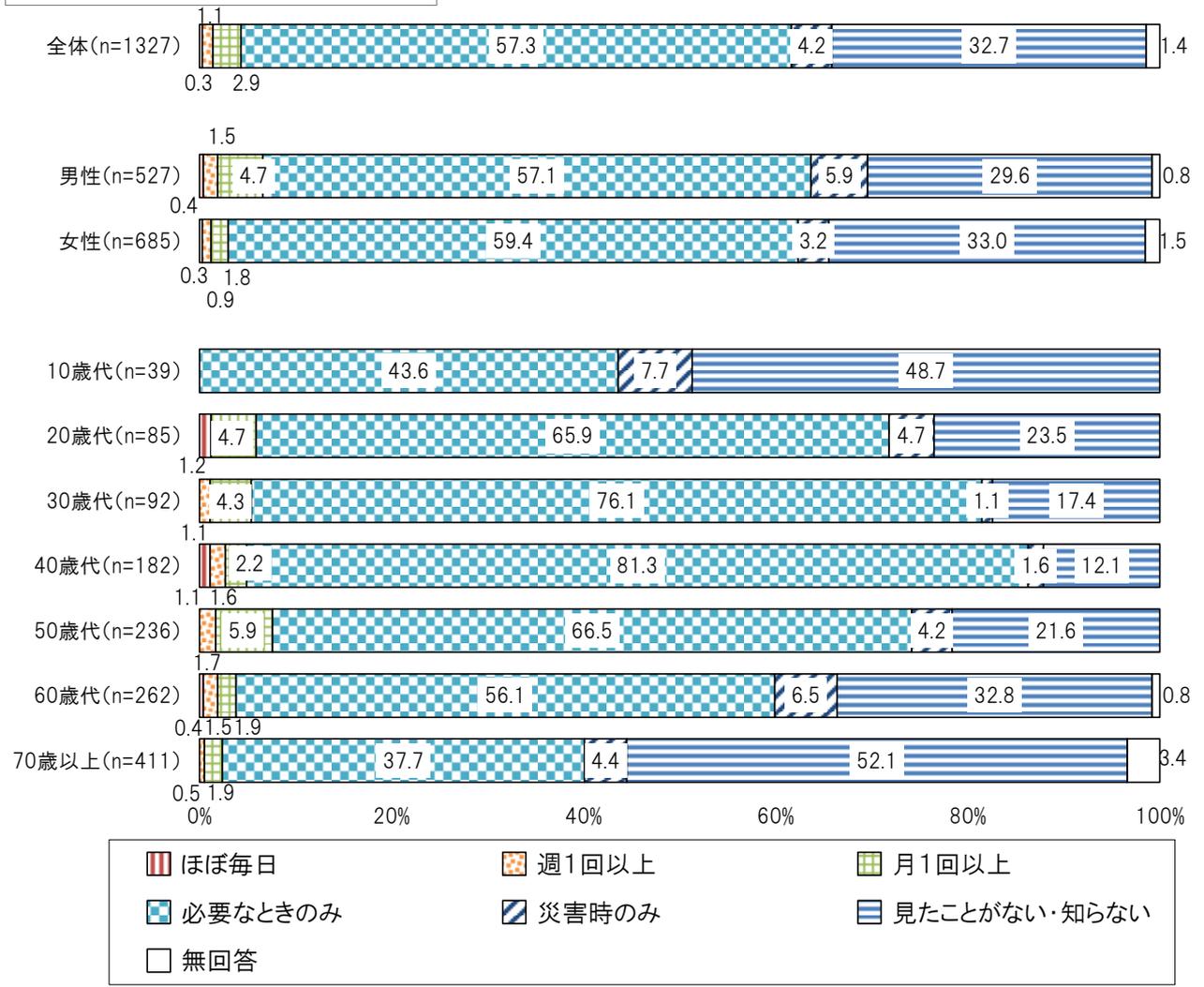
問 11 松阪市ホームページを利用していますか。(○は1つだけ)

「必要と時のみ」が57.3%と最も高く、次いで「見たことがない・知らない」が32.7%、「災害時のみ」が4.2%となっている。

性別にみると、「必要と時のみ」の割合は女性の方が男性より2.3ポイント高いものの極端な差はなくほぼ同割合となっている。

年代別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は、30歳代、40歳代で20%を下回っており、一方で、10歳代で48.7%、70歳以上で52.1%となっており、それぞれ4割を超えている。

問 11 松阪市ホームページの利用状況



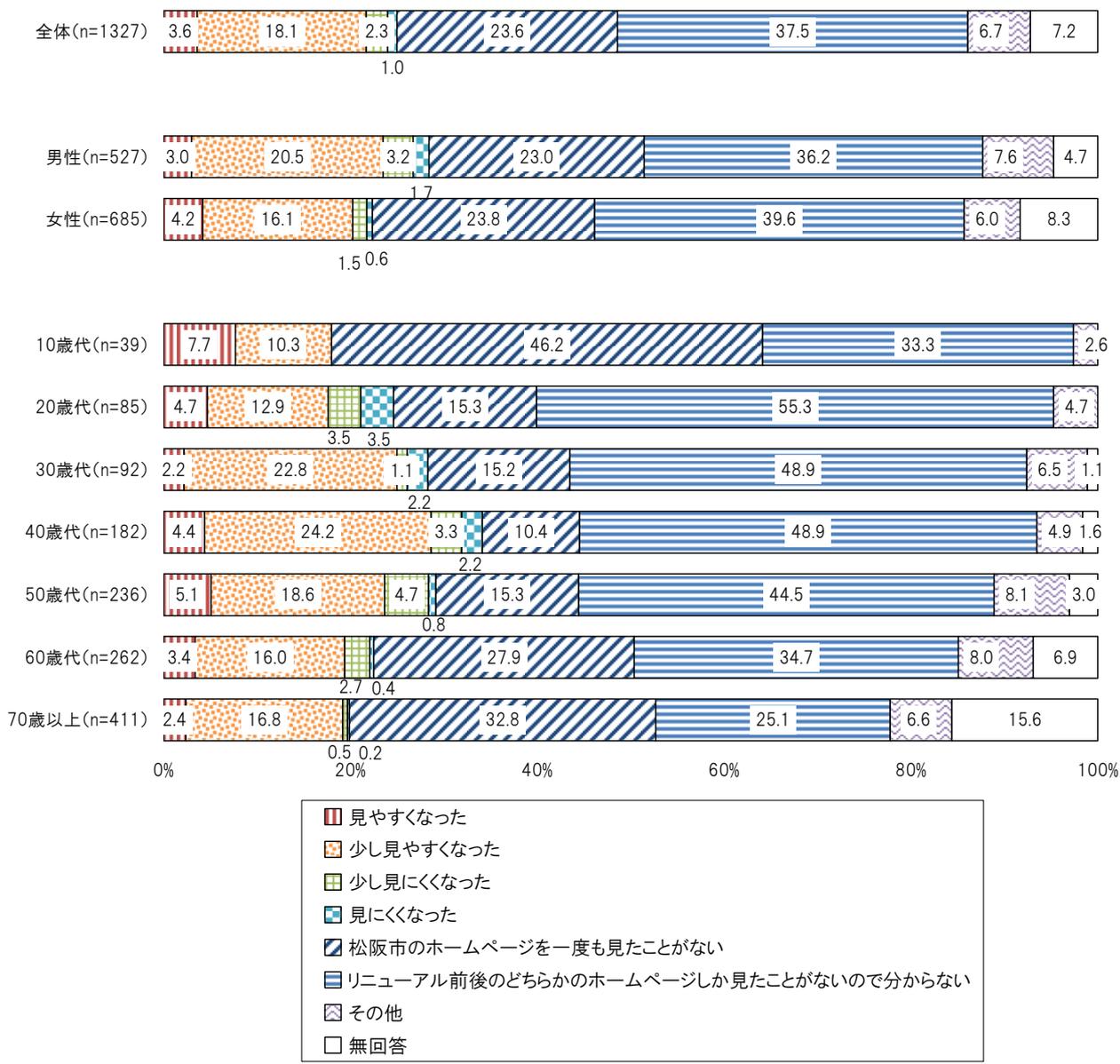
問12 松阪市ホームページは令和5年2月にリニューアルを行いました。リニューアル前と比べ、現在のホームページは見やすくなりましたか。(〇は1つだけ)

「リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない」が37.5%と最も高く、次いで「松阪市のホームページを一度も見たことがない」が23.6%、「少し見やすくなった」が18.1%となっている。

性別にみると、「リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない」の割合は女性で39.6%、男性で36.2%と、女性の方が男性より3.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない」の割合は、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で40%を上回っており、一方で、10歳代では「松阪市のホームページを一度も見たことがない」の割合が最も高く46.2%となっている。

問12 リニューアル(令和5年2月)後のホームページの見やすさ



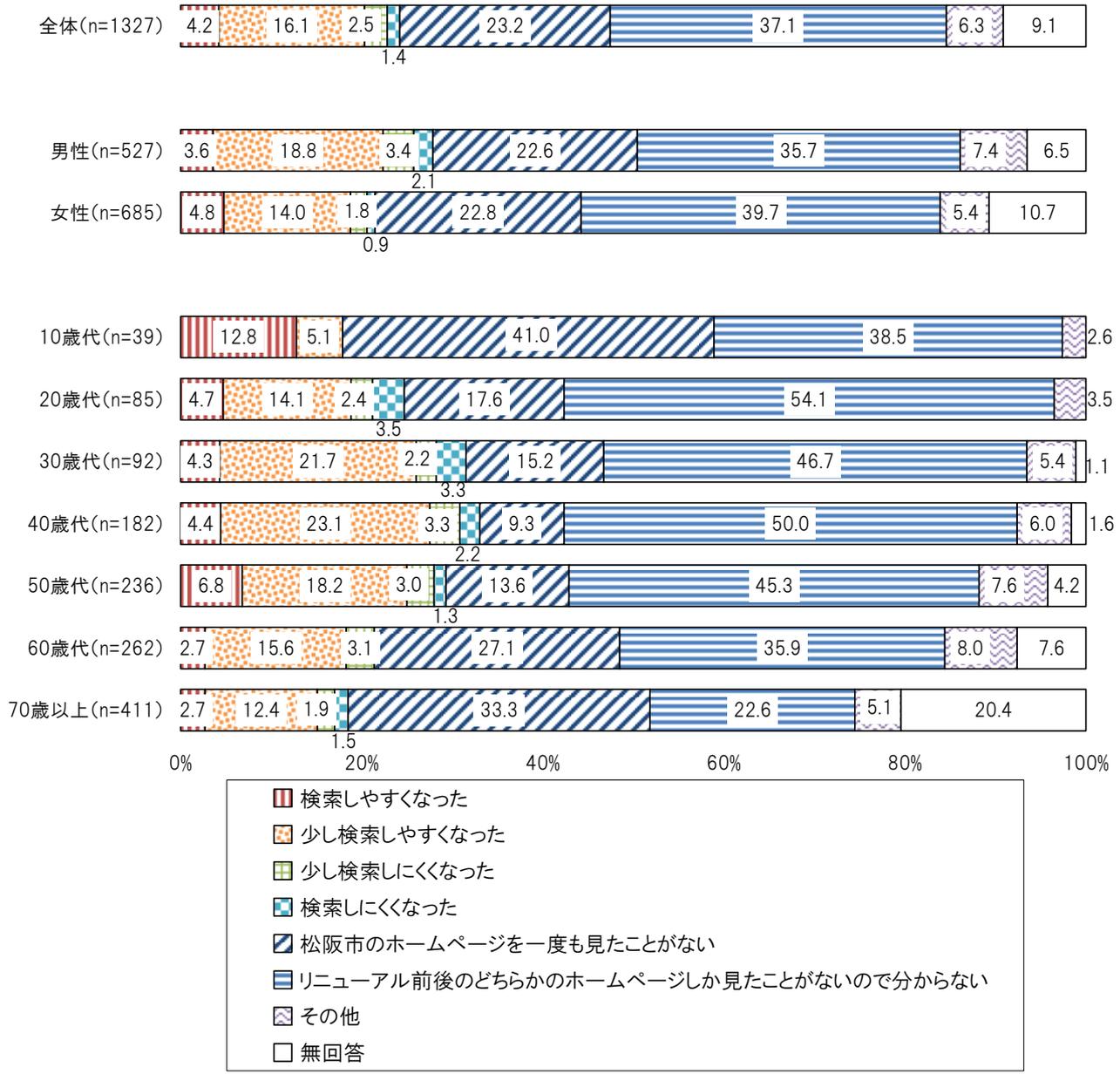
問13 リニューアル前と比べ、現在のホームページは検索しやすくなりましたか。(○は1つだけ)

「リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない」が37.1%と最も高く、次いで「松阪市のホームページを一度も見たことがない」が23.2%、「少し検索しやすくなった」が16.1%となっている。

性別にみると、「リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない」が女性で39.7%、男性で35.7%と、女性の方が男性より4.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない」が20歳代で54.1%、40歳代で50.0%と半数を超えている。一方で、「松阪市のホームページを一度も見たことがない」が10歳代で41.0%、70歳以上で33.3%と、それぞれ3割を超えている。

問13 リニューアル前と比べたホームページの検索のしやすさ



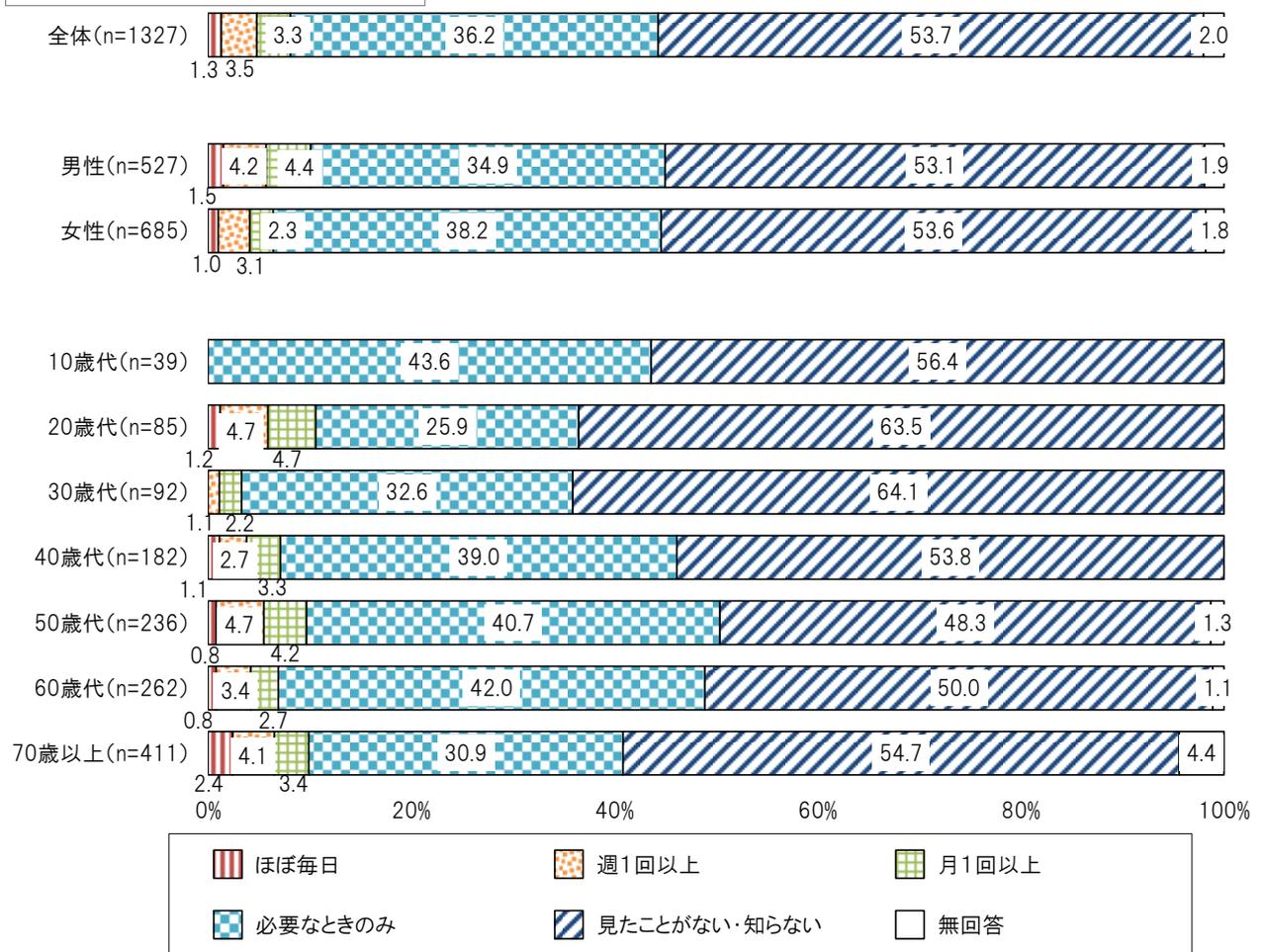
問 14 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。（○は1つだけ）

「見たことがない・知らない」が53.7%と最も高く、次いで「必要なときのみ」が36.2%、「週1回以上」が3.5%となっている。

性別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は女性の方が男性より0.5ポイント高いものの、大きな差はみられない。「必要なときのみ」の割合は女性の方が男性より3.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「見たことがない・知らない」の割合は、50歳代を除く年代で5割を超えており、20歳代、30歳代で6割を超えている。

問14 行政チャンネルの視聴の有無



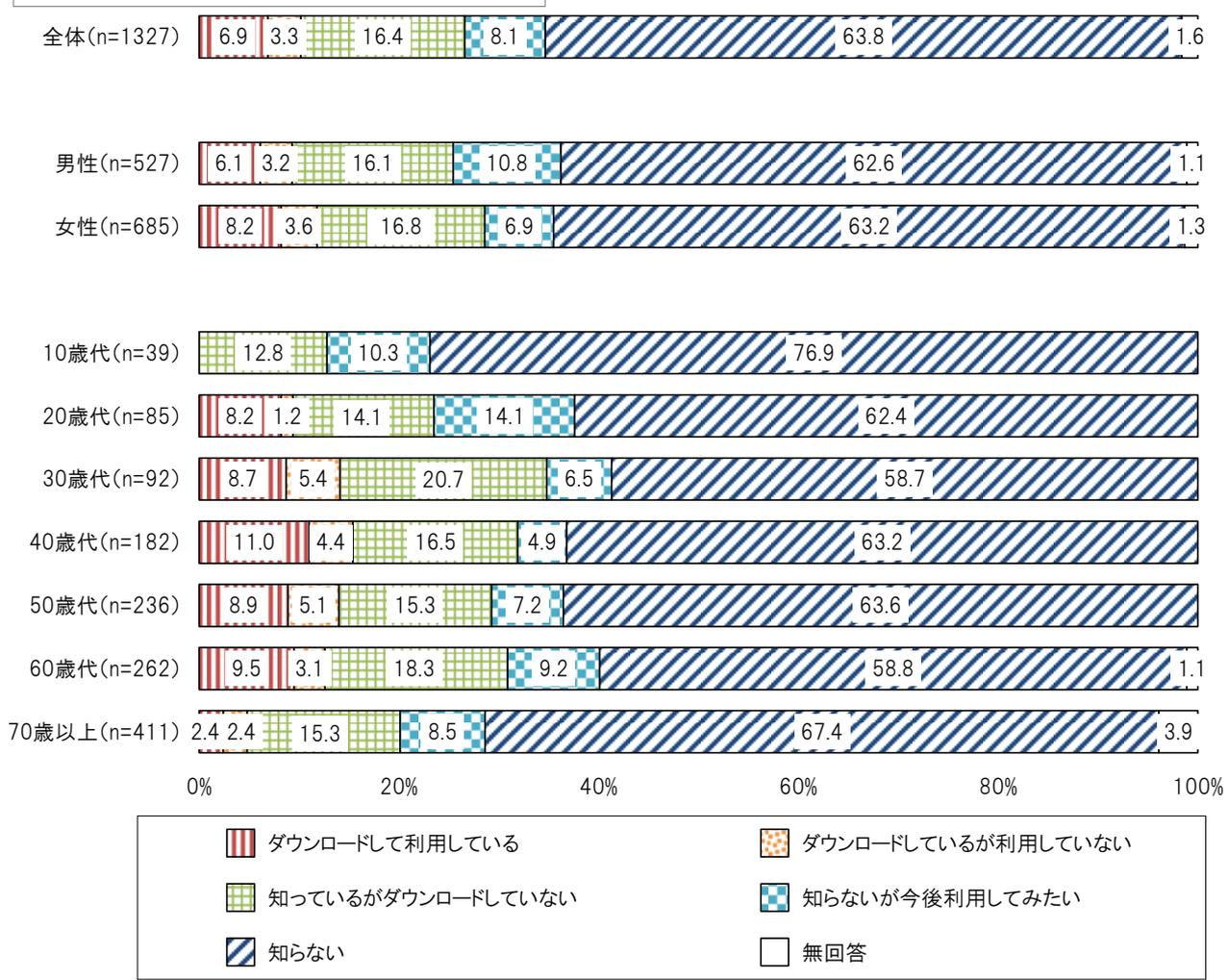
問 15 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」を知っていますか。(○は1つだけ)

「知らない」が63.8%と最も高く、次いで「知っているがダウンロードしていない」が16.4%、「知らないが今後利用してみたい」が8.1%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は女性の方が男性より0.6ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、「ダウンロードして利用している」の割合は、40歳代では1割を超え高くなっている。一方、10歳代、70歳以上では3%未満と低くなっている。

問 15 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」の認知状況



問 16 「松阪ナビ」で発信して欲しい情報は何ですか。（〇はいくつでも）

「イベント情報」が43.6%と最も高く、次いで「災害情報」が40.4%、「防災・安全情報」が39.0%となっている。

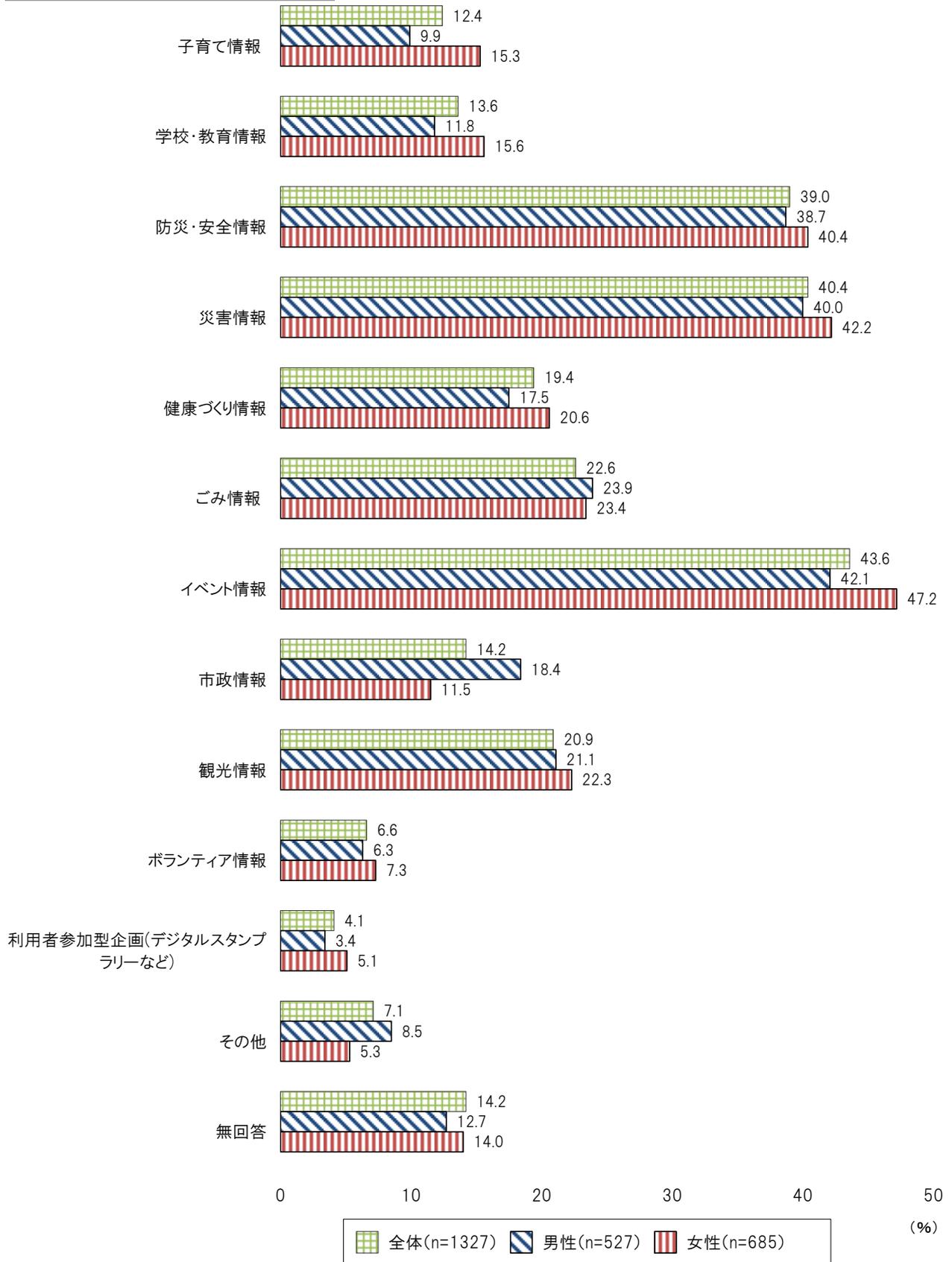
性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は男女とも同じで、「イベント情報」「災害情報」「防災・安全情報」であった。男女の間で差が大きかった項目は、男性の方が高かった項目として「市政情報」で6.9ポイント、「その他」で3.2ポイント高く、女性の方が高い項目として「子育て情報」で5.4ポイント、「イベント情報」で5.1ポイント高くなっている。

年代別にみると1番目の項目は、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「イベント情報」、60歳代では「災害情報」、70歳以上では「防災・安全情報」となっている。また、10歳代は2番目に「学校・教育情報」「防災・安全情報」「観光情報」「災害情報」が同率で入っており、30歳代では2番目に「子育て情報」が入ってきている。

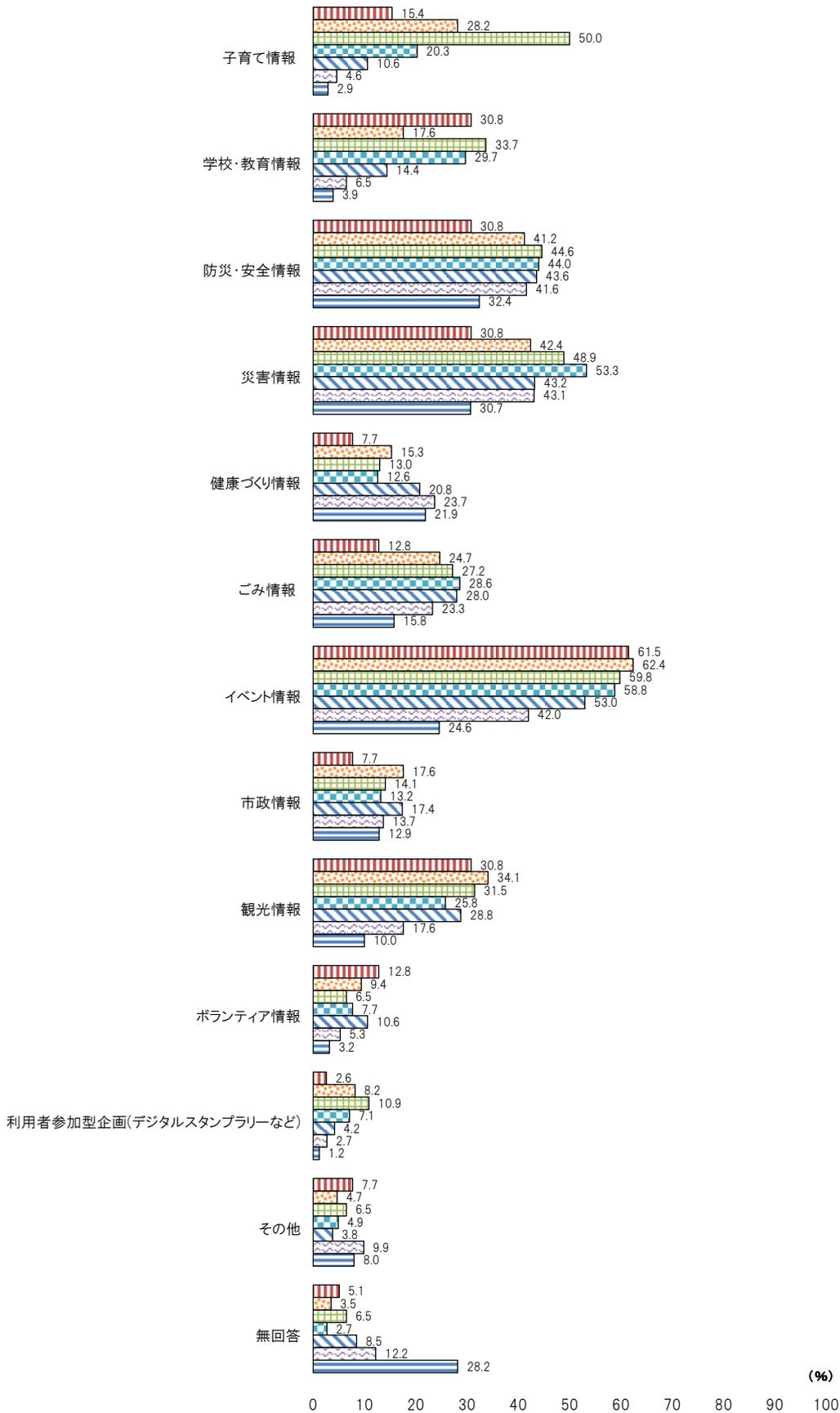
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
10歳代	イベント情報	61.5%	学校・教育情報	30.8%	子育て情報	15.4%
			防災・安全情報	30.8%		
			観光情報	30.8%		
			災害情報	30.8%		
20歳代	イベント情報	62.4%	災害情報	42.4%	防災・安全情報	41.2%
30歳代	イベント情報	59.8%	子育て情報	50.0%	災害情報	48.9%
40歳代	イベント情報	58.8%	災害情報	53.3%	防災・安全情報	44.0%
50歳代	イベント情報	53.0%	防災・安全情報	43.6%	災害情報	43.2%
60歳代	災害情報	43.1%	イベント情報	42.0%	防災・安全情報	41.6%
70歳以上	防災・安全情報	32.4%	災害情報	30.7%	イベント情報	24.6%

問16 松阪ナビで発信してほしい情報



問16 松阪ナビで発信してほしい情報



10歳代(n=39)
 20歳代(n=85)
 30歳代(n=92)
 40歳代(n=182)
 50歳代(n=236)
 60歳代(n=262)
 70歳以上(n=411)

2. シビックプライド(松阪というまちを愛し、誇りに思う心)について

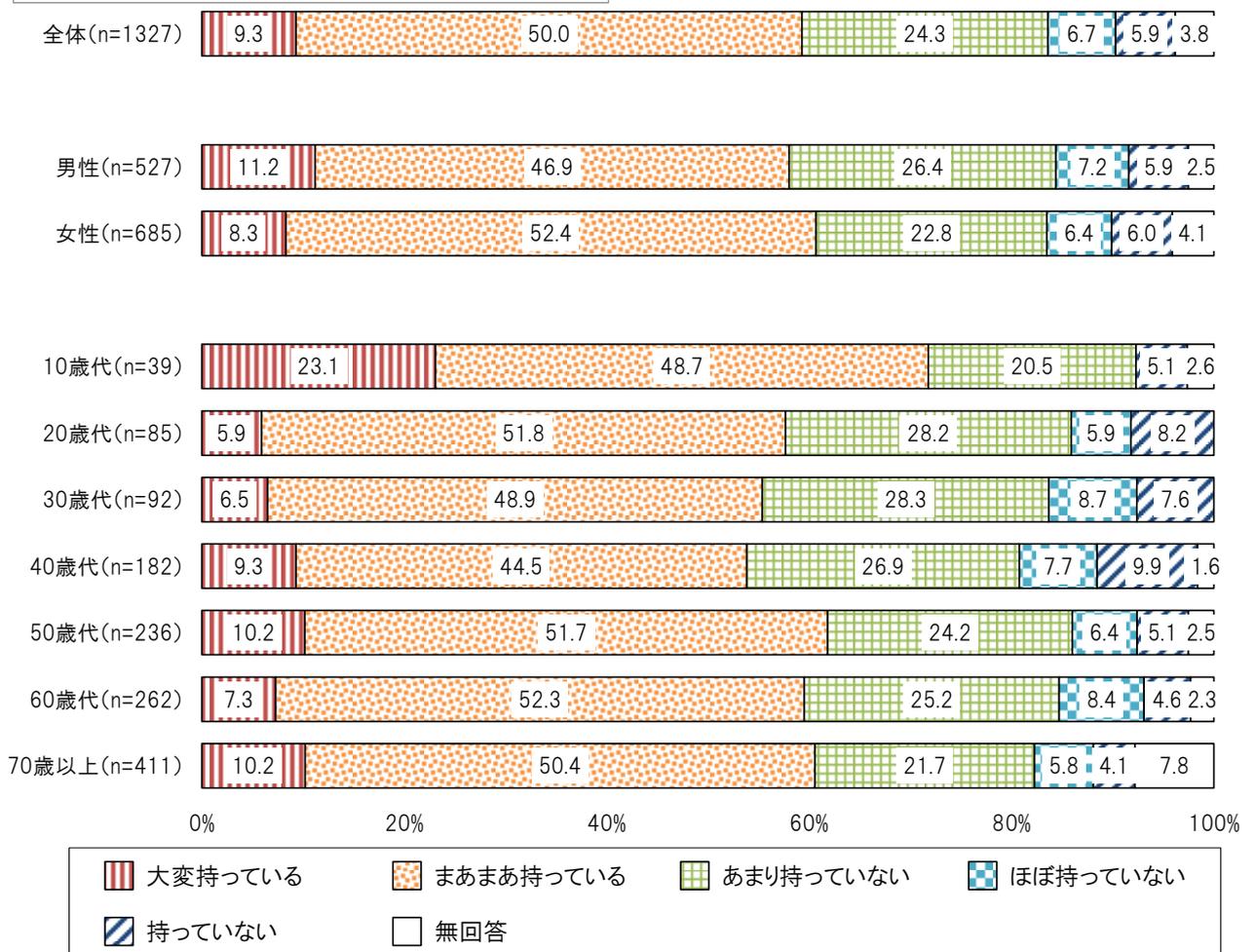
問 17 松阪市では、文化や歴史などの郷土教育を通じて、こどもたちの松阪市への愛着や誇りを育む教育を進めています。あなたは松阪市に対して愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか。（○は1つだけ）

「まあまあ持っている」が50.0%と最も高く、次いで「あまり持っていない」が24.3%、「大変持っている」が9.3%となっている。

性別にみると、「大変持っている」「まあまあ持っている」の合計の割合は、男性が58.1%、女性が60.7%で女性の方が男性より2.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「大変持っている」「まあまあ持っている」の合計の割合は、10歳代で7割を超えている。「大変持っている」の割合は10歳代で23.1%と最も高く、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代で1割以下と低くなっている。

問17 松阪というまちにシビックプライドを持っているか



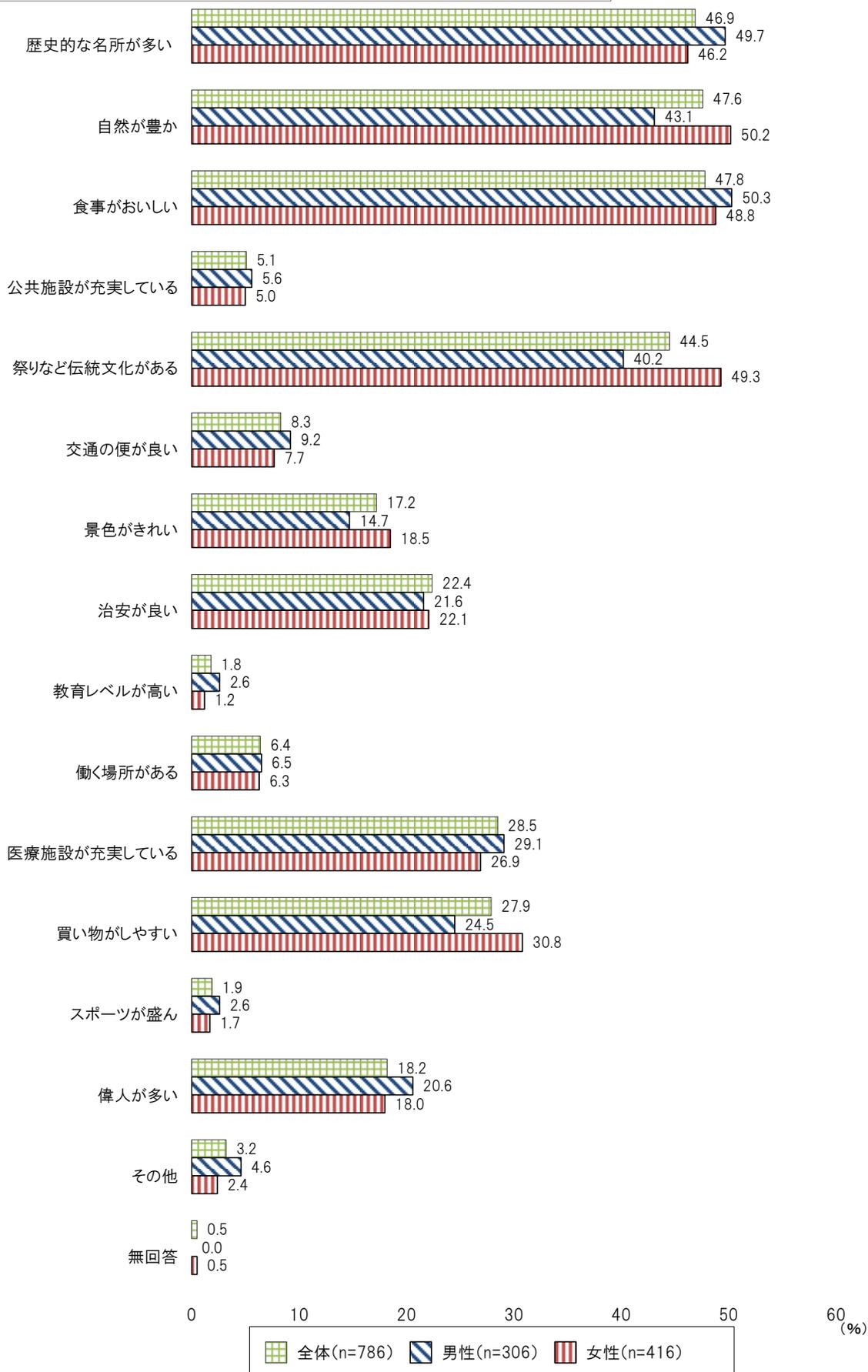
問 18 問 17 で「大変持っている」「まあまあ持っている」と答えた方にお尋ねします。
松阪市のどのようなところに愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか。
（〇はいくつでも）

「食事がおいしい」が 47.8%と最も高く、次いで「自然が豊か」が 47.6%、「歴史的な名所が多い」が 46.9%となっている。

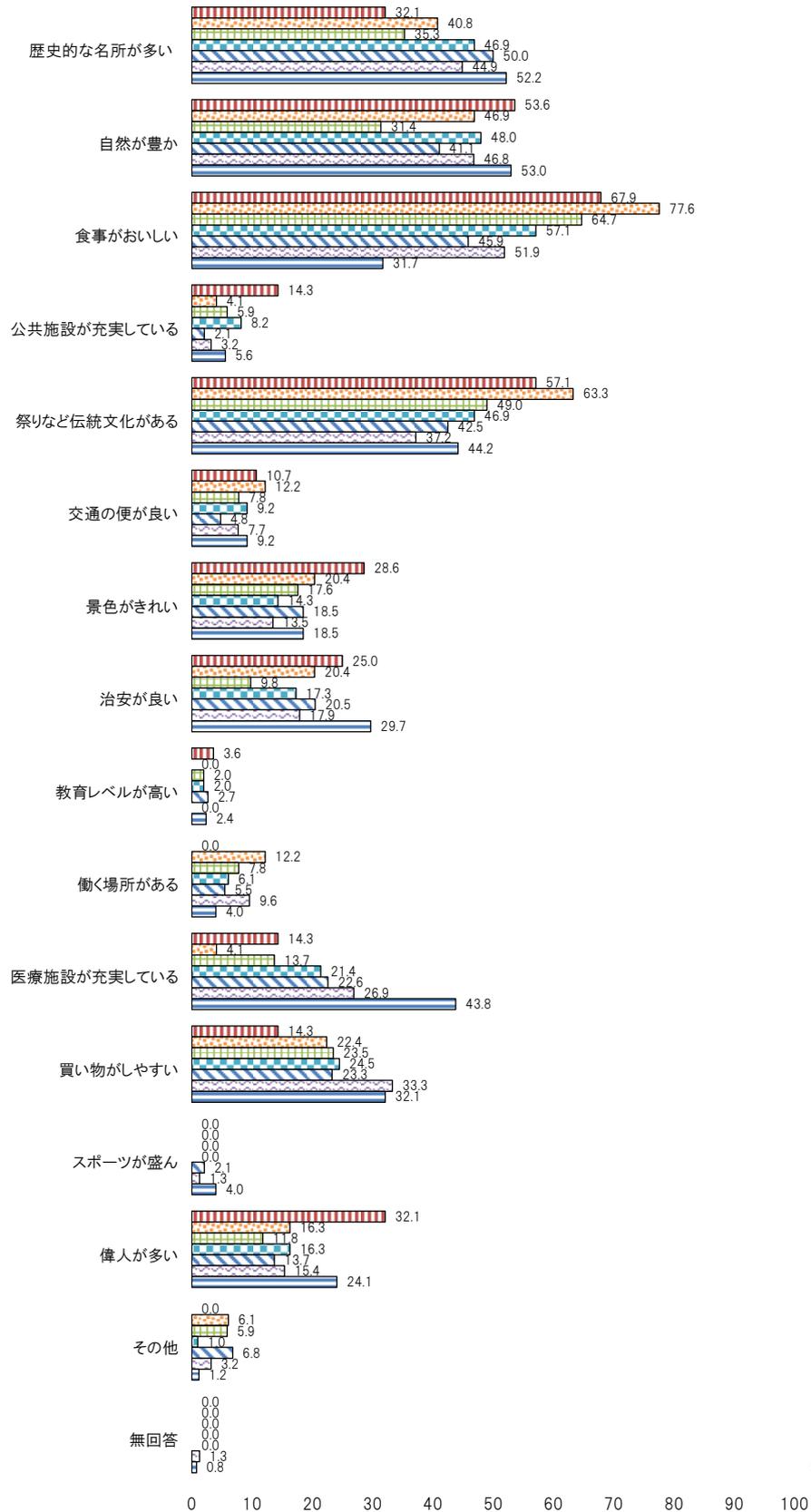
性別にみると、男女の間で差が大きかった項目は、「祭りなど伝統文化がある」が、男性で 40.2%、女性で 49.3%と女性の方が男性より 9.1 ポイント高くなっている。また、「自然が豊か」が女性で 50.2%、男性で 43.1%と女性の方が男性より 7.1 ポイント高くなっている。

年代別にみると 50 歳代、70 歳以上を除く年代で「食事がおいしい」が最も高くなっている。一方、50 歳代は「歴史的な名所が多い」、70 歳以上は「自然が豊か」が最も高くなっている。

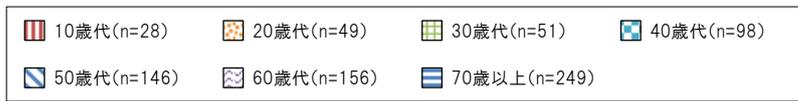
問18 松阪市のどのようなところに愛着・誇り(シビックプライド)を持っていますか
 (問17で「大変持っている」「まあまあ持っている」と答えた方)



問18 松阪市のどのようなところに愛着・誇り(シビックプライド)を持っていますか
(問17で「大変持っている」「まあまあ持っている」と答えた方)



(96)



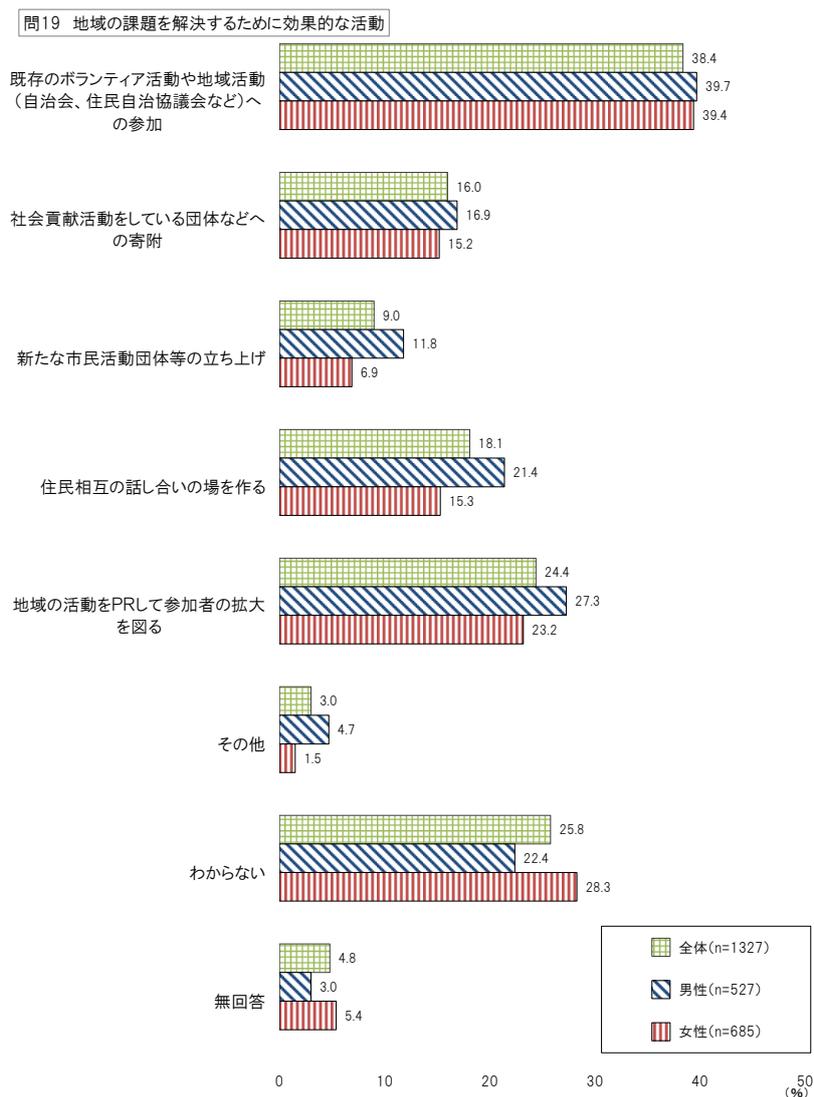
3. 地域社会で市民活動を支える仕組みについて

問 19 あなたが、もし地域の課題を解決するために何らかの活動をしようとする場合、どのような方法が効果的だと考えますか。（〇はいくつでも）

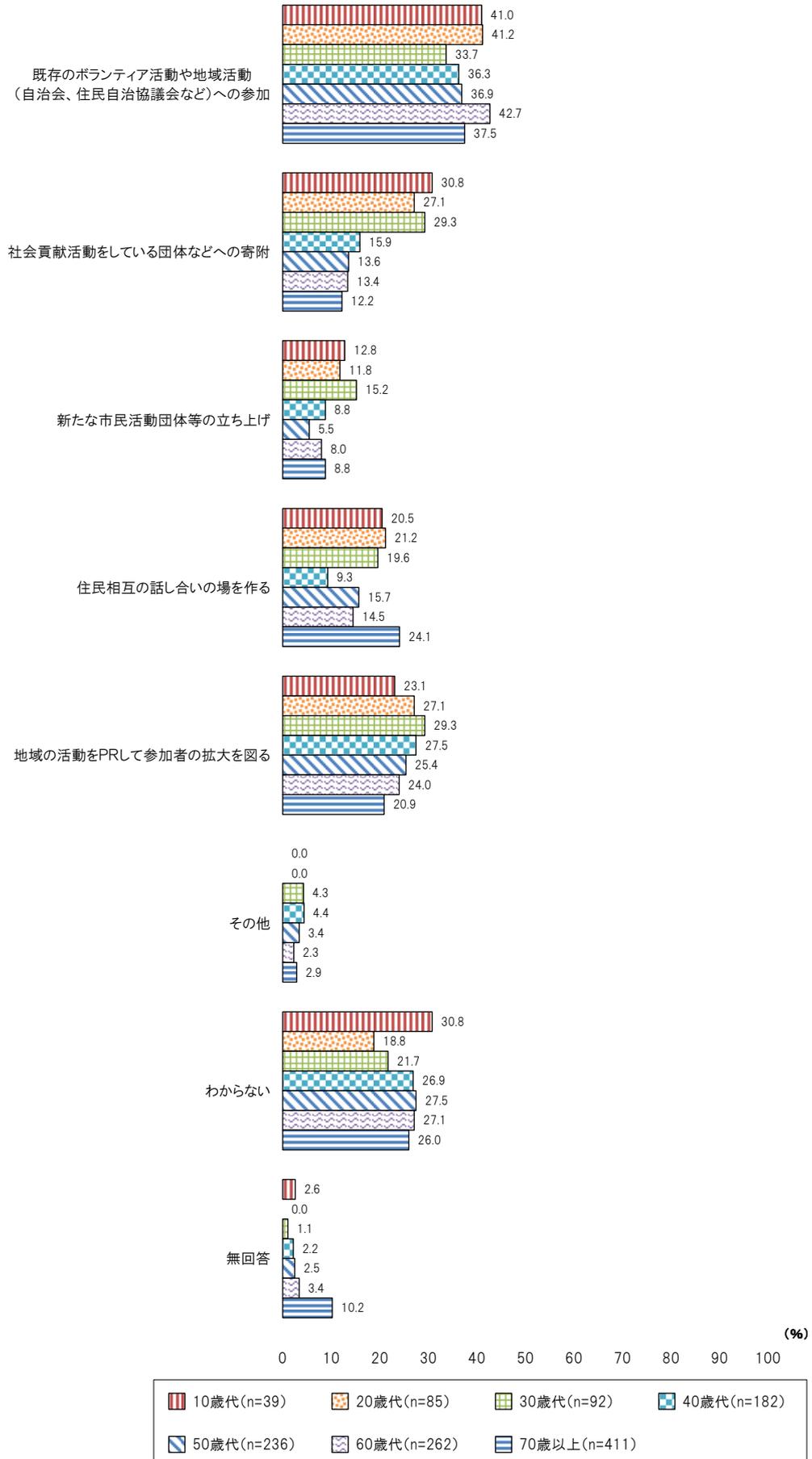
「既存のボランティア活動や地域活動への参加（自治会、住民自治協議会など）」が38.4%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「地域の活動をPRして参加者の拡大を図る」が24.4%となっている。

性別にみると、男女とも「既存のボランティア活動や地域活動への参加（自治会、住民自治協議会など）」の割合が最も高く、男女の間で差が大きかった項目は、「住民相互の話し合いの場を作る」が男性で21.4%、女性で15.3%と男性の方が女性より6.1ポイント高くなっている。

年代別にみると10歳代、20歳代、30歳代がほかの年代に比べ「社会貢献活動をしている団体などへの寄附」が3割前後と高くなっている。



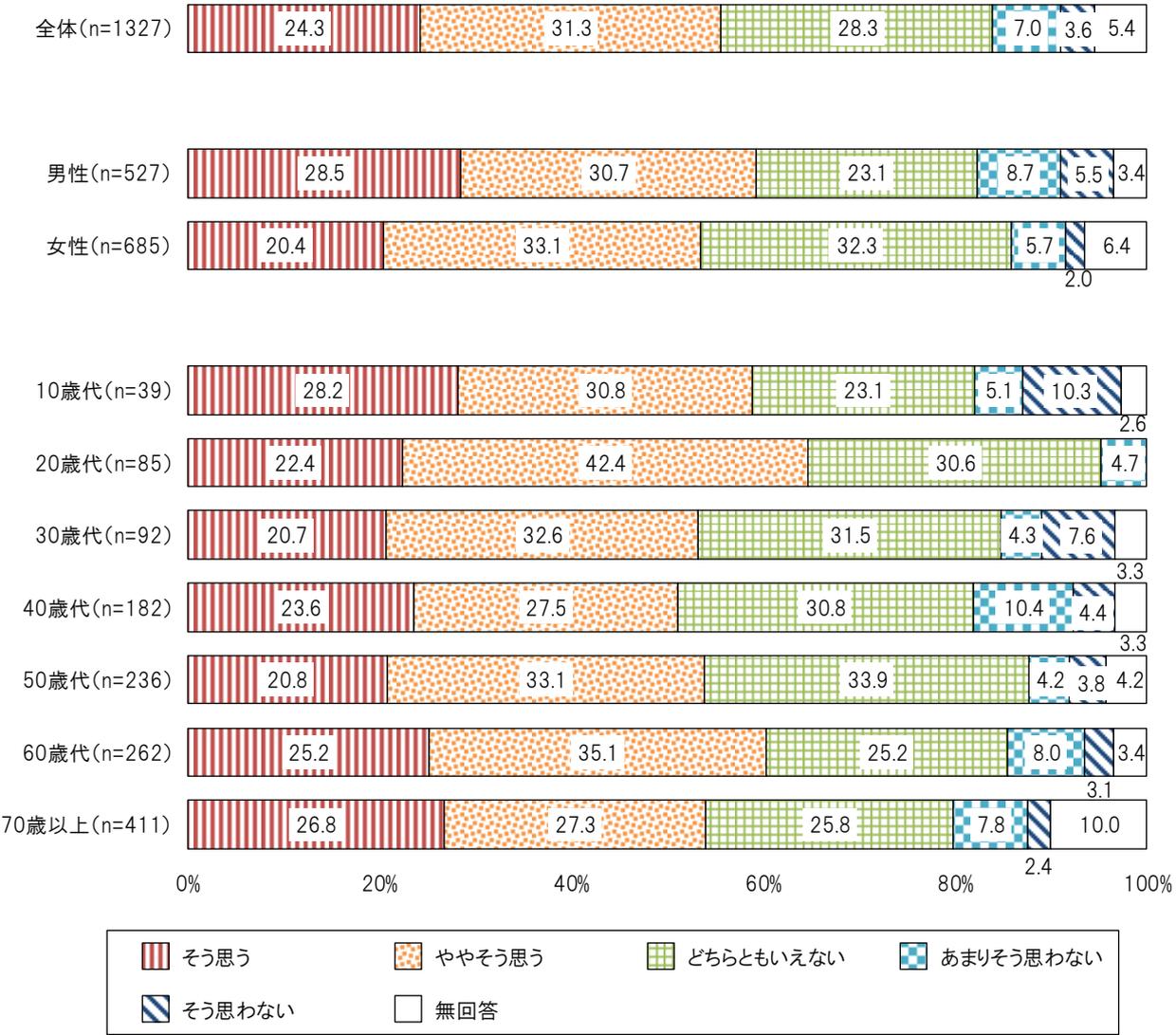
問19 地域の課題を解決するために効果的な活動



問 20 あなたは、松阪市で市民や企業からの資金提供を通じて公益的・社会的な活動に参加、協力する仕組みが必要だと思いますか。（○は1つだけ）

「ややそう思う」が31.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.3%、「そう思う」が24.3%となっている。
 性別にみると、「そう思う」の割合は男性の方が女性より8.1ポイント高くなっている。
 年代別にみると、20歳代で「ややそう思う」の割合が他の年代に比べ高く、4割を超えている。

問20 市民や企業からの資金提供を通じて公益的・社会的活動に参加、協力する必要性



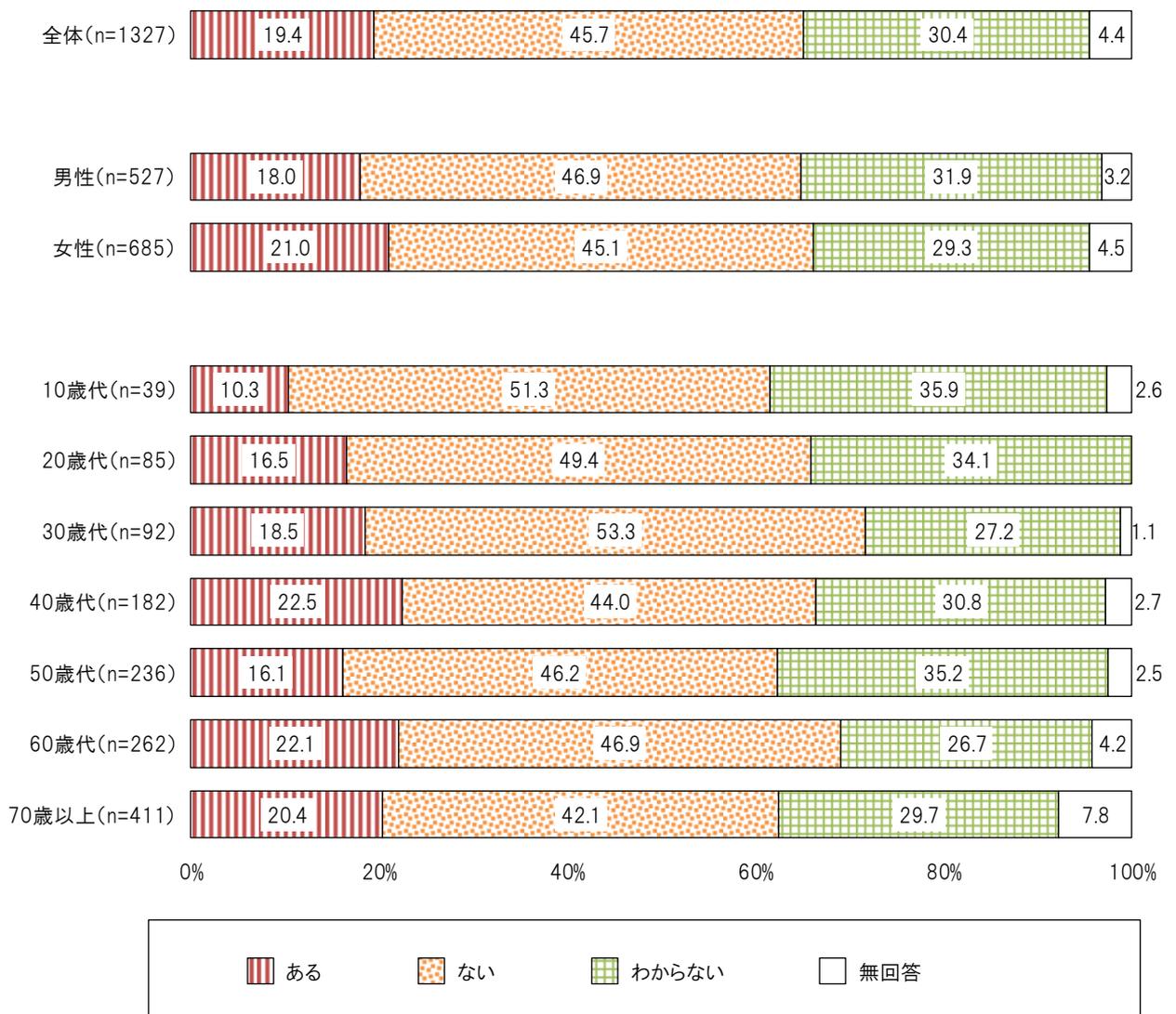
問 21 あなたは、今までに、社会的課題解決（例：災害復興支援, 子ども食堂の支援, 環境保全活動など）を目的とした寄附や出資をしたことがありますか。（○は1つだけ）

「ない」が45.7%と最も高く、次いで「わからない」が30.4%、「ある」が19.4%となっている。

性別にみると、「ある」の割合は男性で18.0%、女性で21.0%と、女性の方が男性より3.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合について、40歳代、60歳代、70歳以上で2割を超えている。

問21 これまで社会的課題解決を目的とした寄附や出資の有無



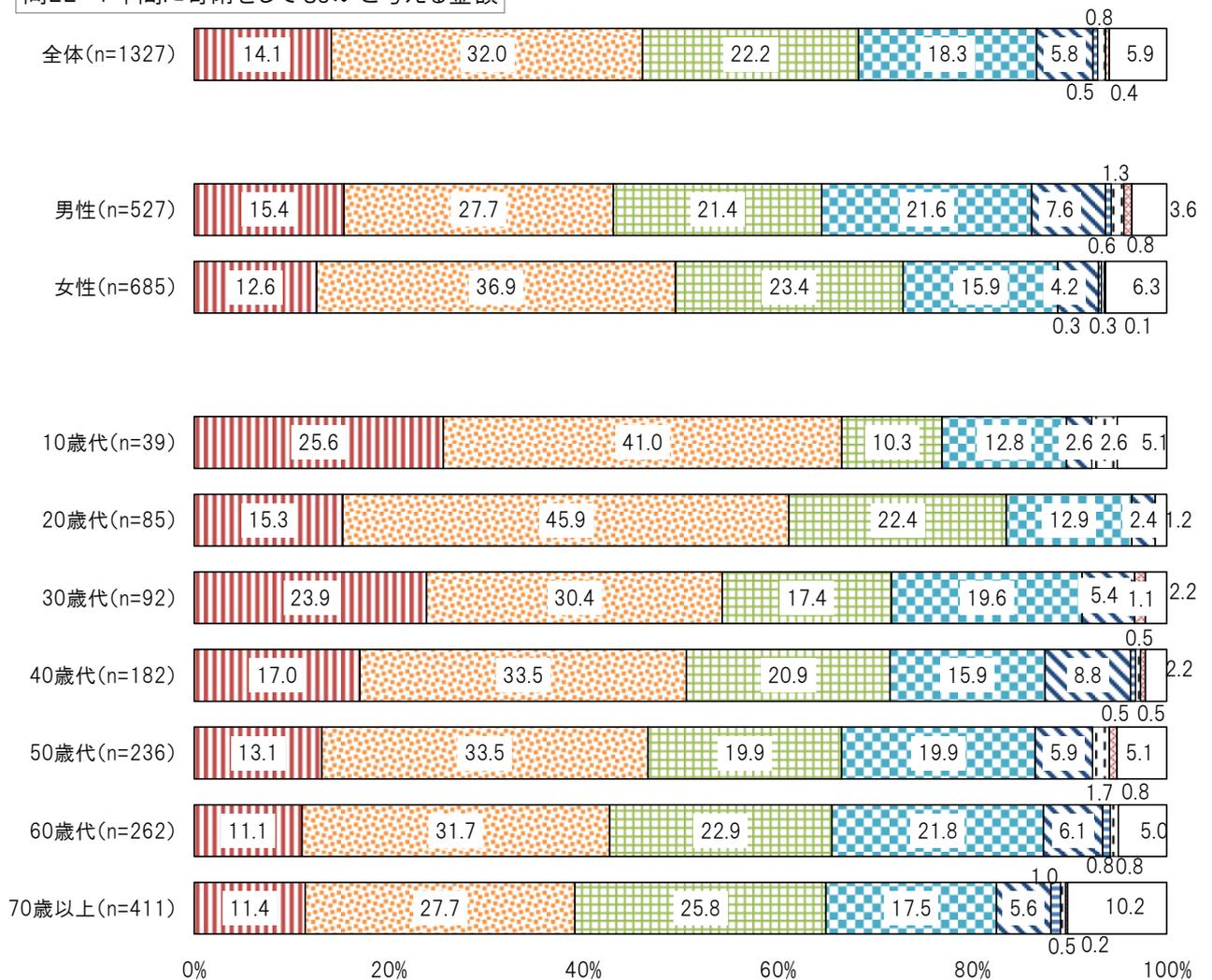
問 22 あなたが、1年間に寄附をしてもよいと考える金額を教えてください。(○は1つだけ)

「1円以上2,000円未満」が32.0%と最も高く、次いで「2,000円以上5,000円未満」が22.2%、「5,000円以上10,000円未満」が18.3%となっている。

性別にみると、「1円以上2,000円未満」が女性で36.9%、男性で27.7%と女性の方が男性より9.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「1円以上2,000円未満」がすべての年代で最も高く、10歳代、20歳代で4割を超えている。

問22 1年間に寄附をしてもよいと考える金額



4. 各種手続きのオンライン化について

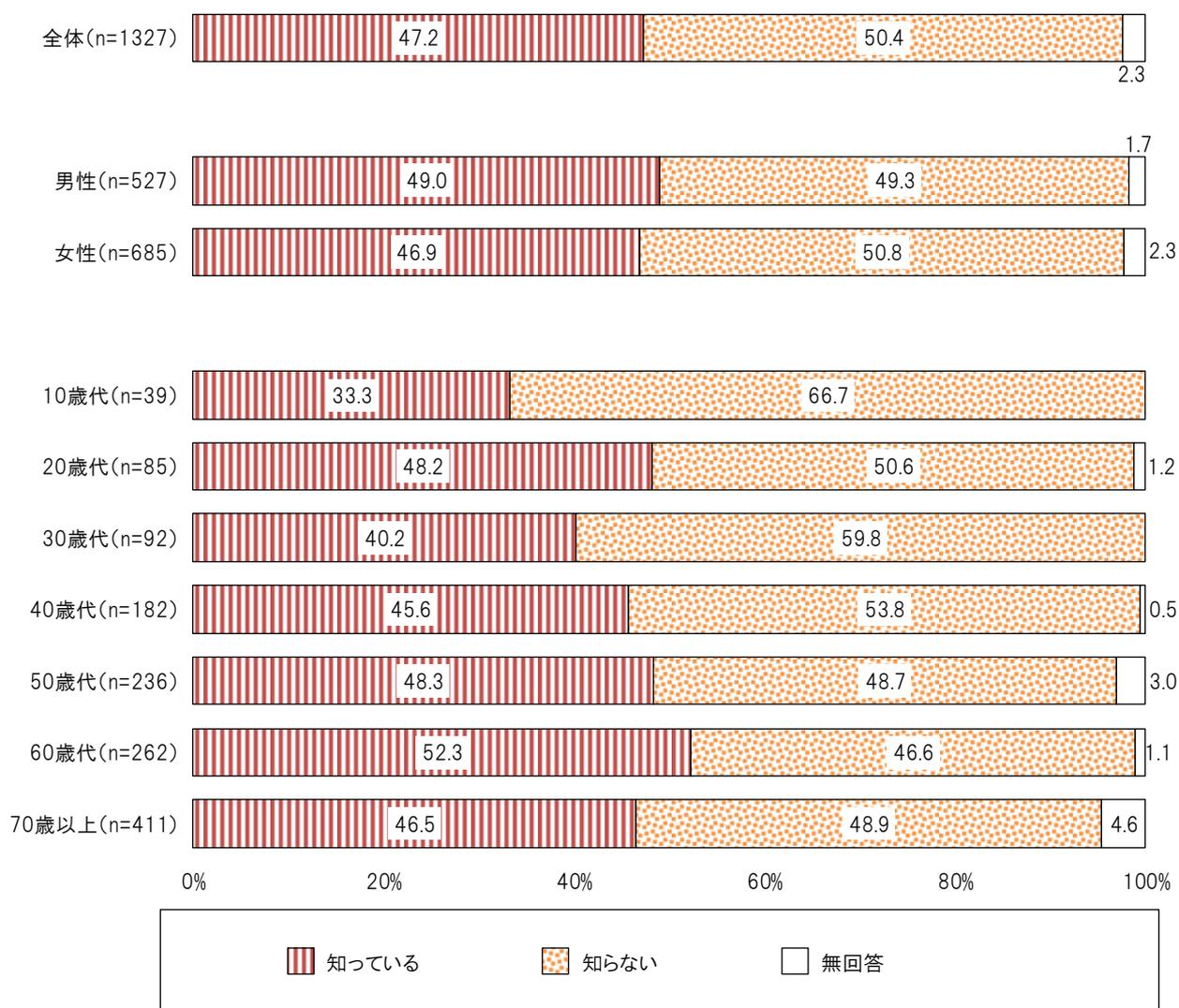
問 23 あなたは、様々な行政手続きについて、市役所に行くことなく自宅などからパソコンやスマートフォンを使ってできることを知っていますか。（○は1つだけ）

「知らない」が50.4%、「知っている」が47.2%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は男性の方が女性より2.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知らない」の割合について、10歳代から40歳代までの年代では5割を超えている。一方「知っている」の割合は60歳代で5割を超えている。

問23 様々な行政手続きをパソコンやスマートフォンを使ってできることについての認知度



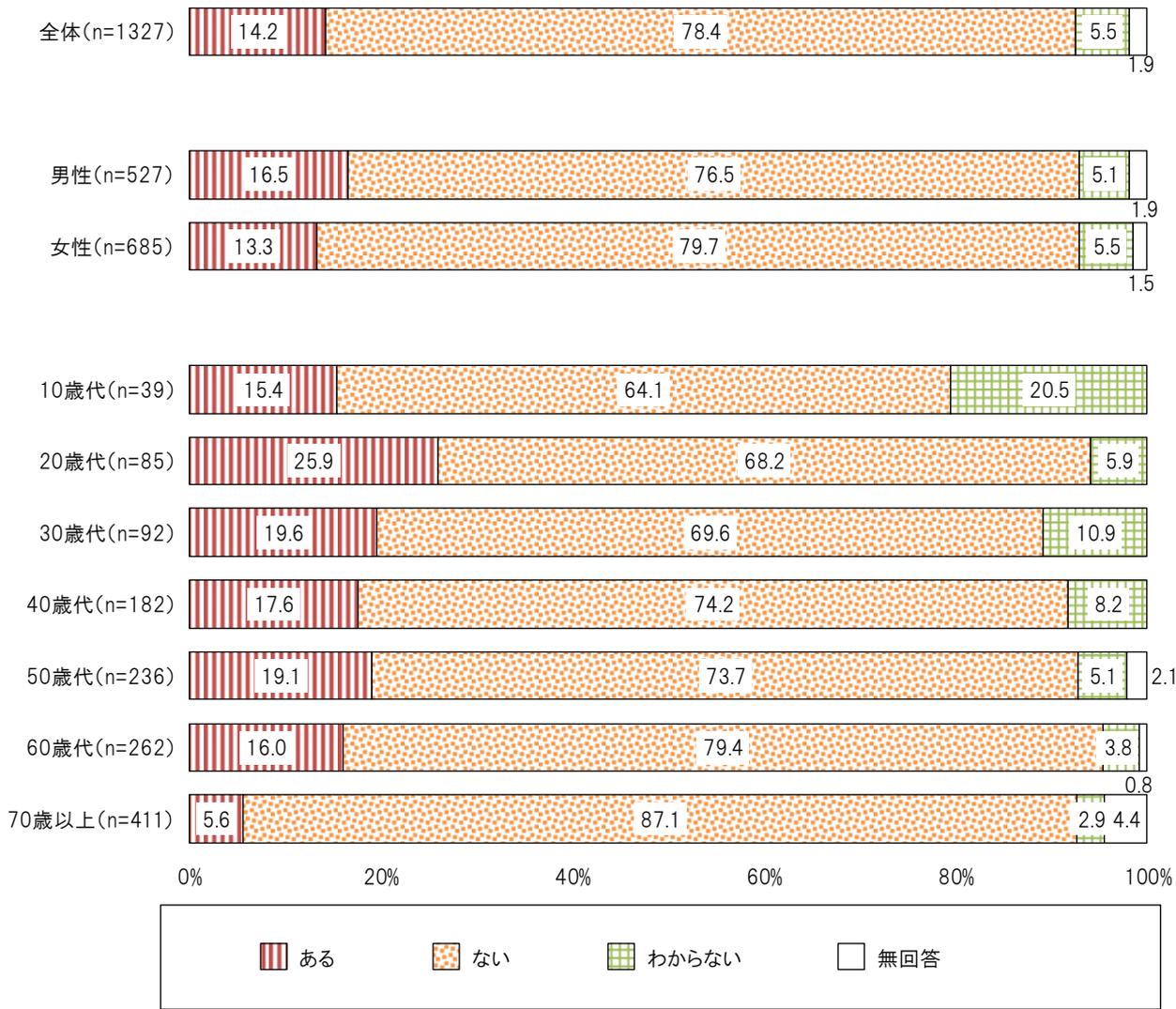
問 24 これまでに松阪市の各種手続きを電子申請（オンライン申請）でしたことはありますか。（○は1つだけ）

「ない」が78.4%と最も高く、次いで「ある」が14.2%、「わからない」が5.5%となっている。

性別にみると、「ある」の割合は男性の方が女性より3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合について、20歳代で25.9%と最も高くなっており、70歳以上を除く年代では1割台にとどまっている。一方「ない」の割合は40歳以上の年代では7割を超えている。なお、10歳代では20.5%が「わからない」としている。

問24 各種手続きを電子申請でしたことがあるか



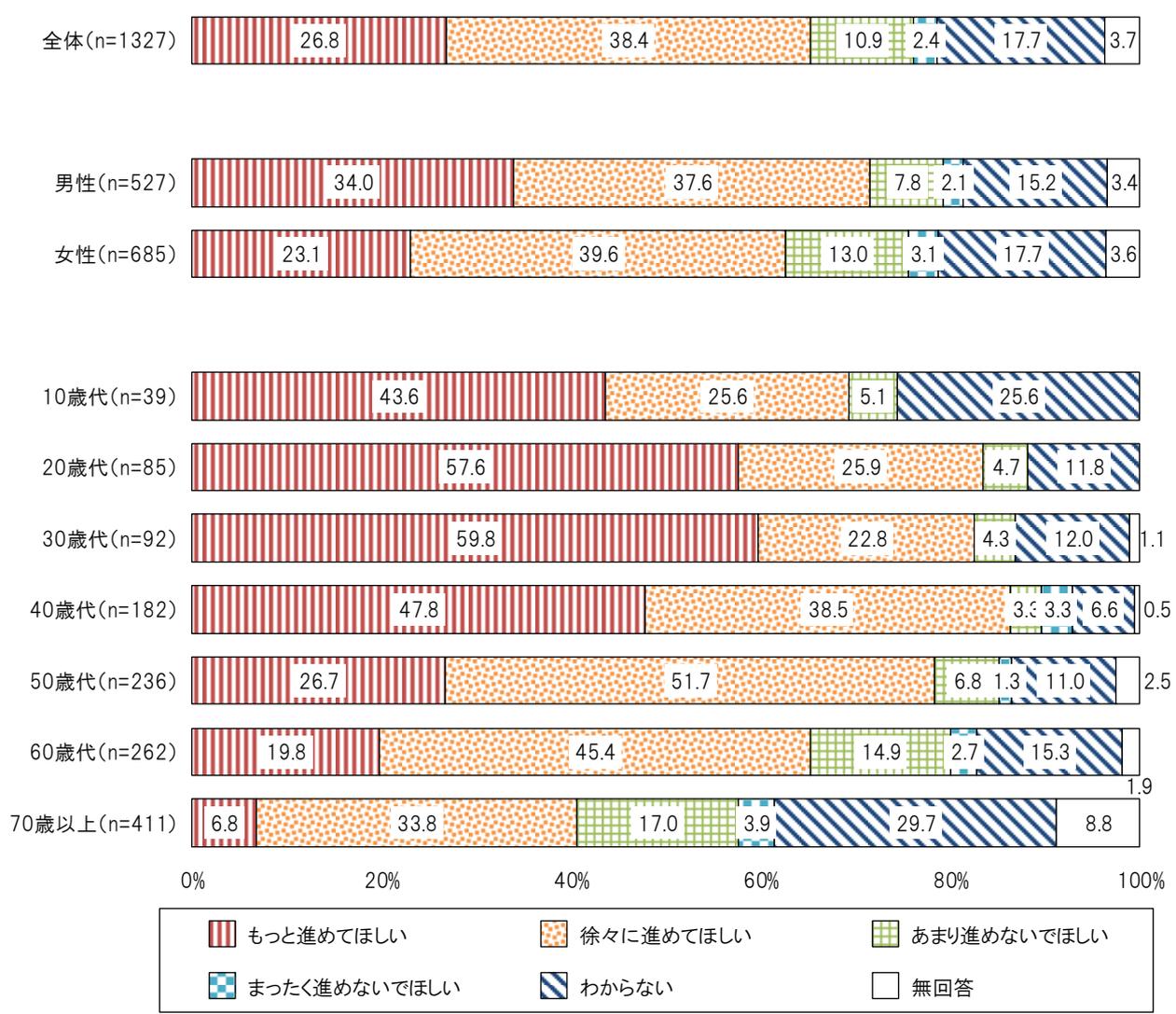
問 25 あなたは、松阪市が「手続きのオンライン化」を進めていることについて、どう思いますか。【この設問は、スマートフォンを持っていると仮定して回答してください】（○は1つだけ）

「徐々に進めてほしい」が38.4%と最も高く、次いで「もっと進めてほしい」が26.8%、「わからない」が17.7%となっている。

性別にみると、男女ともに「徐々に進めてほしい」が最も高く、次いで「もっと進めてほしい」が高くなっている。なお、「もっと進めてほしい」の割合は男性で34.0%、女性で23.1%と男性が女性より10.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「もっと進めてほしい」が10歳代から40歳代までの年代では4割を超えている。一方「徐々に進めてほしい」が50歳代、60歳代で4割以上と高くなっている。

問25 松阪市が「手続きのオンライン化」を進めていることについてどう思うか

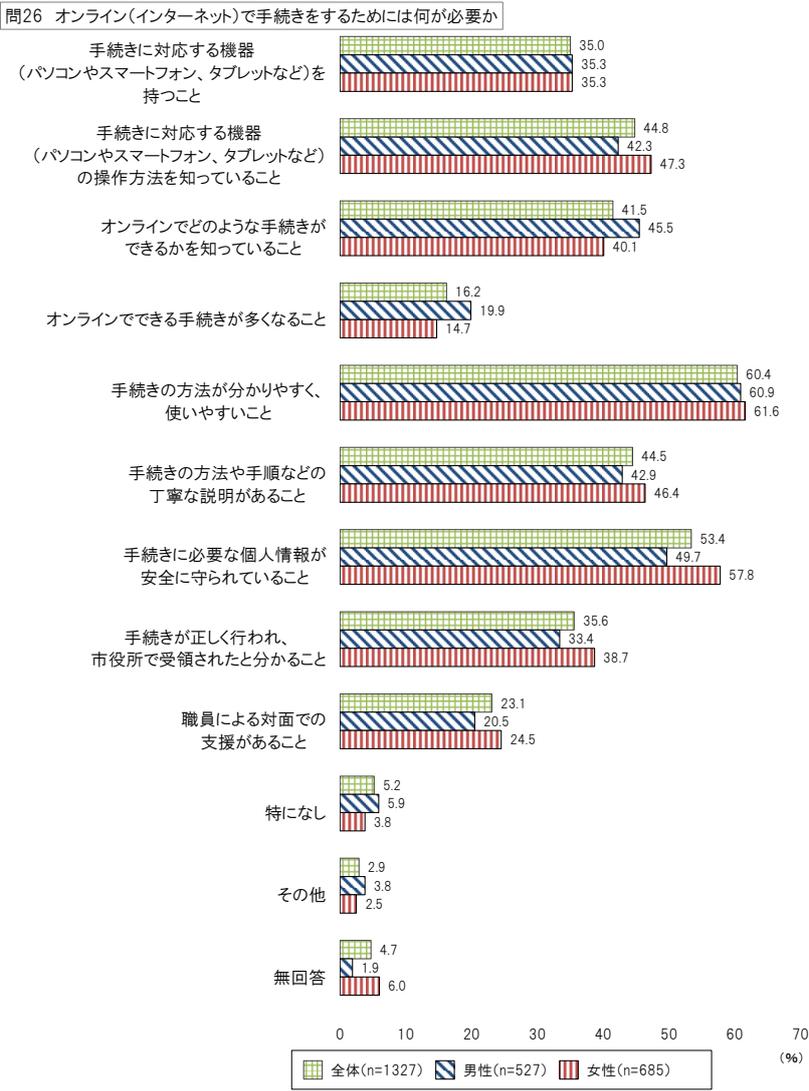


問 26 あなたが、オンライン（インターネット）で手続きをするためには何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

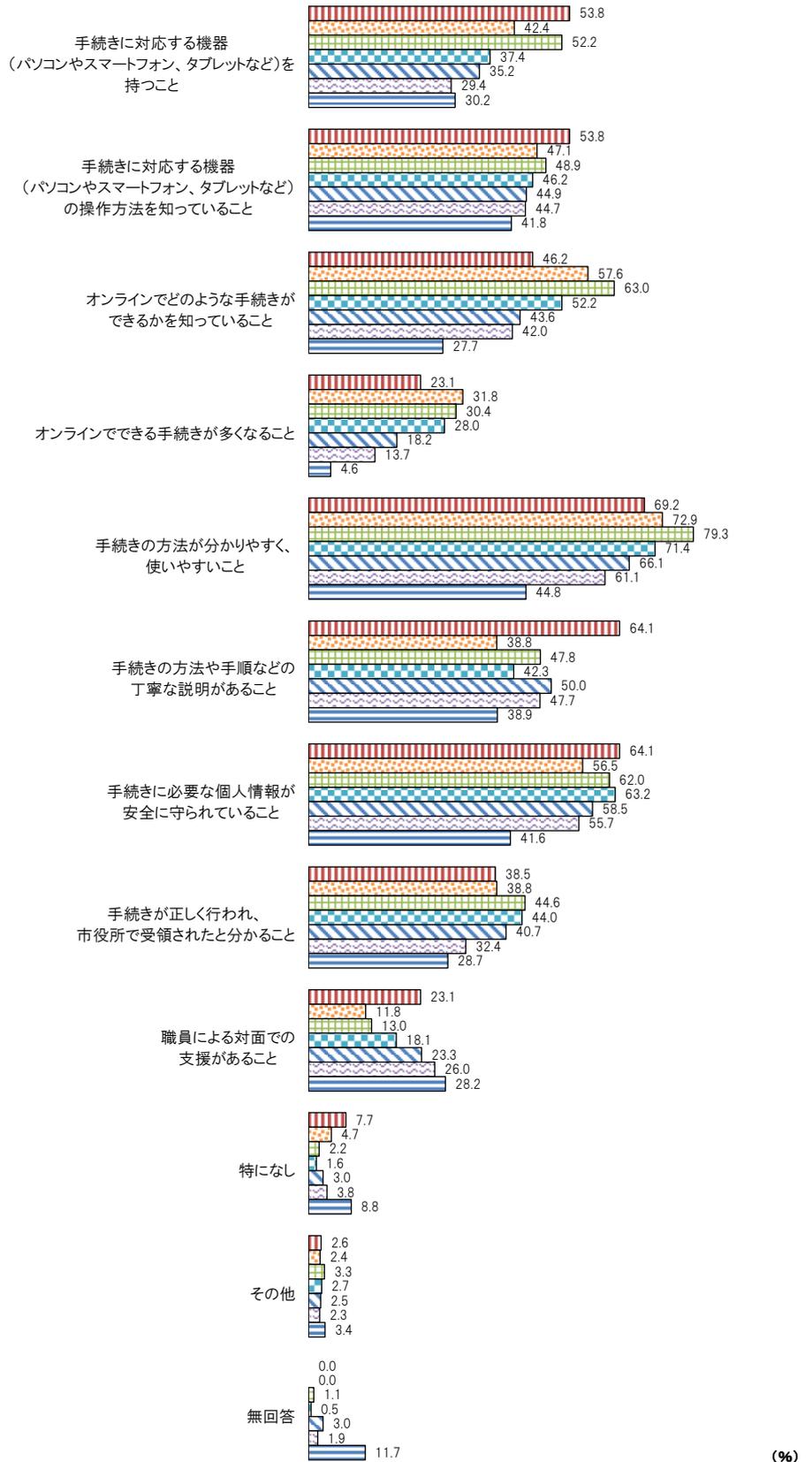
「手続きの方法が分かりやすく、使いやすいこと」が 60.4%と最も高く、次いで「手続きに必要な個人情報が安全に守られていること」が 53.4%、「手続きに対応する機器（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）の操作方法を知っていること」が 44.8%となっている。

性別にみると、1 番目、2 番目に高い項目は男女とも同じで、「手続きの方法が分かりやすく、使いやすいこと」「手続きに必要な個人情報が安全に守られていること」であった。3 番目に高い項目は、男性では「オンラインでどのような手続きができるかを知っていること」、女性では「手続きに対応する機器（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）の操作方法を知っていること」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「手続きに必要な個人情報が安全に守られていること」で 8.1 ポイント女性の方が高くなっている。

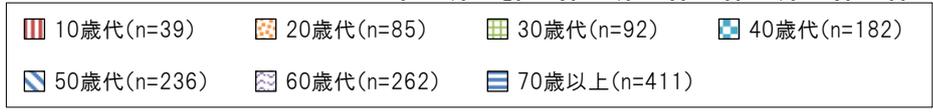
年代別にみると、いずれの年代でも「手続きの方法が分かりやすく、使いやすいこと」が 1 番目であった。また 2 番目に多い項目は 20 歳代、30 歳代で「オンラインでどのような手続きができるかを知っていること」、40 歳以上 60 歳代までの年代では「手続きに必要な個人情報が安全に守られていること」が入ってきている。



問26 オンライン(インターネット)で手続きをするためには何が必要か



(96)



5. あなたのお住まいの地域づくりについて

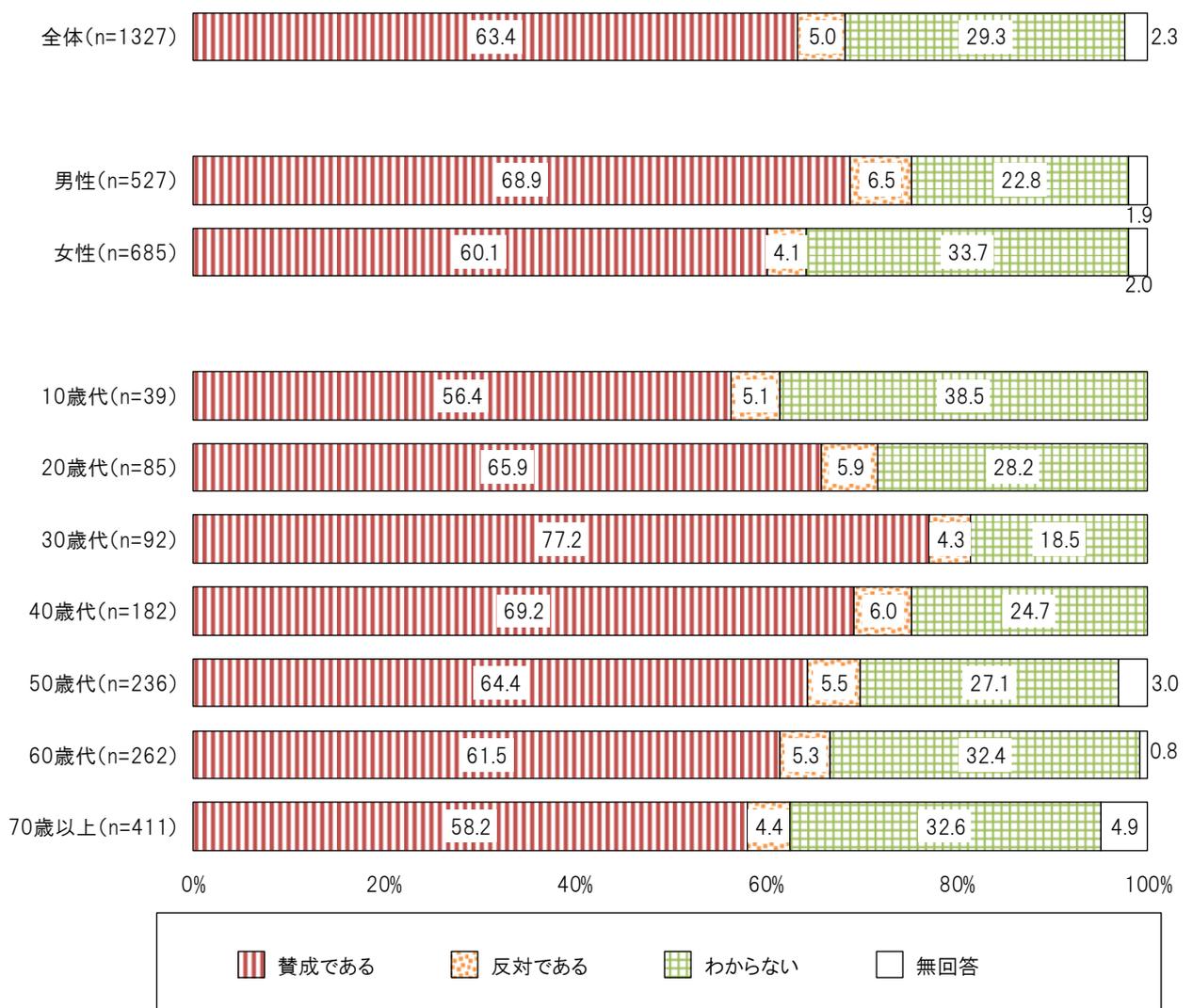
問 27 人口減少や高齢化とともに、地域の役員のなり手がおらず、ボランティアだけでは維持できなくなっています。そこで、ある程度の対価を支払うことで地域の活動を担っていただくことについてあなたはどのように考えますか。（○は1つだけ）

「賛成である」が63.4%と最も高く、次いで「わからない」が29.3%、「反対である」が5.0%となっている。

性別にみると、「賛成である」が男性で68.9%、女性で60.1%と、男性の方が女性より8.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛成である」がどの年代でも高く、30歳代では7割を超えている。一方「わからない」の割合は30歳代で最も低くなっている。

問27 対価を支払うことで地域の活動を担っていただくことについて



6. 人権尊重・男女の地位の平等について

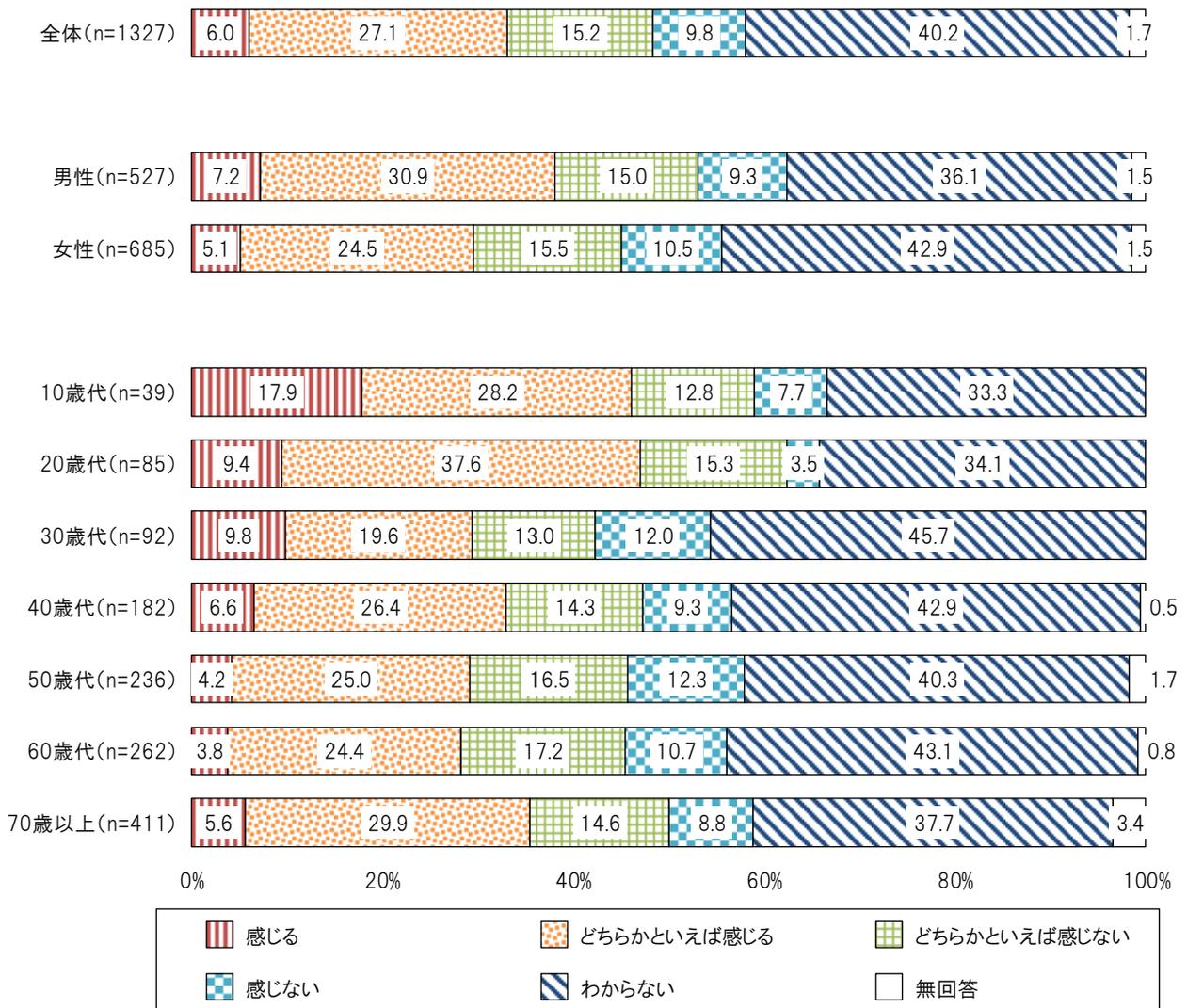
問 28 松阪市は、人権が尊重されている社会になっていると感じますか。
(○は1つだけ)

「わからない」が40.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」が27.1%、「どちらかといえば感じない」が15.2%となっている。

性別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した割合は、男性で38.1%、女性で29.6%と男性の方が女性より8.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した割合は、10歳代で46.1%、20歳代で47.0%と他の年代に比べて高くなっている。

問28 松阪市は、人権が尊重されている社会になっていると感じるか



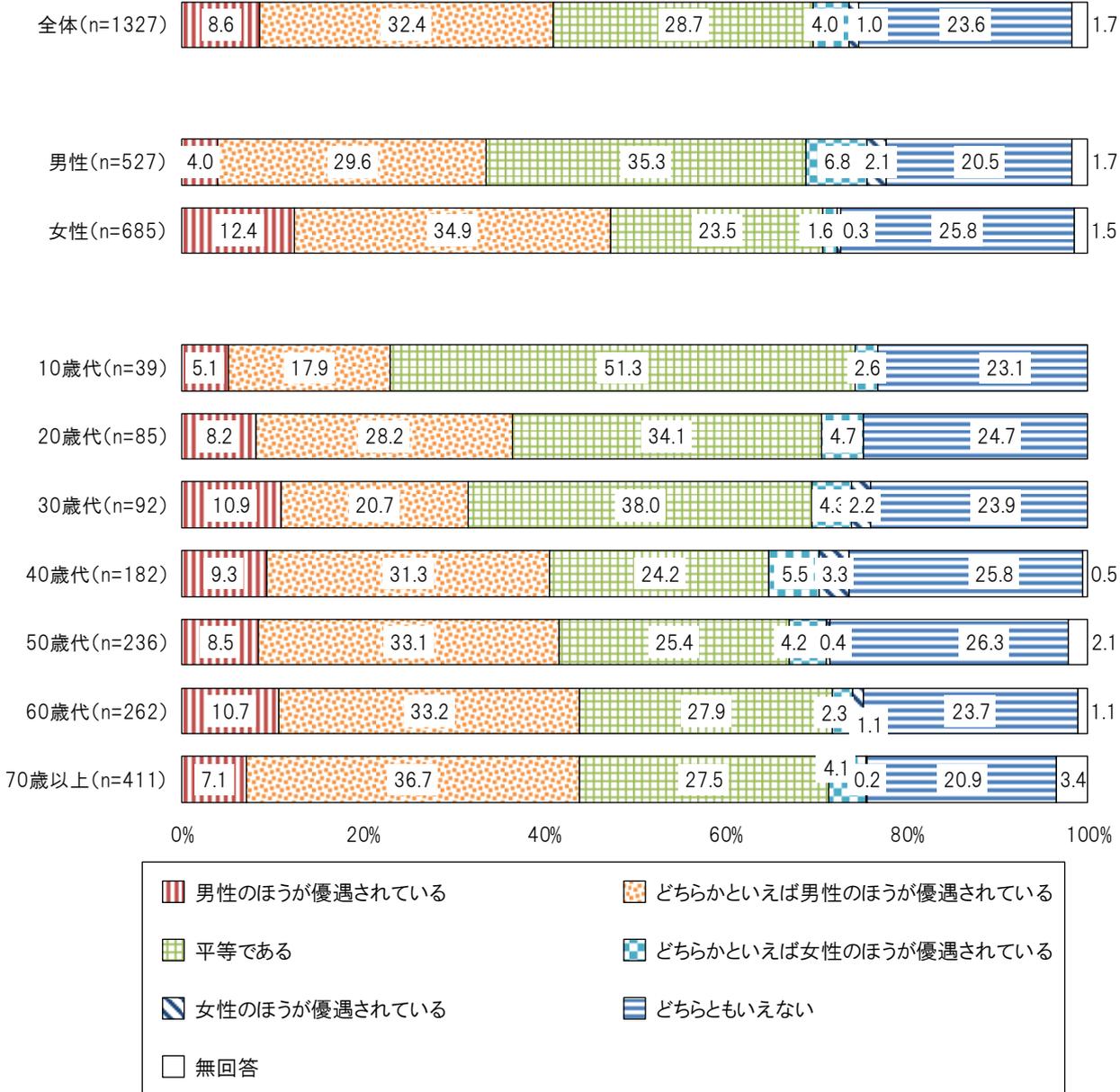
問29 家庭生活において、男女の地位が平等になっていると思いますか。
(○は1つだけ)

「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が32.4%と最も高く、次いで「平等である」が28.7%、「どちらともいえない」が23.6%となっている。

性別にみると、「平等である」の割合が男性で最も高く、男性の方が女性より11.8ポイント高くなっている。また「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の割合が女性で最も高く、女性の方が男性より5.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「平等である」の割合が他の年代に比べて10歳代で最も高く5割を超えている。一方「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の割合は40歳代以上の年代で高く3割を超えている。

問29 家庭生活において男女の地位が平等になっているか



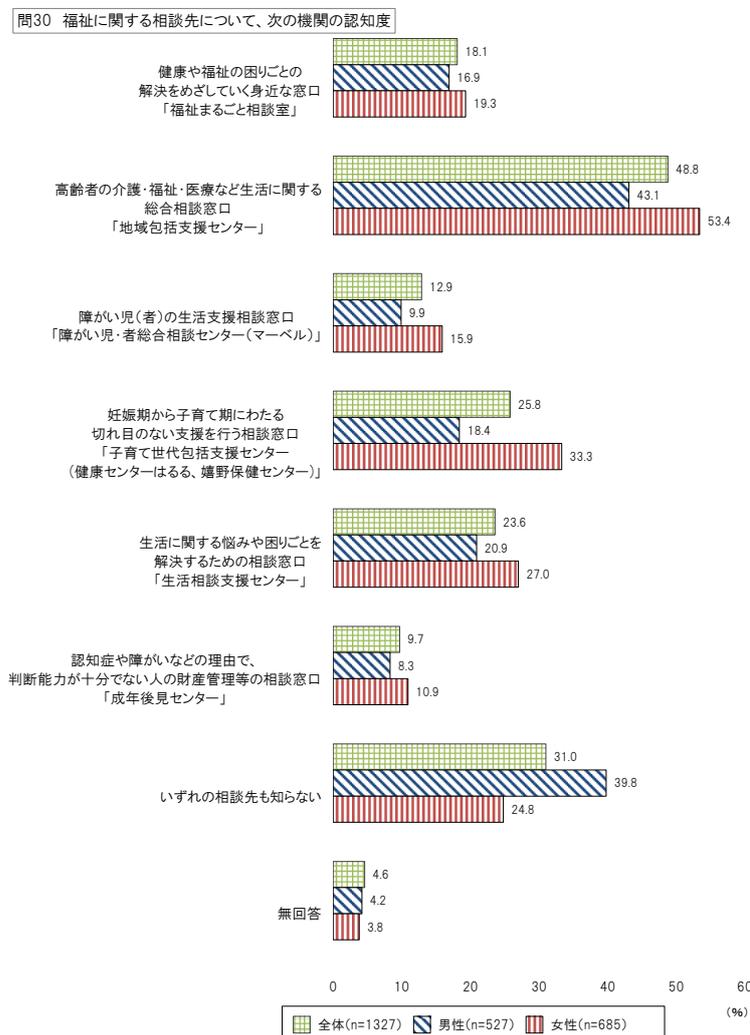
7. 地域で支えあう取組について

問 30 市の機関もしくは関係する機関で、福祉に関する相談する先がありますか、次の機関について、ご存じですか。（〇はいくつでも）

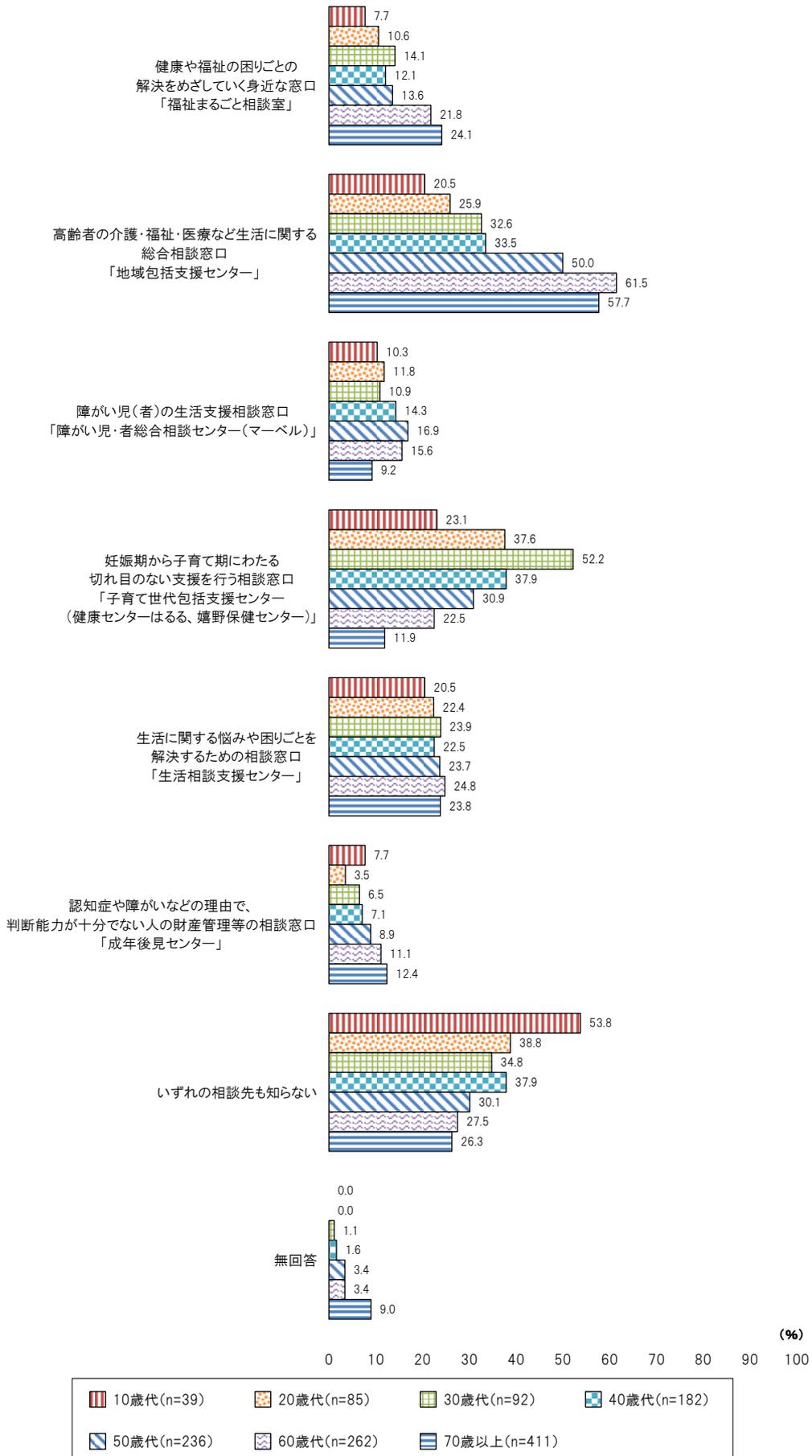
「地域包括支援センター」が48.8%と最も高く、次いで「いずれの相談先も知らない」が31.0%、「子育て世代包括支援センター（健康センターはるる、嬉野保健センター）」が25.8%となっている。

性別にみると、男女とも「地域包括支援センター」が最も高く、次いで男性が「いずれの相談先も知らない」、女性が「子育て世代包括支援センター（健康センターはるる、嬉野保健センター）」となっている。男女の間で差が大きかった項目は、「いずれの相談先も知らない」が15.0ポイント男性の方が高く、一方で「子育て世代包括支援センター」は女性の方が14.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、50歳以上の年代で「地域包括支援センター」が最も高く5割を超えている。一方、他の世代に比べ10歳代で「いずれの相談先も知らない」の割合が高く5割を超えている。



問30 福祉に関する相談先について、次の機関の認知度



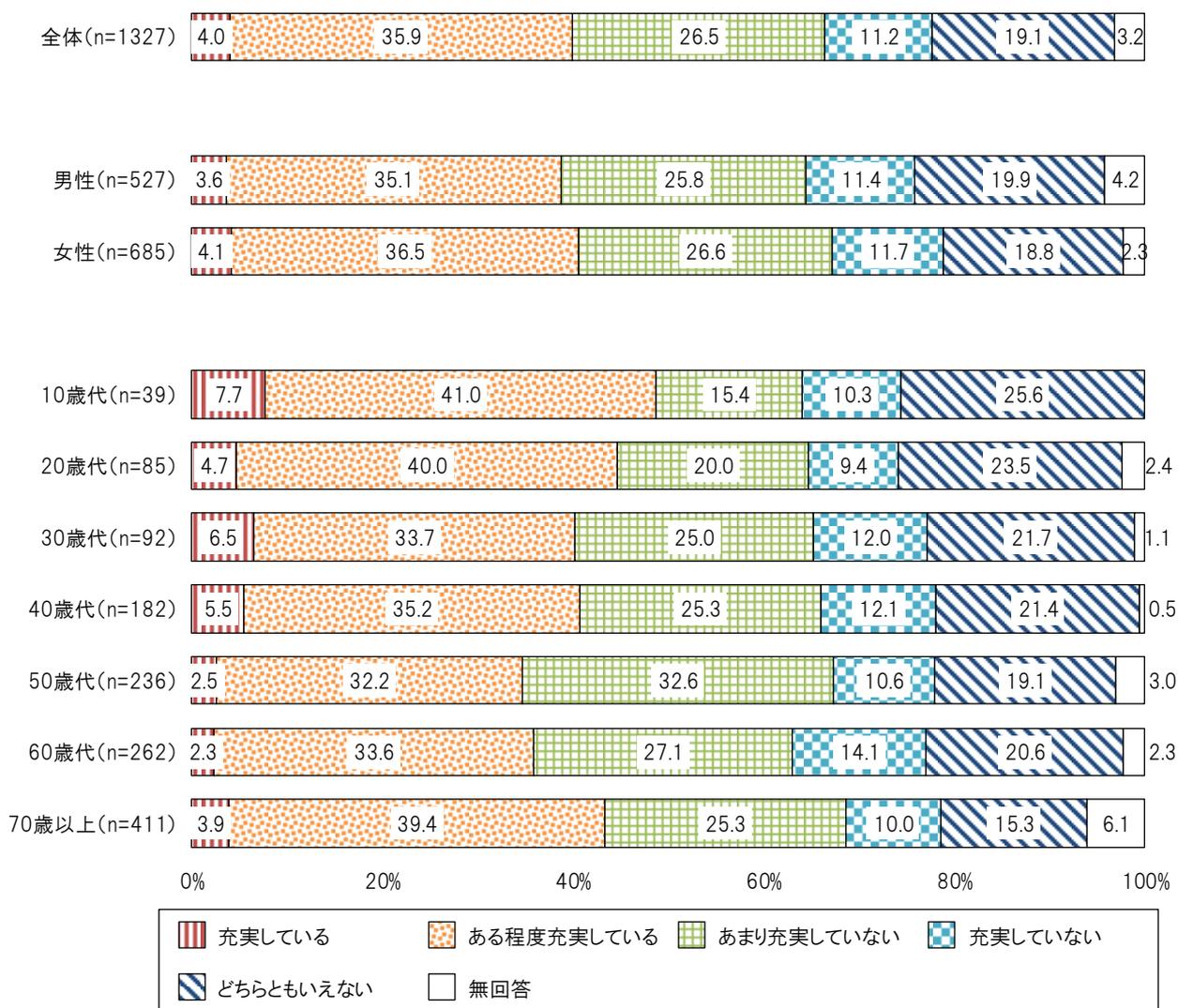
問31 自立した生活を継続し、住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域で支えあう取組が必要です。お住まいの地域では、お互いが困りごとへのちょっとした支援（ごみ出しなど）の「助け合い」や、日頃のあいさつや声かけなどから、お互いを気にかけてあう「見守り」といった、地域の支え合いや地域活動が充実している地域だと思いますか。（〇は1つだけ）

「ある程度充実している」が35.9%と最も高く、次いで「あまり充実していない」が26.5%、「どちらともいえない」が19.1%となっている。

性別にみると、男女ともに「ある程度充実している」の割合が最も高く、女性の方が男性より1.4ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、「ある程度充実している」が10歳代、20歳代で高く4割を超えている、一方10歳代で「あまり充実していない」の割合が15.4%と低くなっている。

問31 地域の支え合いや地域活動が充実している地域か



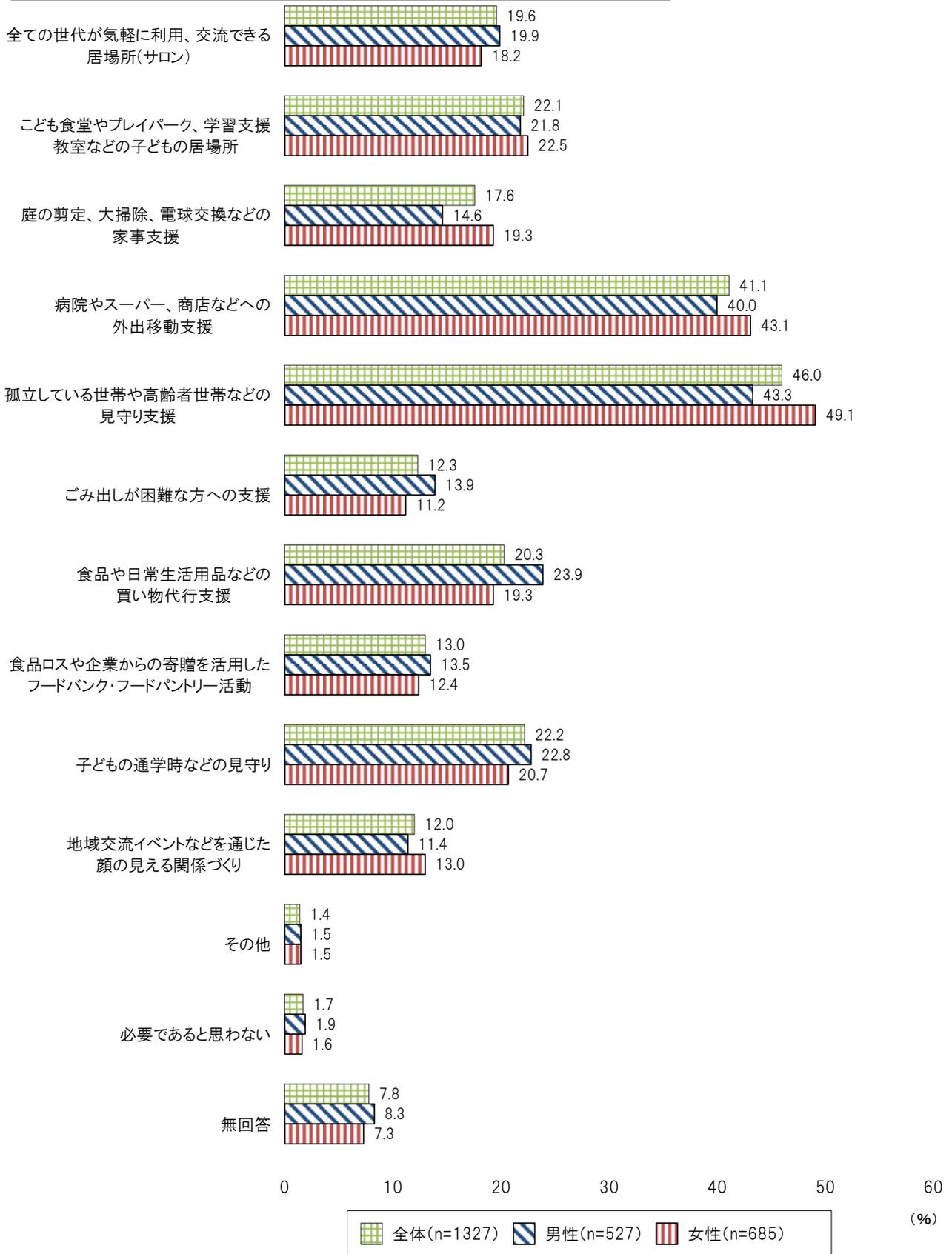
問 32 支援が必要な世帯などを地域で支え合う体制や活動が重要とされています。どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は3つまで）

「孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援」が46.0%と最も高く、次いで「病院やスーパー、商店などへの外出移動支援」が41.1%、「子どもの通学時などの見守り」が22.2%となっている。

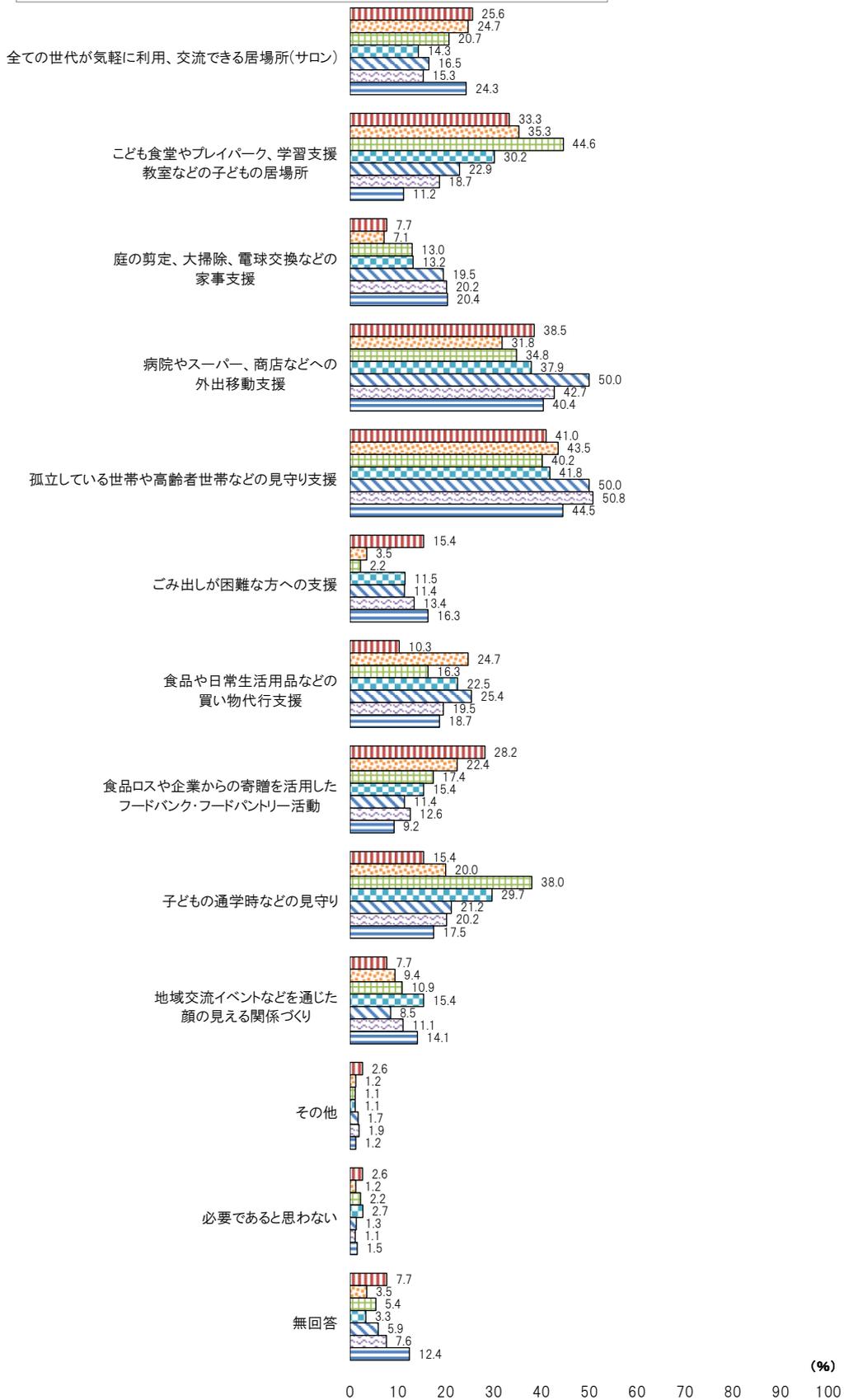
性別にみると、男女ともに「孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援」の割合が最も高く、次いで「病院やスーパー、商店などへの外出移動支援」が高くなっている。男女の間で差が大きかった項目は、「孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援」で5.8ポイント女性の方が高く、一方で、「食品や日常生活用品などの買い物代行支援」で4.6ポイント男性の方が高くなっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代で「こども食堂やプレイパーク、学習支援教室などの子どもの居場所」の割合が高く3割を超えている。また、年代で差が大きかった項目は「こども食堂やプレイパーク、学習支援教室などの子どもの居場所」で、70歳以上の11.2%、30歳代の44.6%の差は33.4ポイントであった。また、「ごみ出しが困難な方への支援」が30歳代で2.2%、70歳以上で16.3%、「庭の剪定、大掃除、電球交換などの家事支援」が20歳代で7.1%、70歳以上で20.4%とそれぞれ差が大きくなっている。

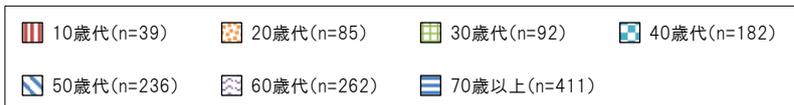
問32 支援が必要な世帯などを地域で支え合うために特に重要な体制や活動



問32 支援が必要な世帯などを地域で支え合うために特に重要な体制や活動



(96)

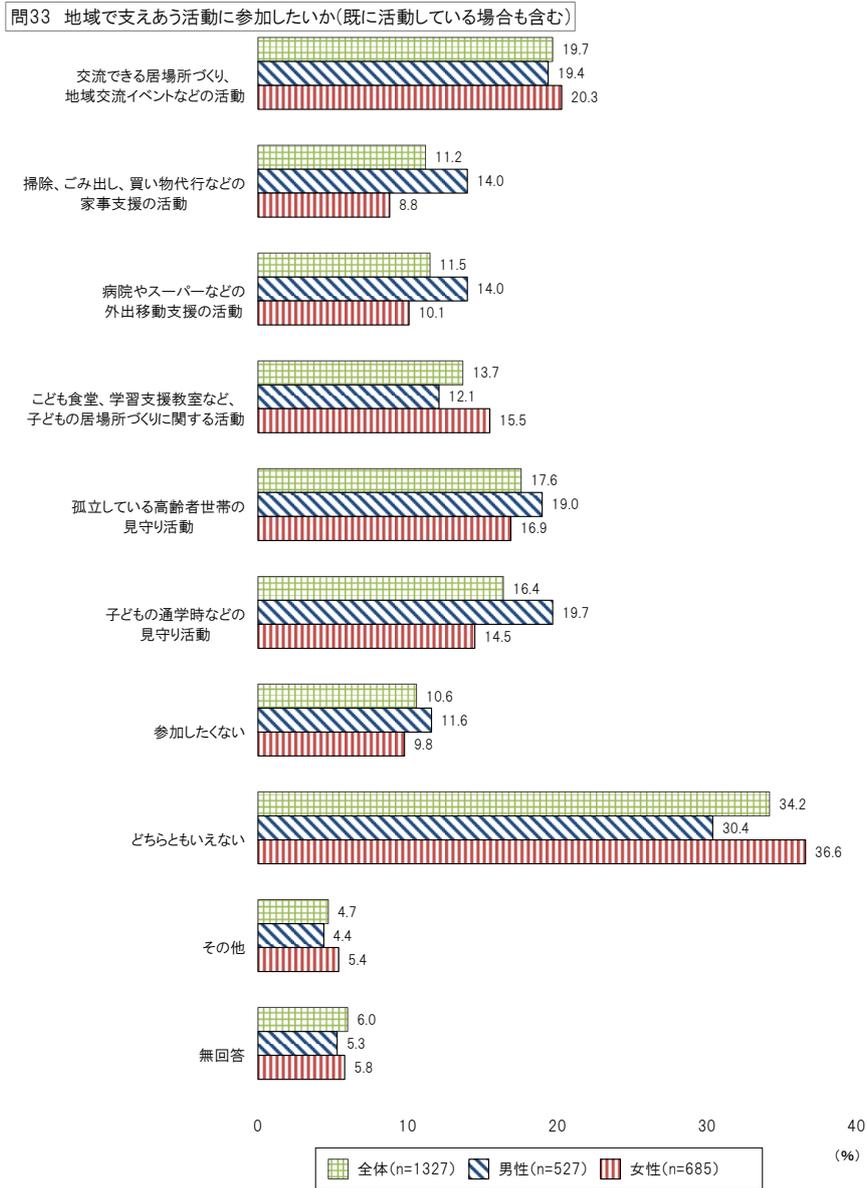


問33 あなたは、地域で支えあう活動に参加したいですか(既に活動している場合も含む)。(〇はいくつでも)

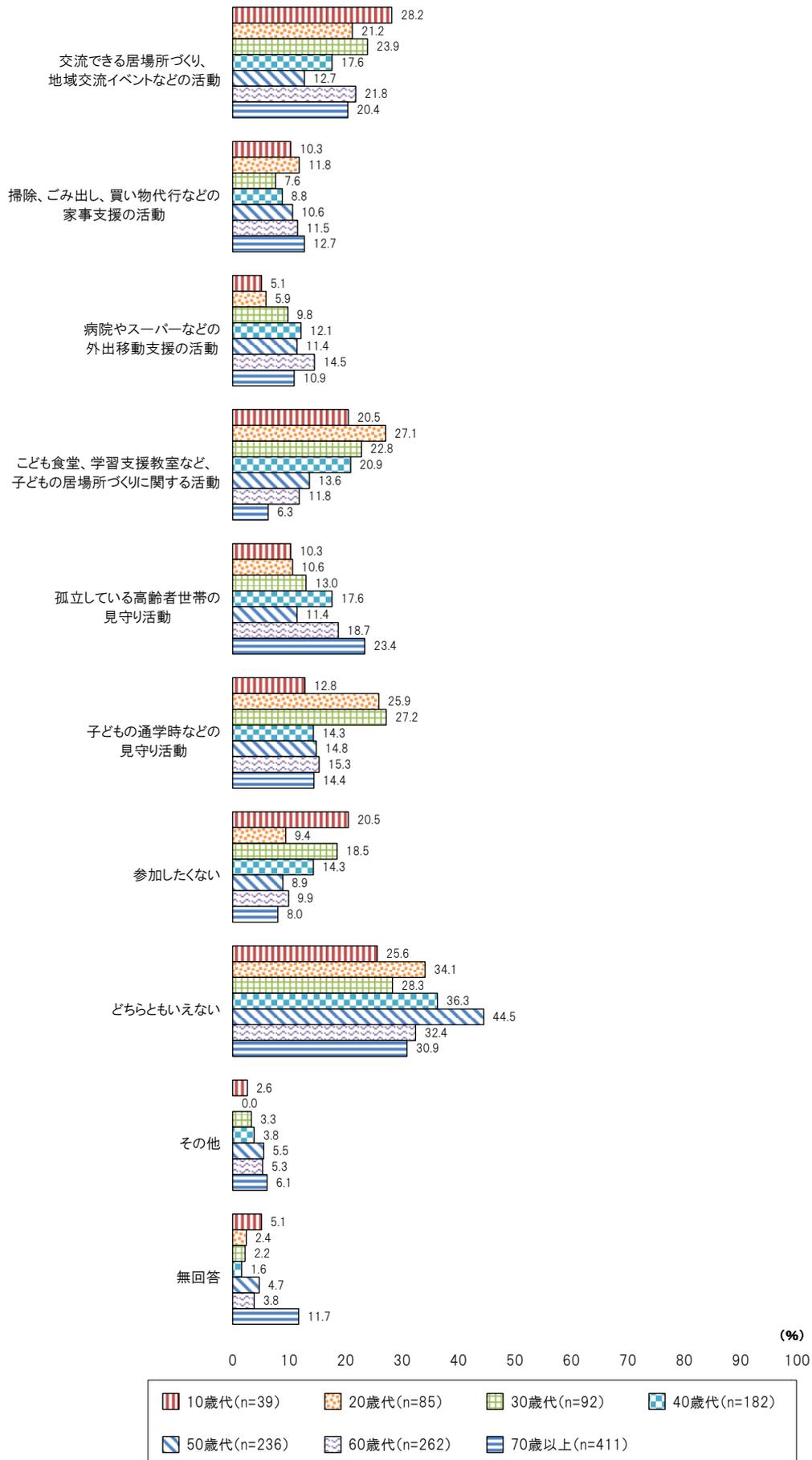
「どちらともいえない」が34.2%と最も高く、次いで「交流できる居場所づくり、地域交流イベントなどの活動」が19.7%、「孤立している高齢者世帯の見守り活動」が17.6%となっている。

性別にみると、「どちらともいえない」が男性で30.4%、女性で36.6%と女性の方が男性より6.2ポイント高くなっている。また、「掃除、ごみ出し、買い物代行などの家事支援の活動」「子どもの通学時などの見守り活動」で男性の方が女性よりそれぞれ5.2ポイント高くなっている。一方で「こども食堂、学習支援教室など、子どもの居場所づくりに関する活動」で女性の方が男性より3.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、10歳代をのぞく年代で「どちらともいえない」の割合が最も高くなっており、50歳代では4割を超えている。一方「交流できる居場所づくり、地域交流イベントなどの活動」の割合が10歳代で最も高くなっている。



問33 地域で支えあう活動に参加したいか(既に活動している場合も含む)



8. こども医療費助成制度について

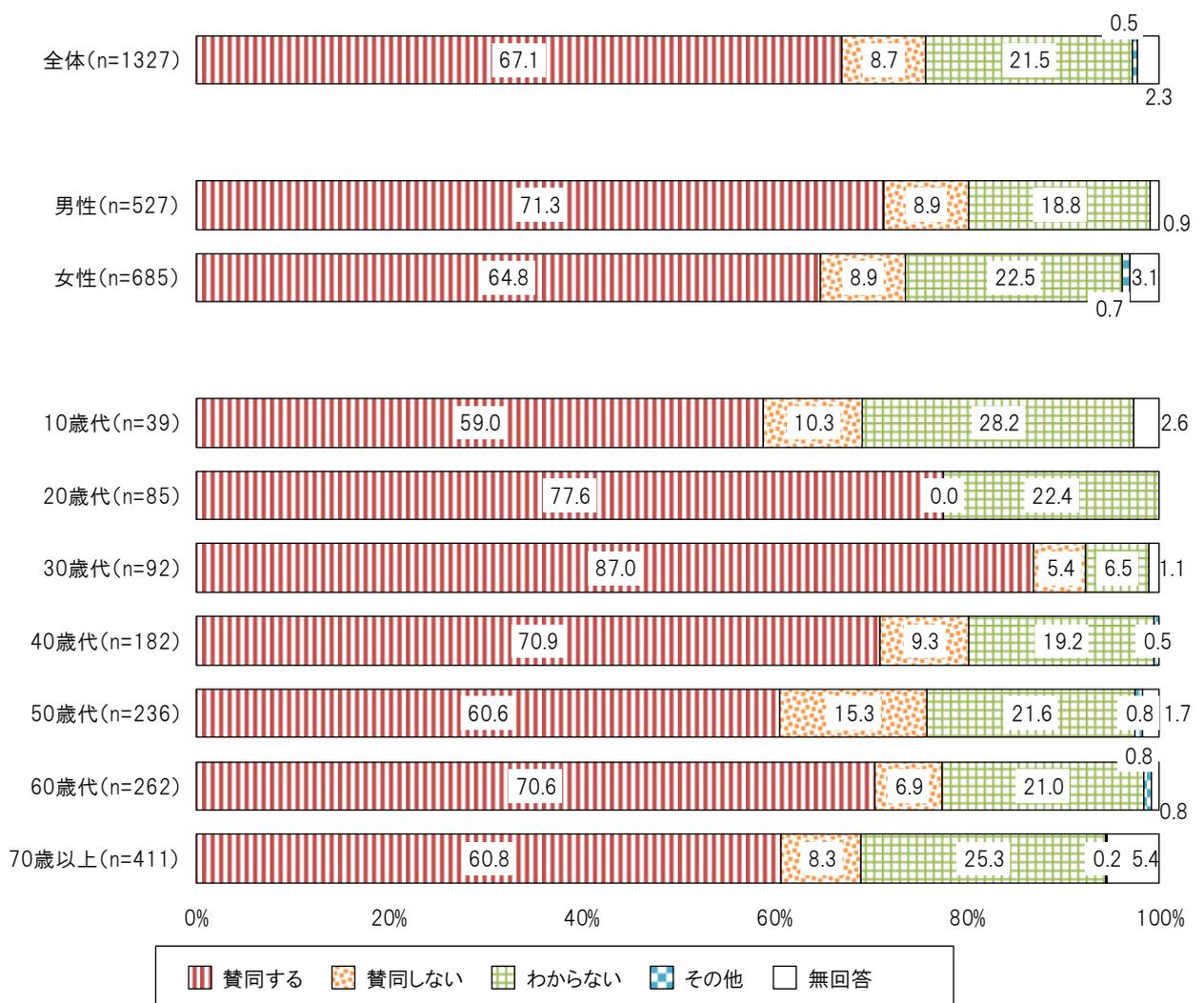
問34 松阪市は子育て支援に重点的に取り組んでいます。その一環として、こども医療費助成の範囲を拡大することに賛同しますか。(〇は1つだけ)

「賛同する」が67.1%と最も高く、次いで「わからない」が21.5%、「賛同しない」が8.7%となっている。

性別にみると、「賛同する」の割合は、男性が71.3%、女性が64.8%と男性の方が女性より6.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代で「賛同する」の割合が高く7割を超えている。一方10歳代、50歳代で「賛同しない」の割合が1割を超えている。

問34 こども医療費助成の範囲拡大に賛同するか



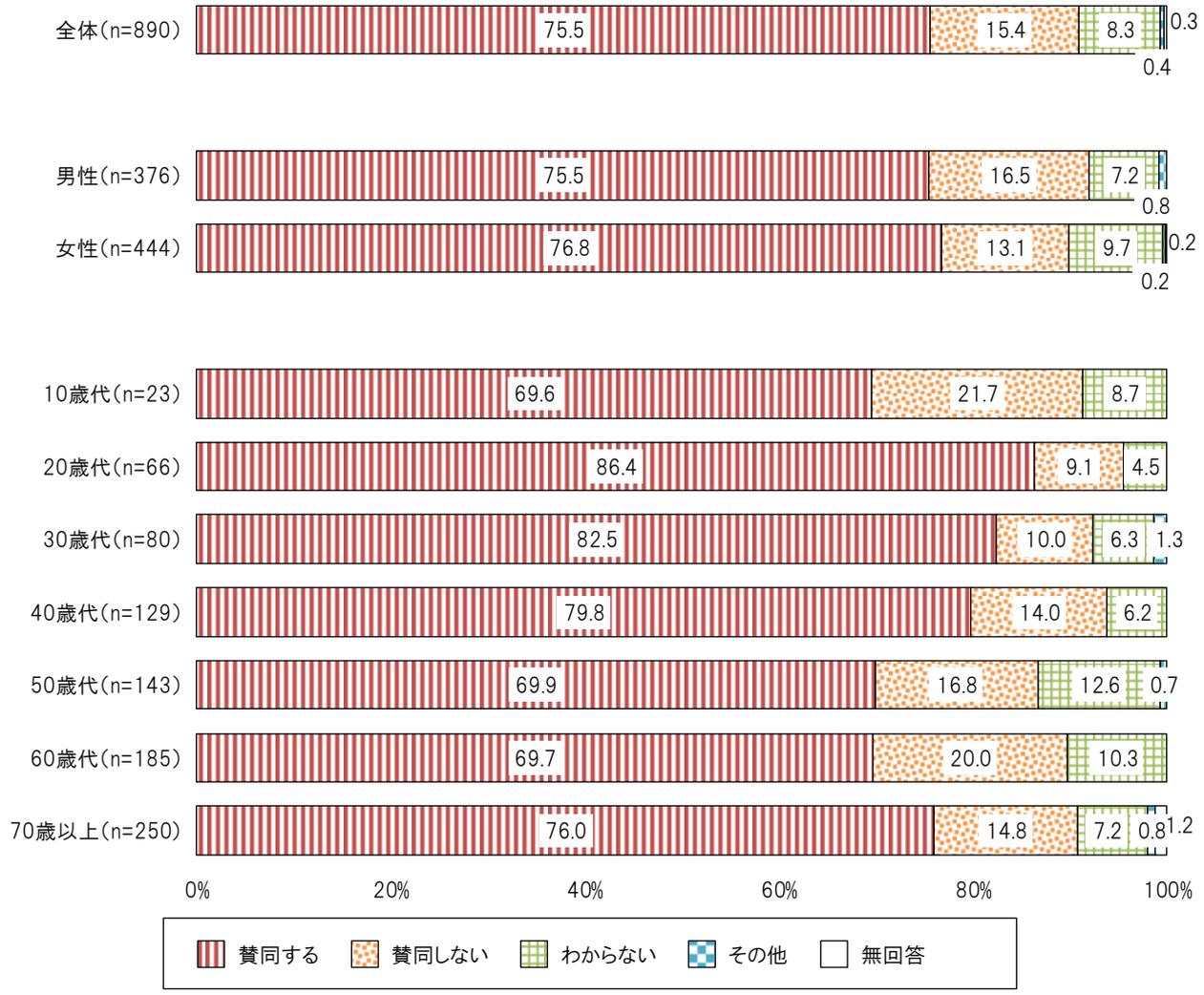
問 35 松阪市では保護者の所得によって、子ども医療費の助成を受けられる方と受けられない方に分かれています。所得に関係なく子どもの病気は突発的に起こるため、この所得制限を撤廃し、子どもを持つ全ての世帯を対象とすることを考えています。この考えに賛同しますか（○は1つだけ）

「賛同する」が75.5%と最も高く、次いで「賛同しない」が15.4%、「わからない」が8.3%となっている。

性別にみると、「賛同する」が男性で75.5%、女性で76.8%と女性の方が男性より1.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」が20歳代、30歳代で特に高く8割を超えている。一方「賛同しない」は10歳代、60歳代で高く2割以上となっている。

問35 子ども医療費助成の所得制限を撤廃し、全ての世帯を対象とすることに賛同するか（問 34 で「賛同する」と回答された方のみ）



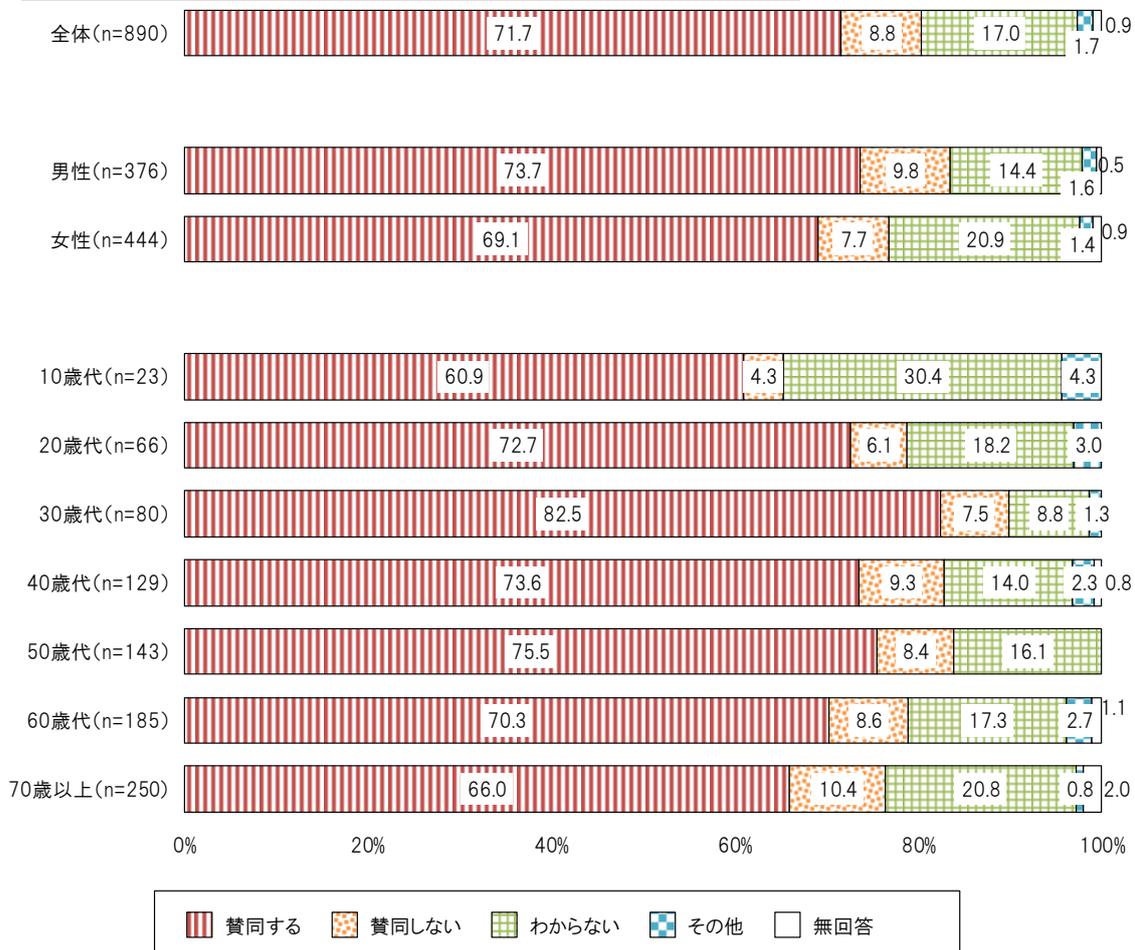
問 36 松阪市では、未就学児において、保護者の所得が一定額以上の場合、1回の診療につき最大1,000円（保険適用分）までの窓口支払いをお願いし、窓口支払分は後日返金される無料化策を実施しています。なお、本市は県内で唯一この方式を採用し、かつ、これまでの子育てアンケートで「最も費用がかかる」と言われている高校生世代までの助成を、県内の主要都市の中でいち早く実施しています。一方で、子どもを連れての支払いの大変さから、「同じ無料なら窓口支払いを廃止してほしい」という声も寄せられています。本市としては、未就学児の窓口での支払いをなくすと、医療費が1.2倍～1.3倍に増加すると言われていることから、子ども医療費助成における所得制限の撤廃と高校生世代への全額助成を行うことを優先して考えています。この考えに賛同しますか（○は1つだけ）

「賛同する」が71.7%と最も高く、次いで「わからない」が17.0%、「賛同しない」が8.8%となっている。

性別にみると、「賛同する」が男性で73.7%、女性で69.1%と男性の方が女性より4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」が30歳代で特に高く8割を超えている。一方「わからない」は10歳代で高く3割を超えている。

問36 子ども医療費助成における所得制限の撤廃と高校生世代への全額助成
(問 34 で「賛同する」と回答された方のみ)



9. 観光施策について

問 37 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。（○は1つだけ）

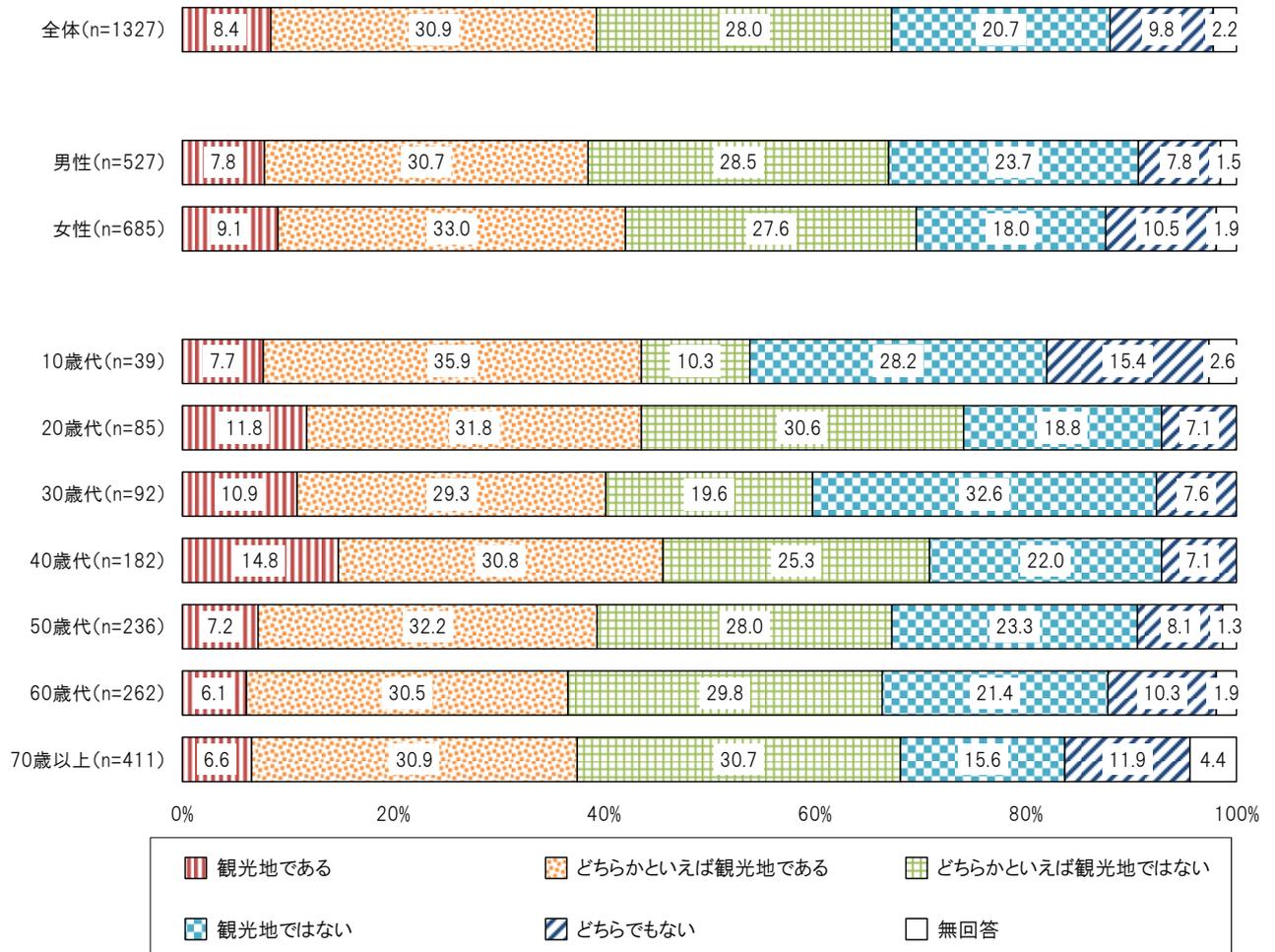
「どちらかといえば観光地である」が30.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば観光地ではない」が28.0%、「観光地ではない」が20.7%となっている。

性別にみると、「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は男性で38.5%、女性で42.1%と女性の方が男性より3.6ポイント高くなっている。一方、「観光地ではない」「どちらかといえば観光地ではない」の合計の割合は、男性が52.2%、女性が45.6%と、男性の方が女性より6.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、最も低い60歳代の36.6%と最も高い40歳代の45.6%の間では9.0ポイントの差となっている。

「観光地ではない」「どちらかといえば観光地ではない」の合計の割合でみると、最も低い10歳代の38.5%と最も高い30歳代の52.2%の間では13.7ポイントの差となっている。

問37 松阪市を観光地だと思うか



問 38 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。（○は3つまで）

「グルメ・食事」が 57.3%と最も高く、次いで「宿泊施設」が 38.1%、「歴史・文化」が 31.3%となっている。

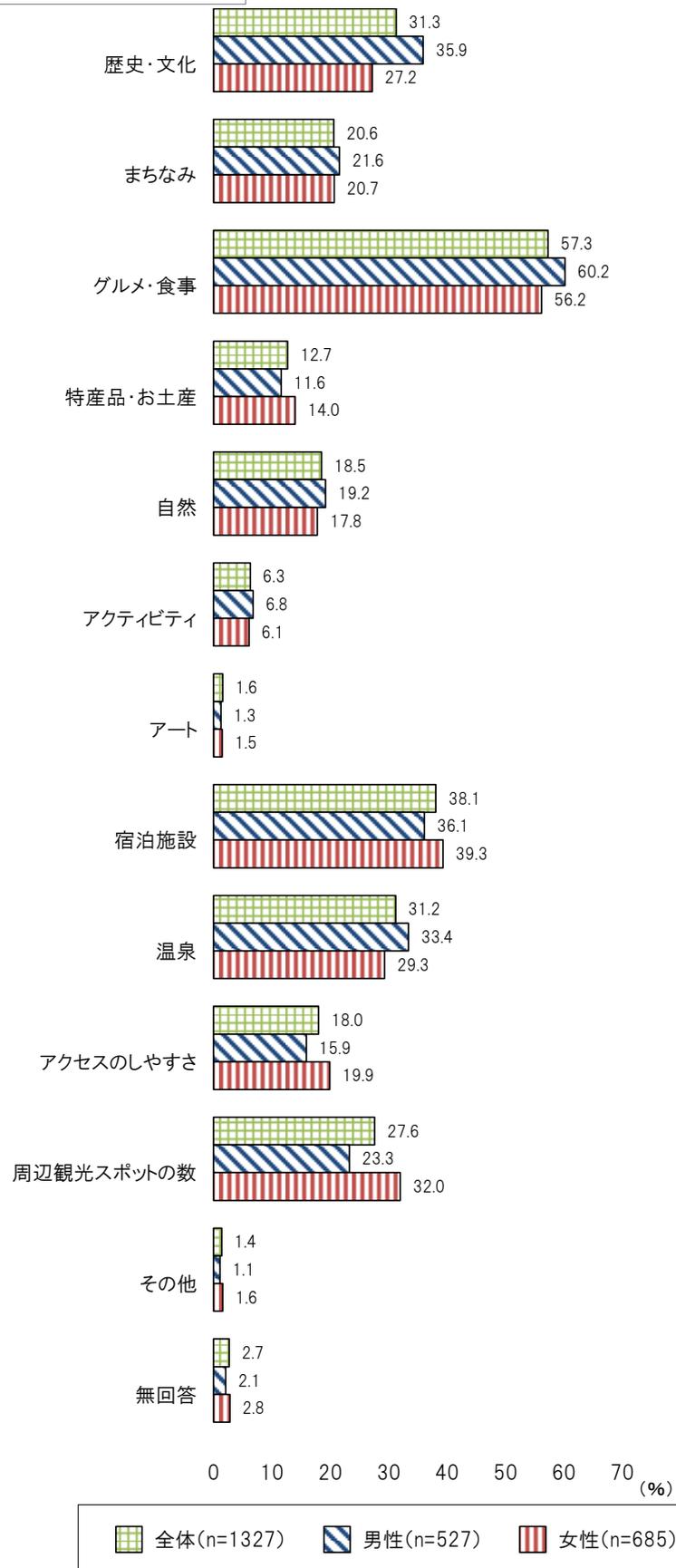
性別にみると、2 番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「歴史・文化」で 8.7 ポイント、「温泉」で 4.1 ポイント男性の方が高く、一方で「周辺観光スポットの数」で 8.7 ポイント、「アクセスのしやすさ」で 4.0 ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「グルメ・食事」が 1 番目となっており、10 歳代、20 歳代、30 歳代では 7 割を超えている。「温泉」が 70 歳代で 40.9%と 2 番目に高い一方、10 歳代の割合が最も低く 7.7%となっている。

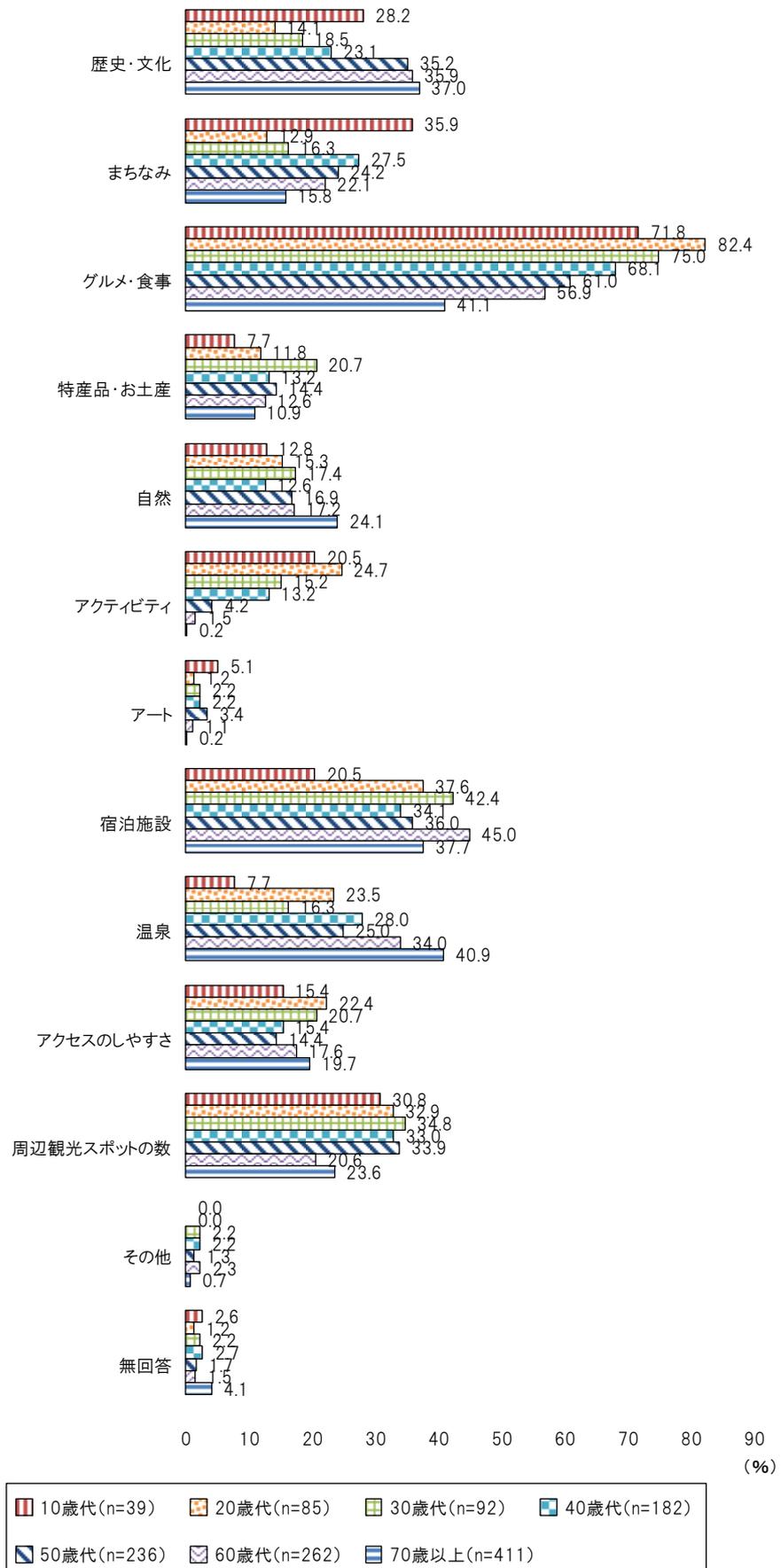
<年代ごとの上位 3 項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	グルメ・食事	71.8%	まちなみ	35.9%	周辺観光スポットの数	30.8%
20 歳代	グルメ・食事	82.4%	宿泊施設	37.6%	周辺観光スポットの数	32.9%
30 歳代	グルメ・食事	75.0%	宿泊施設	42.4%	周辺観光スポットの数	34.8%
40 歳代	グルメ・食事	68.1%	宿泊施設	34.1%	周辺観光スポットの数	33.0%
50 歳代	グルメ・食事	61.0%	宿泊施設	36.0%	歴史・文化	35.2%
60 歳代	グルメ・食事	56.9%	宿泊施設	45.0%	歴史・文化	35.9%
70 歳以上	グルメ・食事	41.1%	温泉	40.9%	宿泊施設	37.7%

問38 旅行に行くとき何を重視して行き先を決めるか



問38 旅行に行くとき何を重視して行き先を決めるか



問 39 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）しますか。（〇は2つまで）

「グルメ（松阪牛）」が67.7%と最も高く、次いで「歴史、文化、町並み」が43.9%、「グルメ（松阪牛以外）」が16.4%となっている。

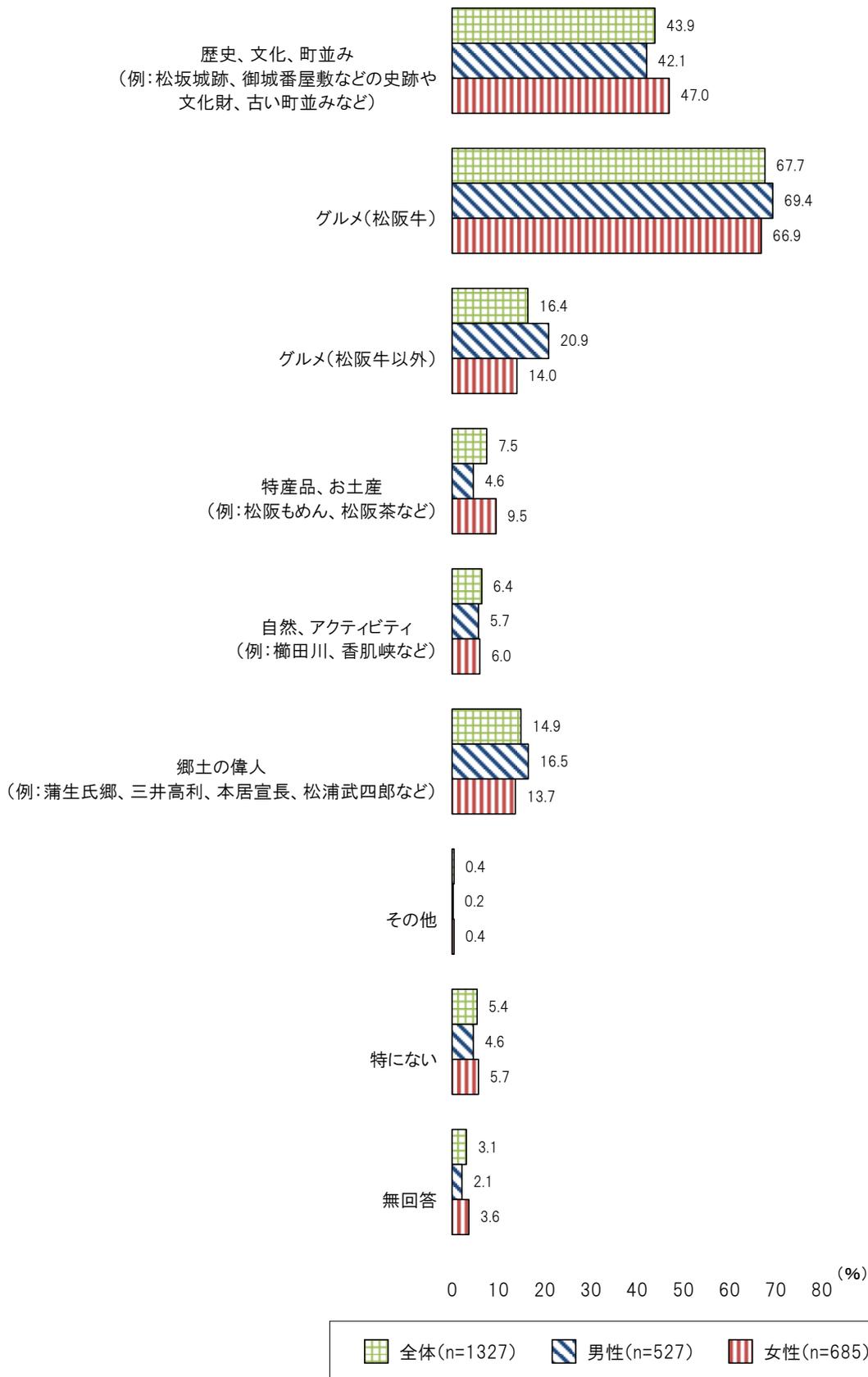
性別にみると、3番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「グルメ（松阪牛）以外」が6.9ポイント男性の方が女性より高く、一方「歴史、文化、町並み」「特産品、お土産」で4.9ポイント女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも1番目は「グルメ（松阪牛）」、2番目は「歴史、文化、町並み」であり、10歳代と70歳以上を除いた年代で3番目は「グルメ（松阪牛以外）」が入っている。一方、10歳代と70歳以上で3番目に「郷土の偉人」が入っている。

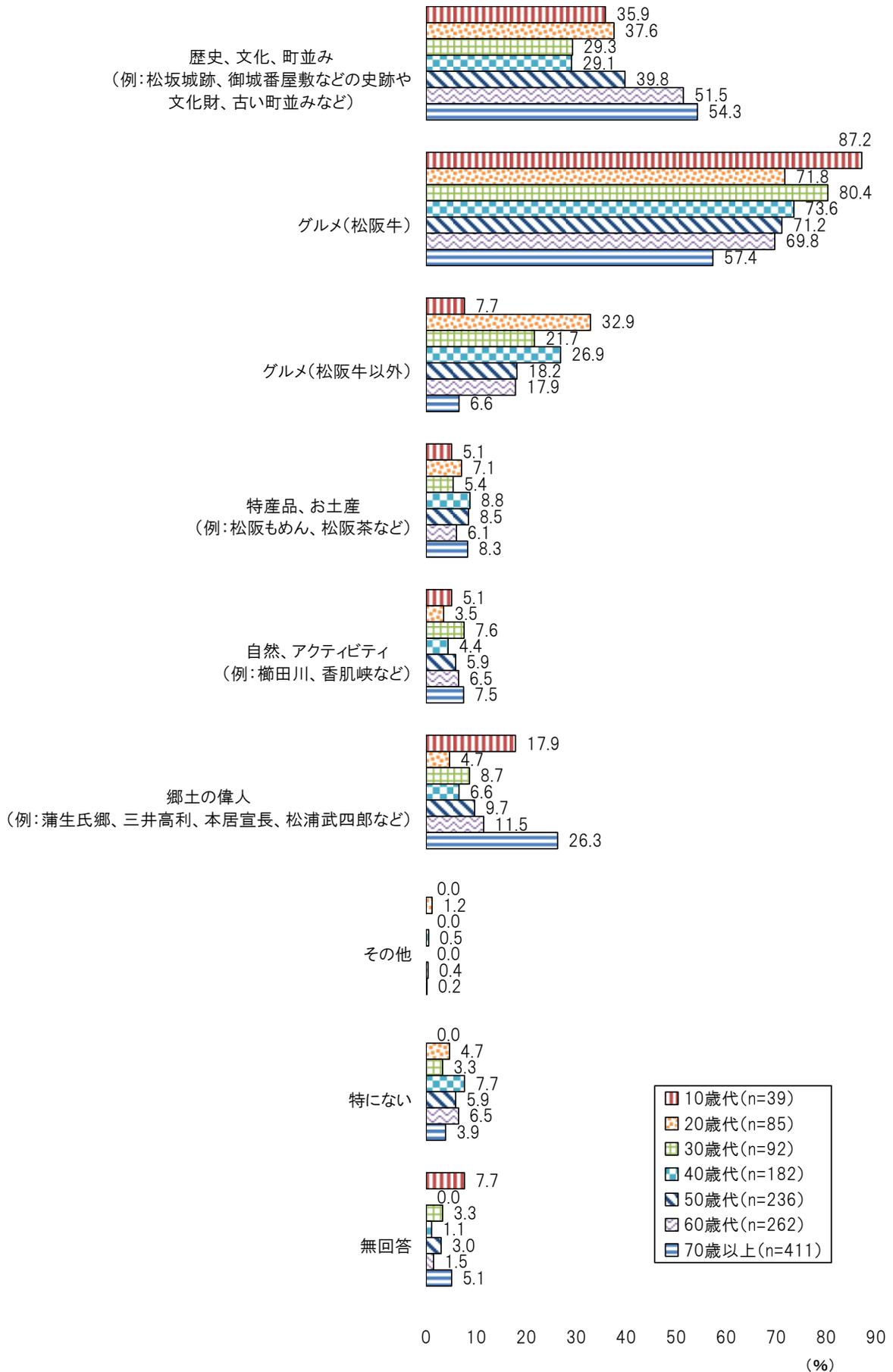
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	グルメ（松阪牛）	87.2%	歴史、文化、まちなみ（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	35.9%	郷土の偉人（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	17.9%
20 歳代	グルメ（松阪牛）	71.8%	歴史、文化、まちなみ	37.6%	グルメ（松阪牛以外）	32.9%
30 歳代	グルメ（松阪牛）	80.4%	歴史、文化、まちなみ	29.3%	グルメ（松阪牛以外）	21.7%
40 歳代	グルメ（松阪牛）	73.6%	歴史、文化、まちなみ	29.1%	グルメ（松阪牛以外）	26.9%
50 歳代	グルメ（松阪牛）	71.2%	歴史、文化、まちなみ	39.8%	グルメ（松阪牛以外）	18.2%
60 歳代	グルメ（松阪牛）	69.8%	歴史、文化、まちなみ	51.5%	グルメ（松阪牛以外）	17.9%
70 歳以上	グルメ（松阪牛）	57.4%	歴史、文化、まちなみ	54.3%	郷土の偉人	26.3%

問39 観光客などから松阪市のことを尋ねられたら何を紹介(自慢)するか



問39 観光客などから松阪市のことを尋ねられたら何を紹介(自慢)するか



問 40 これから松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいと思いますか。（〇は2つまで）

「歴史・文化のまちとしてPR」が47.9%と最も高く、次いで「食のまちとしてPR（松阪牛）」が43.3%、「食のまちとしてPR（松阪牛以外）」が28.6%となっている。

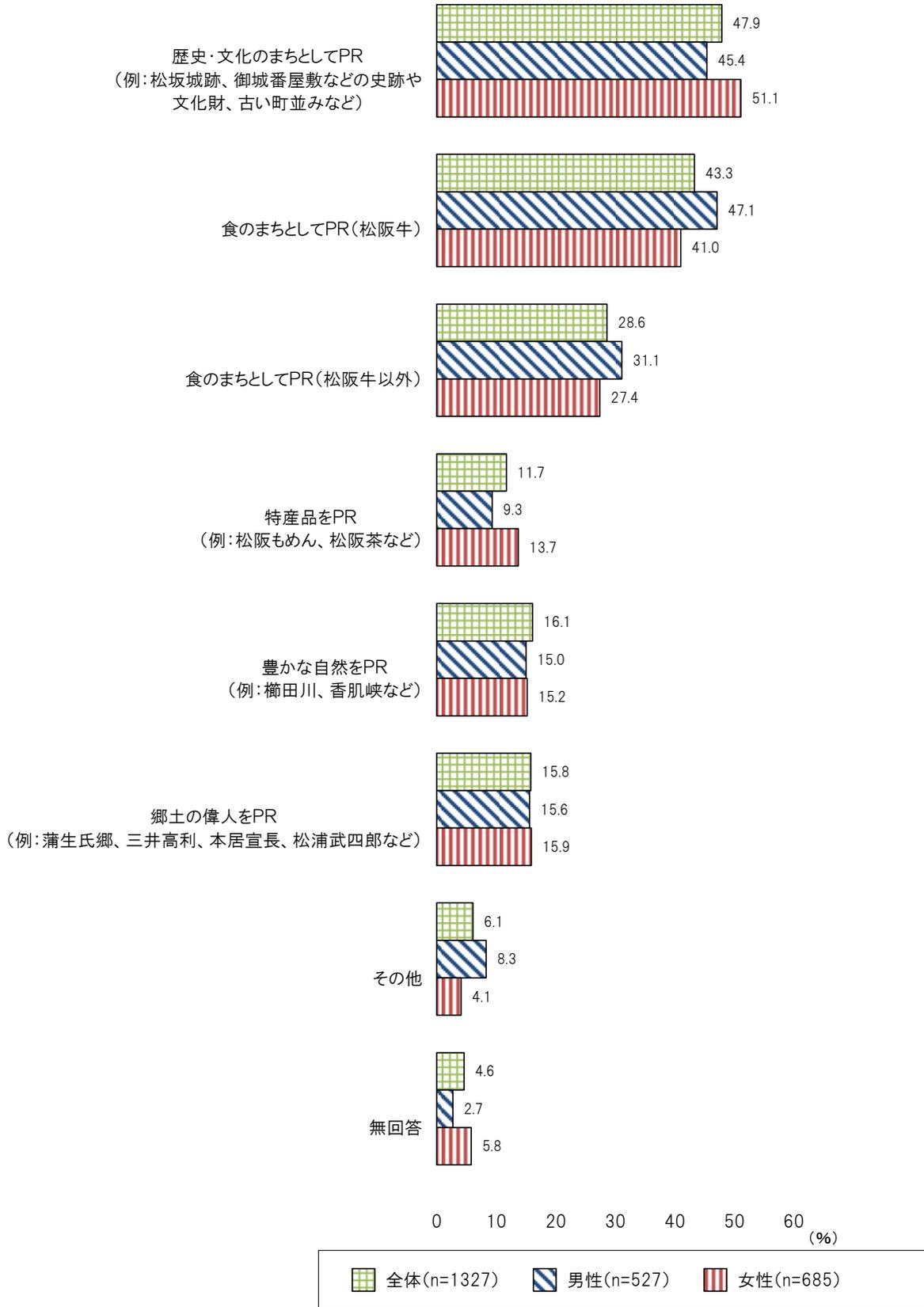
性別にみると、3番目以内に入る項目は男女とも同じであったが、1番目の項目は、男性は「食のまちとしてPR（松阪牛）」、女性は「歴史・文化のまちとしてPR」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「食のまちとしてPR（松阪牛）」で6.1ポイント男性の方が高く、一方で「歴史・文化のまちとしてPR」で5.7ポイント、「特産品をPR」で4.4ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、1番目の項目は10歳代、30歳代、40歳代で「食のまちとしてPR（松阪牛）」の割合が高く5割を超えている。一方、20歳代では「食のまちとしてPR（松阪牛以外）」、50歳代、60歳代、70歳以上では「歴史・文化のまちとしてPR」が1番目の項目に入っている。

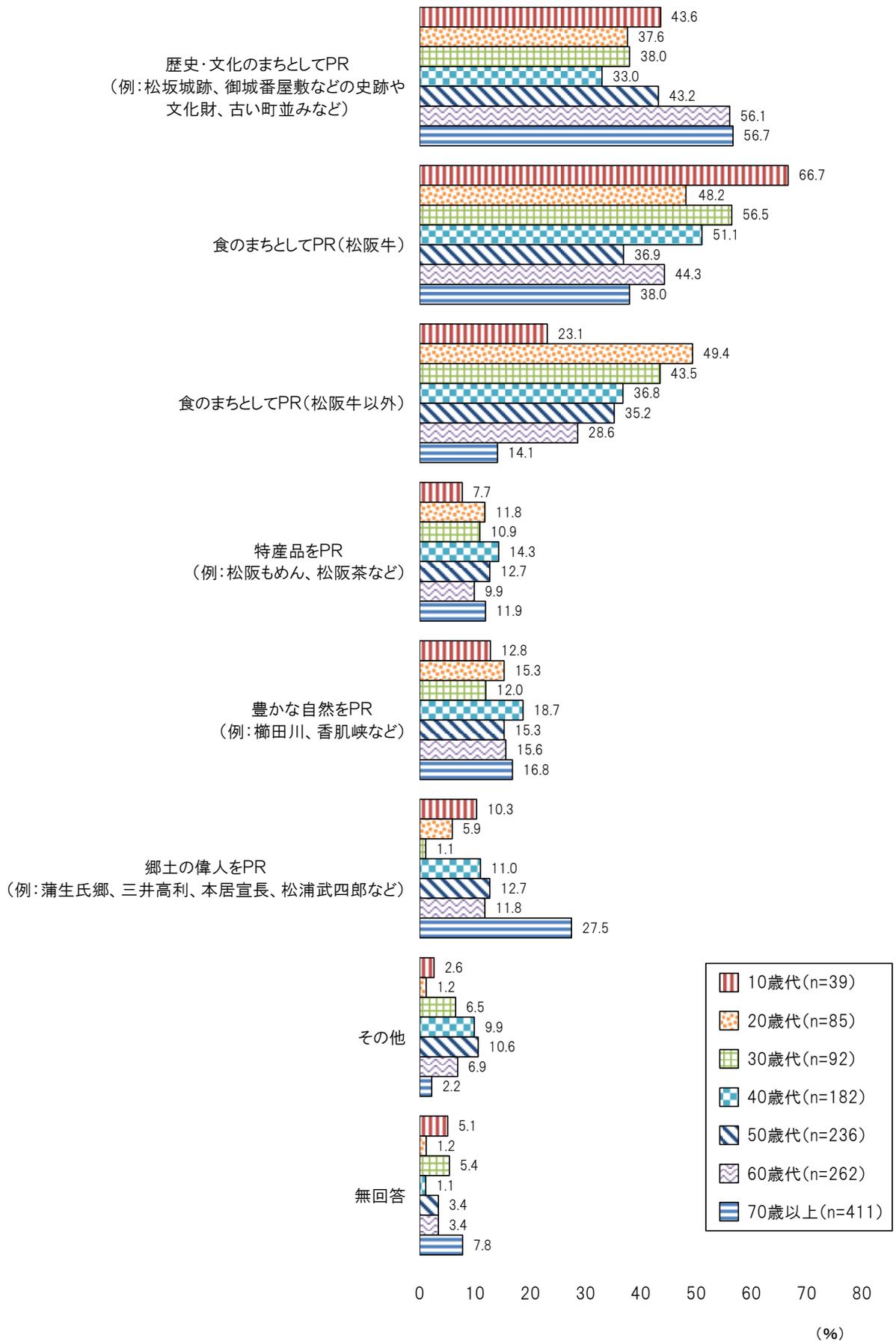
<年代ごとの上位3項目>

	1 番 目		2 番 目		3 番 目	
10 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	66.7%	歴史・文化のまちとしてPR（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	43.6%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	23.1%
20 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	49.4%	食のまちとしてPR（松阪牛）	48.2%	歴史・文化のまちとしてPR	37.6%
30 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	56.5%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	43.5%	歴史・文化のまちとしてPR	38.0%
40 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	51.1%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	36.8%	歴史・文化のまちとしてPR	33.0%
50 歳代	歴史・文化のまちとしてPR	43.2%	食のまちとしてPR（松阪牛）	36.9%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	35.2%
60 歳代	歴史・文化のまちとしてPR	56.1%	食のまちとしてPR（松阪牛）	44.3%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	28.6%
70 歳以上	歴史・文化のまちとしてPR	56.7%	食のまちとしてPR（松阪牛）	38.0%	郷土の偉人をPR（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	27.5%

問40 松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいか



問40 松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいか



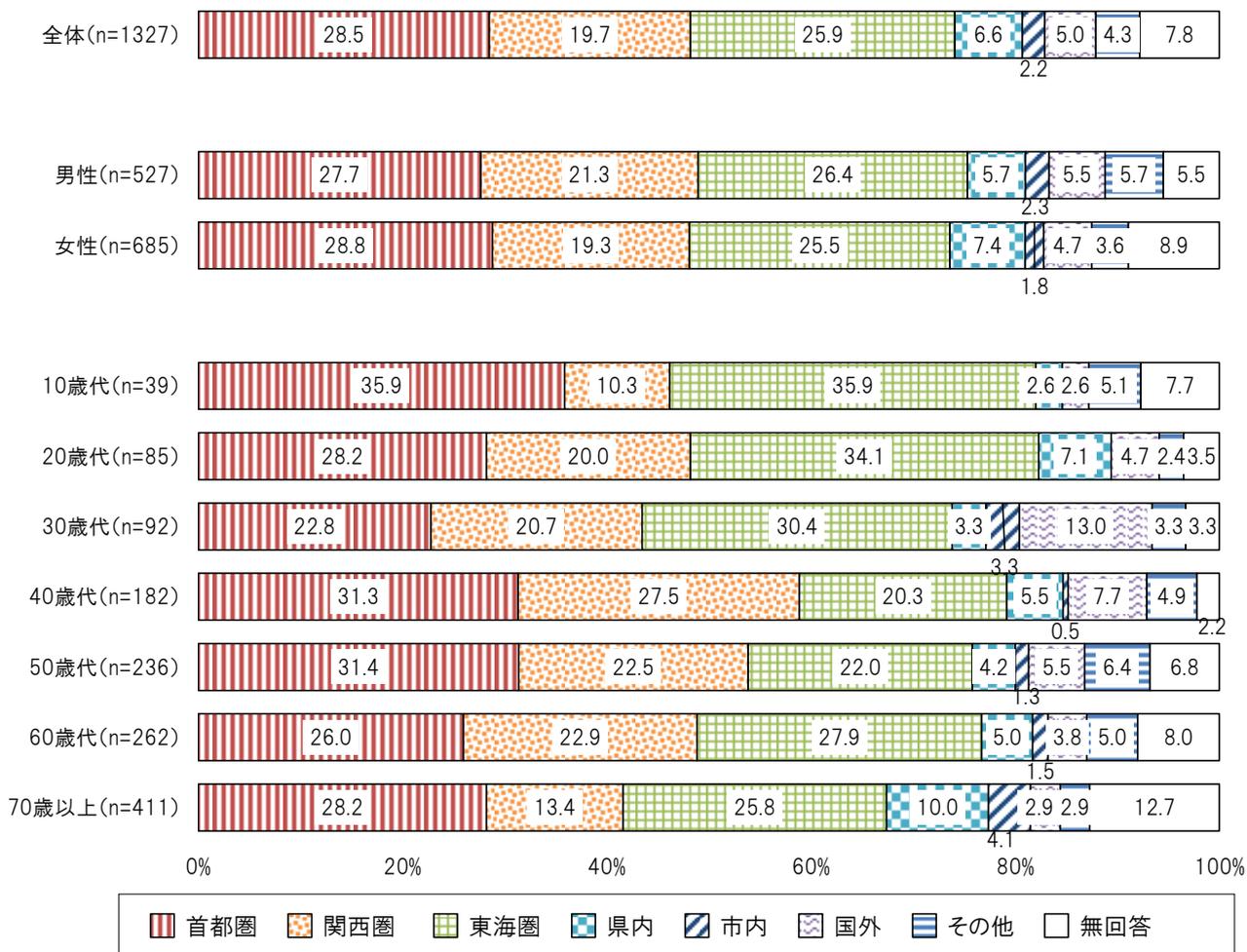
問41 どのようなところに向けたPRや情報発信をすればいいと思いますか。(〇は1つだけ)

「首都圏」が28.5%と最も高く、次いで「東海圏」が25.9%、「関西圏」が19.7%となっている。

性別にみると、「首都圏」「関西圏」「東海圏」の男女の差はいずれもわずかなものであり、大きな違いはみられない。

年代別にみると、各年代で最も多かった項目は、10歳代、20歳代、30歳代、60歳代は「東海圏」、40歳代、50歳代、70歳以上は「首都圏」となっている。なお、10歳代は「東海圏」「首都圏」の2項目について同率であった。

問41 どのようなところに向けたPRや情報発信すればよいか



問 42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいと思いますか。(○は2つまで)

「SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter))、LINE、YouTube など)」が41.2%と最も高く、次いで「イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)」が32.4%、「Web (Web サイトの充実、Web 広告の活用、PR 動画作成など)」が26.1%となっている。

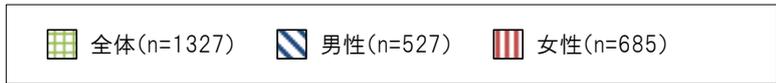
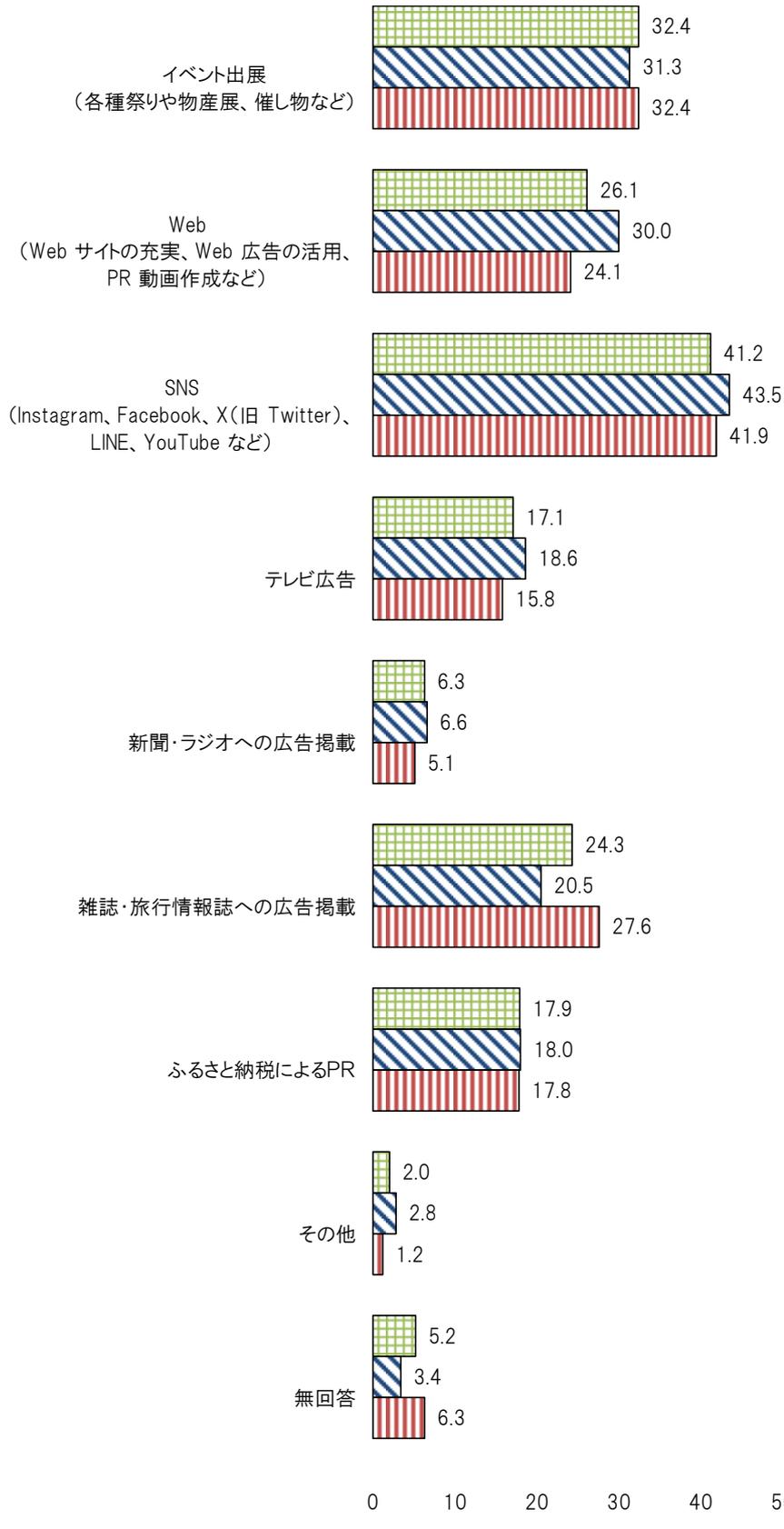
性別にみると、2番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。3番目の項目は男性が「Web (Web サイトの充実、Web 広告の活用、PR 動画作成など)」、女性が「雑誌・旅行情報誌への広告掲載」となった。男女の間で差が大きかった項目は、「雑誌・旅行情報誌への広告掲載」で7.1ポイント女性の方が高くなっている。一方で「Web (Web サイトの充実、Web 広告の活用、PR 動画作成など)」で5.9ポイント男性の方が高くなっている。

年代別にみると、60歳代、70歳以上を除いた年代では「SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter))、LINE、YouTube など)」が1番目となっており、一方60歳代、70歳以上では「イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)」が1番目となっている。

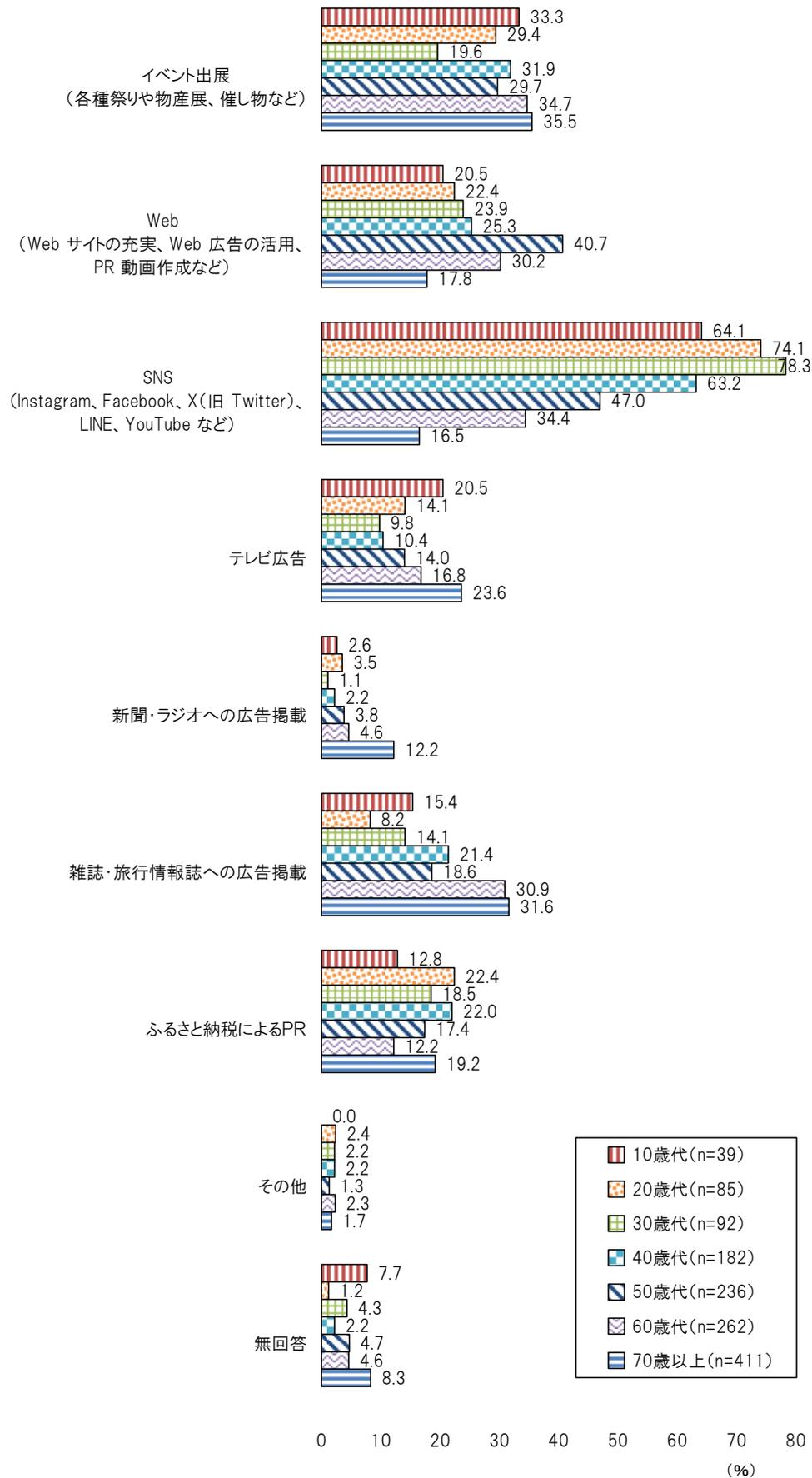
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter)、LINE、YouTube など)	64.1%	イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)	33.3%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	20.5%
					テレビ広告	20.5%
20 歳代	SNS	74.1%	イベント出展	29.4%	WEB	22.4%
					ふるさと納税によるPR	22.4%
30 歳代	SNS	78.3%	WEB	23.9%	イベント出展	19.6%
40 歳代	SNS	63.2%	イベント出展	31.9%	WEB	25.3%
50 歳代	SNS	47.0%	WEB	40.7%	イベント出展	29.7%
60 歳代	イベント出展	34.7%	SNS	34.4%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	30.9%
70 歳以上	イベント出展	35.5%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	31.6%	テレビ広告	23.6%

問42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいか



問42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいか



10. 松阪駅周辺のまちづくり（松阪西地区複合施設）について

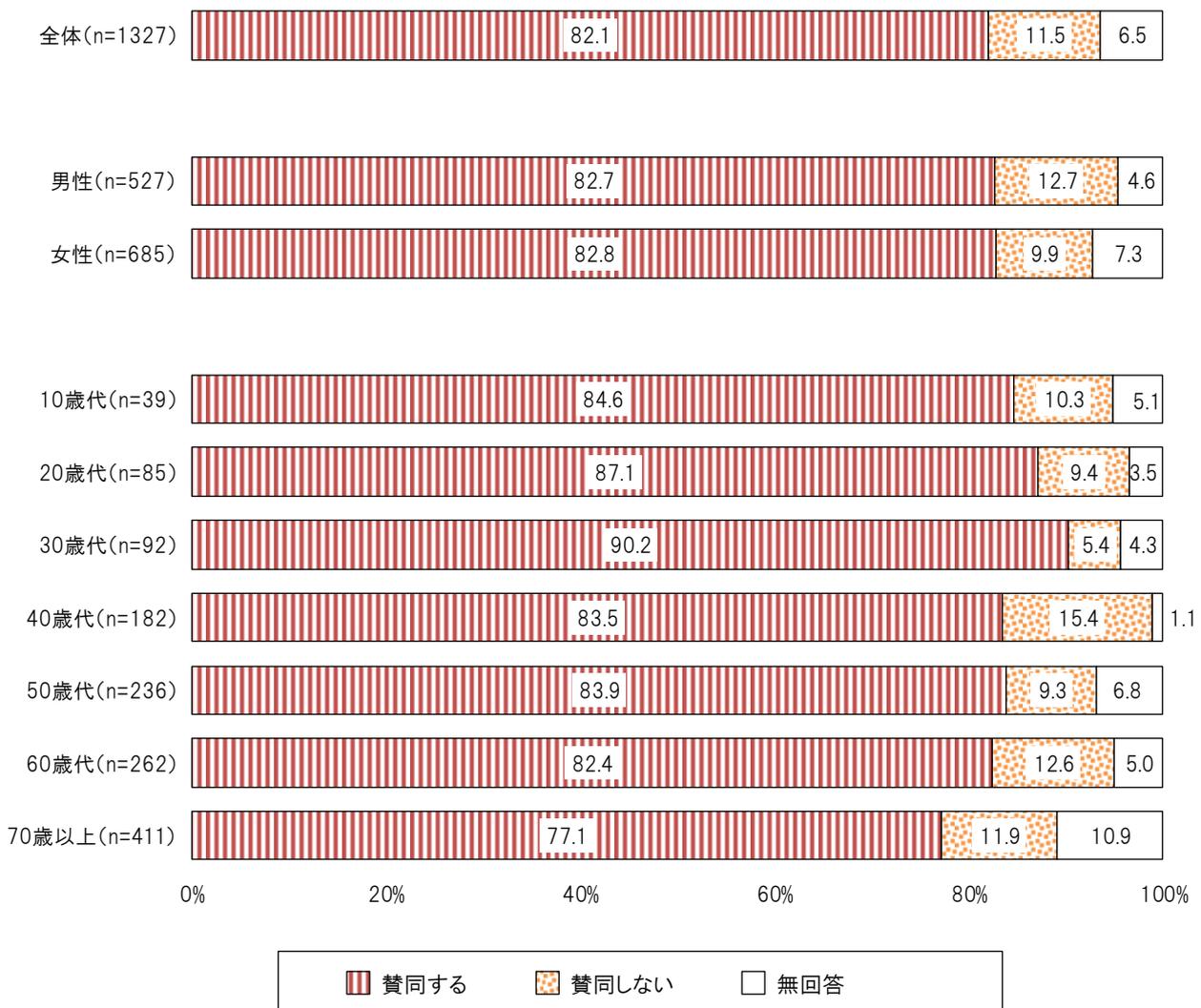
問 43 ポストコロナの松阪駅周辺のまちづくり（松阪駅西地区複合施設）については、これまでと同じように「公民連携」で進めていこうと考えていますが、この考え方に賛同しますか。（○は1つだけ）

「賛同する」が82.1%、「賛同しない」が11.5%となっている。

性別にみると、「賛同しない」の割合は、男性が12.7%、女性が9.9%で男性の方が女性より2.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」の割合は、30歳代で90.2%と最も高く、次いで20歳代で87.1%となっている。

問 43 ポストコロナの松阪駅周辺のまちづくり「公民連携」で進めていくことについて



11. 地域包括ケアシステムとそれを支える医療提供体制について

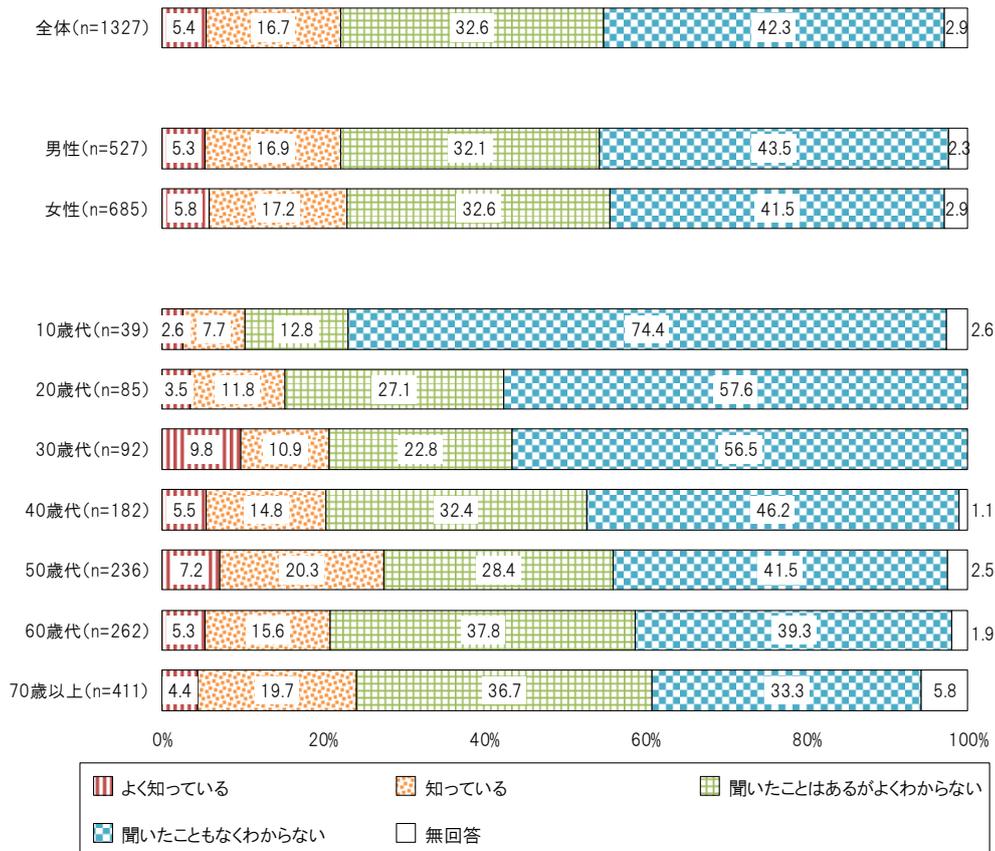
問 44 現在の医療制度においては、それぞれの病院が、高度急性期機能※1、急性期機能※2、回復期機能※3、慢性期機能※4といった機能を分担しています。これらの病院が地域で互いの役割を明確にし、地域全体で安心できる医療を提供しようとする動きが進められています。このことについて知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたこともなくわからない」が42.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよくわからない」が32.6%、「知っている」が16.7%となっている。

性別にみると、男女ともに「聞いたこともなくわからない」が最も高く、男性の方が女性より2.0ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、70歳代を除く年代で「聞いたこともなくわからない」が最も高く、10歳代では7割を超えている。一方、70歳代では「聞いたことはあるがよくわからない」の割合が最も高くなった。

問44 現在の医療制度において、それぞれの病院が機能分担していることについて



- ※1 高度急性期機能 …… 救命救急や集中治療を必要とする患者に、高度で濃密な医療を提供。
 ※2 急性期機能 …… 病状の早期安定化に向けて、検査や処置・手術などの医療を提供。
 ※3 回復期機能 …… 急性期を経過した患者に、在宅復帰に向けた医療またはリハビリテーションを提供。
 ※4 慢性期機能 …… 長期にわたり療養が必要な患者に、入院医療を提供。

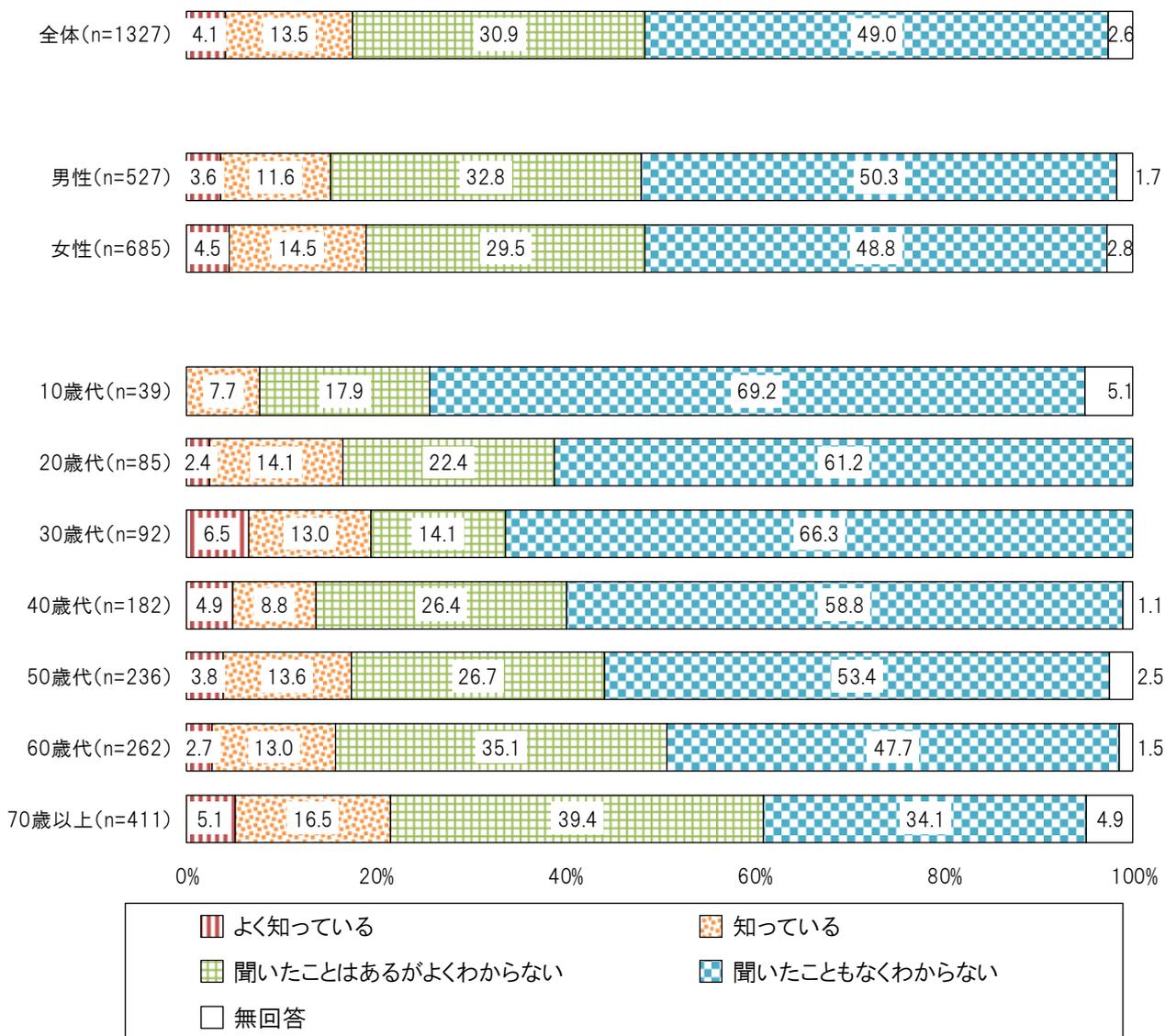
問 45 「三重県地域医療構想」では、松阪区域において 75 歳以上の人口がピークとなる 2030 年頃の超高齢社会に向けて、病床のうち回復期機能（地域包括ケア病床※5）の不足が見込まれています。このことについて知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたこともなくわからない」が 49.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがよくわからない」が 30.9%、「知っている」が 13.5%となっている。

性別にみると、男女ともに「聞いたこともなくわからない」が最も高く、男性の方が女性より 1.5 ポイント高いものの、大きな差はみられない。

年代別にみると、70 歳代を除く年代で「聞いたこともなくわからない」が最も高く、10 歳代では 69.2%となっている。一方、70 歳代では「聞いたことはあるがよくわからない」の割合が最も高くなった。

問45 2030 年頃の超高齢社会に向けて回復期機能の不足が見込まれることの認知度



※5 地域包括ケア病床 …… 急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある方、在宅・施設療養中から緊急入院した方に対して、在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行うこと等を目的とした病床。

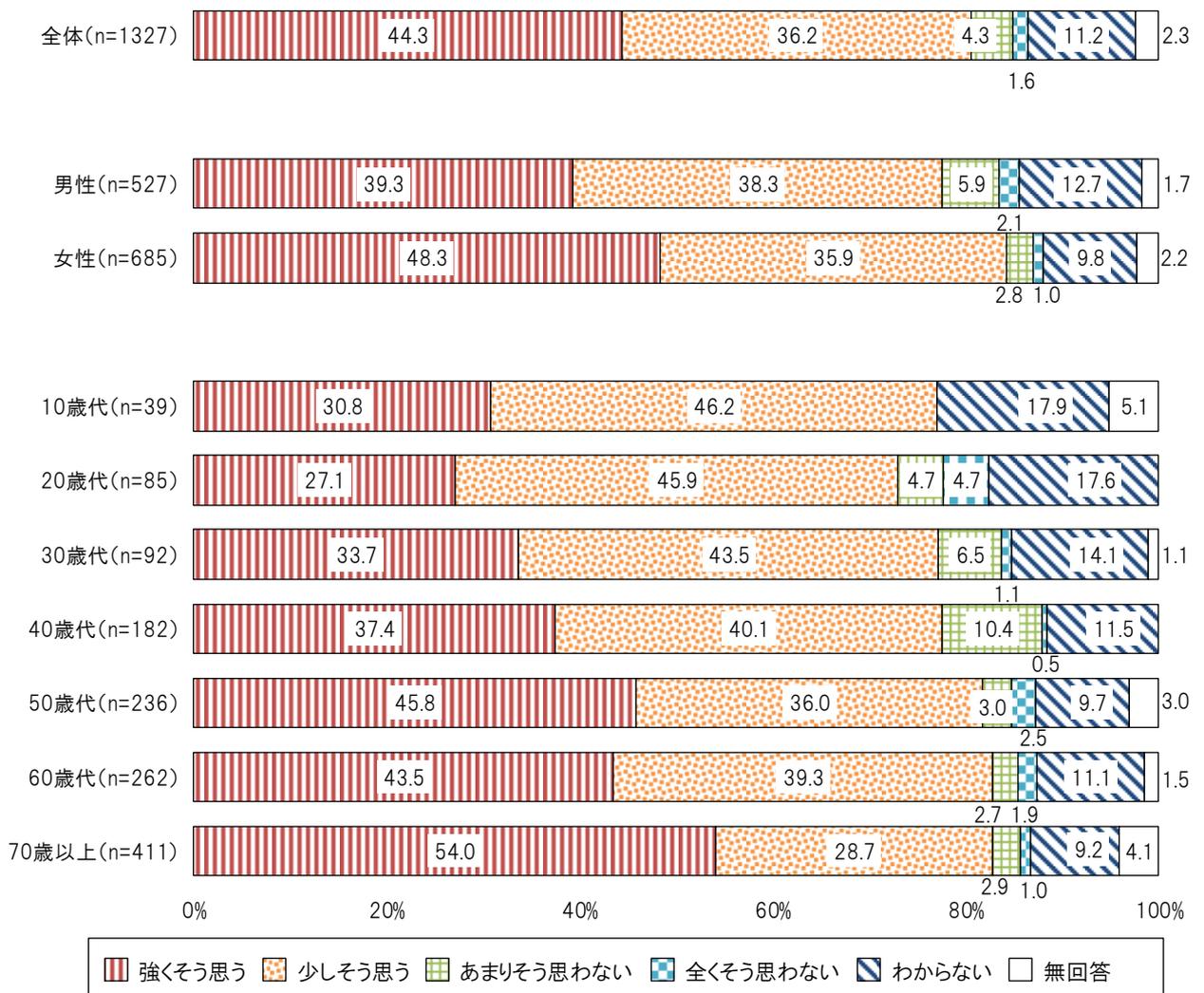
問 46 75 歳以上の人口がピークとなる 2030 年頃の超高齢社会に備え、松阪区域に不足すると見込まれている回復期機能（地域包括ケア病床）を中心とする病院が必要だと思いますか。（〇は1つだけ）

「強くそう思う」が 44.3%と最も高く、次いで「少しそう思う」が 36.2%、「わからない」が 11.2%となっている。

性別にみると、「強くそう思う」と「少しそう思う」を合計した割合は、男性で 77.6%、女性で 84.2%と女性の方が男性より 6.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「強くそう思う」と「少しそう思う」を合計した割合は、50 歳以上で高く 8 割を超えている。

問46 超高齢社会に備え回復期機能(地域包括ケア病床)を中心とする病院が必要か



12. COPD（慢性閉塞性肺疾患）に係る認知度について

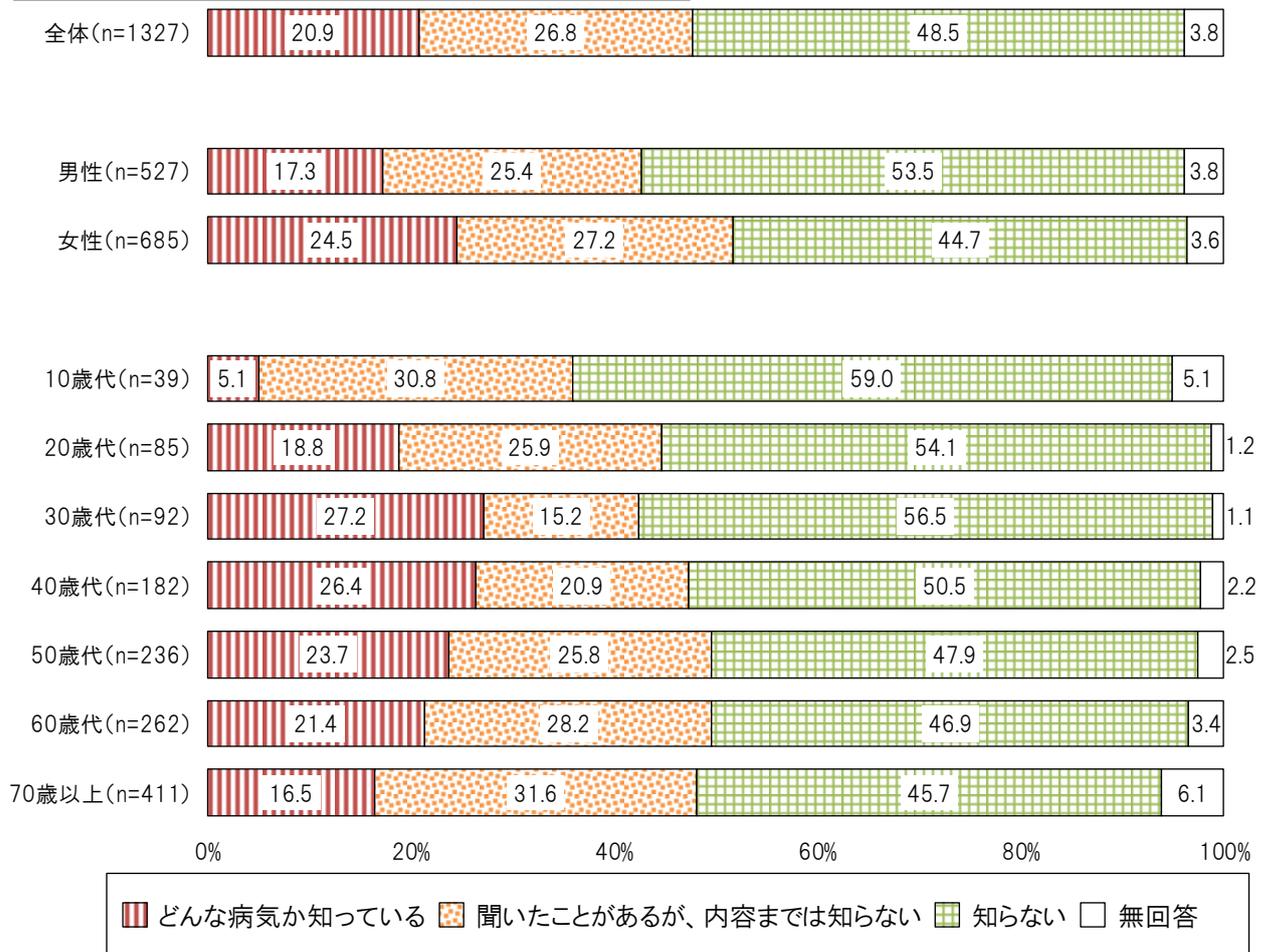
問 47 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。（〇は1つだけ）

「知らない」が48.5%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が26.8%、「どんな病気か知っている」が20.9%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は、男性で53.5%、女性で44.7%であり男性の方が8.8ポイント高くなっている。一方、「どんな病気か知っている」の割合は、男性で17.3%、女性で24.5%と女性の方が7.2ポイント高くなっている。

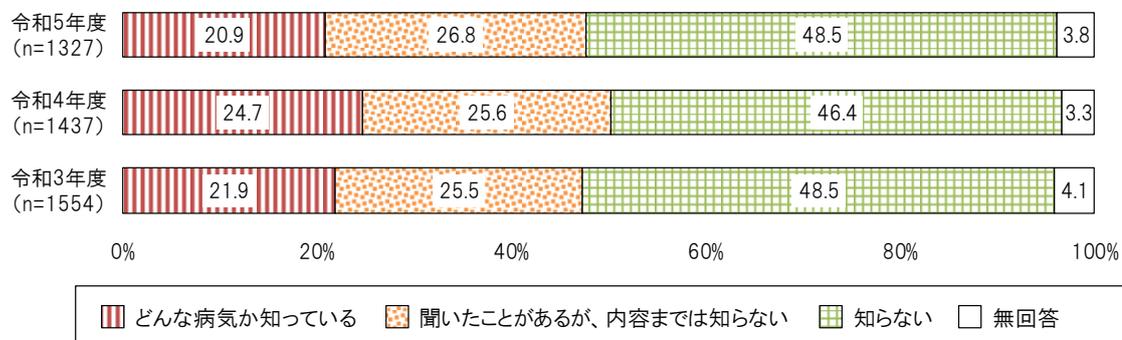
年代別にみると、「知らない」の割合は、10歳代で59.0%と最も高くなっており、次いで30歳代で56.5%となっている。また、「どんな病気か知っている」が10歳代で5.1%と最も低くなっている。

問47 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



前回と比較すると、「どんな病気か知っている」の割合について、前回は24.7%、今回が20.9%と3.8ポイント低くなっている。

問47 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



13. 放課後児童クラブについて

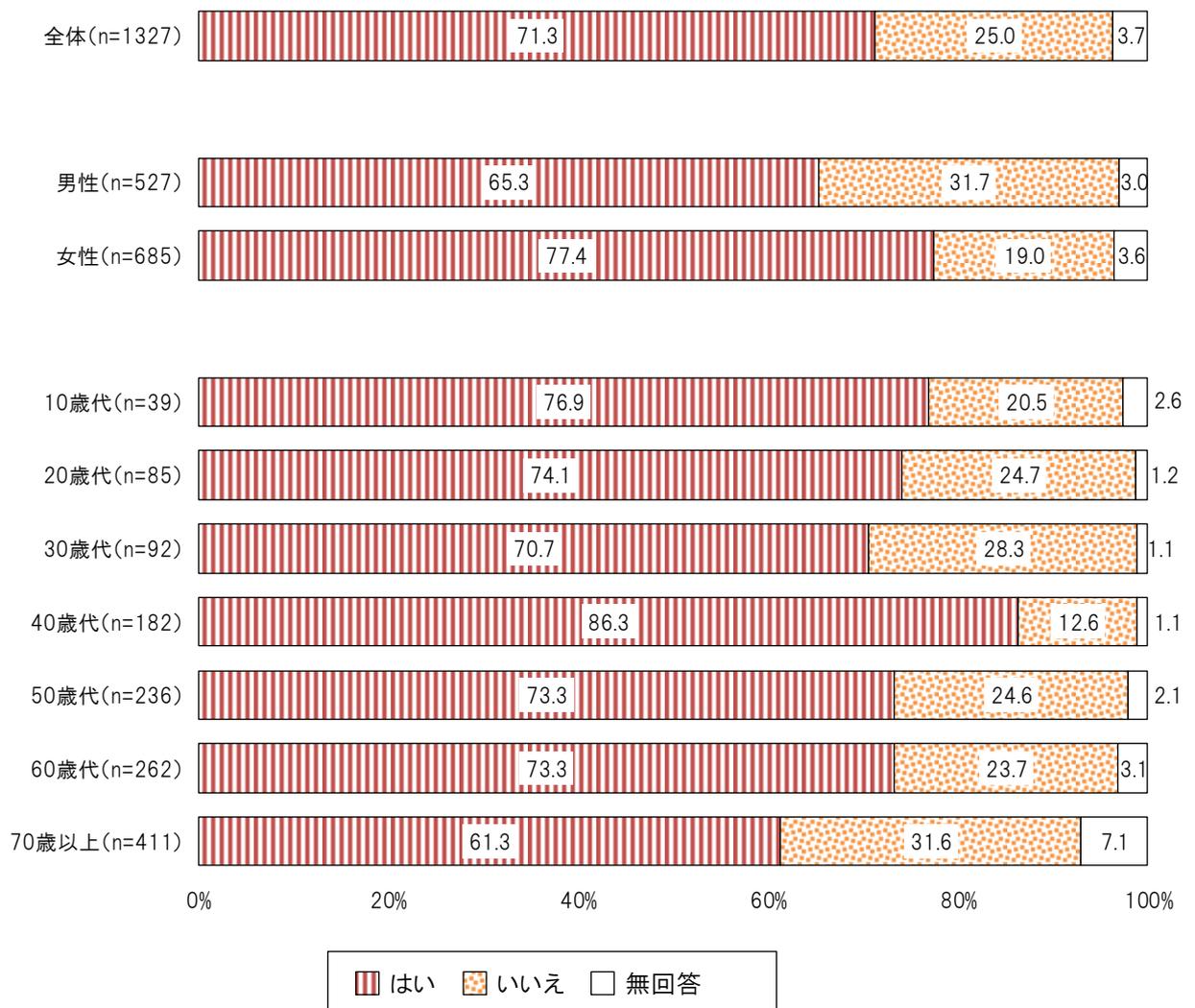
問 48 放課後児童クラブについて知っていますか。(○は1つだけ)

「はい」が71.3%、「いいえ」が25.0%となっている。

性別にみると、「いいえ」の割合は、男性で31.7%、女性で19.0%であり男性の方が12.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「はい」の割合は、40歳代で86.3%と最も高くなっており、次いで10歳代で76.9%となっている。一方で、70歳以上で61.3%と最も低くなっている。

問48 放課後児童クラブについて知っているか



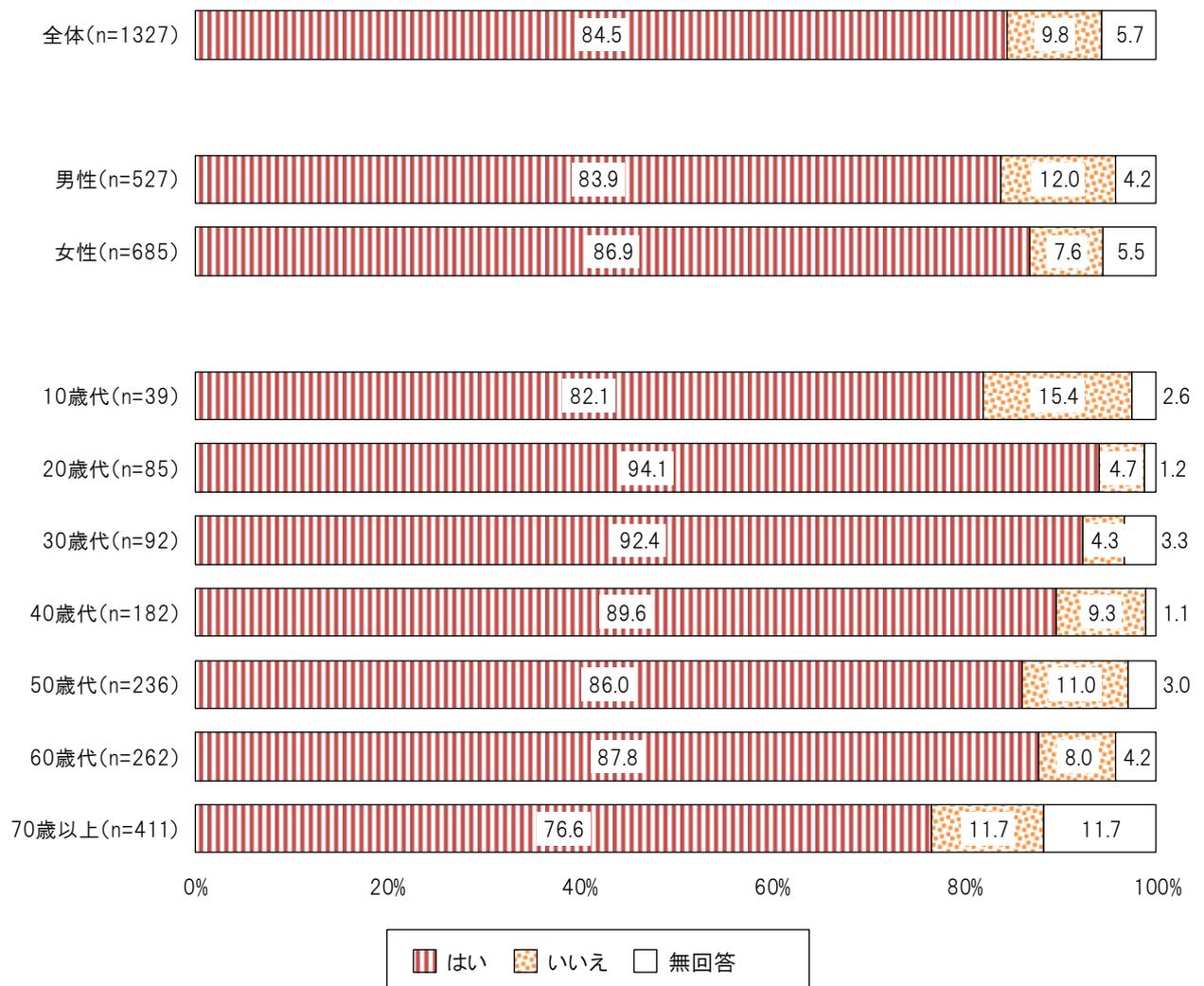
問 49 今後、さらに放課後児童クラブを充実させていくべきだと思いますか。(○は1つだけ)

「はい」が84.5%、「いいえ」が9.8%となっている。

性別にみると、「はい」の割合は、男性で83.9%、女性で86.9%であり女性の方が3.0ポイント高いものの、大きな差がみられない。

年代別にみると、「はい」の割合は、20歳代で94.1%と最も高くなっており、次いで30歳代で92.4%となっている。一方で、70歳以上で76.6%と最も低くなっている。

問49 今後さらに放課後児童クラブを充実させていくべきか



14. スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて

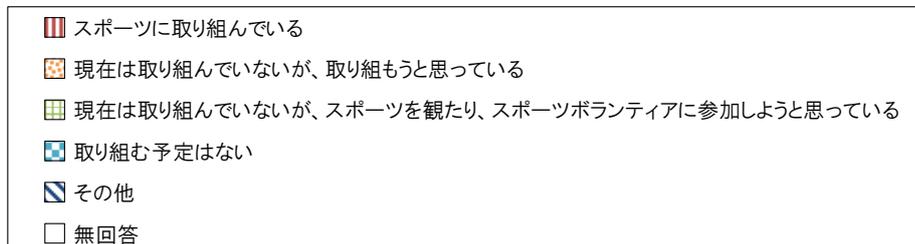
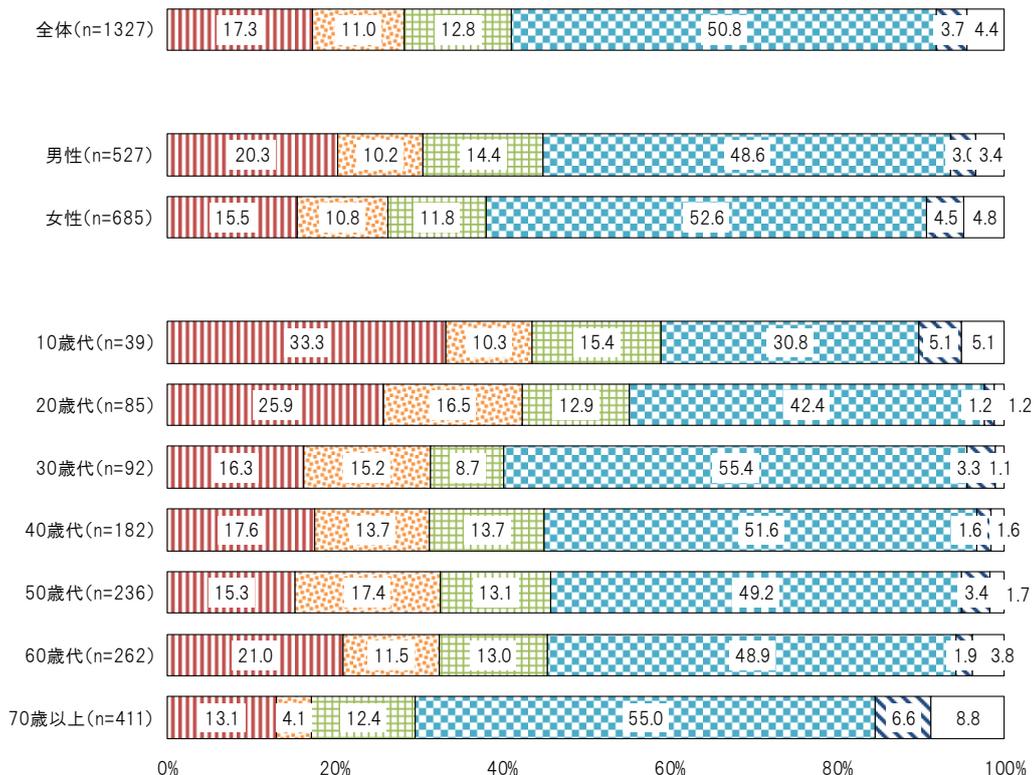
問 50 松阪市では、「伝えたい！スポーツのチカラ」プロジェクトや「みえ松阪マラソン」の開催など、スポーツに関する情報を積極的に発信していますが、最近、あなたはスポーツに取り組んだことがありますか。（○は1つだけ）

「取り組む予定はない」が50.8%と最も高く、次いで「スポーツに取り組んでいる」が17.3%、「現在は取り組んでいないが、スポーツを観たり、スポーツボランティアに参加しようと思っている」が12.8%となっている。

性別にみると、「スポーツに取り組んでいる」が、男性で20.3%、女性で15.5%と男性の方が4.8ポイント高くなっている。一方、「取り組む予定はない」が、男性で48.6%、女性で52.6%と女性の方が4.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、10歳代を除くすべての年代で「取り組む予定はない」が最も高くなっている。一方、10歳代では「スポーツに取り組んでいる」が最も高く3割を超えている。

問50 最近スポーツに取り組んだことがあるか



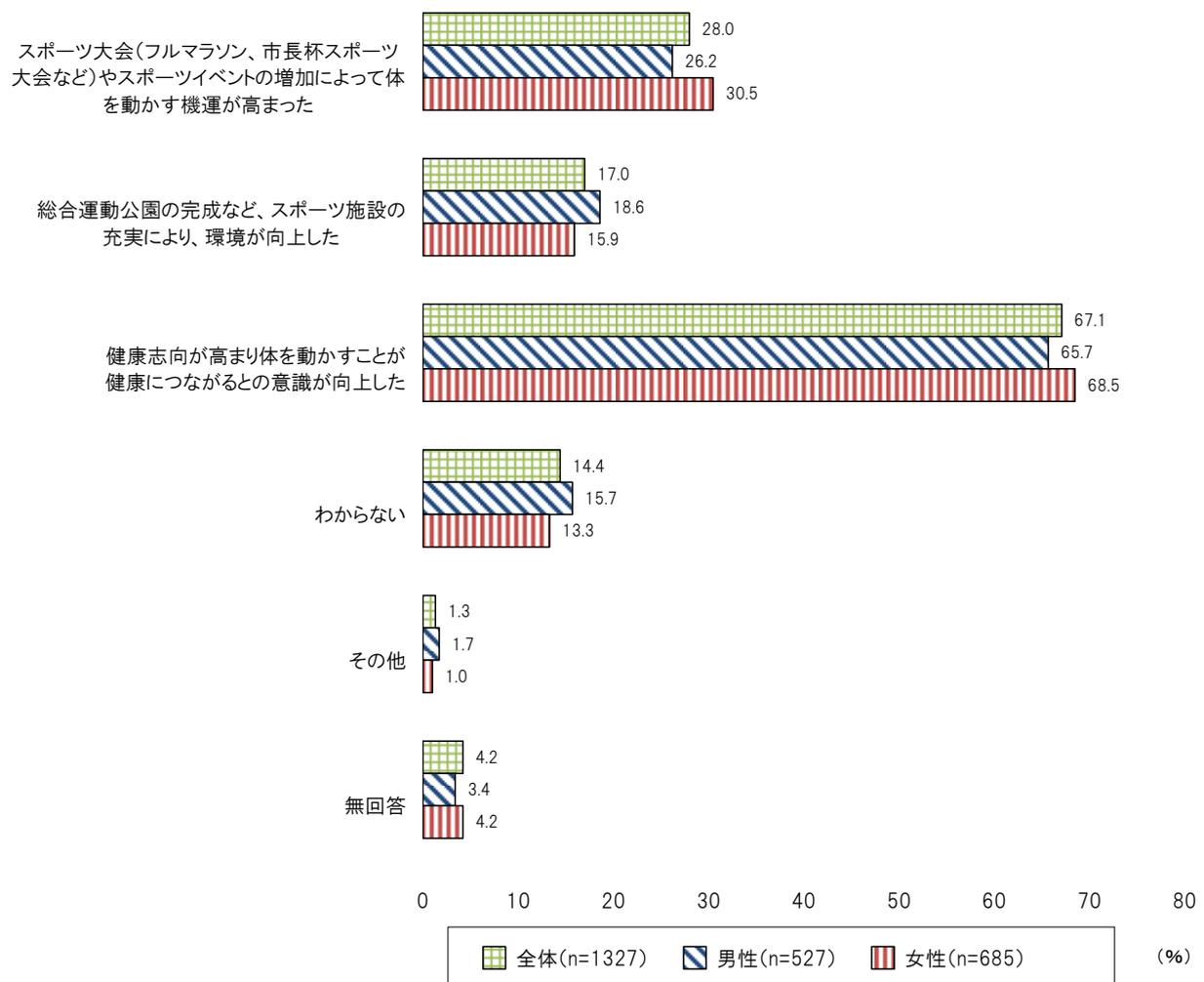
問 51 10年前と比べてスポーツをする市民（20歳以上）の割合が増えています。その要因は何だと思えますか。（〇はいくつでも）

「健康志向が高まり体を動かすことが健康につながるとの意識が向上した」が67.1%と最も高く、次いで「スポーツ大会（フルマラソン、市長杯スポーツ大会など）やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった」が28.0%、「総合運動公園の完成など、スポーツ施設の充実により、環境が向上した」が17.0%となっている。

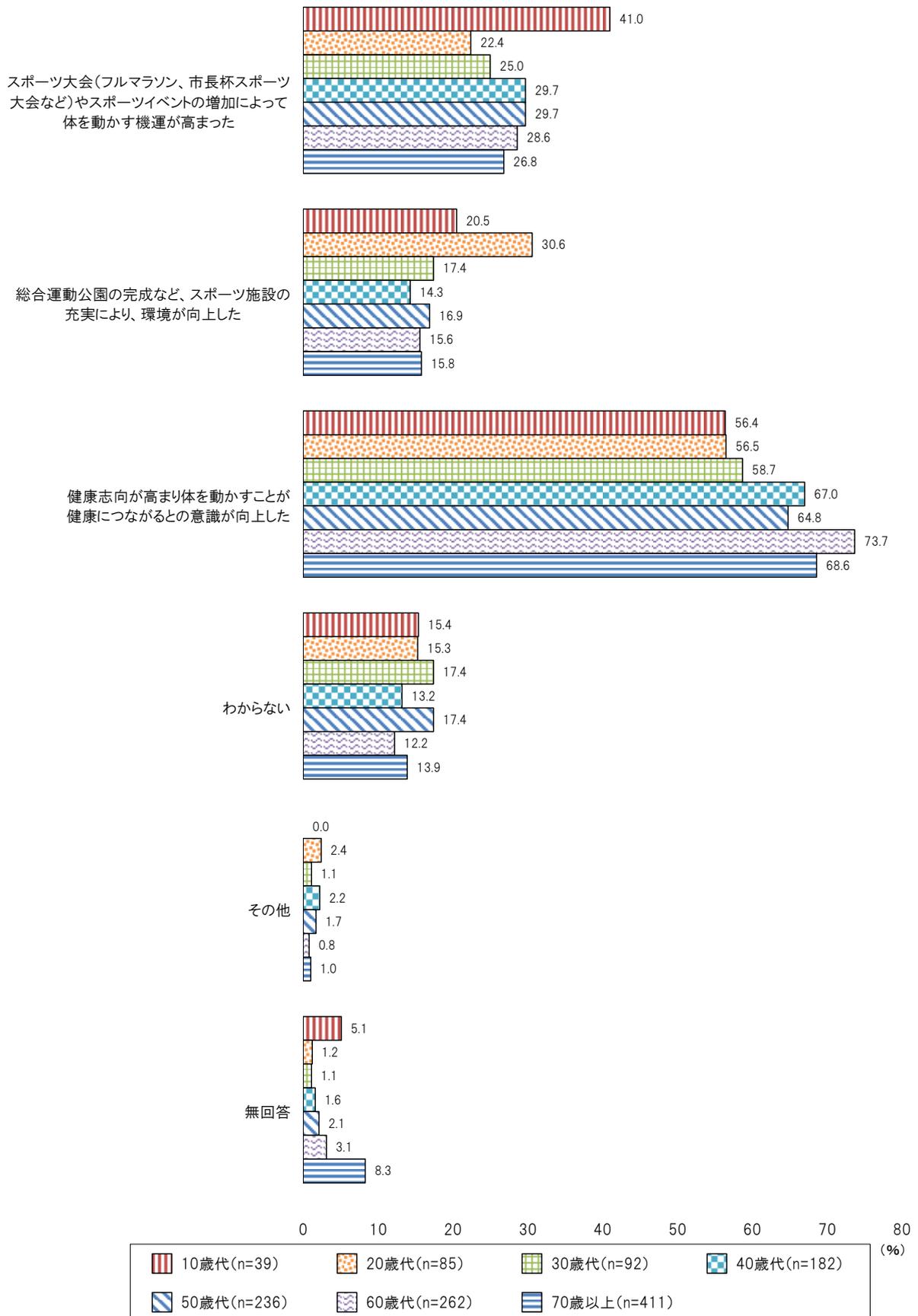
性別にみると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「スポーツ大会（フルマラソン、市長杯スポーツ大会など）やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった」で4.3ポイント女性の方が高くなっているものの、他の項目では大きな差はなかった。

年代別にみると、いずれの年代も「健康志向が高まり体を動かすことが健康につながるとの意識が向上した」の割合が1番目に高くなっている。20歳代は、「総合運動公園の完成など、スポーツ施設の充実により、環境が向上した」が2番目に高くなっており、一方、20歳代以外では「スポーツ大会（フルマラソン、市長杯スポーツ大会など）やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった」が2番目に高くなっている。

問51 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増加している要因は何か



問51 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増加している要因は何か



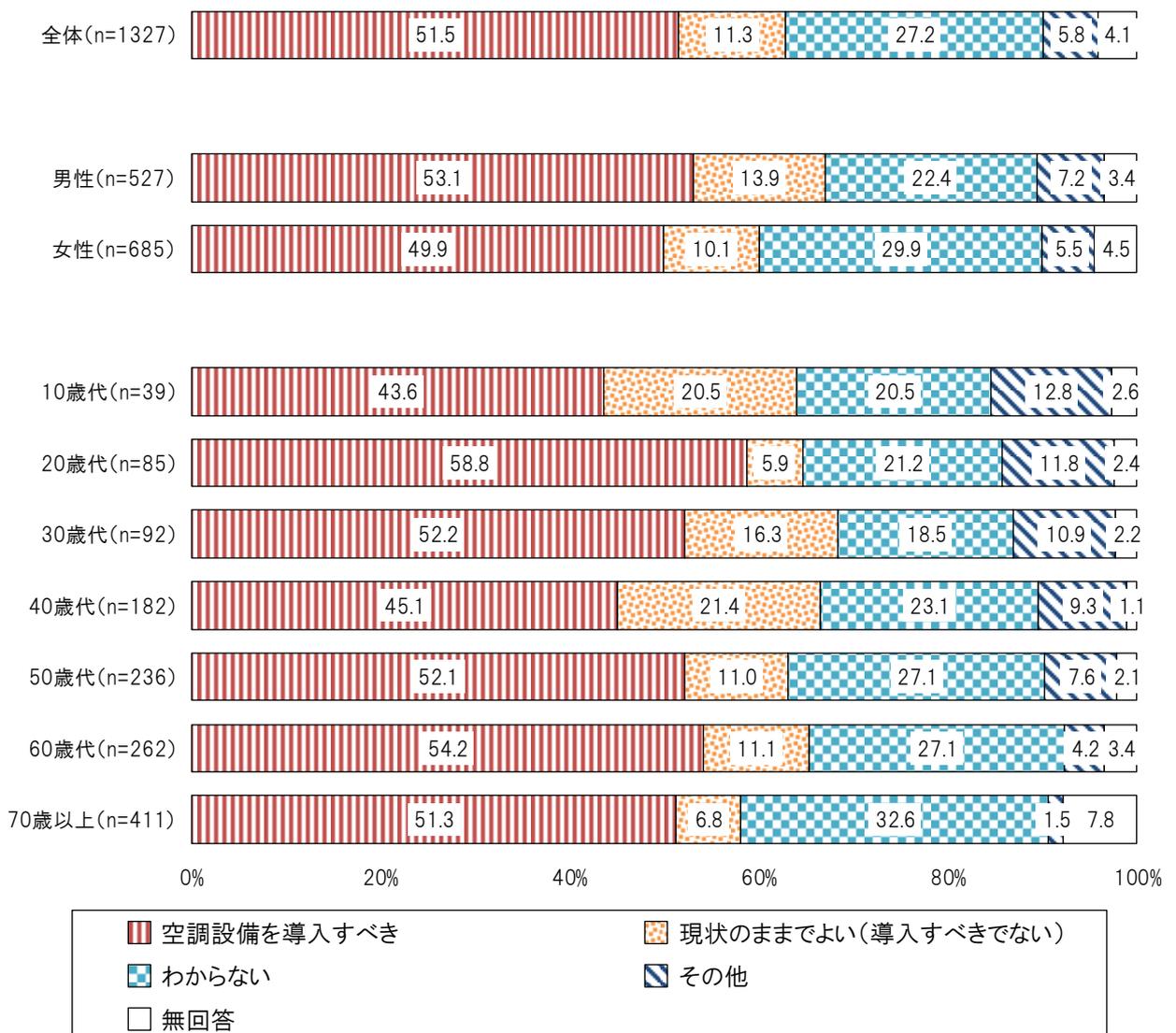
問 52 本市のスポーツ施設は老朽化が進んでおり、特に総合体育館（三十三銀行アリーナ）は昭和50年に建設され約50年が経過しようとしています。同施設は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層にご利用いただいておりますが、アリーナ（体育館）には空調設備がないため、最近の気温上昇により、運動中の熱中症リスクが高まっています。この課題に対処するため、空調設備の導入（経費約3億円）を検討していますが、どのように思われますか。（○は1つだけ）

「空調設備を導入すべき」が51.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.2%、「現状のままでよい（導入すべきでない）」が11.3%となっている。

性別にみると、「空調設備を導入すべき」が、男性で53.1%、女性で49.9%と男性の方が3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「現状のままでよい（導入すべきでない）」が10歳代で20.5%、40歳代で21.4%と他の年代に比べ高くなっている。

問52 スポーツ施設に対する空調設備の導入（経費約3億円）についてどう思うか



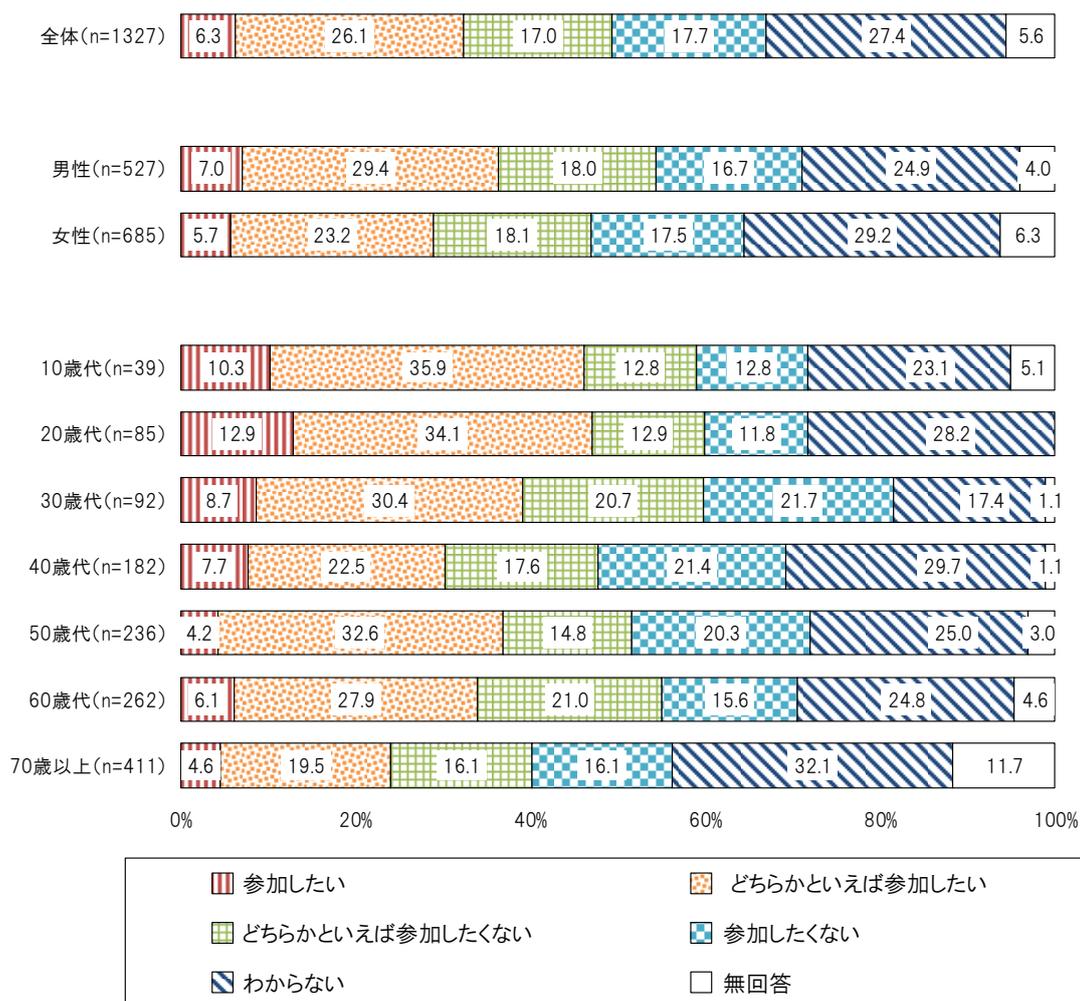
問 53 松阪市では、スポーツのチカラ「スポーツと連動したまちづくり」の一環として、市民の皆さんと一体となってスポーツボランティアへの参加を通じてスポーツを「支える」喜びを感じ、よりスポーツに親しむことで、さらなる健康づくりにつなげていきたいと考えています。今後も、スポーツイベントを通じてボランティアの機会を増やしていこうと考えていますが、どのように思われますか。（○は1つだけ）

「わからない」が27.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」が26.1%、「参加したくない」が17.7%となっている。

性別にみると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合が、男性で36.4%、女性で28.9%と男性の方が7.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合が、20歳代で47.0%と最も高くなっており、次いで10歳代で46.2%となっている。一方、「参加したくない」と「どちらかといえば参加したくない」を合わせた割合が30歳代で42.4%と最も高くなっており、次いで40歳代で39.0%となっている。

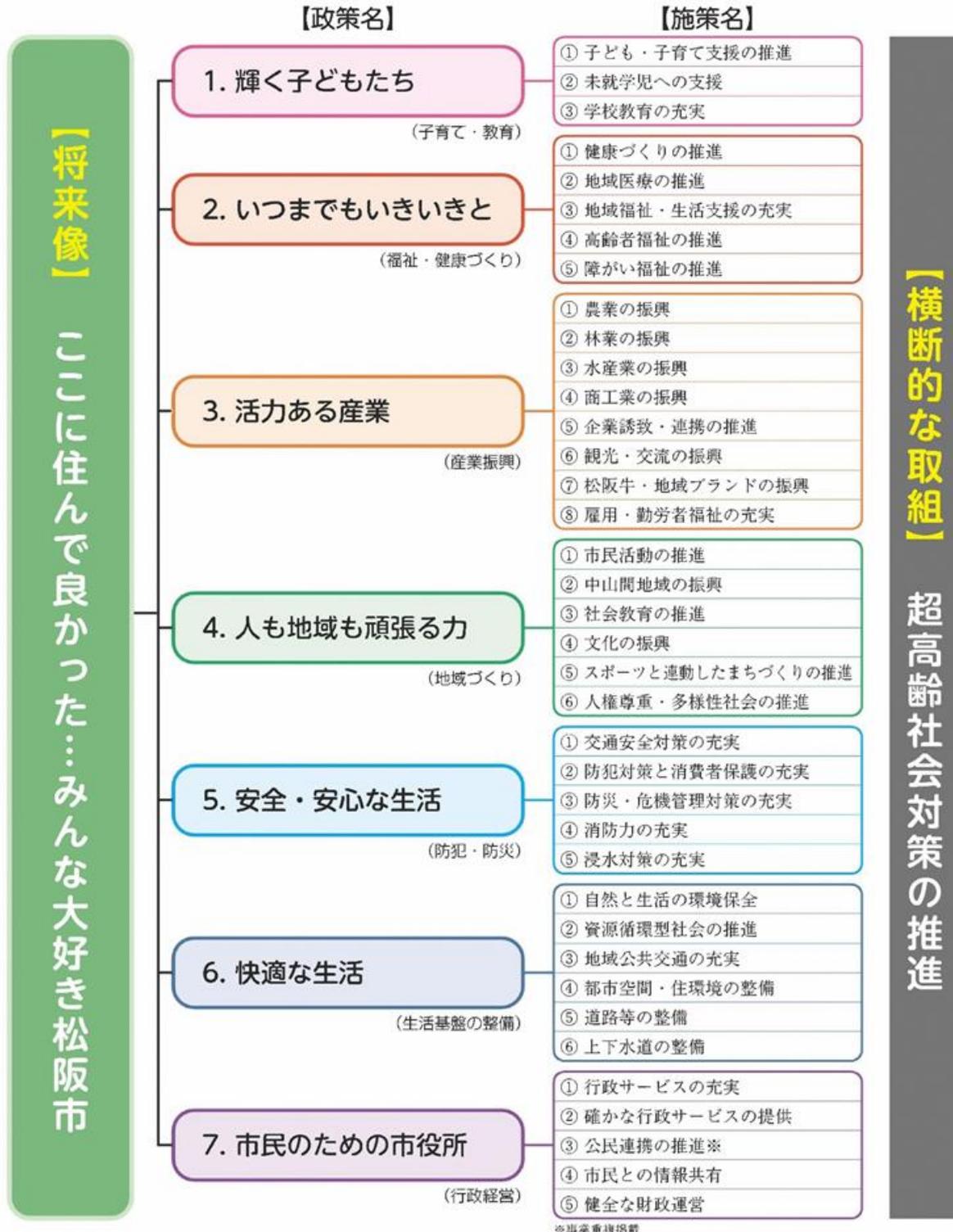
問53 スポーツイベントを通じてボランティアの機会を増やすことについてどう思うか



Ⅲ 自由記述

市政に対するご意見については、360 人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策分野ごとに分類し、政策分野に属さないご意見については、「市政全般」等に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



《主な意見》

1. 輝く子どもたち

- ひとり親の子育て世帯への給付金に力を入れてほしい。子育て世帯の親の医療費も補助してほしい。ひとり親は補助があるが、児童扶養手当を受給出来る所得水準のふたり親世帯にも補助をするための検討が必要。
- 今の老若男女の方々は時給が低く一般家庭は悲鳴をあげています。増税、物価高もあり子供を産みたくない人が多いです。今後、安心して子供を産めるように対策をしてくれたら(金銭面的に)今の若い人たちは不安なく子供を授かりたいと思ってくれると信じてます。
- ひとり親世帯です。子どものお迎えがあると思うように長い時間の勤務はできませんので、一般世帯に比べたら収入はかなり少ないです。少しでもと働けるギリギリまで勤務しているので、児童扶養手当も医療費助成制度もギリギリ対象ではなく、しんどいです。先日夜 39℃超えの発熱で、自力で病院に行けず、子ども達には食事や育児もできない状態になりました。こんな時助けてもらえる活動をしているところはありますか？活動していても知らない、どんな活動をしているのかわからないなどが多く、松阪市のホームページやアプリなどで、簡単に調べたらわかるようにしてもらえると嬉しいです。
- 一人親家庭だったので、松阪市の制度や補助に大学に進学する際、大変お世話になりました。ありがとうございます。今後も松阪市の発展と活躍を期待しております。
- 所得制限をつけなくて子ども支援をしてほしい。虐待の早期発見や親子の支援をスムーズにしてほしい。
- 子どもの医療費の通知をハガキでもらう。制度はありがたいが、郵送費がもったいないと思う。子どもが二人いるが、それぞれでくるのも無駄のように思う。手続のオンラインもあるが、通知もオンライン化してはどうか。
- こども手当をもう少し増やしてほしい。
- 学童保育による役員(保護者)の負担軽減を望みます。
- 放課後児童クラブの受け皿が少なく、希望する学童に入れなかったり遠い学童に入所せざるを得ない事態が出ています。私の子供が通う小学校がそうです。教室のキャパシティの関係で上記の事が起こっています。改善いただきたいと思えます。また、仕事で忙しいから学童を利用しているのに学童の運営を保護者が行わなければならないのに酷く矛盾を感じます。改善されましたが以前は保護者によってゴミ捨て当番もあったほどです。時代に沿わないと思えます。改善を強く希望します。
- もっと、子供が遊具で遊べる公園を増やしてほしい。医療費も窓口負担ゼロにしてほしい。市役所の授乳室はマジでムダ。あれにお金を使ってほしくなかった。
- 高3と高1の娘がいます。私も夫も公務員のため医療費控除も受けられません。食べる物に困ることはないけど正直進学も大変です。助けていただけると助かります。
- 私は3~4年ほど不妊治療にかかっています。国の問題でもあるかもしれませんが、不妊治療の助成金には制限があります。まだ30歳になったばかりですが、第1子の高度不妊治療の助成金の制限が間近にせまっています。助成金があるだけありがたいですが、負担が大きいです。実際、不妊治療で、病院に通う頻度が多くなったこともあり、自由度の高い職場に転職しています。給与も半分近く減りました。少子化と言われている中、子どもが欲しくても授けられない人がいること、これだけたくさん

のお金を費やしてきたのに、報われない人がいることを知ってほしいです。できるなら、助成金をあげてほしい。回数制限をなくしてほしい（年齢制限あり）。子供がいない人、できない人のために養子制度についても充実させてほしい。家庭環境が悪く、虐待されている子どもが松阪にもいるのであれば、なんとか守ってあげたい。守ってあげてほしいと思います。

- 助成について、早生まれの子は学年を下の学年に合わせるので在学中適応されるのは3年になってからとかでとても不公平。生まれ年で不公平がでないよう松阪独自で対応してほしい。他県で認められたり実施されていることが松阪では対応されていない事が多すぎる。
- 少子高齢化が進む中、若年層よりも高齢者の制度や権利が優遇されているように感じる場合があります。松阪市では、こどものための制度に力を入れているように別ページに記載されていましたが、地域のこども見守りや、保育士の働きやすい環境、親が共働きでも子どもを預けられる安心できる施設・環境づくり、医療費（出産時にかかる保険外の費用など）それらに力を入れることで、もっとより良い松阪市ができるのではないかと思います。明石市のような子育て支援があれば、地域への愛着やPRにつながると考えています。高齢者の方々への制度を整備することも大切ですが、本当の市の活性化を図るのならば、次世代への投資が重要と思います。
- こども医療費助成制度については、松阪市が赤字なのに必要ない。子どもばかり助成し（子育て支援金もある）、老人は働きたくても働けない。不公平感がある。私達の子育てのときは、何もなかった。
- こども医療費助成など、積極的に子育て対策に取り組んでいること、大いに賛同します。
- 学童をもっと増やして欲しいし、月に1回会合があるとかが行事があるとかが困る。忙しいお母さんの事をもっと理解してあげてほしい。
- 放課後児童クラブの整備中とのことですが、毎日、利用のものでなく、登録しておいて数日利用できる制度もつくってほしい。フルタイム勤務でも数日は祖父母に見てもらえたり、父母どちらかが平日休みだったりする家庭も多くあるが、毎日利用にしておかないと利用できないため、必要なくても毎日利用にして本当に必要な人が使えない現状になっていると思う。
- 子育て支援として、有料ででも子どもを預ける場所があるとよい。母親がリフレッシュになる静岡市の取組を参考に。
- 子どものインフルエンザワクチン接種の助成がなかったことが納得いかなかったです。子どもの学年も学年閉鎖になり、困りました。
- 放課後児童クラブへの入所が出来ず困っている。祖父母の支援が可能な間は、入所せずにいたが、学年途中は入所不可（新入生以外不可）等の条件があり、フルタイム基幹職として働く事が難しくなってきた。働く母親を支援する環境を整備して欲しい。また、夏休み等の長期休暇のみの学童環境の整備を急ぎお願いしたい。
- 通塾などの送迎をしてくれる子育てタクシーがあると嬉しい。松阪市の中でも田舎の地域に住んでいるため、子どもの習いごとは迎送が必須であり、その点不便です。
- 日々松阪のためにご尽力頂きありがとうございます。子育て世代のため、どうしてもその目線になりがちなのですが、子ども向けのイベントや広場、施設など、もっと増えていくと嬉しいなと思います。（中部台ベルファーム鈴の森等、日頃利用させて頂いていますが、どちらも微妙にキヨリがあり…）イベントへ参加することが好きなので気軽に参加できるものももっとあると良いな～とも思います。イベント情報などHPでもよく確認していますが、たまに情報が分かりづらく感じることもあり…（情報がちらっとのっているページから、イベントの公式ページに飛べなかったり…）要望ばかり

りになりましたが住みよい町の松阪が好きなので、これからも市政に期待しております。

- 子供が未就児の時、自閉症だったのでとても子育てに苦労した。公園でも広すぎて走って行くから行くのに戸惑いもあり鬱になりかけた。住宅街にある小さな公園をいくつか作ってほしい仕切りがあるとうれしい。他の子供がいると物をとったりさわりにいくとかトラブルになるから。大人の腰ぐらいのフェンス。
- 放課後児童クラブはとて面白い取組と思いますが、利用するための金額が高すぎるので値段を下げると利用者が増えると思います。
- 子どもの病院に行った時の支払いをなくしてほしい。子どもが生まれたときの手当てがほしい。
- 子育て世代に対する支援の拡充をしてほしい。高校無償化、給食費無料など。学校を新しく建て直してほしい。
- 保育料が高い。無料の人と4万も払う人の差があるのはおかしい。そもそも子どもが産めない人もいるのに3人目は無料とか産めない人はどうしたら良いのか教えてほしいです。
- 近所に保育所があるのに、そこに行けない！！意味わからん。
- 保育園が少なく思う。若い人たちが働きにいけない。学童も、もっとふやすべきだと思う。
- 学校の教員不足に伴い、県内でいち早く対策を考え実施して欲しい。
- 学費の軽減、低金利奨学金の創設（成績優秀者は奨学金返済免除）。
- 弱者支援に偏っていて、優秀な人材を英才教育して活かすことが出来ていない。今後の経済や産業の成長の牽引者を育成することが重要だ。
- 学校再編（学校規模適正化）の動きが始まっているかと思いますが、せめて学校が運営されている間は、本校で水泳授業が実施できるよう、学校プールを修繕等していったらいいと思います。36小学校全校が民間プール活用を検討できるわけではないと思いますので。
- 中学校の先生が突然退職され、その先生の受け持ちの教科の授業が全然進んでいないそうです。早く変わりの先生を派遣し生徒の不安を解消してほしいです。
- 学童は業者に入ってほしい。働いているから利用したいのに、保護者の参加（掃除や役職）を求められるのは、つらい。
- 小学生のクラスで、40人近いクラスが1クラスと25人クラスで2クラスある学年があるのが謎。担任の経験値ではなく、低学年ほど少人数クラスにしてほしい。1クラスの人数をふやして多様な意見を受け入れて考えられるのは高学年。むりやり統合しないでほしい。保護者の数が増えても、働いているとそもそも時間がとれないので、参加は難しい。保護者の意見を聞いてくれるのはうれしいが、参加を求められると困る。
- 中学校の修学旅行は、市政ではなく教育委員会でしょうか。先日、旅行に行く為にかかる費用を聞いて、制服ではなく、私服で行く→修学旅行。なんの為の制服なのか。あまりの多額のお金。考え直した方がいいかなと思いました。

2. いつまでもいきいきと

- 新型コロナウイルス感染症の危険があるにもかかわらず回覧板が回るようになり、とても嫌です。感染が騒がれていたときには手回しなんてありえなかった。雨に濡れて見られないことも多々ある。これだけネット社会になってきたのだから、希望者にはLINEなどでもいいのではないかと？
市のがん検診チケットは申し込まないと来ないのは良くない。毎年みんなに届けるべきだと思う。手

にする機会がないと受けよう思うきっかけが減る。隣の津市は毎年来ていた。

- 私は献血が趣味なのですが、最寄りの献血施設が津と伊勢なので少々行きづらい。松阪にも献血ルームがあればよいなと思います。
- 帯状疱疹のワクチンへの助成金をお願いしたい。
- 子どもの夜間診療体制が弱いことから、診療体制の充実強化を図って欲しい。
- 1つの病院が高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能を持っていないと、病状の変化により転院を余儀なくされ、特に高齢者には大変な負担になる。松阪市の最も良い所は市立（市民）病院があることだと思う。元々は国の施策だが、（黒字でもある）市立病院をなくすべきではないと思う。市立というのは松阪市の行政が責任を持って市民の医療を考え、提供しているということである。指定管理者制度の導入等でその責任を放棄してはならないと考える。
- 病院の休日、夜間の診療が受けられないので、救急車を呼ぶしかない。
- 救急車の安易な利用者への対応も考えて頂きたい。松阪市も早急に検討すべきです。そして救急車をタクシーのように使用する人達に、松阪市民に本当に救急車が必要なのか、あらためて考えてもらえるような取組をしてほしいと思います。
- 車がないと不便な市なので生活保護者から車を奪うべきではありません。
- 貧困に対する対策の強化、充実。
- 松阪市は母子家庭、生活保護に甘いまちと言われる事があります。本当に困っている方を助けるなら大賛成なのですが、母子家庭については内縁の夫がいて籍を入れずに生活している母子家庭より、籍を入れて生活している家庭の方が苦勞しているように思います。生活保護については、松阪市はすぐに申請を受理してくれるからという話を聞いたことがあります。生活保護受給者の中には生活保護を貰ってパチンコなどで使ってしまう人もいと聞きます。本当に税金を使う価値があるのかどうか、今一度見直して、適切な税金の使い方をして頂きたい。
- 物価が高騰している為少なくてもいいので世帯単位、一律の給付をしてほしい。国の給付は低所得者のみですが、一般者でも生活は苦しいです。
- 生活保護受給者の適性を徹底してほしい。
- 医療体制の充実、社会福祉の利用等を、もっと情報発信すべきと思います。
- 松阪市だけではないとは思いますが、お子さんがみえる家庭、高齢者がみえる家庭などのみ優遇されてばかりで、負担がその他の家庭にばかり増えています。負担ばかりで、何のメリットもない。もう少し、市民全搬を豊かにできるように取り組んでいただきたい。生活保護者の見直しも、きちんとしてほしい。本当に保護しなければいけない人なのか？ 私達より、優雅な生活をされている生活保護者の方、たくさんみられますよ！！マジメに税金を納めているのが本当にバカらしく思います。その税金を、もっと他に活用できると思います！！
- 生活保護に対する審査を厳しくして下さい。車持ちや高級（ぜいたく）品を持った生活保護受給者が多すぎ。そんな人達にお金あげたくなくてふるさと納税で他県に納税しています。
- すでに子どもの手当は色々あるのに、子どもの医療費の助成拡大はいらないと思う。長年の持病で働けず、毎回、高額療養なのに3割負担、（障害年金も停止）を軽減してほしい。
- 今私はボランティア活動をしています。福祉の活動です。松阪は後れている。市の方ももっと力を入れてほしい。
- 子供や高齢者の支援も大切ですが、中年層も物価高騰等で生活が大変です。松阪商品券など全市民平

等に支援していただく機会を増やしてほしいです。

- 子育て支援や非課税世帯ばかり給付金が出て、それに近い世帯には、何も無い事がおかしいのでは？国民全員が平等に成るような政策を期待します。
- 松阪市の生活保護者の条件を厳しくして、減らしてほしい。本当に困っている人は助けたいが、それらの支援を悪用している人の為に働いているのはアホらしいです。共働きなのでお互い休みの日も自治会や子供会などでつぶれ、しんどいです。ただ、家族が健康でいることは最高の幸せではありません。
- お金に余裕がないため、毎日の生活が大変です。
- 松阪市が、生活保護者が全国で上位に位置するぐらい多いことを知っていますか。全国から、松阪に来たら生活保護がうけやすい（要は、簡単になれる）と思われるが、実際、なぜこの人は生活保護が受けられているのかと思うほど、多く目にします。もしかしたら自分より楽しんでいるのではないかと思う程。私は家庭、家族の為にフルで働いているのに、松阪市の税金は高く、その一部が、楽をする為の人達にわたっているのかと思うと腹がたつ。生活保護をうけている人をきちんと見直し、本当に必要な人だけに与えて頂きたい。
- 市の商品券などをして下さっているのは、大変助かっています。年に何回かして下さい。これはこれからも、続けてほしいです。
- 自営なのですが、電気代なんかかならないですか。このままだと、廃業。廃業となれば連鎖的に、県の仕事、畜産関係の学校、色々と影響がでてきます。
- 中山間地域では医療機関への移動手段がありません。在宅で療養される人がまたご家族が安心して生活が送れるように訪問介護の充実をお願いしたいです。
- 高齢化社会である今、また福祉制度を必要としないフレイル状態にある方々も多くおられます。地域と行政のすき間にある方々への早期介入や支援ができればと考えています。島根県で始まったコミュニティナーサーについて学ぶ機会をいただきました。それぞれの得意なことややりたいことを実践しながらヒトやコトを繋ぎ、地域の人々が繋がって、人を、街を、元気にしていく取組です。私自身も今後居住地区での実践について考えていますが、それらの活動を行う企業や団体への支援を積極的にしていただけると幸いです。支援の仕組み作りについてぜひ検討してください。
- 退職後の年金生活は無理で、生活の為、働かなくてはならない高齢者が多く居ることを知ってほしい。高齢になると身体の具合も悪い部分が増えてきて病院にかかることも多くなります。そんな状況で、賃金が安くても雇ってくれる所があれば身体に無理をしても働いている人が沢山居ます。子ども支援も大切ですが、高齢者支援も、考えて頂きたいと真剣に願っています。
- 市の住宅を増やして空き家をリフォームしたり多世代シェアハウスなど高齢化対策として増やしてほしい。空き家の活用や高齢者対象のバリアフリーなどを増やしてほしい。
- 子ども達に対する支援も必要だと思いますが、同様に高齢者に対する支援も手厚い市にして頂きたい。路線バス等の増加、高齢者の交流の場を増やす。光熱費等の援助。
- 移動スーパー、交通の便利等をもっとよくしてほしい。高齢者の一人暮らしの安否確保、体調不良等の時即対応出来る方法！
- 私は76才です。市は医療機関が充実しているので安心です。年金生活者が楽しく生活できる社会が必要です。
- 町内の年配の方がお茶をする所もないので家で閉じこもりになる。

- 8月より移動スーパーも始まり高齢者は大変喜んでいます。お願い。地域のバス運行の件については一言も触れておられない。高齢者免許返納になれば、家族なく1人暮らしの中で足もなく、食品や病院の件について利用できません。バスの運行についても早急にお考え下さいますよう、お願い致します。
- 高齢者介護の仕事をしております。利用者の方がよく言われます。免許返納を勧められるが、返したら交通手段がなさすぎる、と。免許のない方はちょっと調子悪く病院に行くのに応復タクシーを使うとすごく高い、とよく言われます。医療費数百円、交通費数千円、と。高齢で免許のない方が、気にせず移動出来る手段を考えて頂きたい。私たちもいずれ年をとります。そのとき買い物にも出られないかも、と不安になります。市役所の方で高齢者予約専用タクシーとかバス代くらいの支払いで済むような方法を何か考えていってもらえると有難いな、と思います。よろしくお願いします。
- 福祉（介護）に携わる職ですが松阪市主催の講演会（看取り）についてはいつも興味深く市外のケアマネージャーも参加し松阪市の多職種連携には脱帽されていました。県で一番進んでいるのではないかとの評価をしていました。今後も魅力ある松阪市になるよう願っています。
- それぞれの家庭において状況は様々です。こどもの医療費他、こどものことに関する問題はとても大切だと思います。でも生活の中で高齢者の介護も切実な問題です。施設を利用したくても高額の為、無理という話もききます。こういう問題にも取り組んで欲しい。家族が疲れきらないように。
- 私共夫婦は共に80代、まあ健康、持ち家に住み、年金の範囲で生きています。そして特にかわったことを望まない限り、施設へ入れていただけるものと思っています。しかし、現時点での最大の困りごとは自家用車がないと全く動きがとれないことです。特に病気のとき、タクシーはすぐにきてくれるのでしょうか。不便で不安です。市の中心部は、図書館、文化施設、運動施設など、着々と開けていきますが一步外へ出ると、全くほったらかしですね。私は以前、周辺部にも図書館をはじめ文化施設がほしいと思っていましたが、年齢を重ねた今になるとそれ以上に基本的に生活しやすくしてほしい一念です。ダイナカの老人も最後まで自分のことは自分でできるよう移動手段を整えてください。まずその点で安心して生活したいと思います。いずれ誰も老人になるのです。彼等もそれなりに社会に貢献してきたのです。ちょっとくらいぼんやりしていても最後まで安心して生きていけると思いたいものです。
- 福祉職員の方もっと高齢者、弱者の方にもっと優しく接してほしいと思います。地域福祉課では職員さんに高齢者一人暮らしの方を助け救っていただきました。保護課の職員さんにも随分と丁寧に力を貸して頂きました。保護課、地域福祉課の職員様にはお世話になりました。
- 障がい者が生活しやすい町になって欲しい。親が高齢になった時、障がい者である子供が自立して楽しく生活できるような松阪であって欲しい。
- 障害を持つ子の親ですが……不便です。病院も津のほうに行っています。てんかんも持っているし精神科の薬も莫大な治療費がかかります。戻ってはきますが月何万円も払うのはかなりの負担です。親が生きている間はいいですが、いなくなったあとはどうなるのでしょうか？と思います。医療体制も悪いです。今年何度か祝日の前日の夜に体調が悪くなりましたが、診られる病院がないといわれました。救急車を呼ぶまでもないけどすぐ見て欲しい時は困ると思いたいいところと聞かれてもあまりないと思います。
- 障害福祉に力を入れてほしい。
- 障害者用の駐車場（スーパー等）が少ない！

- 体の不自由な方でも安心していただける町づくりをしてほしい。トイレもファミリートイレを増してほしい（発達障害、知覚障害のある子供や認知症のある親）。バリアフリーで入れる店を増してほしい。店内に入りたくても入れない事が多いです。車イスだからと店に入れずあきらめてしまう事が多いです。
- 私の子供には障がいがあります。障がい者とその親（家族）が安心してくらしていける地域にしたいです。日中は、通っている事業所などがありますが事業所が休みの日などに利用できる所やショートステイで利用できる所が少なすぎると思います。障がいがある子の親が高齢化になっていっても入る施設が少なく順番待ちになっています。子の将来を考えると不安でいっぱいになります。障がい福祉をもっともっと充実させて下さい。よろしくお願い致します。

3. 活力ある産業

- 鳥獣捕獲等事業従事者の月報や捕獲報告書銃猟実施報告書などはスマートフォン、タブレットで提出していますが、紙面で提出できるようにお願いしたい。猟友会員の高齢化によりスマートフォン、タブレットが苦手な人が多く、事業従事者の協力者の参加が少なくなっています。猟友会員。
- 野焼きマジヤバイ、くさすぎる！！
- 田舎で健康に楽しみで小さな畑を作っています。夏場、ほとんどの野菜が動物にやられます。周囲には畑を作る人もいなくなり草畑になっています。
- 山間部に獣害対策として再度柵の提供は？
- 人間に対するサル対策は何もされていません。サルの威嚇に子ども・女性は特に恐怖を感じています。被害の出ないうちに何らかの対策を求めます。
- 商工会議所のグル天の情報を知らなくてがっかりしました。松阪ナビにそういう情報とか観光協会のパンフレットとか見られるといいのと思います。
- とにかく、駅西の衰退が情けない！再開発とまでは言わないが、青空駐車場ばかり増え、商店街もシャッター閉まり松阪肉ブランドを生かし肉ビルを建てるなり行政と民間が本気で考えないと未来なし！！
- いつも思う駅西の淋しさ。もう少しにぎやかな駅西の方が良いと思う。他の市町村でもデパートがなくなった所は、ほとんど活気が失せているよ。駅西に活気をぜひ！！
- 企業誘致と地場産業の振興を図り、市民の働く場の確保と市財政の充実を図って欲しい。
- 物価高のため買い物に使えるクーポンが大変ありがたい。ぜひ今後もお願いしたいです。
- もっと住み心地のよい松阪市を、めざしていただきたい。マルシェ（フリーマーケット）や、楽しいイベントを、無料で実行してほしいです。この間のような、松阪市の商品券を発行してほしい。例えば、現金5000円で購入したら＋¥5000円分ついてくる感じの商品券を発行してほしい。何もかも今は、物価高なので、生活が苦しいからお願いします。
- 商品券はまた配布してほしい。
- 松阪市とauペイ、ペイペイの還元キャンペーンをもう一度やってもらえたらうれしいです。
- 企業誘致を推進してほしいです。
- 典型的な「地方都市」の中でも、小規模な街なので、財源となるべき企業誘致をもっと積極的にすべきでは？

- 少子化対策、地域の活性化のためにも、企業の誘致にはぜひ力を入れてほしい。
- 三重県の松阪から南はとくに人口減少がひどく大企業誘致促進が必要と思う。
- 企業を誘致するとかし、活性化するよう取り組んでほしい。活気が少ない気がします。
- 政策や行政サービスを円滑に進める為には、松阪市の税収をいかに上げる事が重要だと考えます。企業誘地や移住推進を積極的にして、人口を増加することにより、活気ある、市政づくりとなると考えます。
- 松阪市（旧三雲町）に約31年前に移り住み、その10年後に関東圏や海外（中国武漢）で合わせて20年ほど住んでいました。そこで松阪市の良さもわかったとともに知名度の低さもわかりました（松阪牛だけは海外も含めどこでも有名でしたが）。なので、もっと松阪市の存在感を上げるようなPRイベントや仕組みを構築していくべきだと思います。
- 観光の分野では他の市町のように花火大会があれば活気もでるのではないのでしょうか。飯高飯南では自然がたくさんあるのでグランピング施設やカヌーや天体観測など出来そうなことがたくさんあるので上手く活用すればもっと松阪のいい所がPR出来ると思います。
- 個人的な趣味の話になりますが、私は刀剣乱舞という作品が大好きで、松阪の城壁前で撮影が行われた時は嬉しくて嬉しくて、何度も通いました。お城が無いので本格的な撮影は伊勢で行われましたが、少し悔しかったです。仕方ないことですが、三重県で見れば桑名には本多忠勝、伊勢には刀工村正の発祥の地と割と観る所があるのですが、間にある松阪市にも関連するなにかあれば来てくれるファンに足を止めてもらえるのになーと思いました。氏郷さんの刀がここにもあれば…！と思いました。私含め、ファンは刀鑑賞する為に田舎にも足を運びますから。食べ物も松阪牛はとても美味しいですが、気軽に食べられるお店って少ない気がします。あと手土産。牛しかないので手土産ほとんど無いです。やはり松阪は松阪牛がイメージなので……なにかあればいいのになーとは思っています。
- 市長さんお忙しいでしょうが、昔みたいに、氏郷祭りで馬に乗ったりしたら良いと個人的に思います。松阪市の祭りなのでそういう時に俺が松阪市長って言うのをアピールしたほうが良いのではと思います。あくまで個人的意見です。
- 駅に蒲生氏郷（←歴史上のどういう人物かをもっとPR！！）の像を立てる。ベルファームにけっこうデカめの牛のオブジェがあるのに、駅の牛全部小さい。どうせなら大きく。松阪城跡にちょっとした建造物が欲しい。松阪城（←氏郷に関連する武将のグッズとかも置いて、歴史好きがもっと来くなるように）の近くに土産物屋ほしい。駅周辺に松阪トリ（←ツウにアピール）焼肉の店を出してほしい。
- 松阪城のトイレのカギが固く、知人は、カギを閉められず、押さえながら使用したと言っていた。改善を望みます。確認をお願いします。
- 松阪に観光に来たお客様にお金を落とす仕組みを作ってください。食事だけでなく、おみやげ物屋さんがいくつかあると良い。
- 松阪城跡など他にひけをとらない観光名所があるのにPRがヘタすぎる。SNSはもちろん、TVなどにもPRして。
- 観光地化の余地がある。文化・歴史・自然に優れた市だだと思います。そのあたりに力を注いでいただけるとより松阪を自慢できると感じられそうです。
- 最近、松阪城とかでプロジェクションマッピングとかドローンとかのイベントをしてくれるのは楽しくて、久しぶりに松阪城行きました。今後も色々イベントしてほしいです。

- 松阪の観光の名所、松阪公園に天守閣を建設すべきです。
- 小京都的な街の観光が好きな私です。最近大河ドラマも好んで良く見ているのですが松阪市はそういった意味では松阪城公園周辺に点在する名所が活かされていないように感じます。おもいきった街の整備をしてよそから人を呼び込み賑やかになる事を望みます。
- せっかく、歴史のある市なのに、観光客は、松阪を素通りして、伊勢に行ってしまう。観光の目玉が、何も無いからだ。観光客を呼ぶには、(多額の費用が掛かるが)松坂城の天守閣を建ててほしい!城の周りも整備して、「おかげ横丁」のような、食べ歩きやショッピングが、できる城下町を作ってほしい。今の市の財政では、難しいと思うから、早く大企業を誘致して、その税収入で、市が潤うと良いのだが、いつになるかわからないので、ふるさと納税や、クラウドファンディング等は、どうですか?たくさんの観光客で賑わう松阪を見たいです!
- 観光用に大きく駐車場を作り、観光を盛りあげたいですね。あくまで駐車場は、一般用でなく、観光用です。
- 駅ひろばにはインスタ映えする牛の像を作ってほしい。また、鈴の音バスも牛をイメージしたデザインにしてほしい。
- 働く企業を呼んで下さい。働く企業を増やすことで観光も市民サービスも充実できます。市長、頑張ってください。
- ふるさと納税返礼品も、もう少し魅力的な品を考えた方がよい(松阪城石垣に名前が載ってもねえ…)
- ちゃちゃものグッズなど色々製作してほしいです。3歳になる子どもが大好きでちゃちゃもがイベント参加する時はちゃちゃものぬいぐるみと共に写真を撮ってもらっているので、ぜひ!Tシャツ、ボールペン、アクリルキーホルダーとかよろしくお願いします!

4. 人も地域も頑張る力

- 駅周辺のまつり以外にも地域密着型のまつりをしたほうがいい。
- 草刈り等(地元)の協力が無い(国道で無いための)
- 前々回町内会長をやりましたがうちの町内はまだ楽な方ですが実家の方へ行くといろいろな役があります。ず〜っと前からそうなのですが年寄りばかりなので……若い人が変えていかなくてはと思います。若い人はなかなかそういうことはやりたがらないという事が現状です。
- まちづくり協議会のイベント(運動会等)が市民の希望に沿っていない(時代遅れ)。もっと他にお金の使い道があるはず。
- ボランティア、地域での交流などはした方がよいと思うが、仕事や子育て、介護などでいそがしいため自分たちの生活でいまはいっぱいいっぱい余裕がない。
- 公民館のような文化的な活動をする為の施設がもっとあると交流ができたり地元での活動がしやすくなります。一般の人が借りやすい場を作ってくると嬉しいです。私は歌やダンス等のボランティア活動をしています。練習場所が少なく不便さを感じます。
- 私の住む地域では、自治会費は払っているが、会計報告も、市の広報も届きません。一部だとは思いますが、閉鎖的で新しい人間を受け入れない感じを覚えます。
- 住民協議会には補助金が、事務局には人件費が補助されていますがこれほど多くの金額が必要です

か？税金です。もっと削減を！

- 小津安二郎についての検定試験のようなものが行われると、どこかで目にしましたが、このようなことをする前に、もっと多くの市民の方々に小津作品を鑑賞する機会を提供すべきではないでしょうか。小津以外にも、成瀬・溝口・黒澤・木下・小林監督などの名作もぜひ上映してください。勝手なこと書いてしまい、申し訳ありませんでした。これも松阪を想うからです、どうかご寛恕ください。
- 文化的芸術的発展がない。アートなまちづくりでもよいのではないのでしょうか？また、有名な作品など展示されている美術館がないので空き家対策もかねてアートめぐりなどあってもよいのでは、市を上げてトリエンナーレなど。また、都会的センスがない。
- 私の所見、市役所の屋上の草木の緑化を進め、本居宣長公ゆかりの山桜を植樹、松阪三珍花の展示方法を考え、花の町として発信する。また豪商の町も、展示方法をメートル表示と尺貫表示とを併記して江戸時代の単位も表示する(例：障子紙の単位とお金の単位)。
- 現在の市民プールは年々利用者が減っているように感じます。温水プールにしていつでも利用できるようなになれば、大人の方の健康維持にもなるのではないかなと思います。市内のスイミングスクールは温水ですが月額会員制で費用も高いので、年金暮らしの方には負担が大きいのではないかなと思います。いつか市民プールを建て替えることになったときには、室内の温水プールにしてあげてほしいなと思っています。
- 松阪市にも津市にあるサオリーナのような屋内プールもある施設が出来ればもっと気軽にスポーツをしたいと思えます。
- 最近、スポーツの力を推進されているようですが、スポーツスポーツと、押し過ぎのような気がします。
- オリンピックのメダリストが入所してくれてうれしい。この機会にだれもが(歩けない人等)参加しやすい。スポーツ行事、施設等考えてほしい。ベルファームにバリアフリーの遊具が出来ているのはうれしい。
- 年寄り近くで運動する所があれば。たとえばやさしいヨガとか、1人ではあきるので何人かがいっしょに出来れば楽しい！！
- 筋トレできる所を増してほしい。
- オリンピックのメダリストがいらした事でスポーツのジャンルにも力を入れていることはいいと思います。マラソンなど全国から人が集まり活気づけばと思います。
- LGBTQに対する理解を進める政策をお願いしたいです。市内にも理解されない苦しみを抱えている方がみえます。いつか松阪市でもパートナーシップ制度が認められるようなになれば素晴らしいと思います。この度はアンケート対象者に選んで頂いてありがとうございました。
- 親が、誰かが、皆が、そう言うからの無責任な理由で知ろうともせず差別発言するもの多々。
- 地域言葉を残すためなのでしょうが最近色々な所で(文書・広報・地方誌)見かけるけど私は押しが強い感じがして苦手。人それぞれ感じ方違うから仕方ないのか。

5. 安全・安心な生活

- 道路のカーブミラーの不良及び不足の改善。傾いたままで用をなしていないミラーや、左右両方必要などところに一方しか無かったりしている。道路の補修の遅れなども。

- 小学生の登下校路の安全が不十分なところがまだまだあります。車を運転してそばを通るたびにひやひやします。登下校路の安全確保をよろしくをお願いします。
- 朝の早い時間から会社へ出勤するのですが、一旦停止を守らない人やコンビニを通り抜けする人、信号無視する人が多く事故になりそうなこともありました。携帯電話を操作しながら運転をしている人や、横断歩道に歩行者がいるのに停まらない人もかなり多いと思います。もっと警察が取り締まっている様子を見せるだけでも今よりは少なくなると思うのでぜひ行って欲しい。運転のマナーが悪すぎます。
- 道路に雑草が多い。引越してきた際に、町に暗い印象を受けた。特に通学路は防犯のため綺麗に整備してほしい。
- 歩道を整備して欲しい。幅が急に狭くなったり、ガタガタしている。どの道でも交通量が多く危険を感じる。
- 松高周辺の通学路に細い道が多く、安全性が低いと感じています。
- 市民の声に耳を傾けてくださりありがとうございます。私は松阪市に越してきて13年目、1児の母です。当初より通学路が危険だと感じていて、自治会長さん等が市に要望書を提出し続けていると聞いています。ですが、全く変化無しです。実際、事故が起きていないので数字上の重要度は低いかもしれませんが、数字だけで判断しないでほしいです。商品券も嬉しいですが、それよりも先にお金を使うべきところがあると思います。どうか、子ども達の命の優先順位を上げてください。よろしくをお願いします。
- 横断歩道の線の塗り直し、交差点の防護柵の設置。阪内川などの災害時対策のための整備。信号機の増築。
- 交通弱者が、安心して、歩ける道に！現状は、車が多すぎる。運転未熟者、マナー悪い者多い。自転車替りに車が、狭い道に入ってくる。提案として、車道には、脇に柵をつけた歩道帯をつくる。一段上げてよい。特に通学路を優先的に。また、通行車の規制。2m以内の道は進入禁止or一方通行の規制。
- 県内の他市町村から引越し現在居住しているが、町を車で走れば交通マナーがとても悪く、余裕をもって運転している人が少ないように思う。歩行者優先でも車がギリギリまでジワジワ近づいてきたり、赤信号になっているのにすごいスピードで走っていく。事故が多い市だという意味がすごく分かる。小さい子どもの学校の通学等、事故に合わないかとても心配。
- 騒音の無い静かな町作りをして下さい。自動車（単車も含め）違法マフラーの爆音を、市内全域で取り締り、健康でゆったりした生活をしたいと思います。
- 桜町を夜走っていく大型トラックの音、ゆれが気になります。通れる時間の規制やスピードの取り締まり（看板を立てたりする）など、なにかしらの対策をしてもらえると嬉しいです。
- 通学路での各交差点の四隅に、円柱のコンクリートブロックや、ガードレールを設置してあげて下さい。よく交差点で車同士の衝突事故の際交差点での四隅に突っこむ確率が高いので、子どもたちを守るためにお願いします。このような事故を松阪市では、0にしたい。よろしく願いいたします。
- 近づく災害（地震、温暖化による台風、豪雨等）に対応すべく対策をもっと進めて下さい。進めているのであれば解りやすく配信して頂きたい。たとえば水、備蓄食料、避難仮眠が出来る施設等々。現状では集まる場所しか知らされていない。

- 浄化槽雨水利用、井戸掘りなど防災時に使えるような助成もしてほしい。
- 石垣が崩れた時の要請に correspond してもらえなかった（そのままになっている）道を広げる時の土地を協力したのにこちらの要請は聞いてもらえないのが不満です。また災害時の避難場所が近くに無い。小学校が指定されているが年配者には遠すぎるし道中危険な所も多々あります。
- 一堂に会しての避難訓練や防災訓練は、災害時における「命を守る」ための行動と意識の啓発において大いに重要です。避難訓練や防災訓練に参加することは、自分や家族の大事な命を守ることができ一番の羅針盤であると思います。避難訓練、防災訓練が、協議会や自治会、学校、企業、各種団体で実施されていることは意義のあることです。例え、形式的な訓練であっても「命を守る」ことへの意識付けになるからです。自分が住む地区では年々参加者が減っています。その理由として、歳のせいで膝が痛いとか足腰が弱ったから会場まで歩いて行くのが大変だからという身体的理由でした。そのような方々に、シェイクアウト訓練をご提案します。
- 台風、地震など災害に対する対策、道路の冠水、河川改修などを重点的にを行い、安心して住める町づくりを進めていって欲しい。
- 松阪市の沿岸部について。松阪市の北端の雲出川下流ぞいに住んでいますが、長年雲出川の川底がかなり高くなってきて、大雨が続くと堤防からあふれてくることも十分考えられます。国、県などが管理で市とは直接関わりがないかもしれませんが、住民にとっては、大雨のたびにひやひやして過ごしています。住民にとっては、この非常に不安な状態をなんとかしてほしい気持ちでいっぱいです。市としても、強力な対応をお願いしたいです。同じく大雨状態になると、松阪市北部では、旧23号線、23号線周辺が、すぐに冠水してしまいます。このあたりは、ずいぶん低いので冠水しやすいようですが、他の地域に比べてすごく冠水しやすいので、ぜひ対応をお願いしたいです。

6. 快適な生活

- 燃えるゴミの回収日、祝日の木曜日など増やしていただきありがとうございました。環境がよくなりました。
- カラスの糞害が酷く、自家用車に落とされ、臭いもすごくして、困っているので対策して欲しい。
- ペット（犬）を飼っている人口（家族）は多いよ！これをターゲットに松阪市に人を呼ぶことができるよ！農業公園にドックランがないことはありえない。（ウシが入れるのに！）。また他の公園（中部台公園）にもワンちゃんが入れない。規制緩和をしたらどうか！エリアを決めたらできるはず！NEXCOのサービスエリアを視察せよ！（鈴鹿パーキング）以上。
- 松阪（坂）公園の入口に、犬のフンの後しまつのことが（白い看板）書いてあるのが立てかけてあるがどこの課が立てたものかが書いてなく、犬のフンのこと（内容）のことが書いてあります。ほとんどの方（犬）は始末しているのに一部の始末しない人の為にあの看板を見るたび良い気がしません。観光をしにきた人もあの看板を見て良い気はしないと思います。他の市町村は犬OK。犬散歩出来る場所がたくさんあるのに松阪市は松阪（坂）公園のみなのに、あの看板見ると正しく散歩している犬まで松阪公園からも閉め出しされるみたいです。動物にやさしい町松阪にもなって下さい。アンケートの中には動物についてのことは何1つ出てこなかったですね。残念です。
- 最近太陽光が進んでいますが、行政は施工基準、条件、許可はどう考えていますか。太陽光業者は施

工後、転売されていると聞いていますが長期を考えると管理ができなくなり、最後は太陽光の墓場となり、民家のまわりがソーラーだらけで住み難く、人口減少になるのではないかと心配します。

- 捨て猫等を時々見かけますが動物も、人も同レベルで考えてほしいです。この意識調査には、人以外の事に触れていないので、人と動物（保護犬、猫）の共存共栄を考えてほしいと思います。県の「あすまいる」への取組も参考にしてほしいと思います。
- 火葬場を新しくしてほしい（焼却炉）。
- 一般市民（個人）としてゴミ集積場所の苦情・提言を話しに役所を訪問したが、個人の意見など聞いてもらえる対応ではなかった。我が家はゴミ集積場所が近くにあり、地域の一部の方が収集日の前々々日くらいからゴミを出す。収集箱（カゴ）の中に入れない方もいるため、風の強い日（特に冬）にはそのゴミが我が家の庭・駐車場に入って来る。2度、相談に訪問したが何の対応もない。個人の相談はどこへ行けば良いのか?! 個人で地域の方とトラブルが発生するかもしれない。どうすれば良い?!
- 1年間で、町内の清掃が多すぎます。市で、公園などの清掃は出来ないでしょうか?
- 年に数回でも良いので粗大ゴミの回収をしていただきたいです。よろしく願い致します。
- 高齢運転者が多すぎる。信号無視や歩行者に気づいていない人を何度も見かけて危険を感じた。自家用車を使用するのではなく、なるべく公共交通機関を利用するよう取組があるといいと感じた。鈴の音バスの交通ルートが増えるともっと利用したい。
- 交通の便を良くしてほしい。
- コミュニティバスの無償化や定期券など検討してほしい。
- 松阪応援商品券はとても助かって良かったので、感謝しています。今後高齢化に向けて、地域によって、交通の便が、とても悪い所があります。買い物、病院等への足となる、交通機関等の便を、もっと良くなる様に、検討をお願いしたいと思います。
- 大好きな松阪市のアンケートに回答できて嬉しかったです。これから高齢者が増えて、免許を返納して買い物に行くのが不便になると思います。その場合、移動販売車など手助けしてもらえる環境になればいいなと思います。よろしく願いします。
- 国道42号松阪多気バイパスはバスが走っていません。多気バイパスの方にもバスを走らせてほしいです。
- 高齢、障害者の人達のために平成町にバス停を！お願いします。
- みなさんご苦労様です。私も高齢者で、いつか自動車の運転ができなくなると思うと、買物、病院などどうすればよいのか……毎日タクシーでは?年間のタクシーチケットなどがほしいです。
- 元気に挨拶をして子供たちにパワーをもらっています。80才以上の2人暮らしですが、まわりの方に助けていただいて楽しく、ポツポツ野菜を作りながら、健康に感謝して二人で楽しい日々を送って行きたいと思っています。また、近くまで「買物スーパー」が来ていただくようになり、大変便利になって感謝の日々です。しかし、免許更新の日が近づいて来ており、必要なとき以外は車の運転は控えています。病院への送り迎えはしたいと思っています。安全第一で病院の送り迎えは続けて行きたいと思っていますので、よろしく願いします。
- 信号。矢印信号がなくて困るところが多いので見直してつけてほしい。交通量多い近鉄道路沿いなど・交通手段はとても大切だと思う。有料の駐車場ばかりでは人はこない。駅西がさみしいのは無料駐車場がないのも原因だと思う。車移動が殆どの町で有料だといきません。無料駐車場を増やすこと

でも集まります。いくら駅周辺をにぎやかに考えてもベースがないとむづかしいと思う。またバス！！市バスが通っている所にしか鈴の音バスが走っていない。市バスの走っていない所こそコミュニティバスを走らせないとダメなのでは？以前、市バスが通っていた所のバス停がどんどんなくなっています。船江町の広い駐車場のある店舗にバス停作ってほしい。

- 年配者への外出支援。山間部など交通不便な所が多いのでいち早くUber（ライドシェア）を始めるべき。
- もっと公共交通充実を！！
- バスの充実と近鉄中川駅へのバス路線を考えてほしい（近鉄松阪駅より利便性があり）。
- 松阪駅周辺はやはり行きにくい。車で行くには駐車場から歩かないといけないし行きたいところの横には止められないからシニア世代には不便。現在イオンタウン松阪船江にあるような公民館はとても便利なのでベルファームのような松阪市北部に大きな駐車場のあるスポーツ施設や公的施設はいいと思う。
- 80才を過ぎあと2、3年は運転したいと思っていますが、その先のことを思うと飯南ほほえみバスが大石の商業施設まで行ってくると便利。安心するので是非とも延長してほしい。
- 中山間地域と市内との公共乗物での移動について、週末夜間の移動を可能にしてほしい。
- もう少し交通機関をふやしてほしい。
- バスとタクシーが少ない。年寄りには困る。
- 無料のキャンプ場整備。
- 室内型の多目的ドームがほしいです(テニス・ゲートボールなどが、できる施設)。阿山ドームのような小さなものでよい。お年寄りが集まってゲートボールができるし、マルシェなどのイベントも開催できる。
- 質問にもありましたが、健康意識の高まりでウォーキングやランニングなどをする人は以前に比べて見かけることが多くなった気がします。三重県は運動習慣のある人が全国平均より少ないと聞きます。運動施設を充実させることも大切かもしれませんが、そこを使うのは特定の人になる可能性もあります。本当に必要なのは、全年代の方が日常的に活動量を増やせる環境づくりなのではないかと考えます。公園や側道、河川敷の整備を促進するほうが優先ではないでしょうか。住居近くの道や公園、川沿いの景色や道路が綺麗になり歩きやすくなることで、運動したいという意欲が芽生え、外へ出ることで年代間のコミュニケーションも増加することにつながるのではないのでしょうか。そういうところに注力してもらいたいと思います。
- 公園のレベルは、他の市町村に比べて低いです。亀山と津に住んでましたが、キレイでおもしろかったです。中部台公園のアスレチック、せっかくおもしろいのに整備されてなくてすごく残念です。
- 他から来られた人が印象に残る様な街づくり、都市計画をしてもらいたい。雑然としすぎている。
- 松阪駅周辺の空洞化が進み他市の人が下車したとき駅西がさびれているのでびっくりとするのではないかと。再開発をして昔のように駅西を発展するように計画して下さい。
- 27年前に大阪から移転。空気がきれいでお腹の底から深呼吸できる環境に松阪へ来て本当に良かったと思います。緑が多く、ゆったりと、ホットできます。しかし、三交百貨店がなくなってから大変不便になりました。車のない人も自分の足で松阪駅周辺でなんでも揃う状況にして欲しい。願っています。駅周辺もなんとかにぎわいが戻ってくるよう街づくりに力を入れてもらえますよう。切に祈っています。

- いつもお仕事、おつかれさまです。松阪へ引っこして来て5年がたちます。結婚し、子供も生まれ1才になりました。そこで1つ思いますが、公園を造ってほしいのです。小さくて良いのですが、殿町、魚町、本町、中町……どこかに造っていただけないでしょうか。ご検当のほど宜しくお願い致します。
- 荒廃の進んでいる健物の撤去にもっと力を入れてもらいたい。
- 松阪港につり公園を作ってください。セントレアへの旧船乗り場がムダです。
- 幼児期に松阪市に引越してきて、大人になり子どもを育てていますが、近くに歩いて行ける公園があっても、石が敷き詰められていてベンチがあるだけで利用者を見たことがない公園がとても多いと思います。また、子育て支援センターをよく利用しますが、それは保育園に通いだしたら行けないため、雨の日など公園に行けない日に子どもを連れて行く場所が松阪には少ないと思います。みえこどもの城のような児どうかんがほしいです。子育てがこんなに大変と思わず、お金もかかり、少子化になるのが産んでみてわかりました。公園や児どうかんが増えたらたくさんあそばせたいです。
- 公衆トイレが無い！
- 遊具が何もない公園や、ジャリで遊べない公園ばかりが増えていて、子ども達が安心して遊べる場所が近くにありません。そのため道路で遊んでいる子ども達をよく見かけます。もう少し大きめの広い公園ができるといいと思います。
- 繁華街がほしい。自然豊かではあるが、田舎過ぎて生活が物足りないです。
- 嬉野上小川町の空き家などを古民家再生し、宿泊できるようにして、観光の一環にしたら良いと思います。
- 手入れをしていない空地、草刈り、耕し等しながら守っている土地の税のありがたを考えるべきでは、個人の管理では収入がないなかで手放さなければならない現実があると思います。
- 阪内川の下流で川の中央まで草木が茂っているので整備してほしいです。
- スポーツや健康に関する質問が多数ありました。散歩も運動になると思いますが、松阪市は、犬と一緒に散歩ができる公園が全くと言っていいほどありません。三重県は、犬を飼っている家庭が多いにも関わらず、散歩する場所が少ないのは、とても矛盾していると思います。
- 松阪駅西に活気が欲しい。駅周辺をもっとにぎやかに、もう一度三交百貨店のような施設があればと思います。若い人たちが集まれる、楽しめる場所を作ってほしい。松阪駅を利用するたびにいつも思います。時間をつぶせる場所ふらっと立ち寄れる所など松阪駅に立ち寄れる所がほしいです。
- 松阪市は、ペットがダメという所が多すぎます。飯高にドッグラン、森林公園がOKだとしても大型犬はNG……。犬のフンの放置など一部のマナーが悪い人のせいでそのようになっているんでしょうが…。自分達で清掃のボランティアも集めフンの放置、ノーリードをなくす活動をしますので、せめて中部台公園をペットOKにして下さい。
- 「ネコカフェ」とかをやって、観光地にするのもいいね。ホゴネコー石二鳥スゴイ規模のネコカフェ。幕張にあるエンターテイメント施設級。
- 松阪駅を利用する学生として駅周辺の施設を充実させてほしいです。例えば、電車の待ち時間などに勉強できるスペースや、参考書が揃えられた書店などがあればいいなと思います。また、駅の中に、ちょっとした文房具や日用品を購入できる店があればいいなと思います。まちの印象は、駅の印象による部分が大いと思うので松阪駅をもっと便利な駅へと再開発していただきたいです。
- 多忙な職業で勤務先が伊勢だったので自宅には寝に帰るだけでしたが駅に直結していた、百貨店が唯一楽しみでした。駅周辺のまちづくりを進めて下さい。

- 駅西が淋しく市内イベントがあり県外から来る方がみえても駅を降りても何もなくアピール出来るどころか利便性が悪い。
- JR・近鉄側両方の開発。
- 駅西のシャッター通り→松阪が栄えてない象徴しているみたいで、さみしいです。
- 鈴の森公園（川井町）も若い人（小さな子ども）から高齢者（私みたい）幅広い人に愛され利用されています。夏は噴水もあるし長椅子、屋根付きで休息が出来ます。大変、有り難い事です。
- 空き家問題についても、ずっとそのままにしておくのは良くないことはわかりますが、解体するには多額の費用がかかります。解体したくても出来ないという話を聞きます。税金が増えるとも聞きます、こういう問題が発生した時には、相談できる窓口はあるのでしょうか？いつ自分にも降りかかるかもしれない問題に不安を感じます。
- 街のところどころにある用水路への落下事故対策を進めてほしいです。
- 駅西をもっともっと活性化してほしい。職員の方毎日御苦労様です。
- 主要道路が狭い上に、抜け道を通れば側溝に蓋もされてないところもあり、すれ違うのも大変。橋も少なく、結局渋滞する道路を使うしかない。とても住みにくい町だと思います。なんとかしてほしいです。
- 道路がよくないと思います。地下道はありますが朝は渋滞します。
- 現在着工されている県道中万線延長の近鉄高架工事、早急完成へ大幅予算増額確保を市としてご尽力願う。それに伴い、窮屈な市幹線道路（通学路）の交通緩和が出来て安心、安全なまちづくりを期待、実現へ。すみませんもう一点。てい水小学校前、及び旧佐伯医院横の道路は市道としての価値が低い、学校角の所だけフェンス作成も効果薄い、学校前の道路であるのにゴミ集積所有り、選挙時には学校牧垣にポスター掲示、角の電柱は傷だらけ、学校道路、排水路、3者は公の土地では？ 垣を除去、グレーチング設置と……。私はまちづくりはみちづくりあつての成果有との勝手意見です。
- 歩道や自転車の道のスペースが狭かったり、なかったりするので少し不便さを感じています。道も広くなることで、心に余裕ができたり、散歩しようと思えることができます。また、緑をもう少し増やしてほしいです。緑が今より多くなったら、学校や仕事帰りの人たちの疲れをとってくれると思います。松阪市のためにいつもありがとうございます。
- 生活道路の拡幅をお願いします。
- 環境について（要望）金剛川両岸の草刈りをお願いします。特に左岸は草が多く歩にくい。街路樹を切った株が50cmくらい残っていて夜間、早朝は危ないので処分してほしい。
- 安全で快適な家族で走れる自転車専用道路が整備されると嬉しい！！
- 道路が車中心になっていて、歩道や自転車ではガタガタしていたりガードレールもなく危ない所が多い。
- 道路の白線が見えにくい。消えている所もある。標識が消えている。
- 道路（舗装）整備について。年齢を重ねると視力の低下があり、特に夜間、雨の日は、アスファルトの白線が消えていたり、消えかかっていると停止線、センターラインが見えず、とても疲れます。整備をお願いしたいと思います。
- 市街地でも、混雑している所、不便な場所があります（歩道がない、側溝のフタがない等）。子どもが住み良い町にならないと、安心して、生活できず、出ていく人もいるのではないかと思います。
- お父さん、お母さんが言ってたけど、道路の白線（真ん中）が消えてて運転しにくい。ぼくも、免許

取った時、消えてたら怖い。停止線も。年に2回しか草かりしてくれなくて、23号線の通学路の所がいつも草ぼーぼーで困っている。回数をふやしてほしい。(草かりの) 秋にお父さんとぼくとかまを持って、草かりしに行った事がある。

- ここ2、3年前から道路の除草が多く、実施されてない。
- 道路(川沿)にはえる雑草の除去を徹底して伐って浴しい!排水、自動車等の事故になる可能性がある。
- 松阪は交通マナーが悪いと言われてますが道路が整備されてない所が多いのも気になります。いつも渋滞している所や停止線が消えている所が目につきます。国や県との絡みもあると思いますがせめて停止線だけはハッキリさせて下さい。
- 道路の草刈りをもっとしてほしいです。
- 市政に対しての意見ではないかもしれないが、都市ガス整備などで道路の補装を掘り起こして工事など進めているが、いつも掘った所だけ補装のやり直しだけを行なって工事が終わっている。その辺りを行政としてはどう思っているのか?近くに住んでいる者にとっては、日に日に補装がへこみトラックが走行していくたびに家がゆれたりなど生活に支障が生じている。そういう所ももっと見直しが必要ではないか?新しい建物や、施設を整備するだけがより良いまちづくりではないと思う。道路補装のやり直して欲しい所の調査など今まで聞いた事がないので、そんな観点のフォローも実施して欲しい。
- 道路の整備が出来てないように思います。学童が通学する道の歩道を進めてほしい。また道端の草が生い茂っている所も多々ありますからきれいにして下さい。
- 大黒田町交差点は5叉路のため、大西内科方面から出てくるときはとても大変です。
- 道路の白線が消えかけているのになかなかかき直していただけてないと感じています。事故につながらないように、かき直して欲しいです。
- アクセス道路の信号制御を改善してほしい。大黒田町交差点の渋滞の解消。
- 道路の整備をおねがいします。白線見えづらい、草が生え放題、交通の看板が古くなっていて見えづらい等。
- 通学路(歩道)の草やばい。草かりしてほしい。自転車で通るとこ。
- 松阪市駅周辺を歩いていて思う事。歩道が歩きづらい。(車イスの方、ベビーカーの方、目が見えない視覚障害者、白杖をもっている方)
- 道路を、自転車や車椅子でも楽に通れる道にして欲しい。松阪公園近くの道、石畳にしてありますが、まったく優しくないです。本町通りも、ガタガタで非常に優しくないです。歩道も狭いのに、街路樹があり、さらに狭くなり、根が道を押し上げゴトゴトになっています。ゴミの回収ボックスも考えるべきです。スポーツやまちづくりもいいですがもっと、生活に密着した、誰もが優しい町だと思える松阪市にまず、して欲しいです。見栄えを良くしたいのは分かりますが、考えものです。
- 松阪駅近くで傷んだ道路を修復しているが、ごとごと運転がしづらい。他の市町村と比較して道路の草刈りの放置、ゴミ等多く見られる。
- 松阪はいつも交通渋滞しているイメージです。慢性的な交通渋滞解消のための対策をお願いしたいです。
- 道路の白線や横断歩道が消えている所が多いです。停止線も薄く、雨や暗い時の運転ではまったく見えません。引越して来てすぐのときは道に詳しくなかったのが、怖い思いを何度もしました。また、

道路に穴があいている所もあります。道路の整備を一番して欲しいです。松阪は車での生活が主なので。関係ないかもですが、交通マナーも少し良くないと思います。(右折レーンにかなり後ろから割って入ってくる、左折優先なのに右折の車が急に曲がって来たり……他の地域では見た事が無かったのでびっくりしました)

- 道路の白線・黄線・その他の表示が山間部に行くほど消えていますので表示を！
- 他府県から移住し、今まで色んな所に住んでいましたが松阪市の上下水道代が高く感じます。何か理由があるのでしょうか？
- 大阪で生まれて育ちました。(1978年)45年前私はこの松阪市に住んでいます。とても良い町です。今では大阪より松阪の人となっています。私が今住んでいる所は下水道がなく、もっと松阪市すべてに下水道の完備をお願いします。
- 水道代が高い。母がよく言っています。
- 上下水道代が高額すぎるので不満。
- 下水道の整備をしてほしい。
- 水道料金の件について。松阪市は他市町と比較しても基本的に割高感が有ると思う。諸々の物価高がある中で生活難の為、料金の検討を考えてほしい。

7. 市民のための市役所

- 市役所での各申請が窓口で記入事項を印刷してサインするだけで申請手続きが完了するシステムは素晴らしく高く評価する！是非他自治体に横展開して欲しい。アンケートの WEB 化有難うございました。アンケート回答、それなりの時間労力が必要で有るので、何らかの謝礼は必要と思います。
- 役所の手続を、各課連携してほしい(ワンストップ化)
- 役所窓口での確認不足などによるミスが目立つので、早急に改善願う。
- 期日前投票の会場へのアクセスが悪い。
- 広報や災害訓練の市街放送が聞きとりにくい。アプリでも配信があると安心です。
- 市職員の専門知識のある人材を採用又は教育が必要(外部からの指導)。
- 夜間拡声器放送が何かわからないので不安。時折流れる放送ほとんどわからない。屋内だとムリ。屋外でも反響して聞きとりづらいし詳細はホボわからない。
- いい加減な職員がいる。見るからに仕事してない。
- どんなことでも市長と直接話せる環境が欲しい。
- 今回アンケートを答えるに当たり、松阪市政がどんな取組をし、どんなことを発信しているかさえ知らないということに気付きました。まず、市民が知る、知ってもらえることから始めるべきではないかと強く感じました。
- 広報松阪のアナウンスが全く聞こえない。行方不明者のアナウンスを一生懸命聞こうとしても聞こえない。きちんと聞こえるように考えて欲しい。場所は天津町の新しいほうの住宅街です。
- 調査回答で、インターネットを選んだ場合、返信用封筒は無駄になりますね……。わずかな金額かもしれませんが、そう思った一市民でした。各町内会もあるのだから、それを利用しても良いのではないのでしょうか。
- 高齢の母が伊勢市に一人で住んでおり、伊勢市の LINE を登録しております。広報、イベント情報、

火災情報、行方不明者の情報提供のお願いと解決情報等受け取る事ができ非常に便利です。松阪市でもこのようなLINEがあればと常々思っています。可能であればお願いいたします。

- ホームページや松阪ナビなどから、もっと気軽に意見を伝えやすいフォームなどがあれば良いなあと思います。
- 松阪市のHPは使いにくいです。でも、市役所の方はいい方ばかりで、いつもありがたいなと思います。
- 助成金などの市民への支援があまり知る機会が無いと感じています。もう少し知る場があると活用しやすくなると思う。
- 市内放送（広報まつさか）の音声が変わってから、聞き取りづらくなったので、前の声に戻してほしいです。
- デジタル化してきているご時世ですが、高齢者にもやさしく説明があってほしいです。
- 放送が入ってもあまり聞こえないので聞こえるようにしてほしい。
- スピーカーの広報が、何を喋るとするのか、全く聞き取れん！（自宅、職場ともに）。
- 市が取り組む施策が、全く市民に伝わっていないと思う。
- お役所特有の文章が高齢者には、分かりにくい！全ての人がスマホやインターネット等を使えるものと仮定するのはどうか？と思う。スマホを買えない人操作出来ない人のことも考えて下さい。
- 公共放送（行方不明の方など）で、アナウンスに抑揚がありすぎると聞きづらい。よく聞えるアナウンスをしてほしい（検証していただければ）。毎月11日の市長のあいさつもっと短くても。乳幼児が寝ている場合もあるし。
- 近年これと言って変革無し。道路の停止線などが消えているのが分っているのでしょうか？事故になりかねません。一度市内を車で走って見て下さい。観光施策も、何をどうしたいとか、どういう市にしたいとか見えない。ある地区（昔からある農魚村）は高齢化して過疎化しています。現在車に乗れますが免許返納した時、病院・スーパーへの通行手段はどうなるか心配です。又高齢者はネットなども出来ないし、将来不安（1人になったとき）バスも、こなくなりました（何十年前に）。松阪市広報からの地区への放送も、全然何を言っているか分かりません。津波などあったら不安です。すぐ確認を各自治会でおねがいしたい。また、避難の高台を作ってはいかがかと思います。前回の非課税世帯の配布（お金）についても、子供の多い数の家庭には、その様に支払ってあげてほしい。非課税の人が、お金もらえておかしくないか？
- 何でも困ったことを記入してもらえらるご意見BOXを色々な所へ置いてみたらどうか。
- 市民に広報等もなく、いつのまにか建造された物があるのは、おどろきです。
- 一市民が声をあげたところで何もかわらない。提案した所で何も変わらないのが松阪市である。ある意味伝統である。
- 日々の暮らしをこなしていくのに気を取られていてあまり住んでいる松阪のことに考えが及んでいない自分がある。このアンケートを機にもっと松阪のことを知るべきだと思った。もっと愛せる松阪になっていってくれたら、と思う。広報の放送は家の窓を開けていても聞こえません。用をなしてないと思います。
- 情報等SNSを見たりすることで収集できるがSNSをしない世代にもアピールする事は出来ないのか。
- 行政のことをいろいろ知っているか、知らないかで損をする人、得をする人がでないようにすみずみ

までわかりやすく周知し、われわれ市民の思いや考えを聞いてほしいです。子どもも大事！働きざかりの人も大事！老人も大事！みんな大事！私たちみんなで大阪を、支えている、背負っている、そう思える松阪市であってほしいです。

- 広報まつさかは是非郵送してほしい。
- より良い市政となるように、多くの市民の声を聴く機会をもっていただきたいです。今回のようなアンケートや、行政と市民の対話の場など、様々な方法で、お願いします。そして、市民の生活しやすい松阪市となるように行政、市民で共に考えていきたいです。
- いろいろな支援について当事者になってはじめて知ることが多いが本当は、当事者になる前にふんわりと知っているぐらいアナウンスがしっかりされていることが必要で安心につながると思いますのでいろいろな支援があることが、関係の無い人にまで浸透する様な、アナウンスがされていると思います。
- 松阪市は特に住民税が高いという話をたくさんの人から耳にします。となりの市町村と比べても割高で、引越しを検討している方もちらほら見られます。私は松阪市で生まれ育ち愛着もあるので、もっと松阪市全体が活性化し、財政が潤った街になってほしいと考えています。毎月徴収される住民税は一体何に使われ何故松阪市が高くなっているのかをもっと分かりやすくわざわざ調べなくても理解できるようにしていただきたいです。
- 税金に合った予算作りをして頂きたい。
- 借金時計は何のためにあるのか。借金は増えている。
- 色々なことに取り組みされているようですが、予算の取り合いになり、結局どれも中途半端になるくらいなら、優先順位を決めて1つずつ、しっかりと完成させて行ったほうが早く解決するように思います。どれも大事なのはわかりますが……予算や人員は無限ではないので、効率が悪いと思います。駅周辺の活性化は、やめた方がいいと思います。お金をかけて施設を作っても人が集まらない現在の状況が変わらず、損害が出ると思います。松阪市は「借金の多い市」と認識しています。市民のためにサービスを色々と考えられるのは、良いことだとわかりますが、「借金を増やらない、減らすこと」が市民のためになると思います。
- 現在の市政は、お金を使う事ばかり考えているように思われる。このアンケートの質問もそうである。市長他市職員に何をのぞみますか？というアンケートを実施してみてはどうか？（市議会も同じです）
- 税金を大切に使ってほしいです。
- 市民税安く。上下水道無料にして。
- 市民税が高いです。

アンケート

- 本アンケートの半分以上の質問の意味がよくわかりません。本当に必要な質問って数問だけですね。このアンケートで何がわかるのか答えていて見えてこない。やってる感だけのアンケートになってないですか？ こんなアンケートなら、もう送ってこないでください。
- 設問が多すぎる！
- このアンケートに答えてたくさんを知ることができました。60才を超えたので医療提供体

制について興味を持ちました。

- こんなに質問が多いとくたびれます。もっと簡単な資料にして下さい。アンケートに協力したら、何かください。アンケートにボールペンでも先に入れておいてほしいです。
- 今回のアンケートはかなり長時間が掛かりました。もう少し簡略化できれば有難いです。
- 全問年齢関係なしに質問となっているが年代別の質問もあってよいのではないかと思います。例えば手続のオンライン化についてもっと進めてほしいとしましたが、私はスマホを持っているが電話とメールとネットでの調べ物ぐらいしか使えないのでオンライン化を進めても高齢者には使い方が分からない人が多いのではないかとされるため正しい数値が出ないのではないかと思います。
- このようなアンケートがあり、今一度松阪市を振り返ることができました。私に取ってとても良い機会となりました。増々松阪が光り輝く市になって欲しいと願います。職員のみな様これからも宜しくお願ひ致します。いつも何かとおつかれ様です！！
- この市民意識調査において、私にとっては、大変勉強になりました。市政について再認識し、微力ながら何か役に立つことがあれば、実行しようと思いました。良い機会をいただきありがとうございました（意見ではなく、感謝の気持ちです。）
- 解答するのは良いが、なぜそうなのか、なぜそう思っているのか、などを聞いた方が良いのではないかと思った。
- アンケート結果をこれからの市政にどう生かすのか、各部局（職員）が共有し、継続されるよう、強く願う。
- アンケートを応えた方に心ばかりのお礼（QUOカード・松阪市の商品券）をするともう少しアンケートが集まると思います。
- このような煩雑なアンケートを無償でさせるのはどうかと思う。
- 今回のアンケート、かなりのボリュームがありめんどうという気持ちがありましたが、アリーナへの3億円の投資等、検討していることを考えると、良い機会になりました。市会議員の皆様や、役所の皆様に全てをまかせることが出来れば良いですが、そこまで信頼もしていません。このようなアンケートをやって頂くことはありがたい話です。皆様がんばって松阪市を盛り上げて下さい。
- 大変な事も多いと思いますが、アンケートを参考により良い松阪市になるよう、祈っております。
- 注意書きには答えにくい質問には無理に答えなくてもよい。とありますが、いきなり性別を問われるというところに少し疑問を感じます。私自身もまだ性の多様性については勉強不足の点も多くあります。ですが、もしこのアンケートを手にした方の中に、悩まれている方や苦しまれている方がいらっしゃったら、少し手が止まってしまうのではないかと感じました。集計をしていただく上で必要な情報であるのも承知ですが、「性別で統計をとる」という社会のあり方もこれから少しずつ変わっていくといいなあと感じたりしています。私も20年以上松阪に住んでいます。同じ松阪市に住んでいる方々が自分らしくいきいきと暮らせるような地域になってほしいと思います。いつもお取組ありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。
- 私は、3年前に夫が亡くなり（58歳）、今後の生活など不安に思う事が沢山あります。このような私に、このアンケートは、無理だったのでは、ないでしょうか？
- 申し訳ないですが高校生で部活も忙しく勉強する時間すらないのにこんなアンケートに答える時間がかかってムダ。税金のムダ。もう少しやり方を考えたほうがよいと思います。途中から読む気力もなくなりました。15才以上という設定がそもそもおかしい。

- 松阪市の将来がみえない。高齢者に沢山のアンケートは大変です。
- このアンケートの問いは非常に難しく答えにくい内容でした（○の数がバラバラ?）。問4 7（COPDの認知度）の意図、必要性が不明では?苦勞して作られた事と思いますが、少し無理があると思いました。
- もう少し質問を減らしたほうがよいと思いました!
- お世話になります。多数意見とりまとめでいただく事大変な作業と思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 情けない程の無関心に申し訳なく感じます。自身のビジネスに手一杯で来ました。ビジネスでの社会貢献だけでは…と、思う中でのアンケートでした。
- 高齢者にこんなアンケートをするな。
- 今回のアンケートは難しく、次回は若い人をお願いします。
- このアンケートで、何がどれくらい予算化されるのか、広報などで知らせてほしい。
- アンケートの量が多すぎる。かなりの時間を費やした。もっと簡単なアンケートにしてほしい。
- アンケートは今回で3回目となります。幅広くアンケートを求めるなら、毎回違う人物を選ぶべきだと思います。前回のアンケートと今回のアンケート内容が、大体同じように感じます。アンケート結果をどのように活用したのか、報告してほしいと思います。
- 私も16年間自治会長をして、活動は人一番してきましたが、いまは体力的に無理に成りました。少しでも調査結果が松阪市の為になればと思います。

窓口対応

- お世話になっております。定年前は民間企業にて、転勤で東京、大阪、名古屋含め、色々と住所地を変更してきました。また親族の手続等で伊勢市等の市役所にお世話になりましたが、対応は親切丁寧で、役所の対応が問題視されてた昔の時代とはすっかり変わったことを感謝しておりました。しかし、大変申し訳ないですが、松阪市での窓口手続等における担当者の対応の悪さは、これまでの自治体では殆どないものでした。窓口担当含めその上司とのやり取りを見る限り、その部署の組織体質、上司である管理職の意識の低さに問題があると思っております。私の職場の人たちも同じように感じております。何卒、改善頂けますよう、宜しくお願いいたします。
- 親の死で知った市役所での手続等に大変時間が掛かった。対応には何ら問題はないが待ち時間が長い。WEBでの対応を素早く進めて頂きたい。
- 振興局の対応が人によってですが嫌な思いをした事がある。(余り聞かれない内容を大きな声で言われた事がある)
- 市窓口や電話による問い合わせに的確に回答できない職員が相当いるので、職員のレベル向上を図って欲しい(他の市では的確に対応されることが多い)。
- 挨拶できない職員が多いことには驚きです。多分この人達の子どものもできないはずです。親の姿見て育つのですから恐いことですね～。多分、祖父母たちから受け継ぐのですからね～。人としてさびしいことですね～。

- 常々、市政に関しましては特に大変な舵取りであると認識しておりますので、この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。
- 教育は国家 100 年の大計。教育に力を入れるべき。将来をより良くするため、若者への投資をすべし。年寄り優遇政策は廃止が妥当。公務員多く、削減すべきである。
- 例えば子育ての場合、登下校を大人が見守れば安心だが、子どもたち自身で危険を察知して回避することをどう教えるのか？ 子どもたちが誰にでも元気に挨拶している姿は微笑ましいが、知らない大人を警戒し、場合によって親しげに近づいてくる大人から逃げることをどう判断させるのか？ 学校に地域住民も入れるのは良いが、校内の防犯は大丈夫なのか？ など。子育て以外についても同様だと思うが、地域住民同士に任せきりでは「良かれと思って」が強く、一方の意見に偏ることが多い。客観的な視点・忸度ない意見・専門的な人の判断も必要で、そこは市政が入って上手くバランスをとってほしい。
- 沢山の課題、問題があると思います。それらに取り組んでいるのも分かりますが、色々なことに手を出して中途半端な気がします。資金や人手不足だからでしょうか。ならば、もっと地域の企業などと連携して企画運営した方が良いと思います。高校生との共同開発なども他県ではもっと実施されていると思うので色々な場面（観光、福祉など）で意見、アイデアを出してもらうべきだと思います。発信する力はやはり若い方が一番強いと思うので。検討をお願いします。
- 防災や都市化計画、少子高齢化対策をしているがすべてにおいて決定打にかけられる政策態勢であると思う。すべての人に住みやすいまちづくりは大切ではあるが高齢者を大切に扱っている余裕はあるのか疑問がある。それなら子育て世代への支援を徹底して人口増及び外国人観光客の呼び込みにより収入増、松阪市のブランド化を PR し、好景気や物価の高い地域や国の観光客に積極的に訪れてもらい、税収増に繋げるための先ずは地盤固めを優先すべきであると考えます。
- 様々な課題があると思いますが今後の松阪市政に期待しています。
- 若者や子どもに対する政策にも力を入れて貰えると嬉しいです。
- 事業や人事の予算執行において費用対効果を検証する仕組みを確立し、最大限の効果が期待できるものには重点的に配分することにより、問題をひとつひとつ消していくことが重要だと思います。事業ありきで、既得権に忸度した予算立てはあってはならない。市政に関わる方々には誇りをもってほしい。よろしくお願い致します。
- 自分には子どもが 2 人います、最近の政治を見ていると将来に対して不安しか感じないです、今いる子ども達やこれから産まれてくる子ども達の為に市政を頑張ってもらいたいです。
- 今後松阪市を支えて行くであろう子ども達が地元で就職、結婚していける町作り、地域内の空き家対策、野良猫対策 積極的にしてほしい。
- 市政における税収配分に問題がある。市の不要な公共事業への投資に疑問を感じている。若手の市職員を積極的に海外へ視察させ、環境、観光など様々な側面から街造りを推進すべき。自分を含め 50 代以上の意志は聞く必要はない。旧態依然とした 50 代以上の人間が管理職につき統制しているような市政では今後持たないと感じている。老人の経験よりも若者の可能性を尊重し、活きた街造りを推進してほしい。
- 今のままでは、人口の流出は止められないと思います。特に、若者がいつか地元に戻ってきたくなるような新たな取り組みが必要。昔から松阪は人を育てることをしてこなかったもので、若者は外に出て

しまうと思います。食べ物も、肉、鶏しか有名なものがありません。道路は走りにくく、事故が多く発生します。松阪市には、魅力ある中長期的なプランを作成し、何に重点を置き、どうしていきたいのか明確なビジョンを市民と早急に作り上げることが必要です。目先の観光客招致に多額の予算を講じるよりも、その予算を三十三銀行アリーナのエアコンに回した方が、市民は喜ぶと思います。まずは市民に愛される街にして下さい。市民に賛同されていないマラソンコースを連続で使用するのも理解できません。今回のアンケート結果を、公表して欲しいです。

- 行動力が無い。スピードも無い。市民を暇人と思っている（何かあれば呼べばいい）。平気で待たす（人はたくさんいれど無感心）。市民を怒らすプロ集団。すこしは民間企業を見て（ノルマとかあって大変よ）。年功序列でボーナスたくさんもらえていいなとは思いますが公務員にはなりたくないN o 1。全てがわかりにくい。
- このアンケートを終え、感じたこと。なんせ難しい！市のお金が足りない事、ボランティア参加を願う事の印象だけが残る。大都会じゃないんやから、昔ながらの松阪ではだめなのか？と思う。地域の方々も他に比べたら充分にしてくださっているし、高齢の方々も頑張ってくれています。市役所の方々ももっと地域へ出て（電話対応ではなくて……）力になってほしいです。小学校統合や災害時の不安、優先に進めてほしい情報が少ないしアンケートにもなくて残念に思う。数名しかいない小学校ではスポーツや将棋、ゲーム等好きな子や、人を集めて学習、競う、助け合う場が、私が住む地域にはありません。
- 今年孫を連れ、松阪けいりんの夏まつりへ行きました。本当楽しかったし、たくさん子どもたちが喜んでいたように感じます。広く涼しい所もあり、あのような形のイベントを、大きな企業に力になってもらっての宣伝は、効果あるように、今年一番感じました。
- 松阪市民は頑張ってます。なんやかんや言うてもこの町好きです。有名人を呼んで！！他県の人々を集めて来てもらうってどうかな？ 市民には限界ありと感じる。
- 現在は、車使用で日常が成り立っているが今後高齢、父母のことを考えると不安です。金融機関、商業店舗等が楽に歩ける範囲にないので不便な魅力の無い町である。自然と快適な生活を望むのは、むずかしいのか。住民が声を上げないと、商業店舗等も誘致できないのか？ 町内の道幅が狭いのも災害時、車輛の出入りに問題ありです。松阪市の隅にある町にも開発・関心の目を向けて下さい。
- 住民税を下げてください。宜しく願います。松阪市はスーパーや薬局等も充実していて、本当に住みやすいと思います。もっと良い街になることを願っています。
- 今、日本は治安が悪くなり、安心して住めない国になっています。また経済では円安などの影響で物価高のため生活苦になりました。どうにか税金や保険料などは支払っていますが、病院にかかるお金の余裕はありません。生きるか死ぬか、市民が窮地に追いつめられています。そのため、このまちづくりについて考えるゆとりはありません。それよりも、高齢者の医療費や住居にかかる固定資産税などももう少し安くないものではないでしょうか。経済的にゆとりができれば、人としてやさしくいろいろな活動に参加させていただけると思います。市民にこれ以上、経済的、ボランティアにかこつけた精神的・肉体的負担をかけるような政策はお控えくださいますようお願いいたします。
- 小さな市役所をめざすべき。事業も必要最小限なものとし、税負担を軽くすべき。職員数、予算も最少なものとし、八方美人政策をやめ、市民の生活に必要な最少限の事業を行う組織をめざす。
- ムダをやめれば地域は良くなると思います。例えば生活保護が必要としない人への支給だとか道路整備を毎年同じ所をやるだとか…色々、省くことはあると思います。第一次産業を活性化して資源を

大切に使っていく方向に力を入れていった方が、後のことを考えるといいように思います。便利が人間をダメにして、AIが人と人とのふれあいをなくして、人の分断を起こしているような気がします。不便でもいいので昭和の人間味のあふれた松阪市に戻ってほしいです。お金=幸せとかいう時代はやめにしませんか？食うに困らなければ人間は生きていけるんです。市長に一言！！松阪市が良くなるという前に国がどうなったら良くなるという事は、だいたいわかっておられると思います。国の方針にもっと意見して下さい。応援してます。

- 市御当局各位の行政サービスに対するきめこまかい取組を感じます。今後の御尽力を祈念いたします。
- 結婚を期に玉城町から松阪市にきて2年半なのであまりわからないことが多いです。ですが、家を建てても松阪市民のままだと思うので、もっとたくさん知りたいことはあります。子どもはまだないので調べていませんが、出産時への支援などはどのようなものがあるのかを知りたいです。あと、外からの情報が少なく感じます。やはりお金の話は、大事なので、例えば、「松阪市はもちろんこんな支援があります」ではなくて、それプラス、「松阪市には、まわりの市町村と比べてこのような取組をしています」といった、胸を張れる、中身のある、違いが明確にわかるそんな松阪市なら、住みやすいかな？と思います。
- 無職障がい者同士の出会いの場作ってほしい。障がい者の松阪市役所の契約社員の人、掃除事務の人がある程度頑張ったら正規職員になれる道を作ってほしい。公共交通機関を作ってほしい。駅西がさびれているのでもっと活性化してほしい。四日市みたいに。
- 駅西のシャッター商店街をなんとか栄えるようにしてほしい。例えば、商店街の皆様に協力してもらい、駅の大きなショッピングセンターなどに商店主には優先的に入ってもらうとか？ マンションも増えているし、さらに増えるように行政も協力してもらいたいです（土地代金とか、課題はあると思いますが、そこは協力してもらいたいです。孫の代まで誇れる松阪にしてほしい）。
- 75才以上の高齢者は医療費の無料、安心して過せる町作り、高校生までの子どもたちは医療費無料他。その為なら税金が高くて、払うでしょう。反対もあるとは思いますが。
- 全国初の松阪から（地方）から国に働きかけて、ゆりかごから墓場まで安心して暮らせる社会（松阪）を。税は高くても良いと思っています。
- 図書館やふるさと会館など嬉野地区にも行政サービスの場があり助かっています。今後の充実を期待します。
- オリンピックのメダリストがスタッフになり大変うれしいし、ありがたいですが、あまり無理をさせないでくださいね。
- 70歳以上の後半で支えられる年齢となっているため「参加（何ごとにも）する」の答えが非常にむづかしい点がありました。「問46 2030年ころの超高齢社会に備え…」について。医療関係でも大切であるが行政の支援を一層強化してこれからの松阪市総合計画の作成には新しい目標をかかげて実現していくことを強く希望します。全職員の知恵と工夫を期待します。松阪市の指針となる計画を実現可能にさせていただきたいことと山間地帯も希望と先のある指針も願います。
- 今後とも市民の安心・安全・健康の為にご尽力いただきますようお願いいたします。
- 後期高齢者故、将来・未来のこと子どもに関する質問はあまり分かりません。松阪市がどの年代でも住み良い町づくりをお願いします。
- 有意義な松阪市作りを実現してほしい。

- スケートパークはムダの代表！！松阪マラソンなんかやめた方がよい。交通規制が長すぎ多すぎ！！一部のランナーのためになんで市民が迷惑かけられやなあかんのか！！さっさとやめるべきだ。県内にたくさんマラソンがあるからせんでええやないか！！市独自の減税をしてみたらどうや??このアンケートにいくら税金を使っているのか??そっちの方が気になる。
- 公的予算の使い方について、一部の声の大きい団体等からの要求を受けず、多くの市民が享受できるものへ。例えば、上川のスケートボード場などは、全くナンセンス、無駄使い。それより、ウォーキング、サイクリングロードの作成、整備をする。もっともっと緑の多い公園を作って市民の憩いの場をつくる。
- 子育て支援、高齢社会対策、医療問題等、課題は多岐にわたると思いますが、来たる大災害に備えインフラの保全活動も重要課題と考えます。
- 松阪市市民意識調査、調査票への記入にあたり、改めて、松阪市の取り組みを認識する事が出来ました！！全国的にも高齢社会となりましたが、まだまだ活躍できる高齢者が多いと思われまます！！そんな方々も、巻き込んで、経験と知恵を生かして現在、課題のある問題の解決の参考にされたら如何でしょうか?昭和、平成、令和と目まぐるしく変化し続ける、昨今です。コロナ禍のパンデミックもようやく落ち着いてきました。明るい情報ばかりではありません。困難な課題を解決してこそ明るい松阪の未来があると思います。子ども達が他府県へ(大学等)へ、出たとしても再び松阪へ戻って来たいと思える松阪になることを希望します！！私も協力したいと思います！！
- 駅西、駅東の活性化と、高齢者の自活しやすい交通網に期待。
- 市役所職員さんたちには、公僕に徹してもらいたい。
- 私は2020年の9月に約50年ぶりで、飯南町に転居しました。それまでは千葉・東京で暮らしていました。ここに再び住み始めてまだ3年ですし、市政について述べるだけの知識も情報も私は持ち合わせていません。私の思いを記させていただきます。スポーツによる町の活性化も結構ですが、松阪市が取り組むべき喫緊の課題が松阪駅の周辺地区の再開発であることは明らかです。寂れた、活気のない駅西通りを見ると、私はいつも胸が絞られるように悲しくなってきます。新たな複合施設の構想では「松阪肉」を中心において考えたほうがビジネスになる、と私は思います。そのためには、もっと戦略的な広告・宣伝活動も必要です。計画されている複合施設を松阪市の新たなランドマークにしなければなりません。この施設の話し合いにはぜひ若い人たち、特に若い女性(高校生・大学生も含めて)を加えていただきたい、というのが、私の願いです。
- 松阪市の課題は、山間部の町で(飯南町・飯高町で)少子高齢化が進み、「交通弱者・買い物弱者」が増えている現状です。私は現在、飯南町横野に住んでいますが、徒歩圏内には一軒のコンビニもスーパーもありません。若者がいない高齢者だけの家庭は本当に困っています。こうした問題はどこに相談したらよいのでしょうか。ドイツでは、ガソリンスタンドで日常に必要な品物を買うことができます。他県・外国の事例も参考にして、本当に役に立つ具体的な施策を提案し、実現してくださいませようお願いします。
- 市の借金を減らす方向性を！！人づくりこそが市が潤う源である。学校教育はもちろんであるが、大人の教育(家庭の力向上へのサポートもふくむ)も必要な時代。やはり人的サポートを手厚くしてほしい。海と山の財産をまったく活かしていない。海も山も手が入っておらず本来の魅力を取り戻すための手だてを考えてほしい。大口港にもまったく魅力を感じない。中心部のシャッター街の活性化。古い街並みをずいぶん壊してきた。おかげ横丁ではない別の切り口はないだろうか。あまりお金をか

けずにできるものを松阪駅西、駅東も（建て物も）手をくわえる必要がある。

- 生活に困っている人が多くいるように思います。明石市のような子育て支援を行うことで、若い働きざかりの方が、転居してきて、松阪市がもっと活気付くのではないのでしょうか？経済を回すには人が必要、お金が回ることで、みんなの生活が豊かになると思います。期待しています。現状、交通マナーが悪く、治安も良くない。松阪へなぜ引越してきたのか後悔する日もあるほどです。
- 食のPRは、もっと身近に手軽に食べられるものがあるとよい。歴史も史跡も見ただけには来ない。体験型を。
- 市民のためにやる事は、税金を下げてくらしを楽に。一番は金を使う事じゃなく、還元をして下さい。少しは、予算を使い切るんじゃなくて、あまれば市民に返したら！松阪市も安芸高田市の市長のようにツイッター、ユーチューブなど使ってもっとみんなに注目されるよう考えたらふるさと納税が集まる。せめて三重県一住みたい街作りをやって。阪内川が土砂で浅くなって水害が起きる前に川を整備して下さい。鎌田町にはコミュニティバスがない。同じ税金を払っているのになめとんのか！！書くだけムダかな。今後アンケートなんかせんでええ税金のムダ！！SNSでできるやろ。
- 短期・中期の政策・対策として福祉問題への取組は必要ですが、50年以上の長期的な政策では、「若者のUターンや移住」「子育てしやすい環境」を進めるための魅力ある街づくりが重要だと思います。市の歴史的財産を活かした商業戦略（伊勢のおはらい街のように文化的な街の再現）、暮らし方の見直し、（農業問題・高齢化による農地が使われなくなるのを次の世代にどう受け継ぐのか、若い世代が農（安全な食糧自給）に携わるための支援・促進）、アート・スポーツなど文化的な豊かさを誇れる街づくりをぜひ進めてもらいたいです。
- 女性がもっともっと活躍できるように。
- 子育て支援。（たとえば、保育園にてタオル、オムツなどのサブスク、春日保育園の夜間保育等、又ワークセンター）。スポーツなど、力を入れていただいているのが、感じられ、ひき続き、子育てしやすい松阪市となるようよろしくお願いします。また、市民病院の問題ですが、祖母が持病があり、市民病院にお世話になっていますが、救急車が、市民病院がはずれることにやや不安も覚えています。色々と観光の面においても、イルミネーションで盛り上げてもらったりと、さまざまな面で進展するのにご尽力してもらっていると思います。これからもよろしくお願いします。
- いつも、松阪市政の為に、ご尽力ありがとうございます。松阪については、幼少期から住んでいますが、閉塞的なイメージなままです。松阪での毎日の生活については、車での生活が欠かせないですが、道がせまくて、わかりにくい。駐車や、場所に困ることもあります。免許返納後や、郊外の高齢者の生活への不安の解決も望まれていると聞きます。また、将来は、健康長寿社会の為に、松阪市でも、一部市民のみでなく、いつでも、全世代が、性別など関係なく、気持ちよく、楽しんで取りくめるものがあるとよいと思います。高齢者が、孤立してしまう心配のないように、ケアできることがもっと増えていくといいと思います。そして、是非、ペットと一緒に楽しめる場をつくってほしいです。松阪は、少し、ペットに冷たいと聞きました。それでは、観光や遊びに、市外から来たいとは思えません。松阪市は、子育て世代の為に力を入れていると感じられますが、全世代にバランスよく、寄り添って頂きたいと思います。今回のアンケート依頼により、普段の生活環境や、自分の意識について考えながら、見直すきっかけにもなりました。要望になってしまい、申し訳ありませんでした。ですが、この回答が、少しでも、松阪のお役に立てれば幸いです。
- 松阪市はすばらしい町だと思います。なのにもったいないなと思います。駅にもっと人が集まるアイ

デアが必要。若い人や観行客。映えスポットとか。それから、スポーツがさかんなのに施設がない。体育館や競技場が必要。大会ができない。野球場はリニューアルして良くなった。何かできる事があれば協力したい。

- 「シビックプライド」で、松阪のまちを愛し、誇りを思う心と但し書きと言うか説明がなされていましたが、「自分が参加した活動や行動が、地域、街・町に貢献した。」という達成感の観点もあればと思いました。
- 松阪市のためにいつもありがとうございます。広報がカラーになったりメダリストを前面にしたスポーツ関連の充実など様々なことに取り組んでいただいていると感じます。松阪市は好きなのですが、実家のある亀山市に比べると、現金給付の支援などが少なく思います（母が実家でひとり）。先立つものはやはりありがたいので、他市に近づけるような支援金はほしいと思います。そして、公共交通機関の充実も希望します。高齢となり車に乗れなくなった時の不安がとてもあります。今後とも、みんなでよいまちづくりをしていきましょう。
- 松阪市として何をメインに成すのかその姿が全く見えない。設備も施設も行政も……。This is itとしての姿がなくあれもこれも地平的に水平的にやっているのでしょうか。バラマキ行政ですね。パワフルでしっかりとした目的目標があって永続的に実行される活性のための指導力を強く望みます。でない松阪に住んでいるという誇りを持ってない。食べ物でも松阪肉か？トリ焼でしょ。何にもアピール支援してないし。農作物でも規格外で廃棄するものが多く困っているのに何一人も支援、アイデアないし、職員は地元のために活力となっているのでしょうか??
- 市職員が適材適所で勤務される事を望みます。市内の町名を読めない人が窓口においてびっくり、もっと勉強してほしい。つまらない、簡単な仕事でもいちいち二人でいかずにもっと効率良く働いてください。市役所の人は半分で良いのではありませんか。
- 駅周辺にマンションをもっと建て人を呼び込み商店街をまず盛り上げ、人を動かす。夜の松阪市は、非常に電灯が暗く、他県の観光地に比べ古さ、怖さ、活気がないように感じてしまう。若い世代が遊びに来るような商店や、魅力が少ない。食事等が美味なのに勿体ない。松阪市は空土地もあるので商業施設や食べ歩きが出来る様な（近くでは、大須、高山、彦根、伊勢、奈良駅・周辺）の様な、うりを作らなければ人はこない。駅も古い。三交が隣接していたときの方が人の動きが多かった。ベルファームのような施設があるので、もっと利用すべき（オートバイ、音楽、食（県外も含め）お祭り）等。私は松阪市が大好きです。商売をしているのもっと松阪市に県外、海外から人を呼び雇用、経済効果をうむべきです。空港、フェリーもありだと思えます。人を呼ぶ為何かして下さい。
- 松阪市の取組について詳しく知ることのできたよい機会でした。ありがとうございました。設問を見るとどれも重要だと感じる事が多く取捨選択を迫られる職員の方々は大変だと思いました。いつもありがとうございます。私たちが今できることは、街に関心を持ち、気になった情報を市に伝えていくことなんだと改めて感じました。運営が大変かと思われませんが、“松阪市版X”で市民が瞬時に市内の情報を共有したり、伝える機会を作っていたら…なんて思いました。
- ボランティアへ対価を支払う件について。対価を支払うことにより、ボランティアの気持が薄くなり前向きな発想が出来なくなり、新しい着眼点が見出せなくなり打算ばかりが働くので決して良策ではないと思います。対価に依る依存はさけるべきだと思います。私としては費用弁償の方が対価支払いよりも合法ではないかと思えます。

その他

- いつもありがとうございます。
- 若者が暮らしたいと思う魅力的な町になるといいなと思います。
- 松阪は、親しみがあり、住みやすいまちだと思っています。生まれて死ぬまでずっと松阪にいたい、と思う取組をお願いします。
- いつもありがとうございます。松阪市が住みやすいのもひとえに、市民の方及び市役所や公共でこういった取り組みがあつてのことだと思いました。知らない取組や無関心なこともあります。これからも協力をしたいと思いました。
- 市役所の駐車場の誘導はいらない。停めたくない所へ案内されたりするとイラってくる。
- ケーブルテレビで市長さんがいろいろと体験されていたりと自分もやってみようかなと思っています。松阪のことよくわかりやすいように放送されていて助かります。コロナ禍で大変です。まだまだ安心出来ませんが皆様健康に気をつけて下さい。松阪について意識が持てて良かったです
- 市長頑張ってくれなければならないよ。
- 日頃は市職員の皆様、いろいろな課題に向けいろいろな取組をありがとうございます。
- 子供・高齢者も大事だが、現役の働く世代が苦しい世の中を変えなければ何も変わることはないと思います。
- もともと松阪市民でない私としては、ほどよいなかが松阪。住みやすく、ごちゃごちゃしてなく、食に関しても、いいイメージ。住みやすく、居心地のいい町が松阪だと思います。上を見るときりがなく、今のままだいいのが松阪。
- 市議さんも個々で活動はされているのはわかりますが、朝の通勤ラッシュ時に、交差点で、むやみに手を上げてアピールしたりして、車がブレーキ踏んだりして自然渋滞が起きたりしているのをよく見かけるので、やめてほしい。そんなことするぐらいなら、道路のゴミ拾いでもしてほしい。
- いかにも自分が、何も知らない事に頭を打ちました。ずいぶん、色々してもらっているのですね。あらためて、気づきました。遅いかもしれませんが、勉強のしなおしをさせていただきます。ありがとうございました。
- 知らない事が多くて、ちゃんとした答えが出来ず、申し訳なく存じます。ただ、私（82才）、ここ10年来、病気と、縁がなく、ありがたく思っております。松阪市のいろいろ取組んでいただけることを知り、ありがたく思いました。安心して生活していきます。
- あまり話せる立場ではない、見守るだけ。
- 広い市内全体での政は突破も困難で一丸となる充実感もなかなか得難い中、前向きに柔軟に取り組んで頂いていることを感じています。私たちの生活全般に関わり、支えて下さっている皆様いつもありがとうございます。中山間地域はぶら下がった負担になっていることも多いでしょうが、自然の豊かさを誇りながら食も教育も世界にPRできるのは松阪市ならではのだと確信しています。自然に囲まれての健康作りと人材育成という、ソフト面を掘り下げることで解決につながる課題が多くあります。住み続けたい町、戻ってきたいふるさととなるよう、豊かに生き、手を取り合って生き生き暮らす人々を応援してして下さい。
- いつもお世話になっております。今回はこのような大事なイベントに参加でき大変嬉しく思います。今後も市長さんはじめ職員さん皆で力をあわせて松阪市が増々繁栄する様見守っていきますので頑張ってください。

- 私の住んでいるところは平地で比較的店も多く、住んでいるには不自由はありません。松阪市も広いので、等しく住みやすくするのは難しいと思います。日頃より、市のために尽力いただきありがとうございます。これからの子どもたちのためにどうぞよろしくお願いします。
- 松阪に住んでいてよかった。
- 全ての世代が住みやすい町（市）を望みます。
- 今の「PTA世代」が、ずいぶん変化してきているように思う。地区の行事も学校の行事も無気力で。あと情報が多すぎなのか心配症なのか、考えすぎて、催し物ができにくい。
- もっと若い方の意見や考え、発想を取り入れて進めていくべき。昭和の時代を生きてきた方々の考えでは、松阪市も何も変わらないと思います。市の職員、議員さんでも若い方を大切にして、若い職員さんや議員さんが松阪市を変えていただきたいです。古株の方が一歩引いて、若い方に花を持たせてあげて下さい。
- 国との連携を大切に、活気ある松阪市にして頂きたいと思います。市長頑張れ！！
- 読み進めるうちに、松阪での施策を知ることが出来アンケートに答えて良かったと思いました。朝と夕方に小学生たちの見守りやあいさつなどを行っているのを見て素張らしいなど感じていました。住みやすいです、松阪市。地元の友だちにも観光を進めてみます（去年大阪から引っ越してきました。）
- お疲れ様です。生まれてからずっと松阪市を出ることなく快適に過ごしてきました。みなさんの努力のおかげなのだとは今回のアンケートで強く感じました。知らない対策がたくさんありました……。ありがとうございます。
- 私自身が高齢の為返答があやふやで申し訳有りません。これから先松阪市が良くなることを願っています。
- 市民が健康で幸福な生活が出来るように願っています。
- 市役所の皆さんが働きやすい松阪市であることも重要だと思います。市民の一部の方への対応で疲弊されることもあるかと思いますが、がんばって下さい。
- 十人十色！だから、じっくり説明する努力を。市民の理解・協力、継続は力なりを証明してね。
- 平素は市政つき色々お考え有難たく思っています。今回のアンケートに対し記入はすべて終了しましたが、今後1件々に付きましても良い方向に進めていただくよう検討願いたくお願いします。私共高齢者増加の中、少しでも日常生活が楽しく、健康で日々送れる事を願っています。医療機関に出掛ければ高齢者の多い事です。
- 今後も市長さんのリーダーシップに期待します。
- 松阪市にとっても満足。どうもありがとうございます。よろしくおねがいします。
- 就業時間中にゲームばかりして遊んでいる職員や寝ている職員を辞めさせるなりしてからお金が足りないと言うなら理解できるが、マラソンにだけ力を入れている松阪市の考えには全く賛同できない。観光産業にも力を入れるならその業界の裾野の広さを理解してしっかり対応してもらいたい。

IV 調査票

松阪市市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。さて、このアンケートは本市のまちづくりの指針となる「松阪市総合計画」の進捗や効果をはかり、市民の皆さまが市の政策や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために実施させていただきます。

アンケートの結果は、今後のきめ細やかな市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は全て統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

令和5年11月

松阪市長 竹上 真人

- 【対象】 松阪市にお住まいの15歳以上の市民の中から無作為に選んだ3,000人
※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。
※介護が必要な状態、病院に入院中等で本人が回答できない場合は、お答えいただかなくてかまいません。なお、その場合でもお礼状が届きますのでご了承ください。

【回答方法】

①郵送

回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。切手は不要です。

または

②インターネット

パソコンやスマートフォンなどから以下のサイトにアクセスし、ユーザID、パスワードを入力して回答してください。

【URL】 <https://kktssr.com/mie2023>

ユーザID	
パスワード	



※ユーザID、パスワードは重複回答を防ぐためのものです。回答者は特定されません。

- 【期限】 令和5年11月24日(金)までにご回答ください。
(氏名、住所をご記入いただく必要はありません)

【お問合せ】

調査実施主体：松阪市企画振興部経営企画課
〒515-8515 松阪市殿町1340番地1
TEL：0598-53-4319 FAX：0598-22-1377



(2) 現在の生活に満足していますか。(Qは1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. どちらかという満足している | 5. わからない |
| 3. どちらかという満足していない | |

(3) 余暇は充実していますか。(Qは1つだけ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 充実している | 4. 充実していない |
| 2. どちらかという充実している | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという充実していない | |

(4) 生きがいにしているものはありますか。(Qは1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというとある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとなし | |

(5) 地域への愛着はありますか。(Qは1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというとある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとなし | |

(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(Qは1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと感じる | 4. 幸せでないと感じる |
| 2. どちらかというと幸せだと感じる | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというと幸せでないと感じる | |

(7) あなたは幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(Qは3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 健康であること | 12. 地域に憩いの場があること |
| 2. 食生活が良好であること | 13. 頼れる人がいること |
| 3. 住まいがあること | 14. 地域に愛着があること |
| 4. 生活に経済的な余裕があること | 15. 人から頼りにされること |
| 5. 家族との関係が良好なこと | 16. 自分が活躍する場があること |
| 6. 災害に対する備えができていないこと | 17. 社会に貢献していると感じること |
| 7. 治安が保たれていること | 18. 働く場所があること |
| 8. 食の安全が保たれていること | 19. 仕事にやりがいを感じる |
| 9. 生活環境が良好なこと | 20. 生きがいがあること |
| 10. 近所づきあいが良好なこと | 21. 余暇が充実していること |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 22. その他 () |

問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. している | 4. していない |
| 2. どちらかというとしている | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとしていない | |

(2) かかりつけ医^{*}がいますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

^{*}かかりつけ医 ……風邪などの病気や体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする決まった医療機関（医師）のことです。

(3) (2) で「1. いる」と答えた方におうかがいします。

かかりつけの医療機関を教えてください。(〇はあてはまるもの全て)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 地域の病院や診療所 |
| 2. 総合病院（済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など） |
| 3. その他（ ） |

(4) あなたは、この1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1回 | 7. 年に6～10回 |
| 2. 週に4～5回 | 5. 月に2～3回 | 8. 年に1～5回 |
| 3. 週に2～3回 | 6. 月に1回 | 9. 特にしていない |

(5) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. よく利用する | 3. あまり利用しない（これまでに数回利用した程度） |
| 2. たまに利用する（年に数回程度） | 4. 利用したことがない |

問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）^{*}を知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない | |

^{*}住民自治協議会（まちづくり協議会） ……住民協議会、自治会連合会、公民館と市が住民自治のあり方を協議した結果できた、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的に地域づくりを行う組織です。

(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動（清掃活動・防災訓練・お祭りなど）に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 積極的に参加している | 3. 参加していない |
| 2. ときどき参加している | |

問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

1. 公園や憩いの施設が整っている	14. 防災対策が進んでいる
2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている	15. 騒音などの公害が少ない
3. 道路が整備されている	16. 歴史や伝統がある
4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い	17. 商業や事業を行うのに有利
5. 買い物 convenient	18. 情報・通信が整備されている
6. 働く場所がある	19. 市の情報公開や情報提供が積極的
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている	20. ごみが落ちていない
8. 保健・福祉施設が整っている	21. 観光資源が豊富
9. 文化・スポーツなどの施設が整っている	22. 食べ物がおいしい
10. 医療施設、救急医療が整っている	23. 交通マナーが良い
11. 人と人とのつながりがある	24. 空気がきれい
12. 市政に参加する機会が多い	25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている
13. 治安が良い	26. その他()

(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

1. 公園や憩いの施設が整っていない	14. 防災対策が遅れている
2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない	15. 騒音などの公害が多い
3. 道路が整備されていない	16. 歴史や伝統がない
4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	17. 商業や事業を行うのに不利
5. 買い物 convenient	18. 情報・通信が整備されていない
6. 働く場所がない	19. 市の情報公開や情報提供が消極的
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない	20. ごみが落ちている
8. 保健・福祉施設が整っていない	21. 観光資源が少ない
9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない	22. 食べ物がおいしくない
10. 医療施設、救急医療が整っていない	23. 交通マナーが悪い
11. 人と人とのつながりが薄い	24. 空気が汚れている
12. 市政に参加する機会が少ない	25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない
13. 治安が悪い	26. その他()

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

1. 住みやすい	4. 住みにくい
2. どちらかという住みやすい	5. どちらともいえない
3. どちらかという住みにくい	



自分のペースで大丈夫です！



問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(39)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(1)地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)交通事故のないまちづくり(交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16)どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかれる取組(保健・医療の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19)障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
(21)子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27)森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29)企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30)地域資源を生かした観光政策(観光の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36)市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37)中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 3. ふつう | 5. 不満 |
| 2. やや満足 | 4. やや不満 | |

ここからは、
「松阪市の個々の課題について」
お尋ねします



広報全般について

問8 松阪市の情報は主にどのような方法で入手していますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--|------------------|
| 1. テレビ | 8. YouTube |
| 2. ラジオ | 9. 自治会などの回覧 |
| 3. 新聞 | 10. 知人・家族のクチコミ |
| 4. 松阪市ホームページ | 11. インターネットサイト |
| 5. SNS (Facebook、X (旧 Twitter)、
Instagram など) | (ネットニュース・個人ブログ等) |
| 6. 広報まつさか | 12. その他 () |
| 7. 行政チャンネル (アイウェアまつさかなど) | |

問9 「広報まつさか」を読んでいますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 毎月読んでいる | 4. ほとんど読まない |
| 2. 大体読んでいる | 5. 読んだことがない・知らない |
| 3. 時々読む | |

問10 「広報まつさか」の電子版・多言語音訳アプリ「カタログポケット」を知っていますか。
(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ダウンロードして利用している | 4. 知らないが今後利用してみたい |
| 2. ダウンロードしているが利用していない | 5. 知らない |
| 3. 知っているがダウンロードしていない | |

問11 松阪市ホームページをどれくらい利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 必要なときのみ |
| 2. 週1回以上 | 5. 災害時のみ |
| 3. 月1回以上 | 6. 見たことがない・知らない |

問12 松阪市ホームページは令和5年2月にリニューアルを行いました。リニューアル前と比べ、
現在のホームページは見やすくなりましたか。(〇は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 見やすくなった |
| 2. 少し見やすくなった |
| 3. 少し見にくくなった |
| 4. 見にくくなった |
| 5. 松阪市のホームページを一度も見たことがない |
| 6. リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない |
| 7. その他 () |

問 13 リニューアル前と比べ、現在のホームページは検索しやすくなりましたか。(〇は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 検索しやすくなった |
| 2. 少し検索しやすくなった |
| 3. 少し検索しにくくなった |
| 4. 検索しにくくなった |
| 5. 松阪市のホームページを一度も見ることがない |
| 6. リニューアル前後のどちらかのホームページしか見たことがないので分からない |
| 7. その他() |

問 14 ケーブルテレビの行政チャンネル(123ch)をご覧になったことはありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 必要なときのみ |
| 2. 週1回以上 | 5. 見たことがない・知らない |
| 3. 月1回以上 | |

問 15 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」を知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ダウンロードして利用している | 4. 知らないが今後利用してみたい |
| 2. ダウンロードしているが利用していない | 5. 知らない |
| 3. 知っているがダウンロードしていない | |

問 16 松阪ナビで発信してほしい情報は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 子育て情報 | 7. イベント情報 |
| 2. 学校・教育情報 | 8. 市政情報 |
| 3. 防災・安全情報 | 9. 観光情報 |
| 4. 災害情報 | 10. ボランティア情報 |
| 5. 健康づくり情報 | 11. 利用者参加型企画(デジタルスタンプラリーなど) |
| 6. ごみ情報 | 12. その他() |



後半戦突入です!

1 22 44 66 88 110

シビックプライド(松阪というまちを愛し、誇りに思う心)について

シビックプライドとは「市民の・都市の」という意味の「Civic」と、「誇り」を意味する「Pride」から成り立つ言葉で、「都市に対する市民の誇り」を表します。

問 17 松阪市では、文化や歴史などの郷土教育を通じて、子どもたちの松阪市への愛着や誇りを育む教育を進めています。あなたは松阪市に対して愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか。(○は1つだけ)

1. 大変持っている
2. まあまあ持っている
3. あまり持っていない
4. ほぼ持っていない
5. 持っていない

問 18 問 17 で「大変持っている」「まあまあ持っている」と答えた方にお尋ねします。松阪市のどのようなところに愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 歴史的な名所が多い | 9. 教育レベルが高い |
| 2. 自然が豊か | 10. 働く場所がある |
| 3. 食事がおいしい | 11. 医療施設が充実している |
| 4. 公共施設が充実している | 12. 買い物しやすい |
| 5. 祭りなど伝統文化がある | 13. スポーツが盛ん |
| 6. 交通の便が良い | 14. 偉人が多い |
| 7. 景色がきれい | 15. その他() |
| 8. 治安が良い | |

地域社会で市民活動を支える仕組みについて

今後、人口減少や高齢化が進むと、市民生活や産業、市の財政などに様々な影響が及ぶことが懸念されます。その場合、行政が現在担っていることを税金だけで解決していくのは難しくなる可能性があります。このため、行政だけでは対応できない日常の社会課題を、企業や団体等の活動を通じて解決しようとする「社会的課題解決」の取組例も増えてきています。

問 19 あなたが、もし地域の課題を解決するために何らかの活動をしようとする場合、どのような方法が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 既存のボランティア活動や地域活動（自治会、住民自治協議会など）への参加
2. 社会貢献活動をしている団体などへの寄附
3. 新たな市民活動団体等の立ち上げ
4. 住民相互の話し合いの場を作る
5. 地域の活動をPRして参加者の拡大を図る
6. その他（ ）
7. わからない

松阪市では、今年度、市民や企業等による寄附や投資により、社会貢献活動を行っている団体などを支援することで、地域の様々な課題を解決する仕組みを作ることができないか検討しています。

問 20 あなたは、松阪市で市民や企業からの資金提供を通じて公益的・社会的な活動に参加、協力する仕組みが必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 4. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問 21 あなたは、今までに、社会的課題解決（例：災害復興支援、こども食堂の支援、環境保全活動など）を目的とした寄附や出資をしたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|--------|
| 1. ある | (理由:) |
| 2. ない | (理由:) |
| 3. わからない | |

問 22 あなたが、1年間に寄附をしてもよいと考える金額を教えてください。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 0円 | 5. 10,000円以上 30,000円未満 |
| 2. 1円以上 2,000円未満 | 6. 30,000円以上 50,000円未満 |
| 3. 2,000円以上 5,000円未満 | 7. 50,000円以上 100,000円未満 |
| 4. 5,000円以上 10,000円未満 | 8. 100,000円以上 |

あなたのお住まいの地域づくりについて

人口減少や少子高齢化などの社会情勢が変化していく中で、地域では多種多様な課題が生じています。地域課題の解決には、行政だけでは限界があることから、地域が主体となった課題解決に向けた活動や取組は必要不可欠なものとなっています。取組にあたっては、互いを尊重し合い、理解信頼のもとで協力する協働の地域づくりを行っていくことが必要であることから、地域づくりの中心となる住民自治協議会と市民との関係性について調査する必要があります。

問 27 人口減少や高齢化とともに、地域の役員のなり手がおらず、ボランティアだけでは維持できなくなっています。そこで、ある程度の対価を支払うことで地域の活動を担っていただくことについてあなたはどのように考えますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 賛成である | 3. わからない |
| 2. 反対である | |

人権尊重・男女の地位の平等について

問 28 松阪市は、人権が尊重されている社会になっていると感じますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 感じる | 4. 感じない |
| 2. どちらかといえば感じる | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば感じない | |

問 29 家庭生活において、男女の地位が平等になっていると思いますか。(〇は1つだけ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 男性のほうが優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている |
| 3. 平等である |
| 4. どちらかといえば女性のほうが優遇されている |
| 5. 女性のほうが優遇されている |
| 6. どちらともいえない |

あと、もう少しです！



1 22 44 66 88 110

地域で支えあう取組について

高齢者福祉、障がい福祉、子育て支援、生活困窮など従来の福祉制度は社会情勢に即した見直しが進められているものの、一方で少子高齢化や家族・地域社会の変化などにより、これらの福祉制度では対応しきれない世帯(個人)が増加してきています。

このような中、松阪市では、地域の身近な健康と福祉の相談窓口「福祉まるごと相談室」を設置し、地域で支えあう取組などを組み合わせることにより、住民一人ひとりの暮らしと生きがいや、ここで暮らし続けたい地域といった地域共生社会の実現をめざしています。

問 30 市の機関もしくは関係する機関で、福祉に関する相談する先がありますが、次の機関について、ご存じですか。(〇はいくつでも)

1. 健康や福祉の困りごとの解決をめざしていく身近な窓口「福祉まるごと相談室」
2. 高齢者の介護・福祉・医療など生活に関する総合相談窓口「地域包括支援センター」
3. 障がい児(者)の生活支援相談窓口「障がい児・者総合相談センター(マーベル)」
4. 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う相談窓口「子育て世代包括支援センター(健康センターはるる、嬉野保健センター)」
5. 生活に関する悩みや困りごとを解決するための相談窓口「生活相談支援センター」
6. 認知症や障がいなどの理由で、判断能力が十分でない人の財産管理等の相談窓口「成年後見センター」
7. いずれの相談先も知らない

問 31 自立した生活を継続し、住み慣れた地域で暮らし続けていくためには、地域で支えあう取組が必要です。お住まいの地域では、お互いが困りごとへのちょっとした支援(ごみ出しなど)の「助け合い」や、日頃のあいさつや声かけなどから、お互いを気にかけてあう「見守り」といった、地域の支え合いや地域活動が充実している地域だと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 充実している
2. ある程度充実している
3. あまり充実していない
4. 充実していない
5. どちらともいえない

問 32 支援が必要な世帯などを地域で支え合う体制や活動が重要とされています。どのようなことが特に重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 全ての世代が気軽に利用、交流できる居場所(サロン)
 2. こども食堂やプレイパーク、学習支援教室などの子どもの居場所
 3. 庭の剪定、大掃除、電球交換などの家事支援
 4. 病院やスーパー、商店などへの外出移動支援
 5. 孤立している世帯や高齢者世帯などの見守り支援
 6. ごみ出しが困難な方への支援
 7. 食品や日常生活用品などの買い物代行支援
 8. 食品ロスや企業からの寄贈を活用したフードバンク・フードパントリー※活動
- ※フードバンクとは、企業などから寄付された食料をフードパントリーなどに提供する組織・活動、
フードパントリーとは、主にフードバンクから提供を受けた食料を無料配布する場所・活動
9. 子どもの通学時などの見守り
 10. 地域交流イベントなどを通じた顔の見える関係づくり
 11. その他()
 12. 必要であると思わない

問 33 あなたは、地域で支えあう活動に参加したいですか。(既に活動している場合も含む)
(〇はいくつでも)

1. 交流できる居場所づくり、地域交流イベントなどの活動
2. 掃除、ごみ出し、買い物代行などの家事支援の活動
3. 病院やスーパーなどの外出移動支援の活動
4. こども食堂、学習支援教室など、子どもの居場所づくりに関する活動
5. 孤立している高齢者世帯の見守り活動
6. 子どもの通学時などの見守り活動
7. 参加したくない
8. どちらともいえない
9. その他()

こども医療費助成制度について

現在、こども医療費助成では、所得制限を設け、高校生世代までの方に、医療費の自己負担分を助成しています。なお、未就学児の場合、保護者の所得によって、医療機関等の窓口での支払いが無料の方と、一部をご負担いただく方（負担分は後日に全額返還）に分かれ、また高校生世代の場合は、医療費の自己負担を全額助成する方と半額助成する方に分かれています。

問 34 松阪市は子育て支援に重点的に取り組んでいます。その一環として、こども医療費助成の範囲を拡大することに賛同しますか。(〇は1つだけ)

1. 賛同する
2. 賛同しない
3. わからない
4. その他 ()

問 35 問 35、問 36 は問 34 で「賛同する」と回答された方のみお答えください。
松阪市では保護者の所得によって、こども医療費の助成を受けられる方と受けられない方に分かれています。所得に関係なくこどもの病気が突発的に起こるため、この所得制限を撤廃し、こどもを持つ全ての世帯を対象とすることを考えています。この考えに賛同しますか。(〇は1つだけ)

1. 賛同する
2. 賛同しない
3. わからない
4. その他 ()

問 36 松阪市では、未就学児において、保護者の所得が一定額以上の場合、1回の診療につき最大1,000円(保険適用分)までの窓口支払いをお願いし、窓口支払分は後日返金される無料化策を実施しています。なお、本市は県内で唯一この方式を採用し、かつ、これまでの子育てアンケートで「最も費用がかかる」と言われている高校生世代までの助成を、県内の主要都市の中でいち早く実施しています。

一方で、こどもを連れての支払いの大変さから、「同じ無料なら窓口支払いを廃止してほしい」という声も寄せられています。

本市としては、未就学児の窓口での支払いをなくすと、医療費が1.2倍～1.3倍に増加すると言われていることから、こども医療費助成における所得制限の撤廃と高校生世代への全額助成を行うことを優先して考えています。この考えに賛同しますか。(〇は1つだけ)

1. 賛同する
2. 賛同しない
3. わからない
4. その他 ()

観光施策について

問 37 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 観光地である | 4. 観光地ではない |
| 2. どちらかといえば観光地である | 5. どちらでもない |
| 3. どちらかといえば観光地ではない | |

問 38 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 歴史・文化 | 7. アート |
| 2. まちなみ | 8. 宿泊施設 |
| 3. グルメ・食事 | 9. 温泉 |
| 4. 特産品・お土産 | 10. アクセスのしやすさ |
| 5. 自然 | 11. 周辺観光スポットの数 |
| 6. アクティビティ | 12. その他 () |

問 39 もし、あなたが観光客などから松阪市のことを尋ねられた場合、何を紹介(自慢)しますか。(〇は2つまで)

- | |
|---|
| 1. 歴史、文化、町並み(例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど) |
| 2. グルメ(松阪牛) |
| 3. グルメ(松阪牛以外) |
| 4. 特産品、お土産(例：松阪もめん、松阪茶など) |
| 5. 自然、アクティビティ(例：柳田川、香肌峽など) |
| 6. 郷土の偉人(例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など) |
| 7. その他 () |
| 8. 特になし |

問 40 これから松阪市に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいと思いますか。(〇は2つまで)

- | |
|---|
| 1. 歴史・文化のまちとしてPR(例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど) |
| 2. 食のまちとしてPR(松阪牛) |
| 3. 食のまちとしてPR(松阪牛以外) |
| 4. 特産品をPR(例：松阪もめん、松阪茶など) |
| 5. 豊かな自然をPR(例：柳田川、香肌峽など) |
| 6. 郷土の偉人をPR(例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など) |
| 7. その他 () |

問 41 どのようなところに向けたPRや情報発信をすればいいと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 首都圏 | 5. 市内 |
| 2. 関西圏 | 6. 国外 |
| 3. 東海圏 | 7. その他() |
| 4. 県内 | |

問 42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいと思いますか。(〇は2つまで)

- | |
|---|
| 1. イベント出展(各種祭りや物産展、催し物など) |
| 2. Web(Webサイトの充実、Web広告の活用、PR動画作成など) |
| 3. SNS(Instagram、Facebook、X(旧Twitter)、LINE、YouTubeなど) |
| 4. テレビ広告 |
| 5. 新聞・ラジオへの広告掲載 |
| 6. 雑誌・旅行情報誌への広告掲載 |
| 7. ふるさと納税によるPR |
| 8. その他() |

松阪駅周辺のまちづくり(松阪西地区複合施設)について

松阪駅周辺の活力を象徴する存在として市民に親しまれてきた百貨店が平成18年に閉店し、その後、駐車場となり駅周辺が寂しいといった意見が過去から言われてきました。

以前には、市街地再開発事業が計画されていましたが建設資材等の高騰により事業を中止した経緯もあります。

平成29年には松阪市全体から見た中心市街地のめざすべき将来像、20年後の公共施設の配置を中心とした中心市街地の全体図を示した「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画を策定し、松阪市の玄関口にふさわしいにぎわいを創出できる松阪駅西地区複合施設を位置付けました。

この計画を進めるにあたり、市民の皆さんにワークショップ等で熱心に議論をしていただき、「気軽に滞在、つながる、まちのにぎわい発信源」を基本理念とした「松阪駅西地区複合施設基本構想」を作成しています。

この事業を実現するため、民間資本を活用しながら進める「公民連携」という方法を考えておりましたが、昨今の新型コロナウイルス等の影響により社会情勢が急激に変化し、建設資材の高騰など当初の計画とは異なる状況になりました。

このような経過を踏まえて、松阪駅周辺のまちづくり(松阪西地区複合施設)についてお尋ねします。

問 43 ポストコロナの松阪駅周辺のまちづくり(松阪駅西地区複合施設)については、これまでと同じように「公民連携」を進めていこうと考えていますが、この考え方に賛同しますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 賛同する | 2. 賛同しない |
|---------|----------|

地域包括ケアシステムとそれを支える医療提供体制について

問 44 現在の医療制度においては、それぞれの病院が、高度急性期機能^{※1}、急性期機能^{※2}、回復期機能^{※3}、慢性期機能^{※4}といった機能を分担しています。これらの病院が地域で互いの役割を明確にし、地域全体で安心できる医療を提供しようとする動きが進められています。このことについて知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことはあるがよくわからない |
| 2. 知っている | 4. 聞いたこともなくわからない |

^{※1} 高度急性期機能 …………… 救命救急や集中治療を必要とする患者に、高度で濃密な医療を提供。

^{※2} 急性期機能 …………… 病状の早期安定化に向けて、検査や処置・手術などの医療を提供。

^{※3} 回復期機能 …………… 急性期を経過した患者に、在宅復帰に向けた医療またはリハビリテーションを提供。

^{※4} 慢性期機能 …………… 長期にわたり療養が必要な患者に、入院医療を提供。

問 45 「三重県地域医療構想」では、松阪区域において75歳以上の人口がピークとなる2030年頃の超高齢社会に向けて、病床のうち回復期機能（地域包括ケア病床^{※5}）の不足が見込まれています。このことについて知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. よく知っている | 3. 聞いたことはあるがよくわからない |
| 2. 知っている | 4. 聞いたこともなくわからない |

^{※5} 地域包括ケア病床 …………… 急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある方、在宅・施設療養中から緊急入院した方に対して、在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行うこと等を目的とした病床です。

問 46 75歳以上の人口がピークとなる2030年頃の超高齢社会に備え、松阪区域に不足すると見込まれている回復期機能（地域包括ケア病床）を中心とする病院が必要だと思いませんか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 強くそう思う | 4. 全くそう思わない |
| 2. 少しそう思う | 5. わからない |
| 3. あまりそう思わない | |

COPD（慢性閉塞性肺疾患）に係る認知度について

問 47 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患^{※4}）という病気を知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. どんな病気を知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことがあるが、内容までは知らない | |

^{※4}COPD（慢性閉塞性肺疾患）……… たばこの煙などの有害物質を吸い続けることで肺や気管支に慢性的な炎症を起こして、息切れや咳がひどくなり呼吸困難を招く進行性の病気。以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。

放課後児童クラブについて

こどもの小学校入学を境に、仕事と子育ての両立が困難になり、特に母親が仕事を辞めたり、パート勤務に変更するなどして、女性の社会進出が阻害されてしまう「小1の壁」が今、問題視されています。その解消に向けて、松阪市では放課後や長期休業期の児童の居場所づくりを行う放課後児童クラブの整備を進めています。

問 48 放課後児童クラブについて知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 49 今後、さらに放課後児童クラブを充実させていくべきだと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて

松阪市では、オリンピックのメダリストがスポーツのチカラを様々なかたちで市民の皆さんに伝える取組やフルマラソンの開催などを通じて、スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを市民に広げる「スポーツと運動したまちづくり」を進めています。また、限りある財源の中で、今後の市内のスポーツ施設のあり方を示す「スポーツ施設長寿命化計画」の策定に令和5年度より取り組んでいます。

問 50 松阪市では、土性沙羅さんによる「伝えたい！スポーツのチカラ」プロジェクトや「みえ松阪マラソン」の開催など、スポーツに関する情報を積極的に発信していますが、最近、あなたはスポーツに取り組んだことがありますか。(〇は1つだけ)

1. スポーツに取り組んでいる
2. 現在は取り組んでいないが、取り組もうと思っている
3. 現在は取り組んでいないが、スポーツを観たり、スポーツボランティアに参加しようと思っている
4. 取り組む予定はない
5. その他 ()

問 51 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増えています。その要因は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. スポーツ大会(フルマラソン、市長杯スポーツ大会など)やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった
2. 総合運動公園の完成など、スポーツ施設の充実により、環境が向上した
3. 健康志向が高まり体を動かすことが健康につながるとの意識が向上した
4. わからない
5. その他 ()

問 52 本市のスポーツ施設は老朽化が進んでおり、特に総合体育館(三十三銀行アリーナ)は昭和50年に建設され約50年が経過しようとしています。同施設は、こどもから高齢者まで幅広い年齢層にご利用いただいておりますが、アリーナ(体育館)には空調設備がないため、最近の気温上昇により、運動中の熱中症リスクが高まっています。この課題に対処するため、空調設備の導入(経費約3億円)を検討していますが、どのように思われますか。(〇は1つだけ)

1. 空調設備を導入すべき
2. 現状のままでよい(導入すべきでない)
3. わからない
4. その他 ()

問 53 松阪市では、スポーツのチカラ「スポーツと運動したまちづくり」の一環として、市民の皆さんと一体となってスポーツボランティアへの参加を通じてスポーツを「支える」喜びを感じ、よりスポーツに親しむことで、さらなる健康づくりにつなげていきたいと考えています。今後も、スポーツイベントを通じてボランティアの機会を増やしていこうと考えていますが、どのように思われますか。(○は1つだけ)

1. 参加したい
2. どちらかといえば参加したい
3. どちらかといえば参加したくない
4. 参加したくない
5. わからない



松阪市 市民意識調査
結果報告書

令和6年2月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-22-1377

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp